
**豊島区基本計画策定のための
区民意識調査
報告書**

**平成 27 年 3 月
(平成 26 年 10 月実施)**

豊 島 区

目 次

I. 調査概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 調査の内容.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書を見る際の注意事項.....	1
6. 回答者の基本属性.....	2
(1) 性別、年齢.....	2
(2) 職業.....	3
(3) 世帯構成.....	3
(4) 区内在住の親戚の有無.....	4
(5) 居住歴.....	4
(6) 居住年数.....	5
(7) 住まい形態.....	5
(8) 居住地域.....	6

II. 調査結果

第1章 豊島区の印象について	9
1. 豊島区への愛着.....	9
2. 定住意向.....	12
(1) 定住意向.....	12
(2) 住み続けたい理由.....	16
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由.....	20
3. 豊島区のイメージ.....	21
(1) 現在の豊島区のイメージ.....	21
(2) 望ましい将来の豊島区のイメージ.....	26
(3) 現在と将来のイメージのギャップ.....	31
4. 豊島区の良いところ.....	32
5. 豊島区の改善すべきところ.....	35
第2章 地域の生活環境について	40
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」.....	43
(1) 福祉.....	43
(2) 健康.....	44
(3) 子育て.....	45
(4) 教育.....	46
(5) コミュニティ・協働.....	47
(6) 環境.....	48
(7) 都市再生.....	49

(8) 安全・安心.....	50
(9) 観光・産業.....	51
(10) 文化.....	52
(11) グループ全体を通して見た「現在の評価」.....	53
2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」.....	54
(1) 福祉.....	54
(2) 健康.....	54
(3) 子育て.....	55
(4) 教育.....	55
(5) コミュニティ・協働.....	56
(6) 環境.....	56
(7) 都市再生.....	57
(8) 安全・安心.....	57
(9) 観光・産業.....	58
(10) 文化.....	58
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析.....	59
(1) 福祉.....	60
(2) 健康.....	62
(3) 子育て.....	64
(4) 教育.....	66
(5) コミュニティ・協働.....	68
(6) 環境.....	70
(7) 都市再生.....	72
(8) 安全・安心.....	74
(9) 観光・産業.....	76
(10) 文化.....	78
4. 「現在の評価」の経年比較.....	80
(1) 福祉.....	81
(2) 健康.....	82
(3) 子育て.....	83
(4) 教育.....	84
(5) コミュニティ・協働.....	85
(6) 環境.....	86
(7) 都市再生.....	87
(8) 安全・安心.....	88
(9) 観光・産業.....	89
(10) 文化.....	90
第3章 区政への参加について.....	91
1. 区政への関心度.....	91
2. 区政への区民の意見の反映度.....	93
3. 区に意見を述べる機会や手段等の満足度.....	95
4. 区政への参加意欲.....	97

第4章 地域との関わりについて	99
1. 地域への貢献意欲.....	99
2. 近所付き合いの程度.....	101
3. 好ましい近所付き合いの程度.....	103
4. 地域活動への参加.....	105
(1) 参加の有無.....	105
(2) 参加理由.....	107
(3) 参加していない理由.....	109
5. 地域区民ひろば.....	112
(1) 認知度.....	112
(2) 利用経験の有無.....	114
(3) 参加意向.....	116
6. セーフコミュニティ.....	118
(1) 認知度.....	118
(2) 関心のある重点課題.....	120
7. 地域活動に参加するために必要な施策.....	123
第5章 これからの豊島区のまちづくりについて	126
1. 人口減少社会の到来や少子高齢化の進行への対応に向けて.....	126
2. 首都直下地震に備えて.....	132
3. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて.....	135
4. 今後、特に力を入れてほしい施策.....	138
5. 自由意見.....	146
Ⅲ. 調査票.....	147

I . 調查概要

1. 調査の目的

「豊島区基本計画」の計画期間が平成 27 年度をもって終了することから、平成 28 年度以降の 10 年間を期間とする新たな基本計画の策定に向けて、区民の意見・要望を把握し、今後の検討に資する基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に 2 年以上在住する 18 歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を 5 地域に分割し、各地域より 1,000 人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成 26 年 10 月 6 日（月）～10 月 22 日（水）

3. 調査の内容

- 調査対象者の基本属性について
- 豊島区の印象について
- 地域の生活環境について
- 区政への参加について
- 地域との関わりについて
- これからの豊島区のまちづくりについて

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000 件	2,016 件	40.3%

5. 報告書を見る際の注意事項

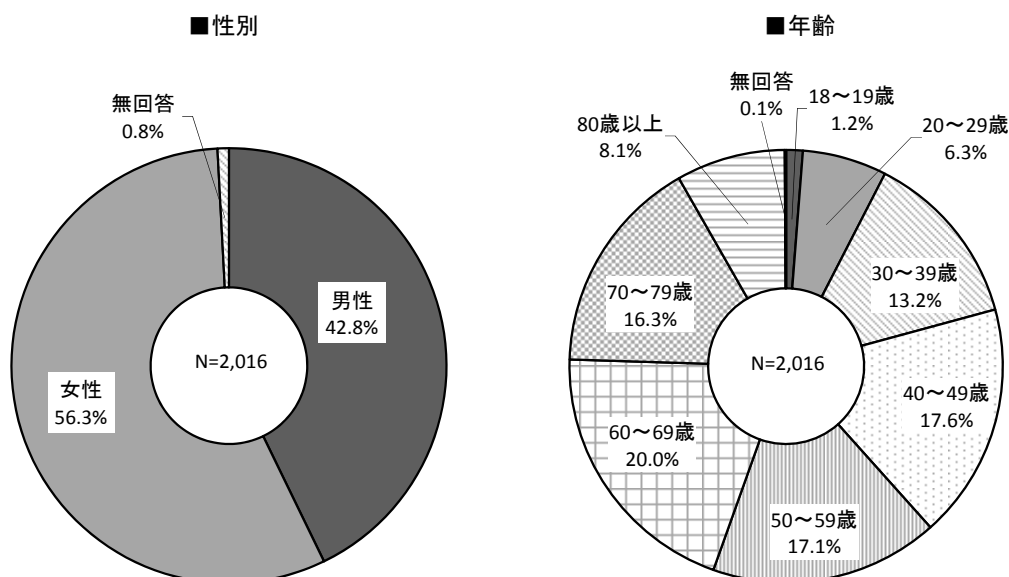
- 図表中の「N」は全回答者数（2,016 人）を示し、「n」は回答者を絞った設問における該当する回答者数を示す。
- 回答は百分率で算出している。少数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を 100%としている。
- 図表中の「－」は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- 複数選択ができる設問では、当該設問の回答者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が 100%を超えることがある。なお、その場合には、グラフタイトルに「2 つまで」「あてはまるものすべて」などと記載している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

6. 回答者の基本属性

(1) 性別、年齢

「男性」が42.8%、「女性」が56.3%となっている。

「60～69歳」が20.0%と最も高く、次いで「40～49歳」(17.6%)、「50～59歳」(17.1%)、「70～79歳」(16.3%)となっている。



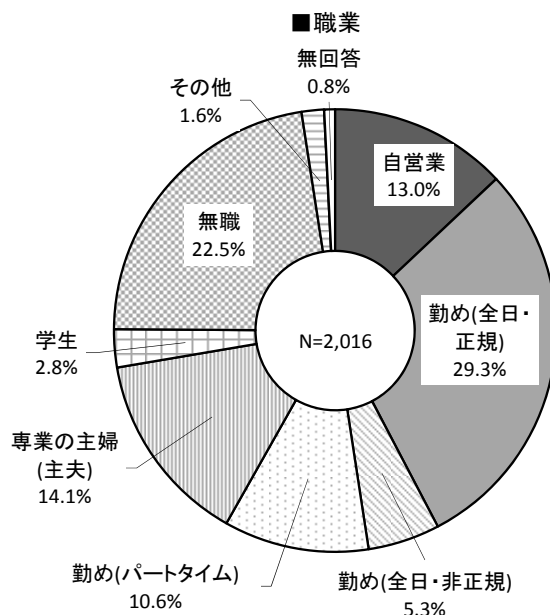
■性別の年齢構成

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体 (n=2,016)	25 (1.2)	127 (6.3)	267 (13.2)	355 (17.6)	344 (17.1)	404 (20.0)	328 (16.3)	164 (8.1)	2 (0.1)
男性 (n= 863)	15 (1.7)	49 (5.7)	106 (12.3)	149 (17.3)	156 (18.1)	192 (22.2)	130 (15.1)	66 (7.6)	0 (-)
女性 (n=1,136)	10 (0.9)	78 (6.9)	157 (13.8)	205 (18.0)	186 (16.4)	211 (18.6)	191 (16.8)	98 (8.6)	0 (-)
無回答 (n=17)	0 (-)	0 (-)	4 (23.5)	1 (5.9)	2 (11.8)	1 (5.9)	7 (41.2)	0 (-)	2 (11.8)

上段：実数（人） 下段：%

(2) 職業

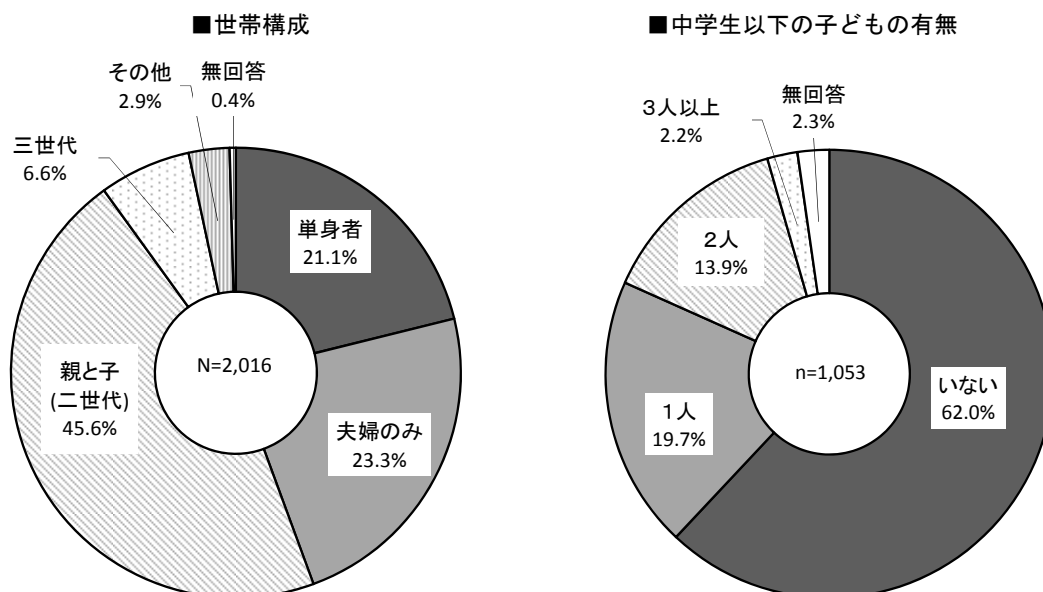
「勤め(全日・正規)」が29.3%と最も高く、次いで「無職」(22.5%)、「専業の主婦(主夫)」(14.1%)、「自営業」(13.0%)となっている。



(3) 世帯構成

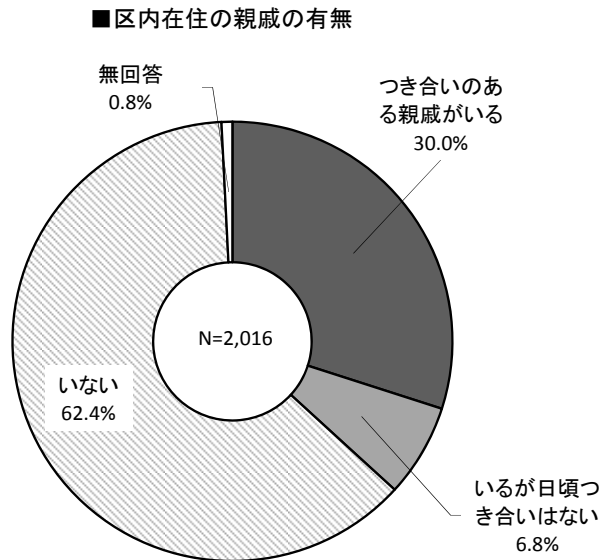
「親と子(二世代)」が45.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(23.3%)、「単身者」(21.1%)となっている。

「親と子(二世代)」「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは)いない」が約6割となっている。中学生以下の子ども的人数は、「1人」が19.7%と最も高く、次いで「2人」(13.9%)、「3人以上」(2.2%)となっている。



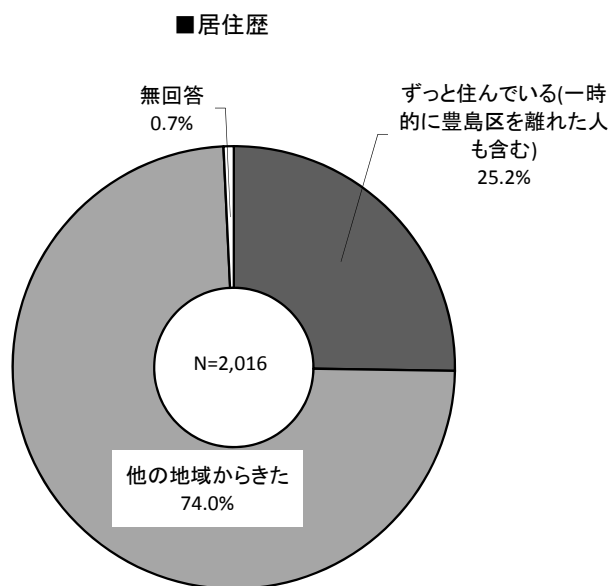
(4) 区内在住の親戚の有無

「(区内に親戚は) いない」が62.4%と最も高くなっている。「つき合いのある親戚がいる」は30.0%、「(区内に親戚は) いるが日頃つき合いはない」は6.8%となっている。



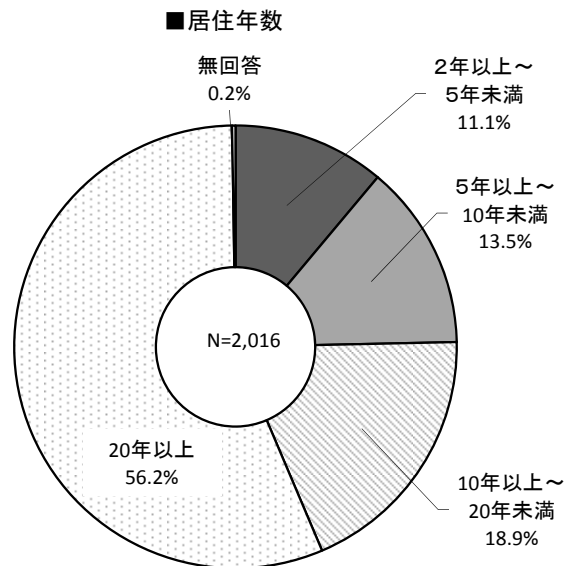
(5) 居住歴

「他の地域からきた」が74.0%、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」が25.2%となっている。



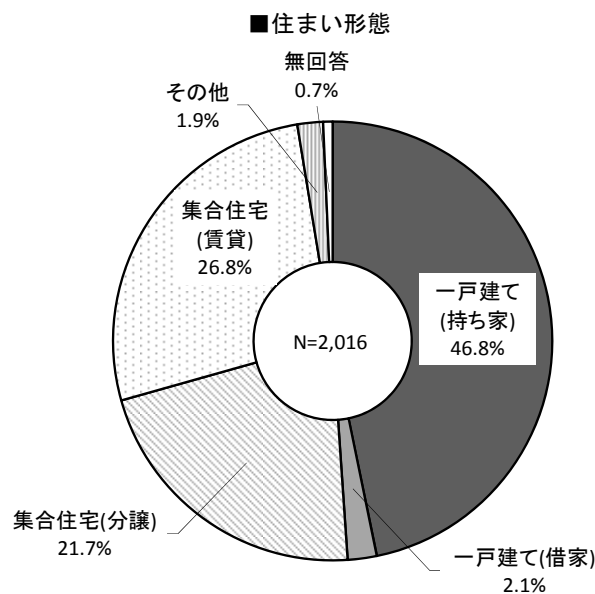
(6) 居住年数

「20年以上」が56.2%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(18.9%)、「5年以上～10年未満」(13.5%)、「2年以上～5年未満」(11.1%)となっている。



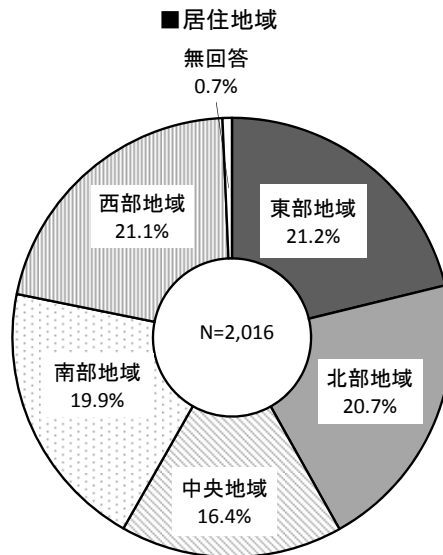
(7) 住まい形態

「一戸建て(持ち家)」が46.8%と最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(26.8%)、「集合住宅(分譲)」(21.7%)、「一戸建て(借家)」(2.1%)となっている。



(8) 居住地域

5地区区分では、「東部地域」(21.2%)、「北部地域」(20.7%)、「南部地域」(19.9%)、「西部地域」(21.1%)、「中央地域」(16.4%)となっている。



注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

＜今回の調査と『協働のまちづくりに関する区民意識調査』との基本属性の経年比較＞

(%)

		平成26年度 調査(今回)	平成25年度 調査	平成22年度 調査	平成19年度 調査	平成16年度 調査
		(N=2,016)	(N=1,757)	(N=2,040)	(N=1,471)	(N=805)
性別	男性	42.8	37.5	38.5	37.5	38.5
	女性	56.3	58.0	59.4	60.0	58.8
年齢	18～19歳	1.2	1.0	0.8	1.1	1.1
	20～29歳	6.3	6.7	7.1	8.2	8.0
	30～39歳	13.2	13.7	15.0	15.8	13.0
	40～49歳	17.6	18.3	16.0	16.2	15.8
	50～59歳	17.1	14.7	15.6	19.4	21.4
	60～69歳	20.0	19.5	20.7	18.4	19.5
	70～79歳	16.3				
	80歳以上	8.1	21.9	22.5	19.1	20.4
職業	自営業	13.0	10.2	10.0	11.2	15.4
	家族従業		1.9	3.1	3.1	3.5
	勤め(全日・正規)	29.3	30.2	30.6	35.1	27.1
	勤め(全日・非正規)	5.3				
	勤め(パートタイム)	10.6	10.5	10.5	9.7	8.8
	専業の主婦(主夫)	14.1	16.6	19.0	23.9	28.6
	学生	2.8	3.4	2.5	3.1	2.1
	無職	22.5	19.0	20.4		
世帯構成	単身者	21.1	17.0	19.7	19.0	16.6
	夫婦のみ	23.3	22.3	23.3	22.1	21.0
	親と子	45.6	46.4	42.6	45.0	46.5
	三世代	6.6	7.5	10.0	10.2	10.4
	その他	2.9	4.0	2.2	2.1	2.9
中学生以下の 子どもの有無	いない	62.0	62.0	62.8	67.4	71.2
	1人	19.7	19.4	18.2	15.1	13.5
	2人	13.9	12.4	12.6	11.0	10.3
	3人以上	2.2	3.4	4.2	3.4	2.8
居住歴	ずっと住んでいる	25.2	29.3	26.4	31.1	37.0
	他の地域からきた	74.0	66.5	71.3	66.3	60.1
居住年数	2～5年未満	11.1	11.4	11.8	9.9	1.5
	5～10年未満	13.5	11.5	11.9	13.2	7.1
	10～20年未満	18.9	18.6	16.7	15.0	9.8
	20年以上	56.2	54.7	57.5	60.2	79.6
住まい形態	一戸建て(持ち家)	46.8	44.3	46.8	49.0	
	一戸建て(借家)	2.1				
	集合住宅(分譲)	21.7	24.2	21.1	20.0	
	集合住宅(賃貸)	26.8	26.6	26.1	25.2	
	その他	1.9	2.8	3.3	4.4	
居住地域	東部地域	21.2	20.1	19.5	20.7	27.1
	北部地域	20.7	18.4	19.9	19.6	9.8
	中央地域	16.4	15.8	18.3	16.3	16.8
	南部地域	19.9	19.8	20.0	21.3	10.3
	西部地域	21.1	20.8	20.2	20.1	33.8

※『協働のまちづくりに関する区民意識調査』とは、豊島区が3年に1回の頻度で実施し、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握する調査。

※中学生以下の子どもの有無は、世帯構成で「親と子」「三世代」と回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、平成26年度が1,053人、平成25年度が947人、平成22年度が1,074人、平成19年度が812人、平成16年度が458人となっている)

※各項目での無回答の割合は除いている。

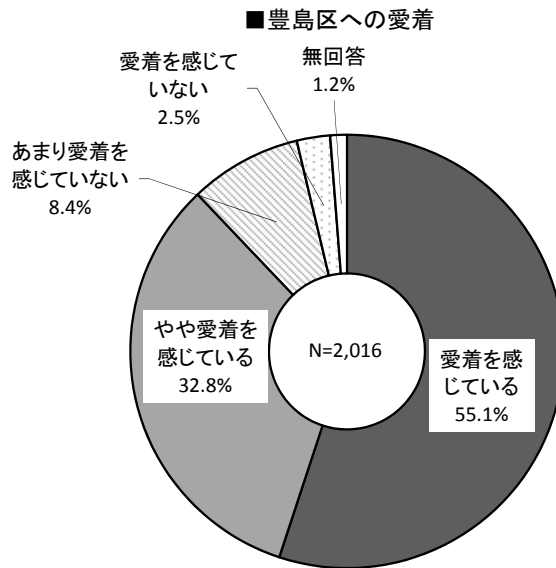
※各年度で、選択肢は若干異なる。

II. 調查結果

第1章 豊島区の印象について

1. 豊島区への愛着：問10

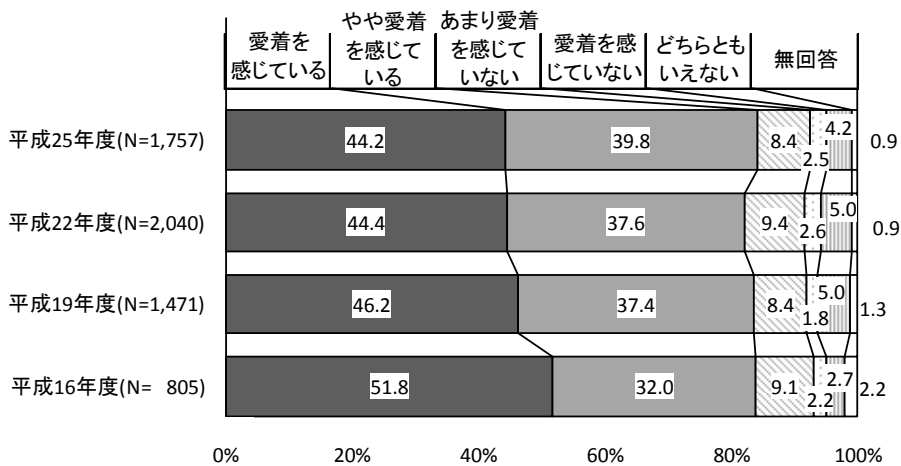
豊島区に愛着を感じているか聞いたところ、「愛着を感じている」が55.1%と最も高く、「やや愛着を感じている」(32.8%)と合わせた“愛着を感じている”が9割弱となっている。“愛着を感じていない”（「愛着を感じていない」と「あまり愛着を感じていない」の合計）は約1割となっている。



《参考：過去の調査結果》

過去の調査では、「愛着を感じている」が4割台半ばから約5割となっている。“愛着を感じている”は、8割強から8割台半ばとなっている。

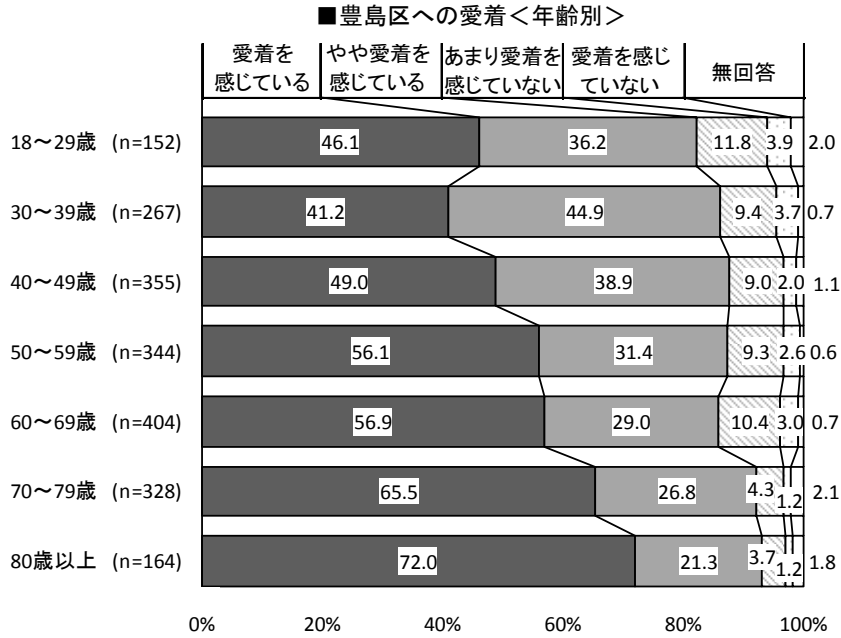
参考：豊島区への愛着<過去の調査結果>



※過去の調査では、「どちらともいえない」を選択肢に入れているため、参考値とする。

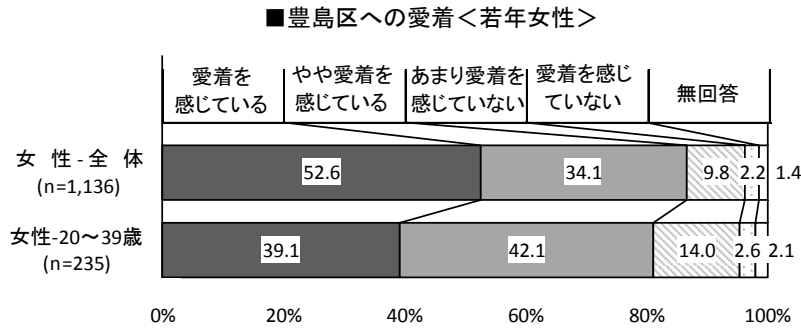
【年齢別比較】

「愛着を感じている」はおおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70～79歳では6割台半ば、80歳以上では7割を超えている。



【若年女性】

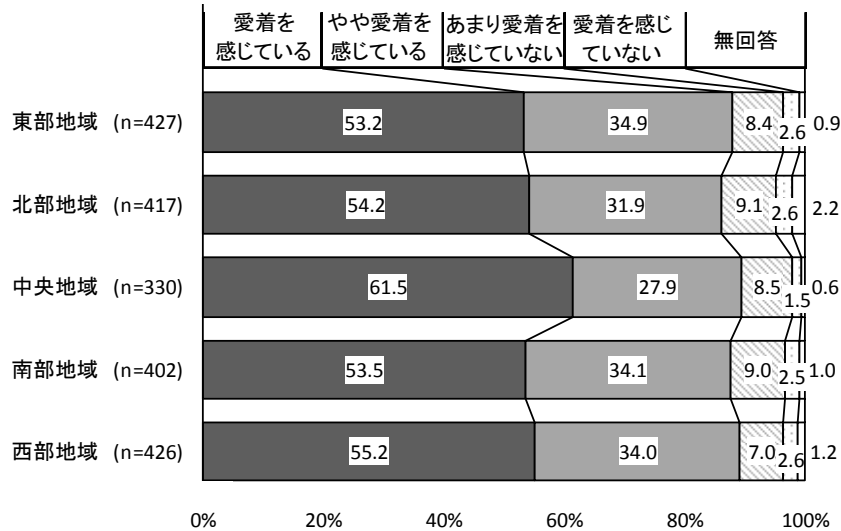
女性のうち、20～39歳の世代では「愛着を感じている」が約4割となっており、女性全体の5割強と比較して低くなっている。



【地域別比較】

「愛着を感じている」は、中央地域で最も高く、6割を超えている。

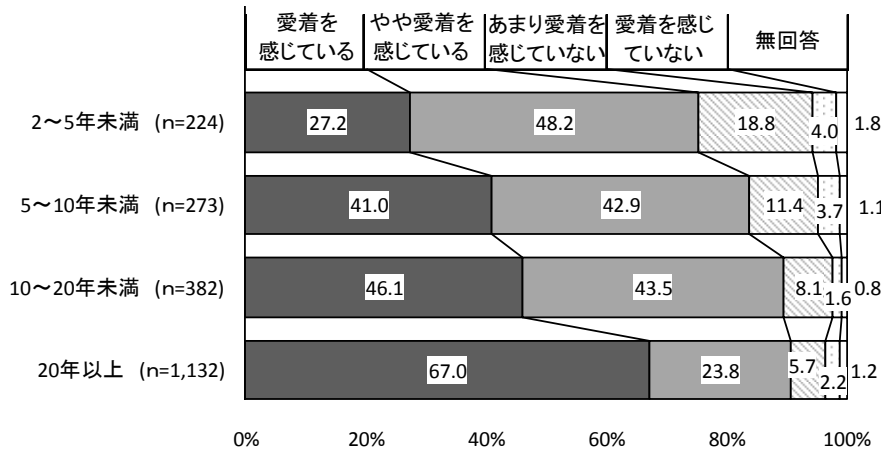
■豊島区への愛着<地域別>



【居住年数別比較】

「愛着を感じている」は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられ、居住年数が20年以上では67.0%となっている。

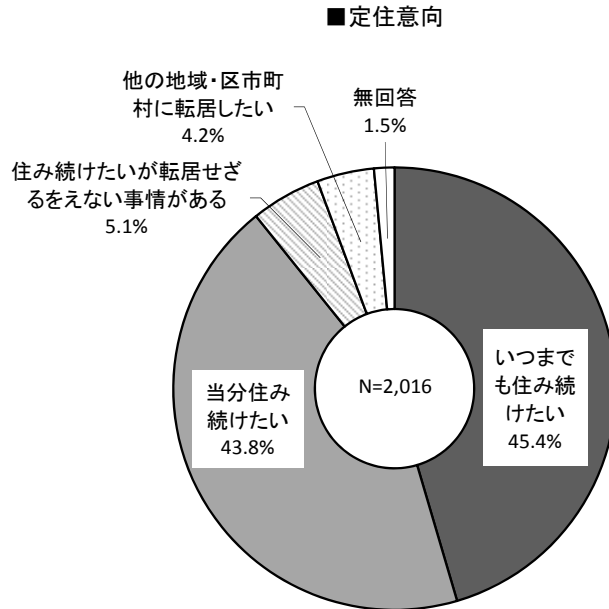
■豊島区への愛着<居住年数別>



2. 定住意向

(1) 定住意向：問 11

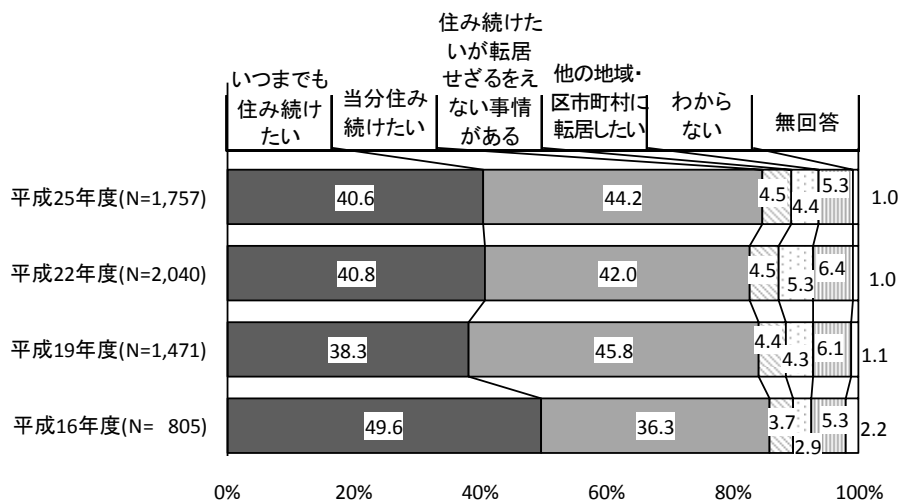
定住意向を聞いたところ、「いつまでも住み続けたい」が45.4%と最も高く、「当分住み続けたい」(43.8%)と合わせた“住み続けたい”が約9割となっている。



《参考：過去の調査結果》

過去の調査では、平成16年度は「いつまでも住み続けたい」が約5割、その他の年度では約4割となっている。

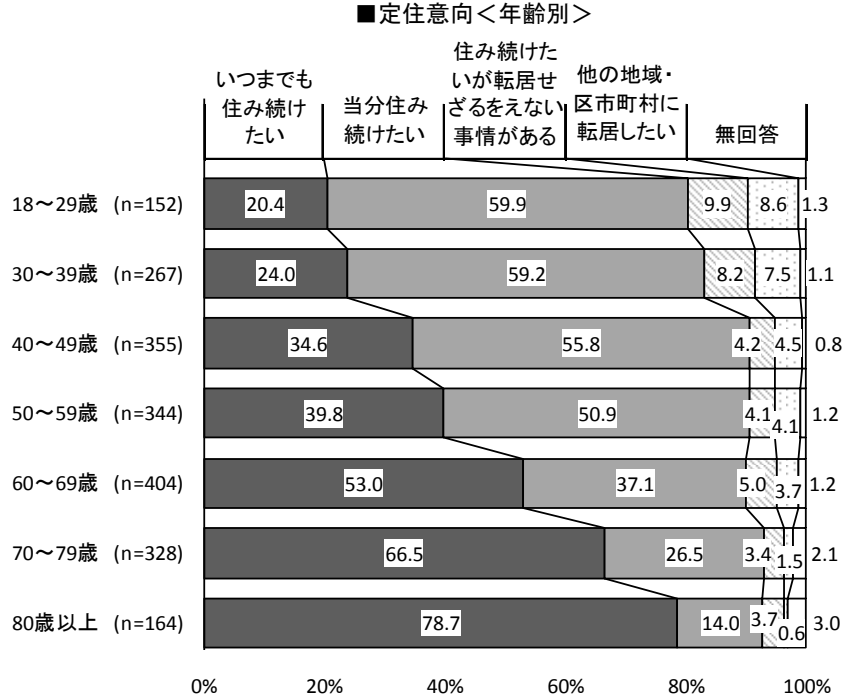
参考：定住意向<過去の調査結果>



※過去の調査では、「わからない」を選択肢に入れているため、参考値とする。

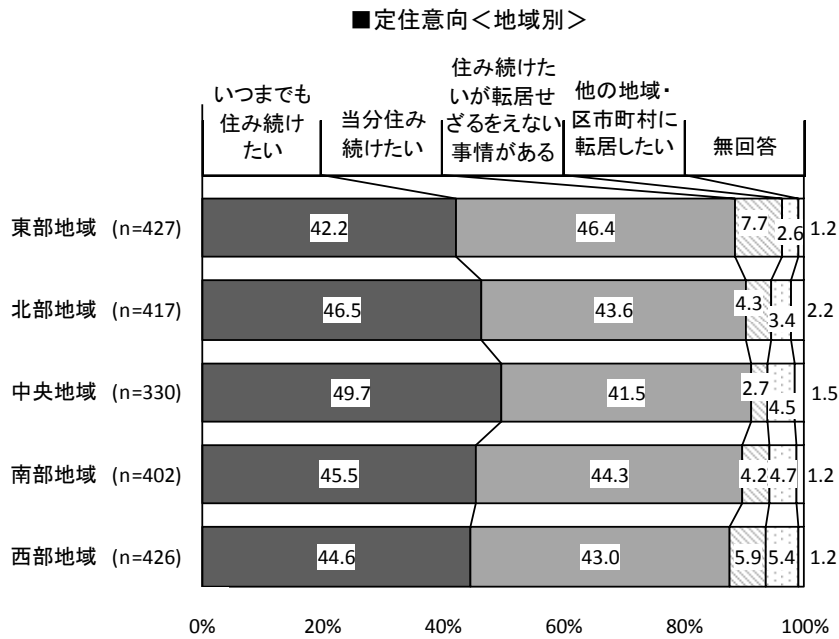
【年齢別比較】

「いつまでも住み続けたい」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、60歳～69歳では53.0%、70～79歳では66.5%、80歳以上では78.7%となっている。



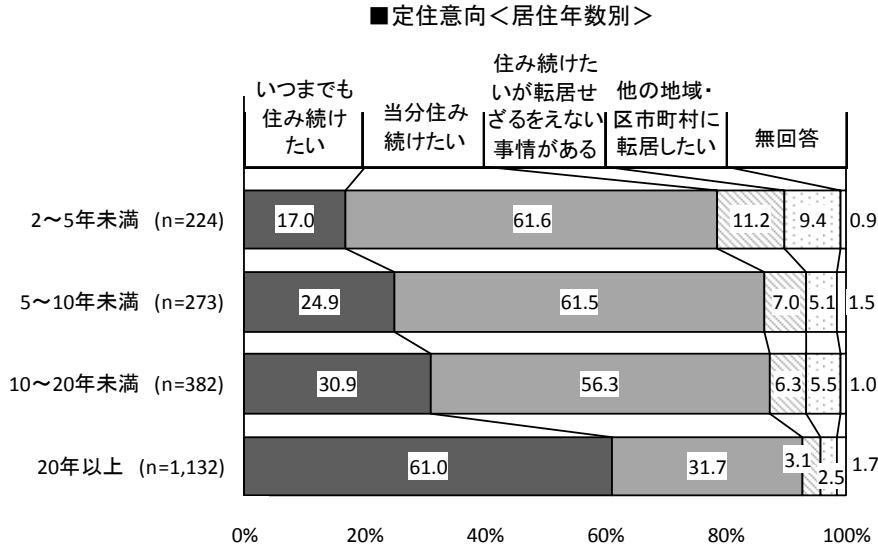
【地域別比較】

「いつまでも住み続けたい」は、中央地域で最も高く、約5割となっている。



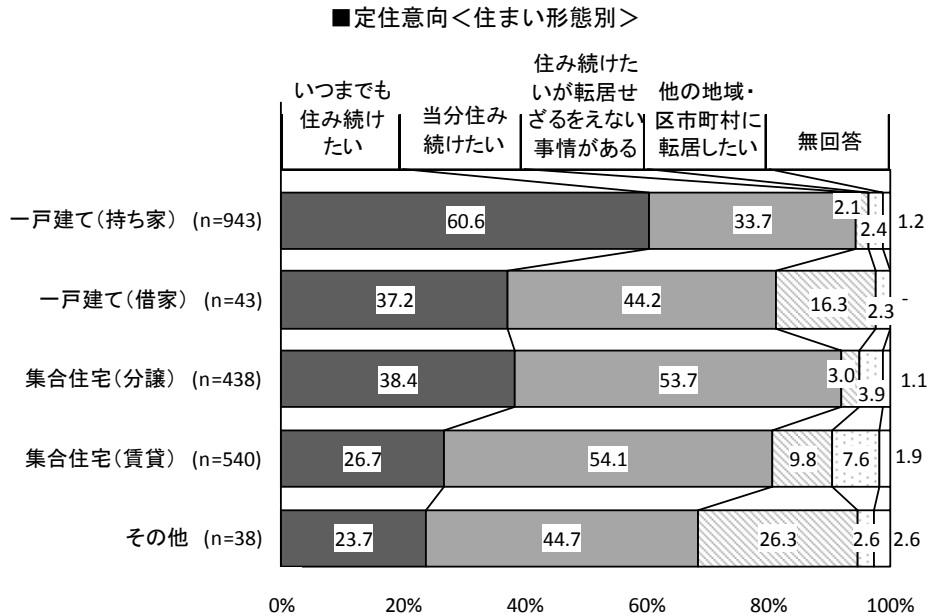
【居住年数別比較】

「いつまでも住み続けたい」は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられ、20年以上では約6割となっている。



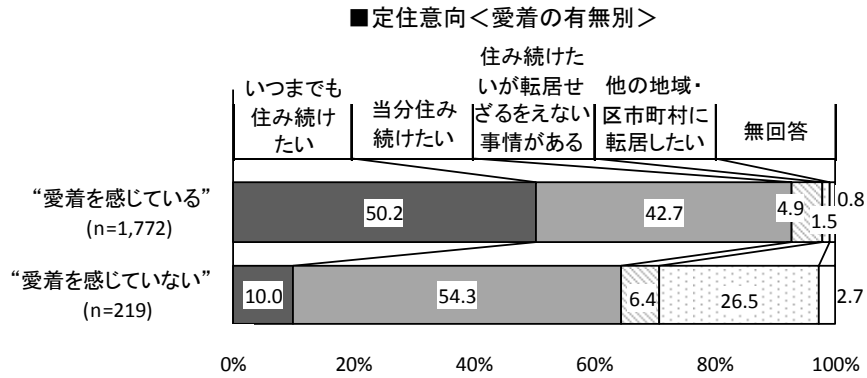
【住まい形態別比較】

「いつまでも住み続けたい」は、一戸建て（持ち家）が60.6%と最も高く、次いで集合住宅（分譲）が38.4%となっている。



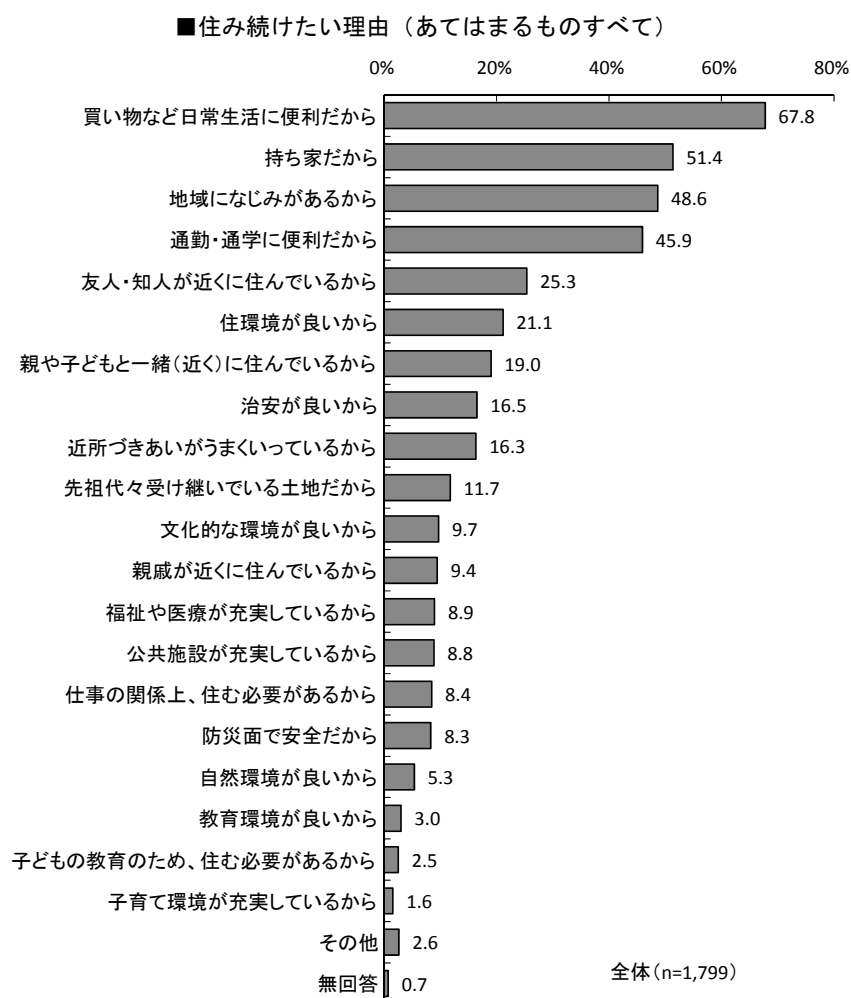
【愛着の有無別比較】

豊島区に“愛着を感じている”人では、「いつまでも住み続けたい」が約5割となっており、“住み続けたい”が9割を超えている。豊島区に“愛着を感じていない”人では、「当分住み続けたい」が5割台半ばで最も高いものの、次いで「他の地域・区市町村に転居したい」が2割台半ばで続いている。



(2) 住みたい理由：問 11-1

“住みたい”と回答した人に、住みたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」が67.8%と最も高く、次いで、「持ち家だから」(51.4%)、「地域になじみがあるから」(48.6%)、「通勤・通学に便利だから」(45.9%)の順で続いている。



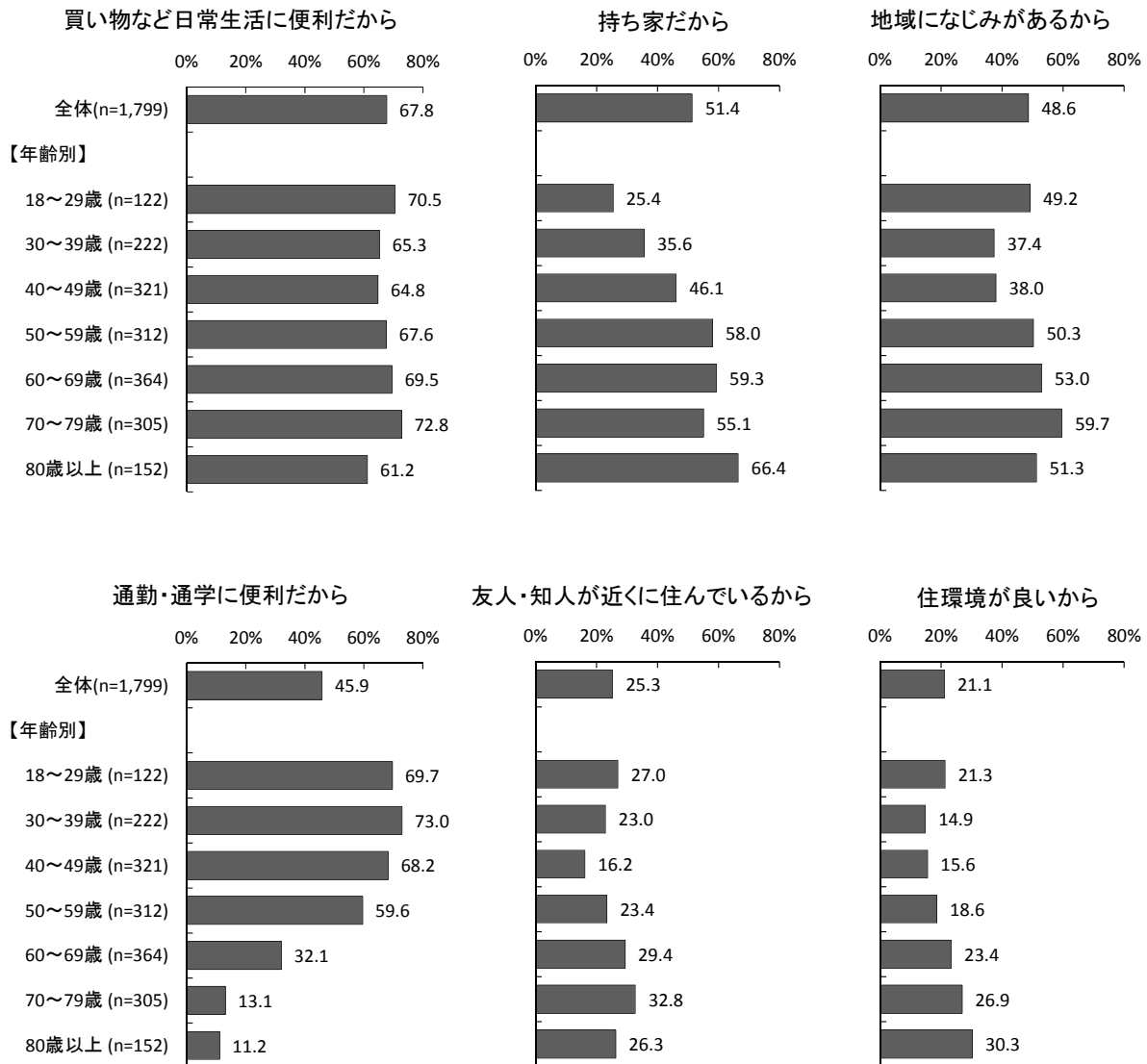
【年齢別比較】

年齢別にみると、30～39歳、40～49歳では「通勤・通学に便利だから」（それぞれ73.0%、68.2%）、80歳以上では「持ち家だから」（66.4%）が最も高くなっている。

「地域になじみがあるから」を年齢別にみると、18～29歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上では5～6割となっているのに対し、30～39歳では4割弱、40～49歳では約4割となっている。

「通勤・通学に便利だから」は、18～29歳と40～49歳では約7割、30～39歳では7割強、50～59歳では約6割、60～69歳では約3割、70～79歳と80歳以上では約1割となっている。

■住み続けたい理由＜年齢別：上位6項目＞



【地域別比較】

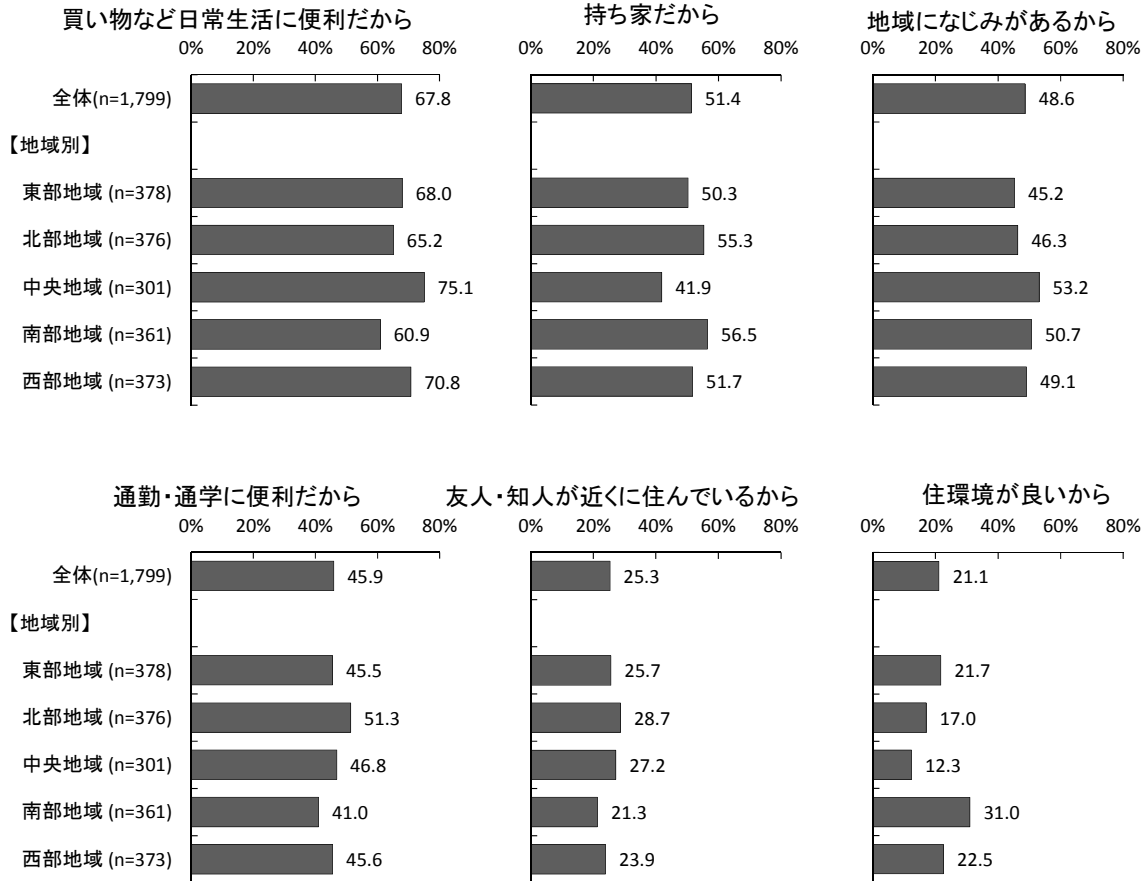
全ての地域で、「買い物など日常生活に便利だから」が最も高くなっている。

「買い物など日常生活に便利だから」を地域別で見ると、中央地域では7割台半ば、西部地域と東部地域では約7割となっている。

「持ち家だから」は、中央地域で最も低く、約4割となっている。

「住環境が良いから」は、南部地域で最も高く、約3割となっている。

■住みたい理由<地域別：上位6項目>

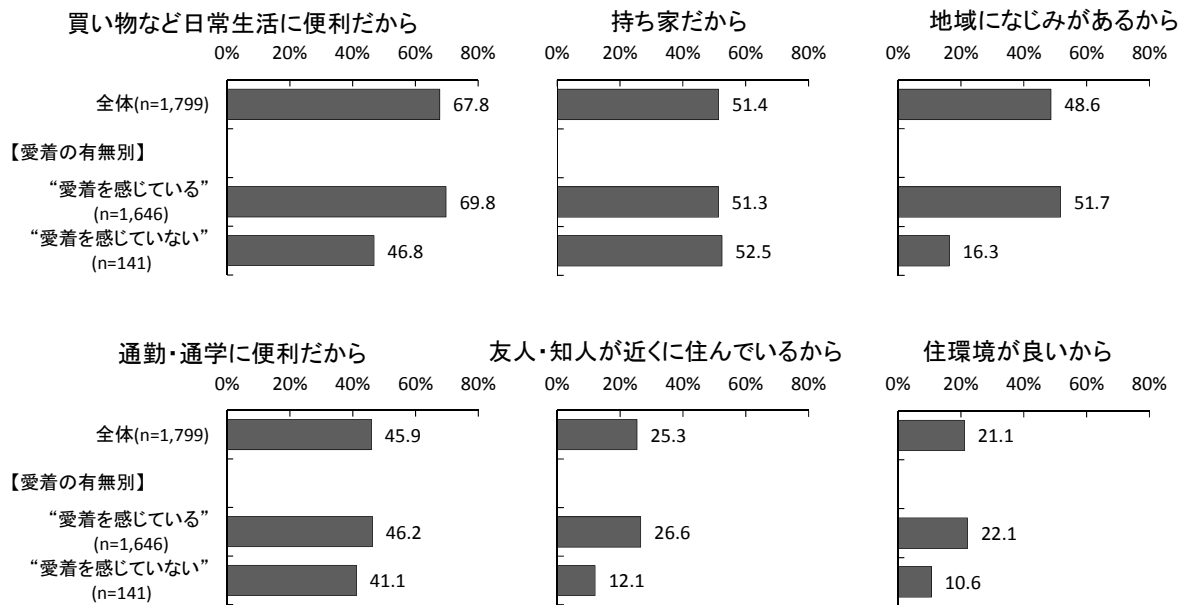


【愛着の有無別比較】

「買い物など日常生活に便利だから」を愛着の有無別にみると、「愛着を感じている人」は約7割であるのに対し、「愛着を感じていない」人は4割台半ばとなっている。

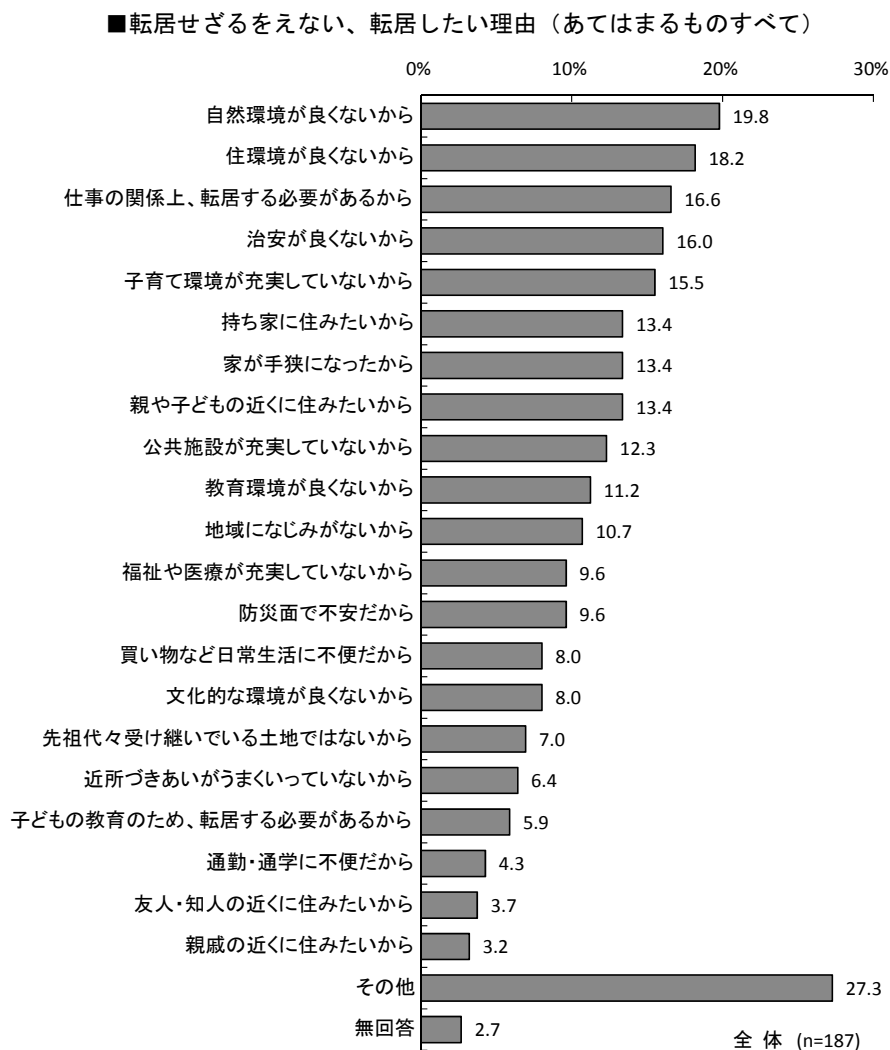
また、「地域になじみがあるから」をみると、「愛着を感じている人」は約5割となっているのに対し、「愛着を感じていない」人は1割台半ばとなっている。

■住みたい理由<愛着の有無別：上位6項目>



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由：問11-2

「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」「他の地域・区市町村に転居したい」と回答した人にその理由を聞いたところ、「自然環境が良くないから」が19.8%と最も高く、次いで、「住環境が良くないから」(18.2%)、「仕事の関係上、転居する必要があるから」(16.6%)、「治安が良くないから」(16.0%)の順で続いている。



【その他（回答者数 51 人）の主な記載内容】

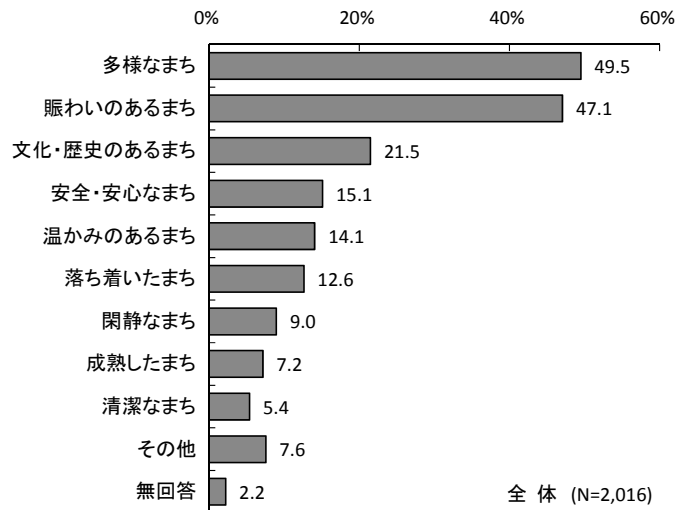
- | | |
|--------------|----------------|
| ・家賃が高い | ・他の地域にも興味があるから |
| ・物価が地方に比べて高い | ・結婚のため |

3. 豊島区のイメージ

(1) 現在の豊島区のイメージ：問 12

現在の豊島区のイメージを聞いたところ、「多様なまち」が 49.5%と最も高く、次いで「賑わいのあるまち」が 47.1%となっている。

■現在の豊島区のイメージ（3つまで）



【年齢別比較】

18～29 歳、30～39 歳では「賑わいのあるまち」が、80 歳以上では「安全・安心なまち」が最も高くなっている。

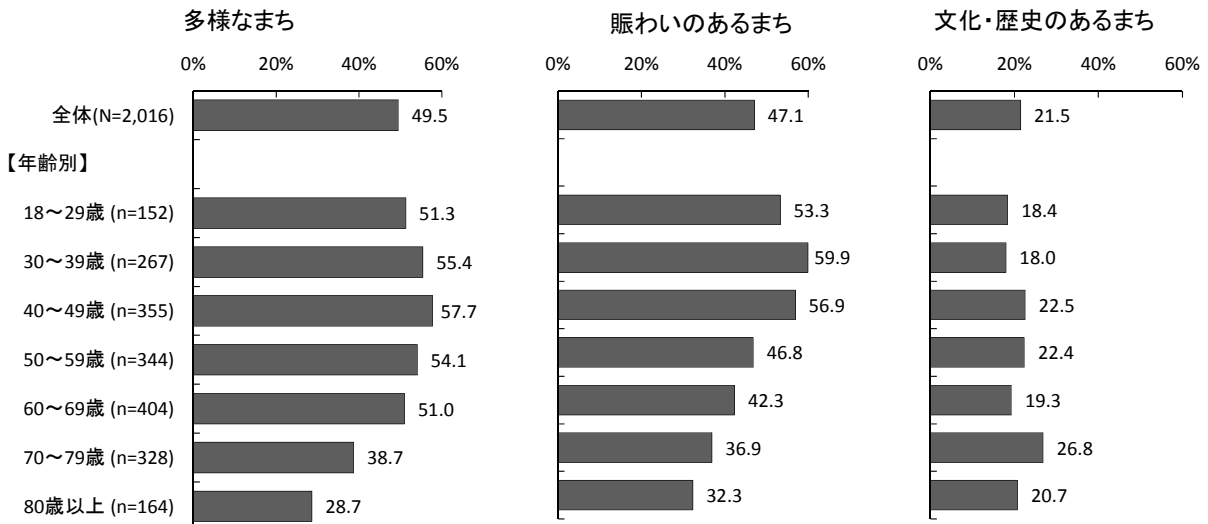
「多様なまち」を年齢別にみると、40 代以上では年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

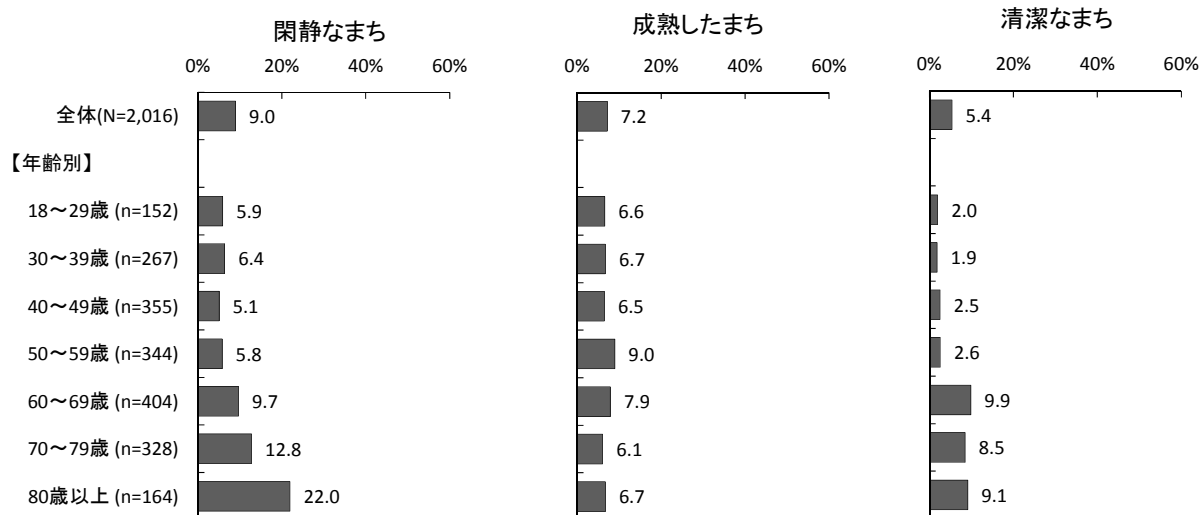
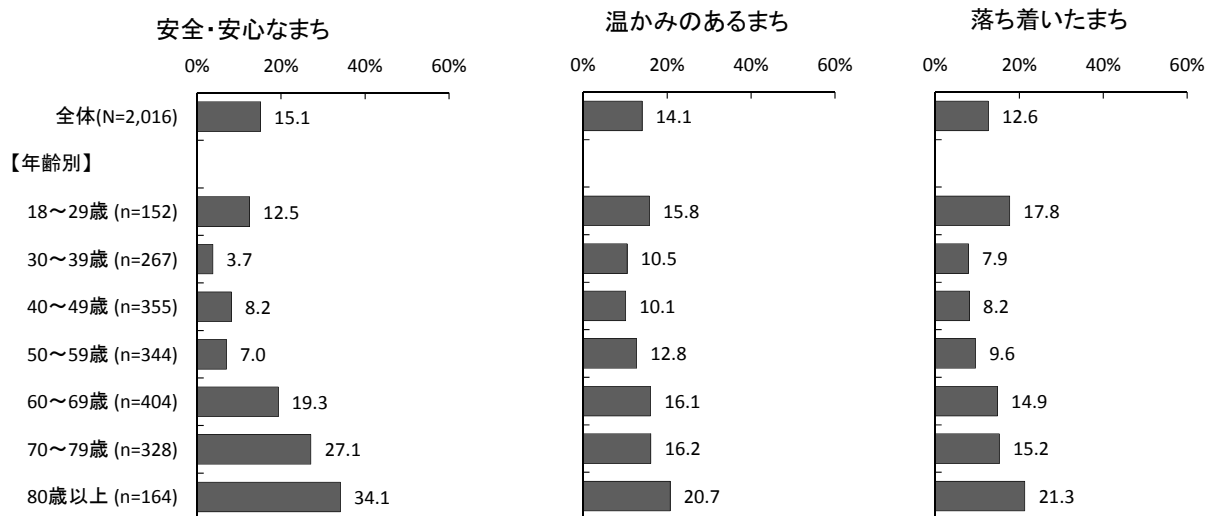
「賑わいのあるまち」は、18～29 歳、30～39 歳、40～49 歳では 5 割を超えているのに対し、50 代以上では年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

「安全・安心なまち」は、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳では 1 割を下回っている。

「閑静なまち」は、80 歳以上でやや高く、約 2 割となっている。

■現在の豊島区のイメージ<年齢別>

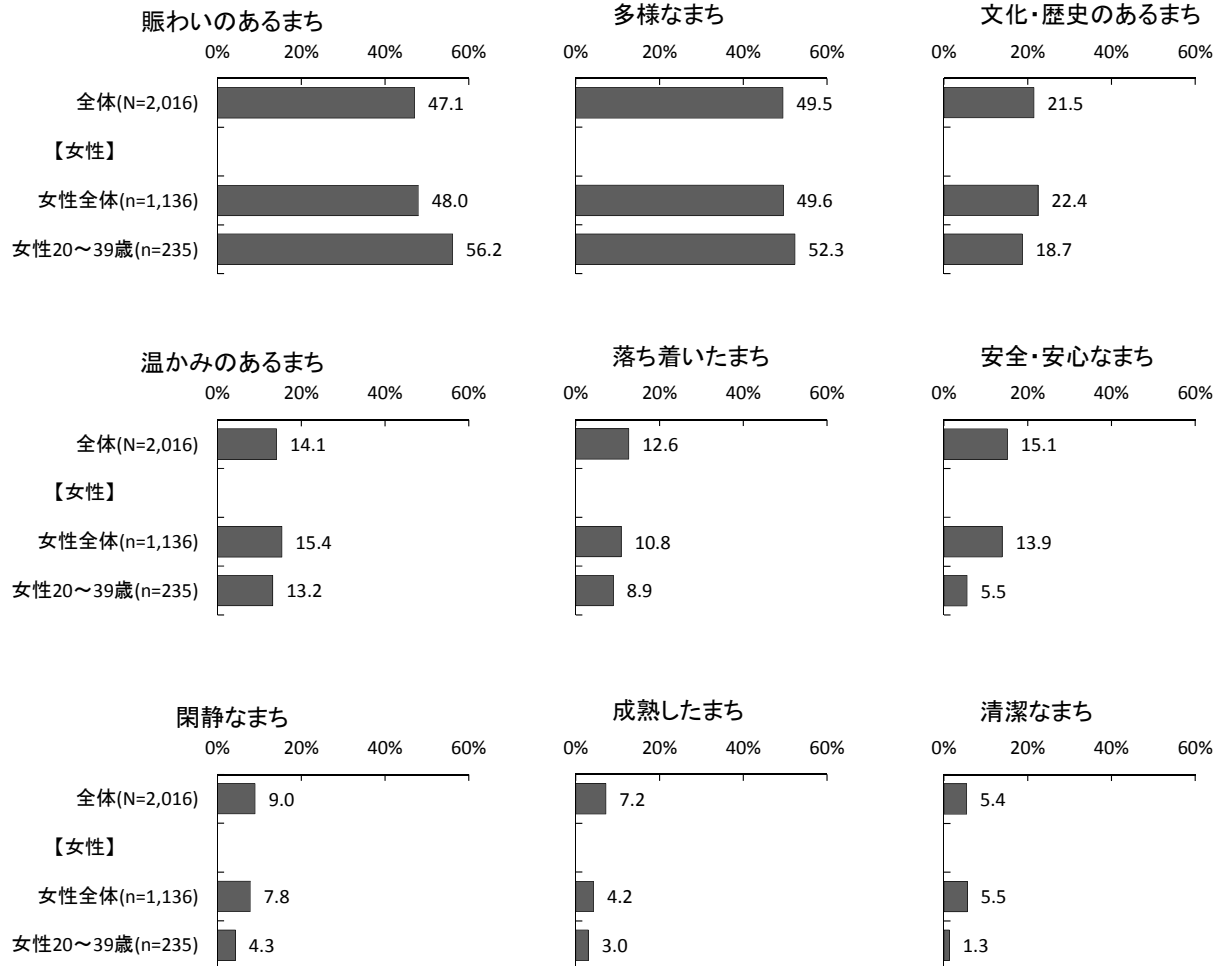




【若年女性】

女性のうち、20～39歳の世代では、「賑わいのあるまち」「多様なまち」が5割を超えている（それぞれ56.2%、52.3%）。「安全・安心なまち」は、回答者全体と比較してやや低い。

■現在の豊島区のイメージ<若年女性>

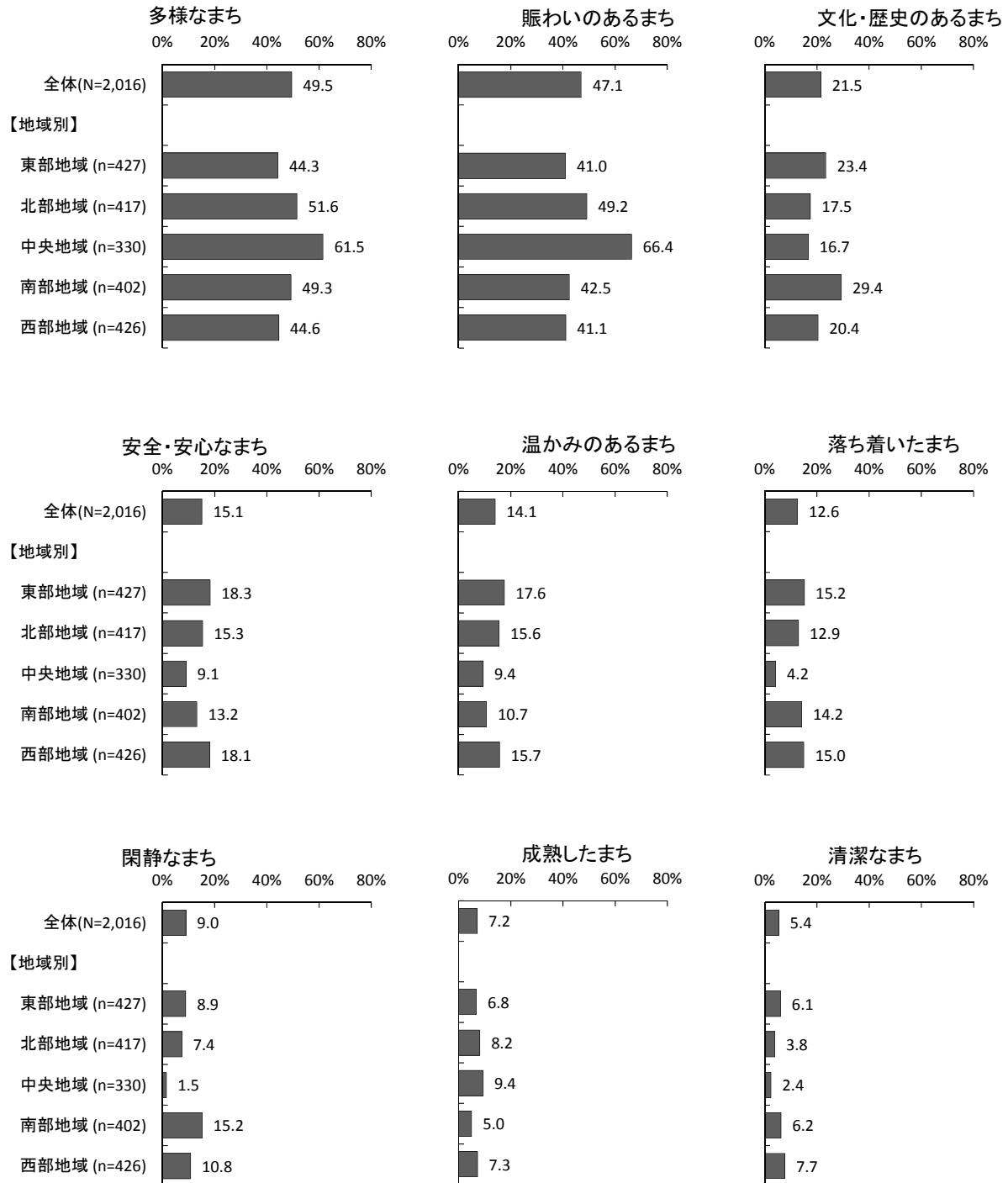


【地域別比較】

「多様なまち」「賑わいのあるまち」を地域別でみると、中央地域で最も高く、それぞれ61.5%、66.4%となっている。

「文化・歴史のあるまち」は、南部地域で最も高く、約3割となっている。

■現在の豊島区のイメージ<地域別>

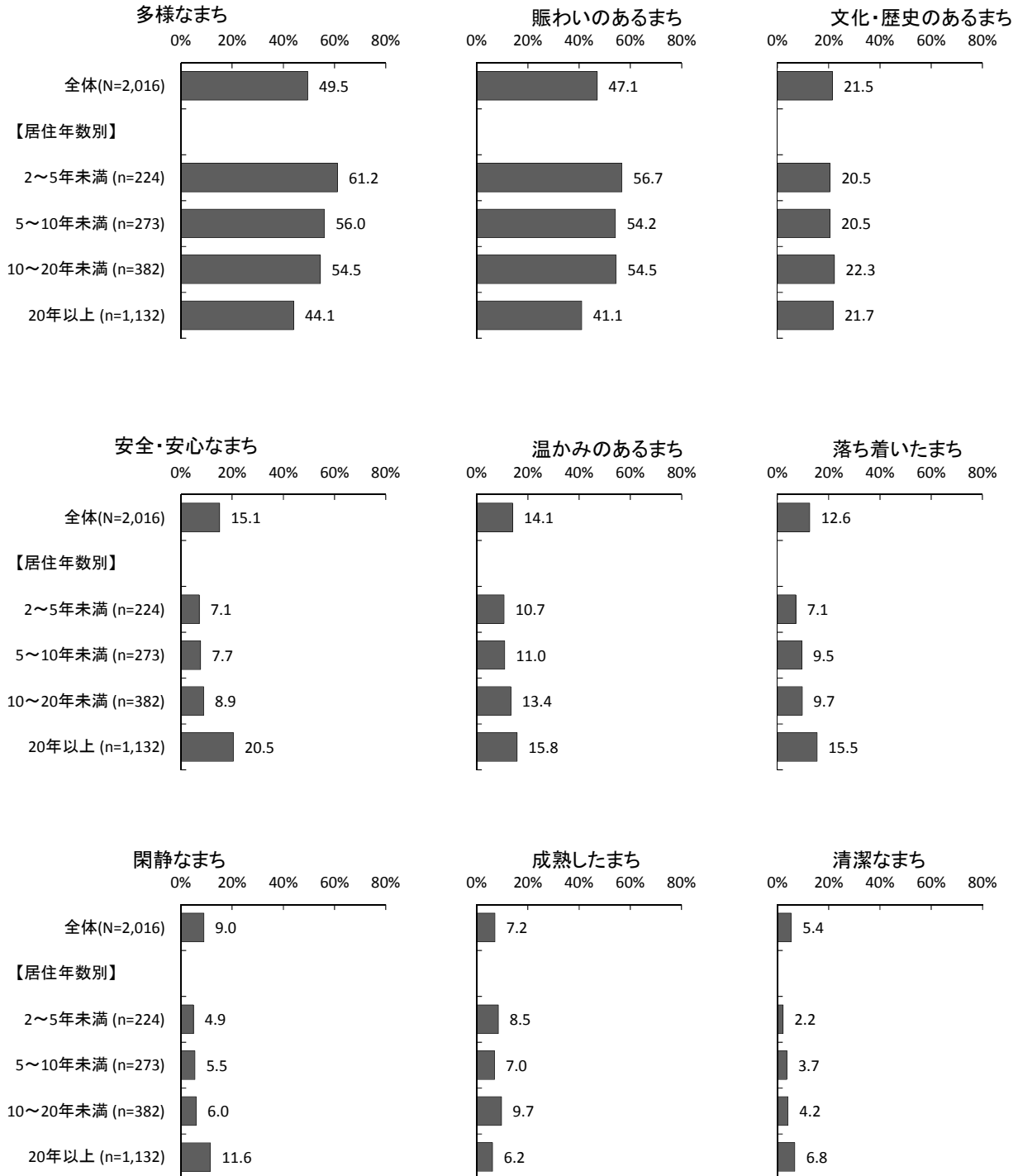


【居住年数別比較】

「多様なまち」をみると、居住年数2～5年未満は6割を超えている。

「安全・安心なまち」をみると、居住年数20年以上では約2割となっているものの、居住年数が2～5年未満、5～10年未満、10～20年未満では1割を下回っている。

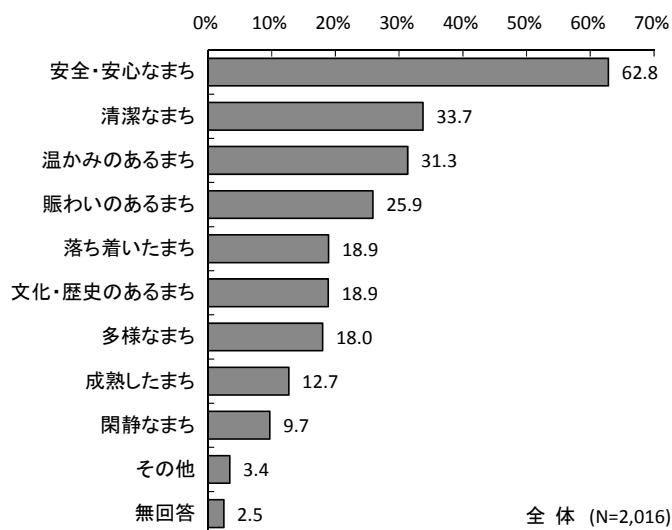
■現在の豊島区のイメージ<居住年数別>



(2) 望ましい将来の豊島区のイメージ：問 13

将来（おおよそ 10 年後）の豊島区はどのようなイメージのまちになってほしいかを聞いたところ、「安全・安心なまち」が 6 割強と最も高くなっている。次いで、「清潔なまち」が 33.7%、「温かみのあるまち」が 31.3%で続いている。

■将来の豊島区のイメージ（3つまで）

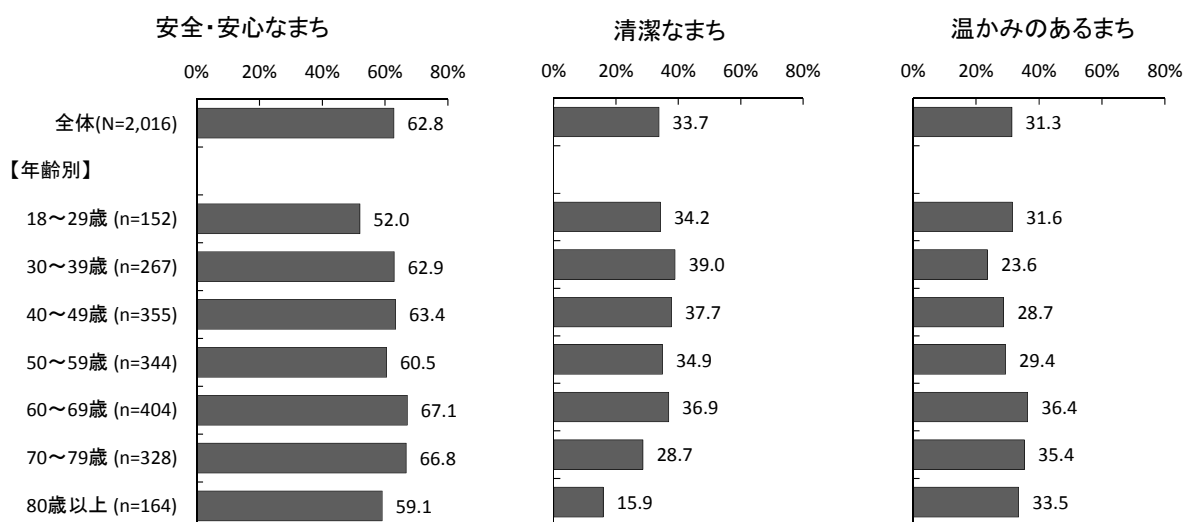


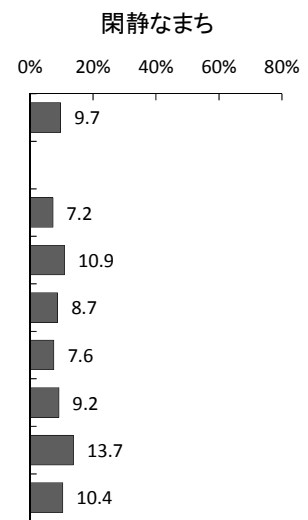
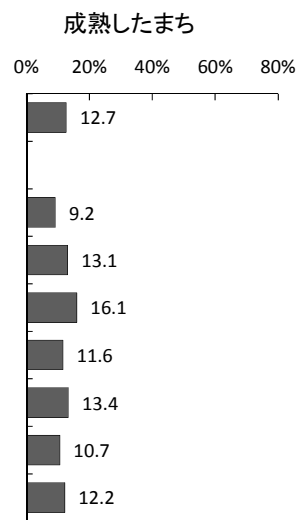
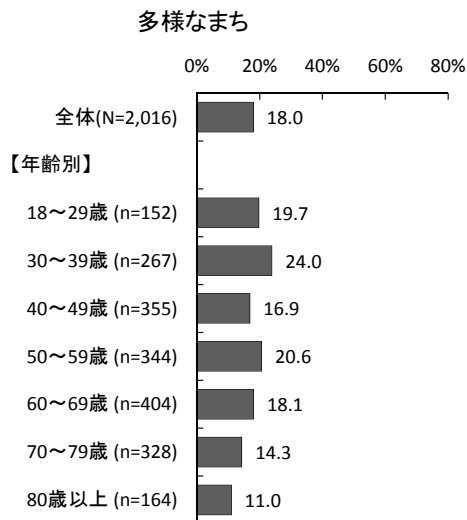
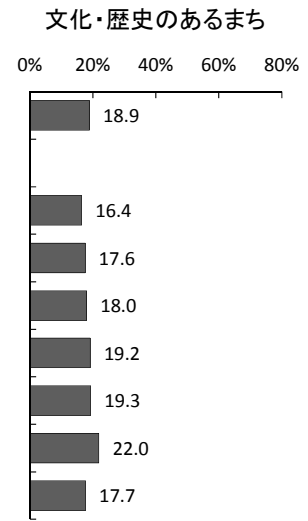
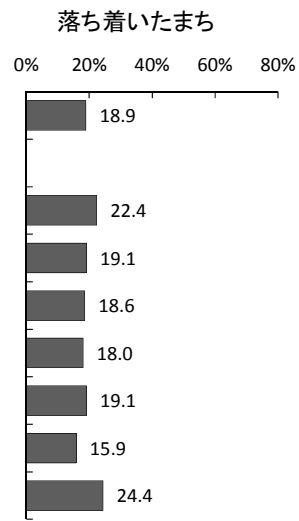
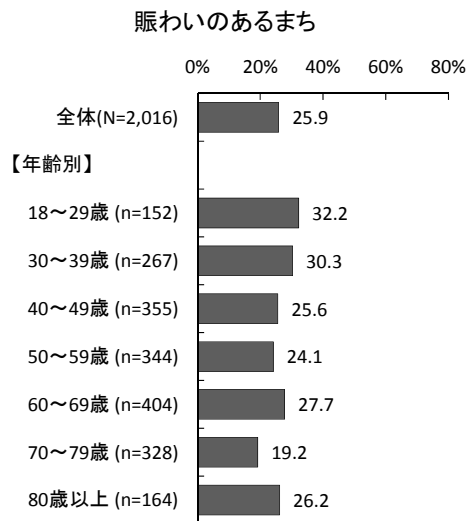
【年齢別比較】

全ての年齢で「安全・安心なまち」が最も高く、半数以上が望ましい将来イメージとして回答している。次いで、70～79歳、80歳以上では、「温かみのあるまち」（それぞれ 35.4%、33.5%）が続いている。

「安全・安心なまち」を年齢別にみると、18～29歳で 52.0%と回答者全体と比較してやや低くなっている。

■将来の豊島区のイメージ＜年齢別＞

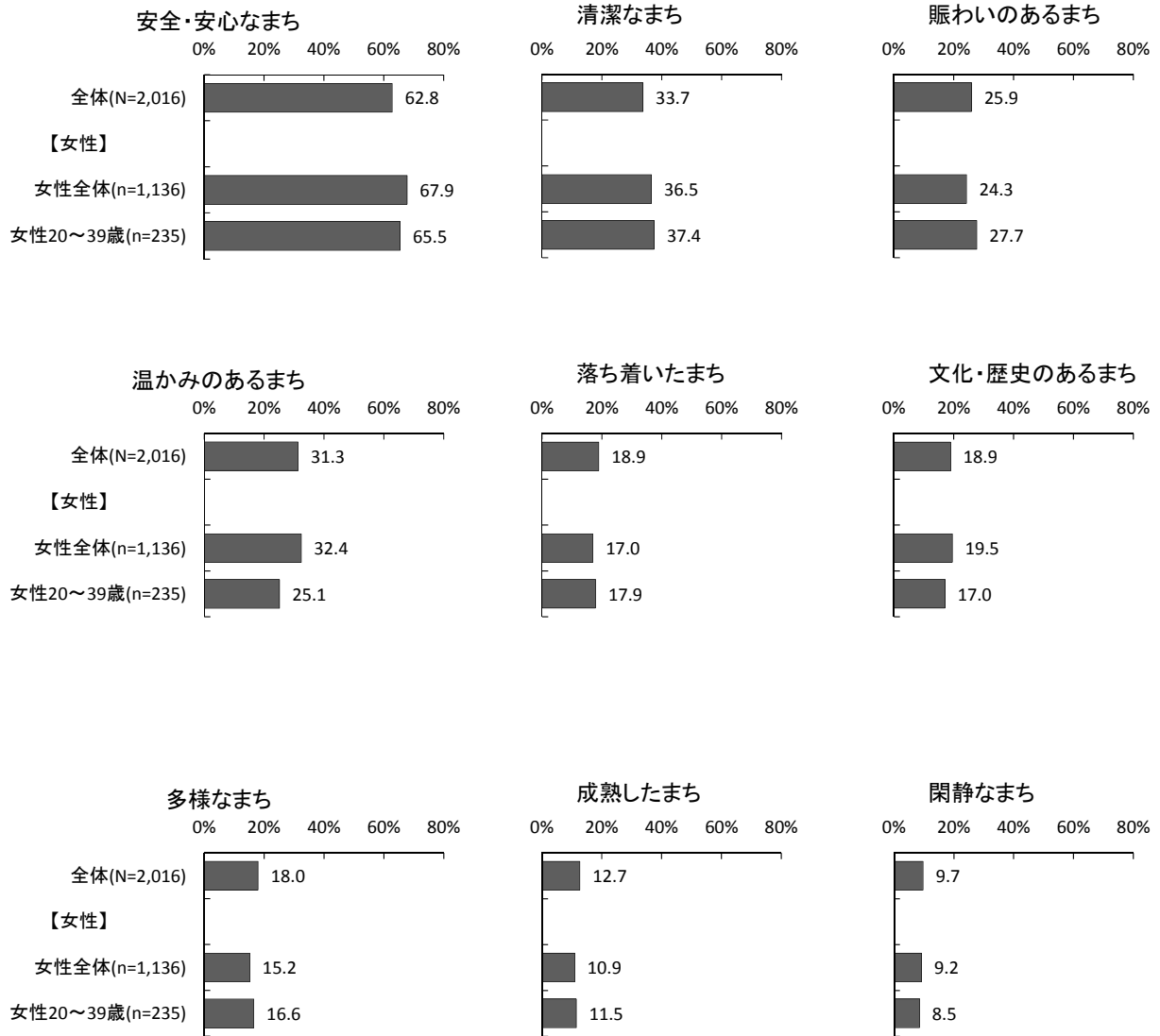




【若年女性】

女性のうち、20～39歳の世代でも、「安全・安心なまち」が最も高くなっている。

■将来の豊島区のイメージ<若年女性>



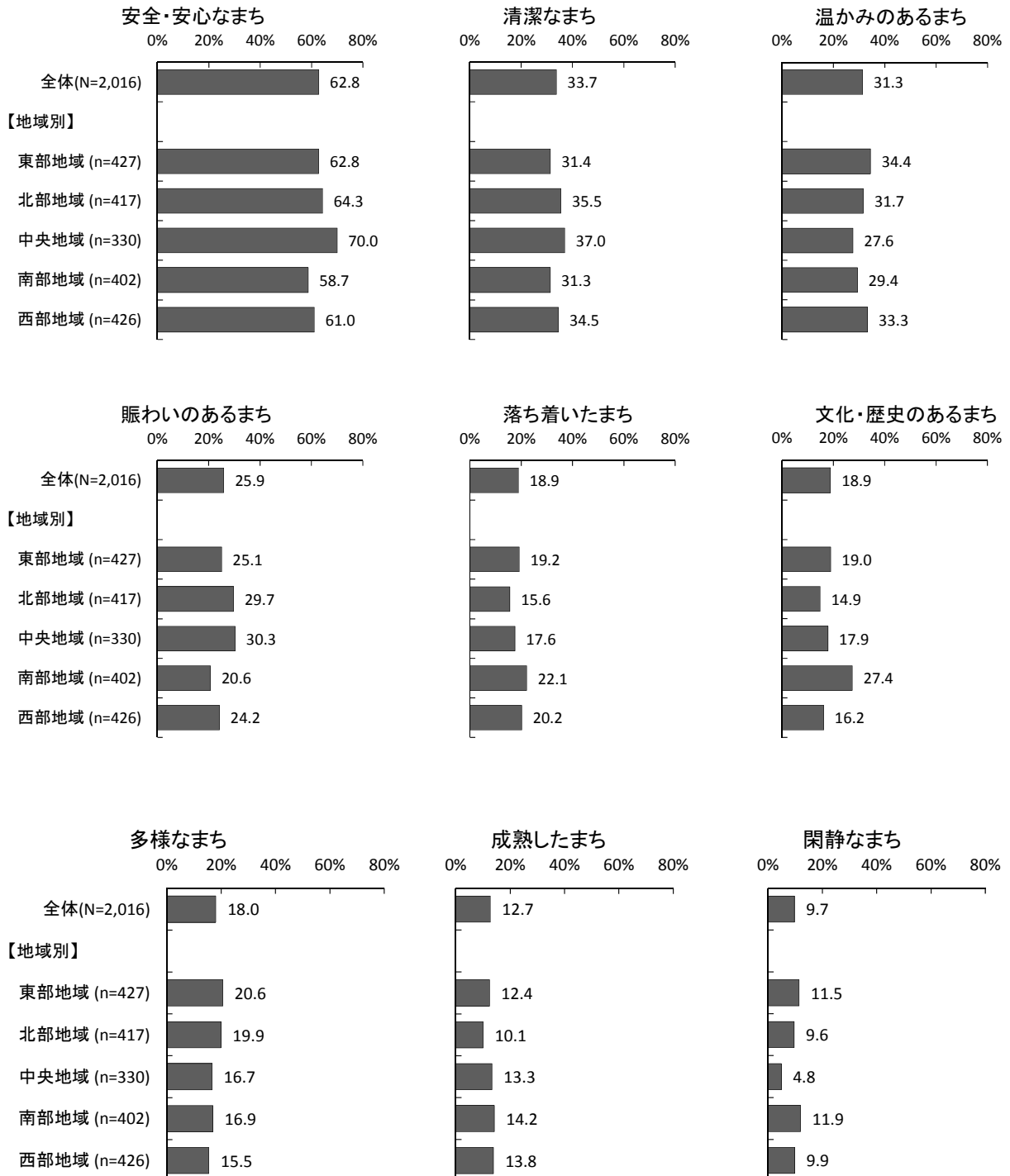
【地域別比較】

全ての地域で、「安全・安心なまち」が最も高くなっている。

「安全・安心なまち」を地域別にみると、中央地域が最も高く、7割となっている。

「文化・歴史のあるまち」は、南部地域が最も高く、27.4%となっている。

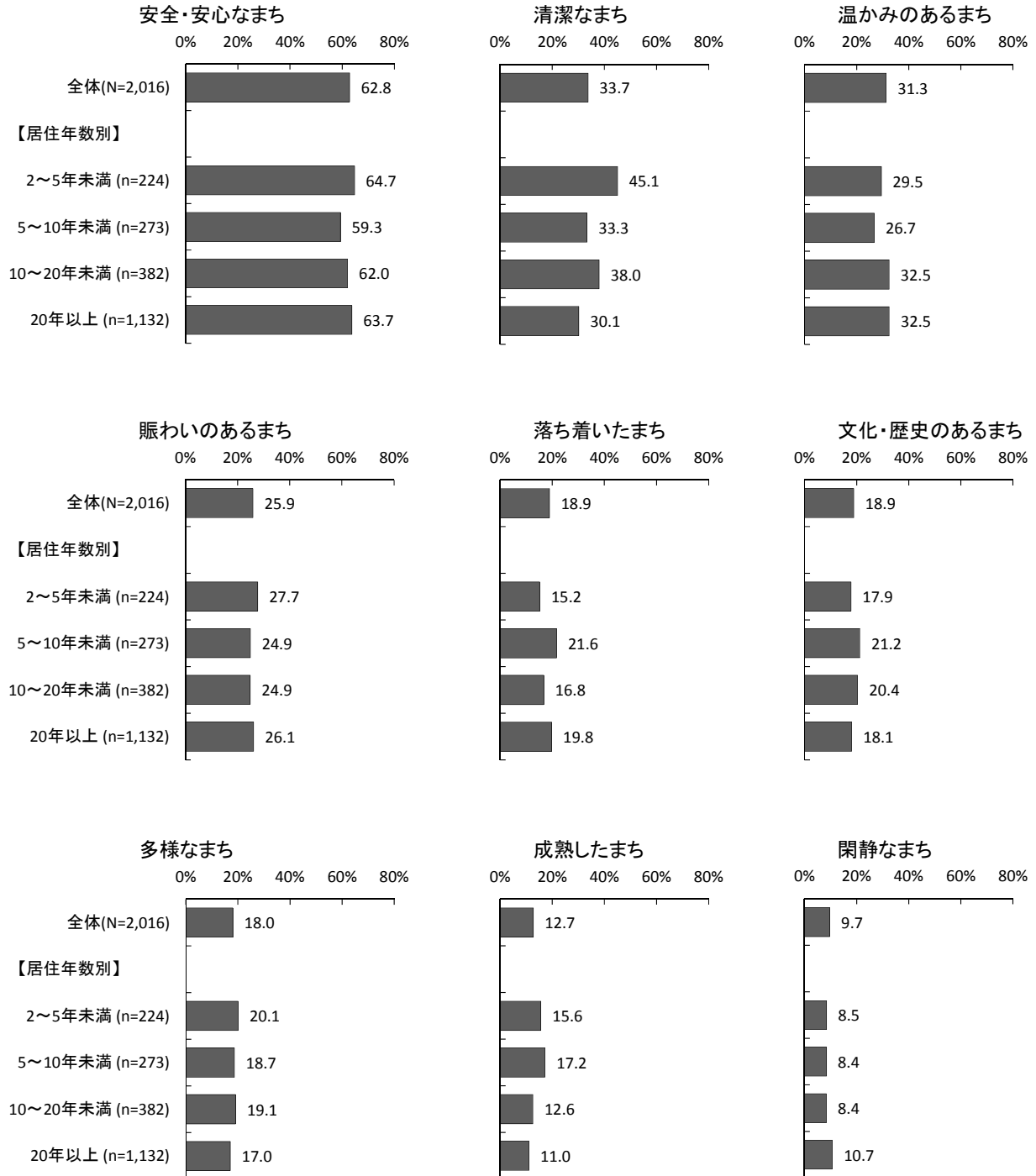
■将来の豊島区のイメージ<地域別>



【居住年数別比較】

全ての居住年数で、「安全・安心なまち」が最も高くなっている。
 「清潔なまち」をみると、居住年数2～5年では4割台半ばと高い。

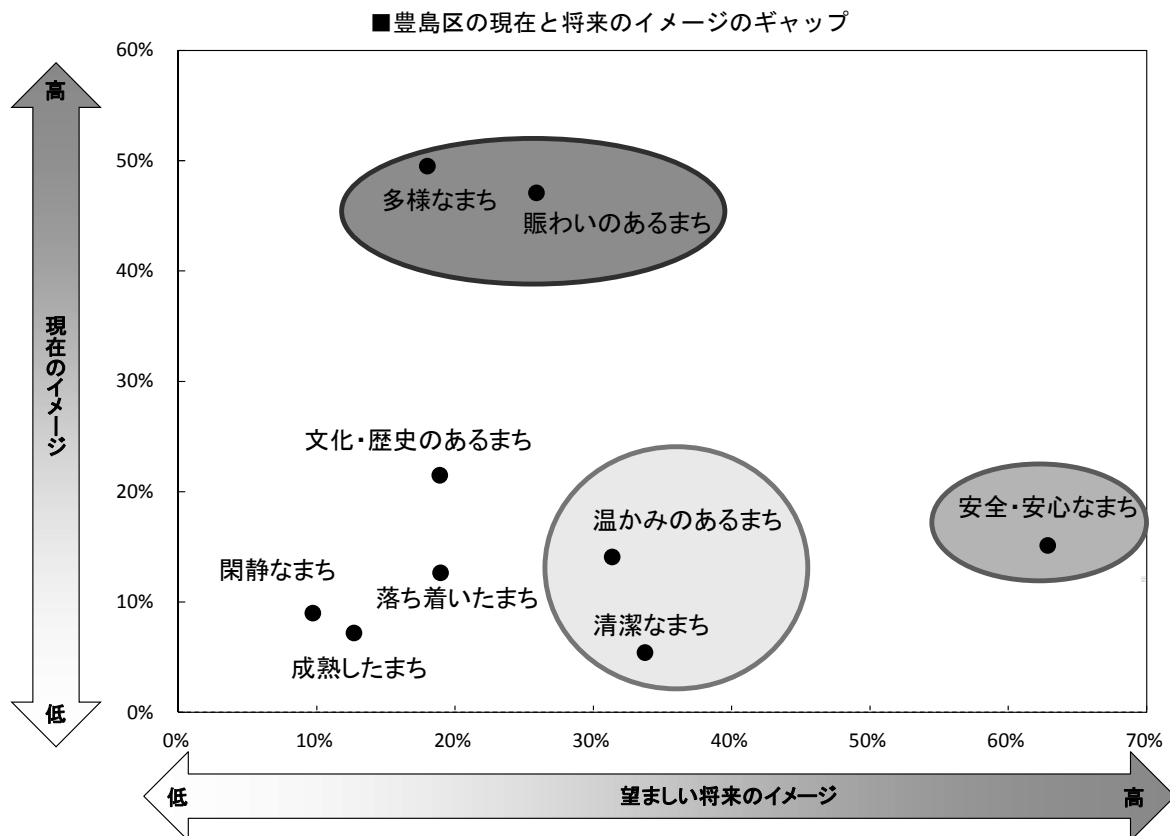
■将来の豊島区のイメージ<居住年数別>



(3) 現在と将来のイメージのギャップ

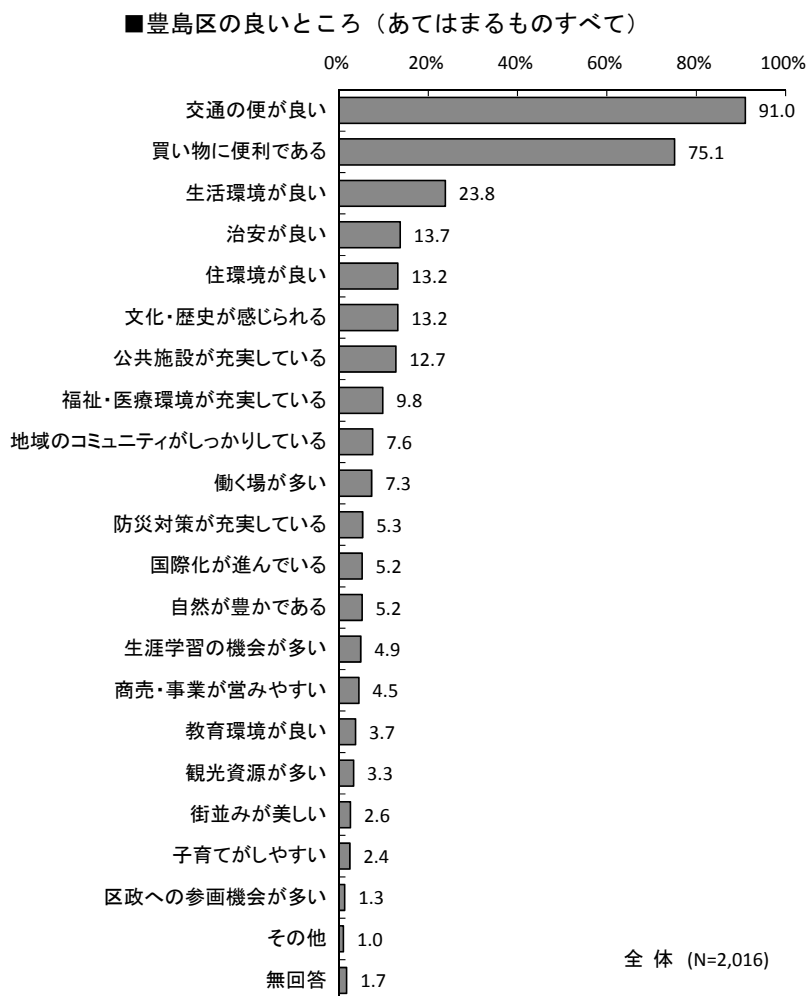
現在のイメージと望ましい将来のイメージとのギャップをみると、「安全・安心なまち」は望ましい将来イメージとして最も高かったが、現在のイメージでは低く、乖離が大きくなっている。「清潔なまち」「温かみのあるまち」についても、望ましい将来のイメージが現在のイメージよりも高くなっている。

その一方で「多様なまち」「賑わいのあるまち」をみると、現在のイメージは高いが、望ましい将来のイメージとしては低くなっている。



4. 豊島区の良いところ：問 14

現在の豊島区の良いところをみると、「交通の便が良い」が約9割、「買い物に便利である」が7割台半ばとなっている。



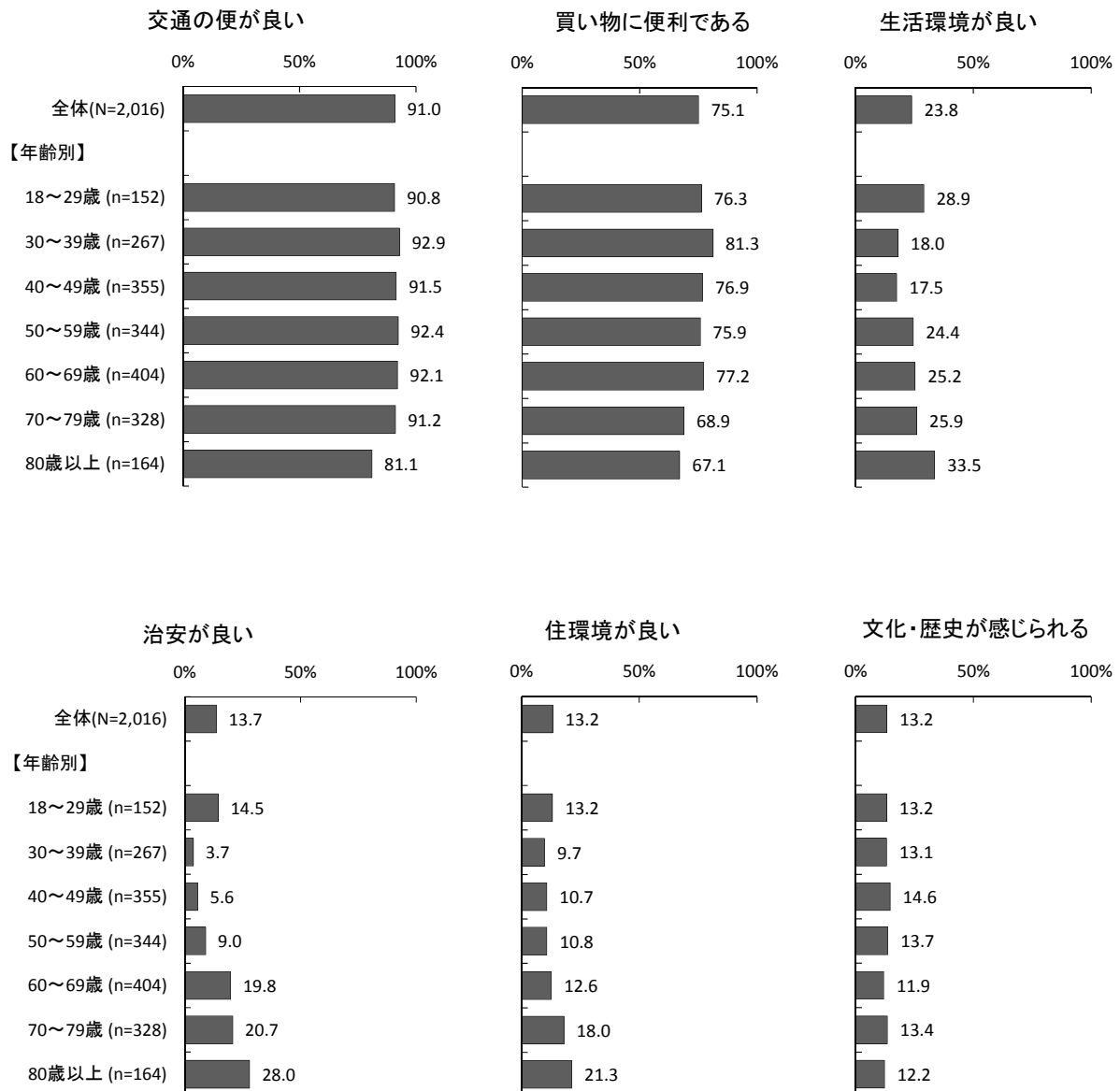
【年齢別比較】

全ての年齢で、「交通の便が良い」が最も高く、次いで「買い物に便利である」が続いている。

「生活環境が良い」を年齢別にみると、30～39歳、40～49歳では2割に満たない。

「治安が良い」は80歳以上で約3割と高く、「住環境が良い」は、70～79歳、80歳以上で約2割となっている。

■豊島区の良いところ<年齢別：上位6項目>



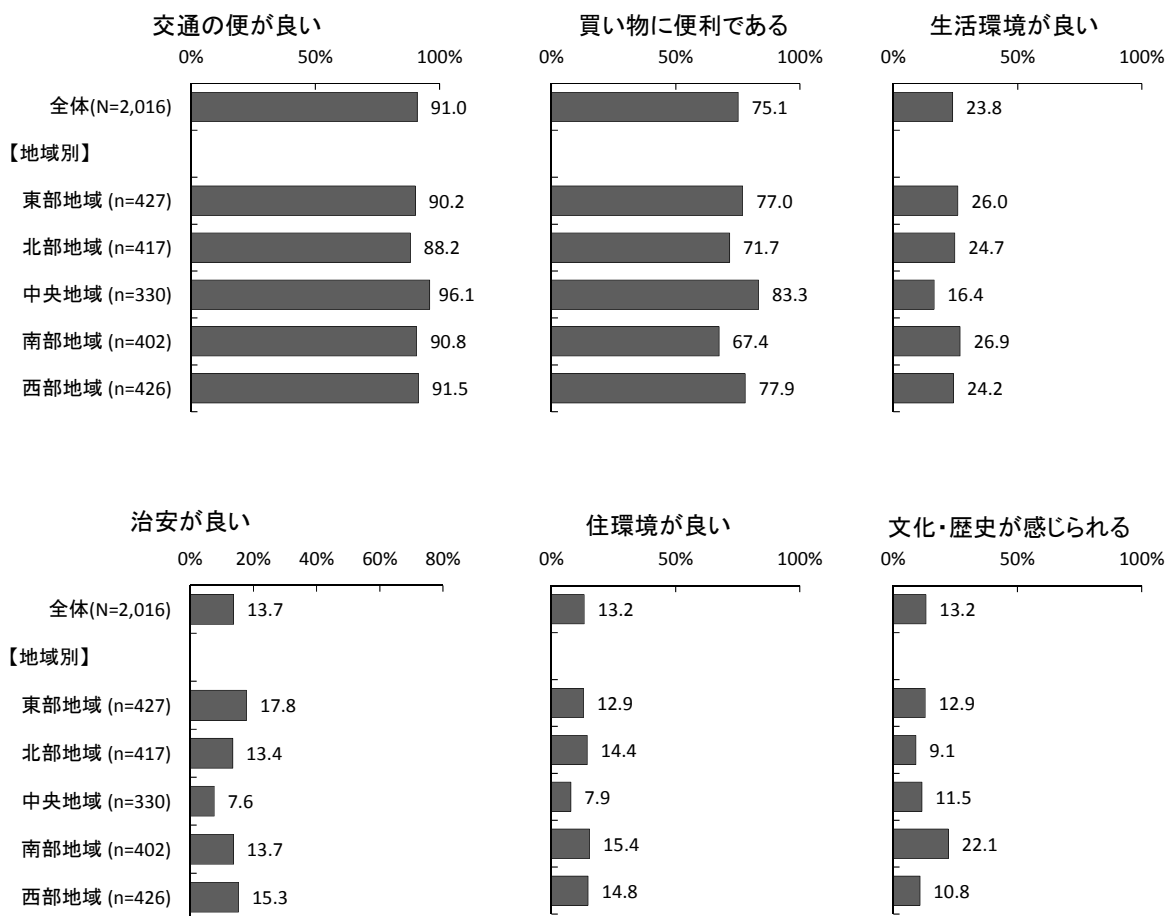
【地域別比較】

全ての地域で、「交通の便が良い」が最も高く、次いで「買い物に便利である」が続いている。

「交通の便が良い」「買い物に便利である」を地域別にみると、中央地域が最も高く、それぞれ96.1%、83.3%となっている。一方で、「生活環境が良い」「治安が良い」「住環境が良い」は中央地域が最も低く、それぞれ16.4%、7.6%、7.9%となっている。

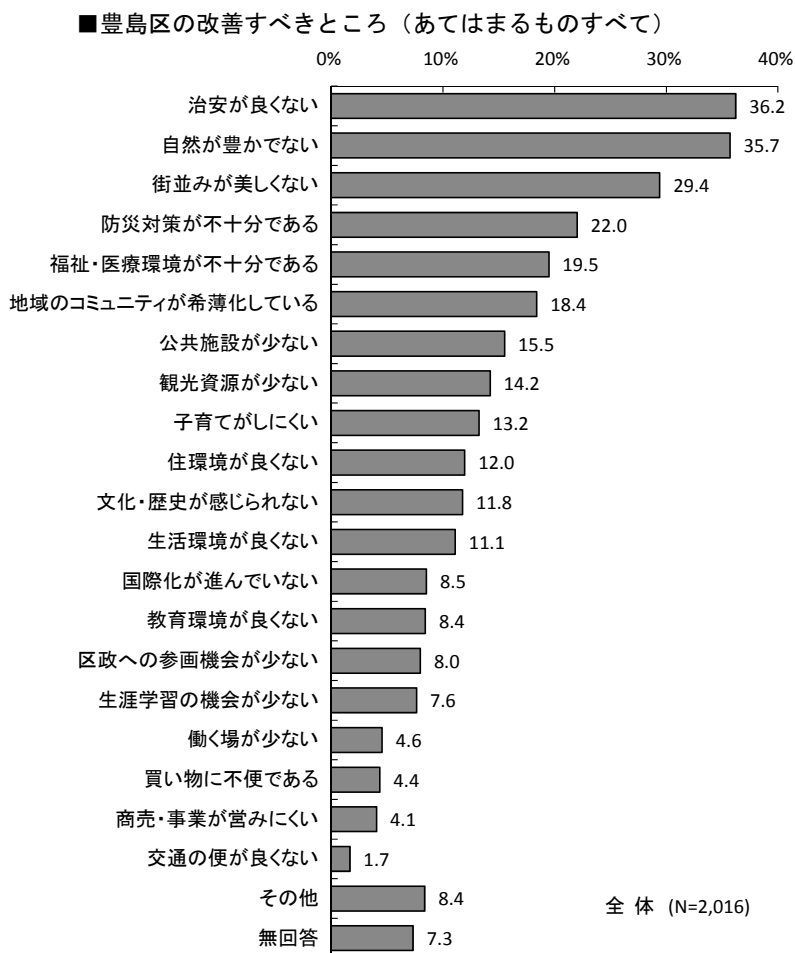
「文化・歴史が感じられる」は、南部地域が最も高く、2割を超えている。

■豊島区の良いところ<地域別：上位6項目>



5. 豊島区の改善すべきところ：問 15

現在の豊島区の改善すべきところを聞いたところ、「治安が良くない」(36.2%)、「自然が豊かでない」(35.7%)が3割台半ばで高くなっている。次いで、「街並みが美しくない」(29.4%)、「防災対策が不十分である」(22.0%)、「福祉・医療環境が不十分である」(19.5%)、「地域のコミュニティが希薄化している」(18.4%)の順で続いている。



【年齢別比較】

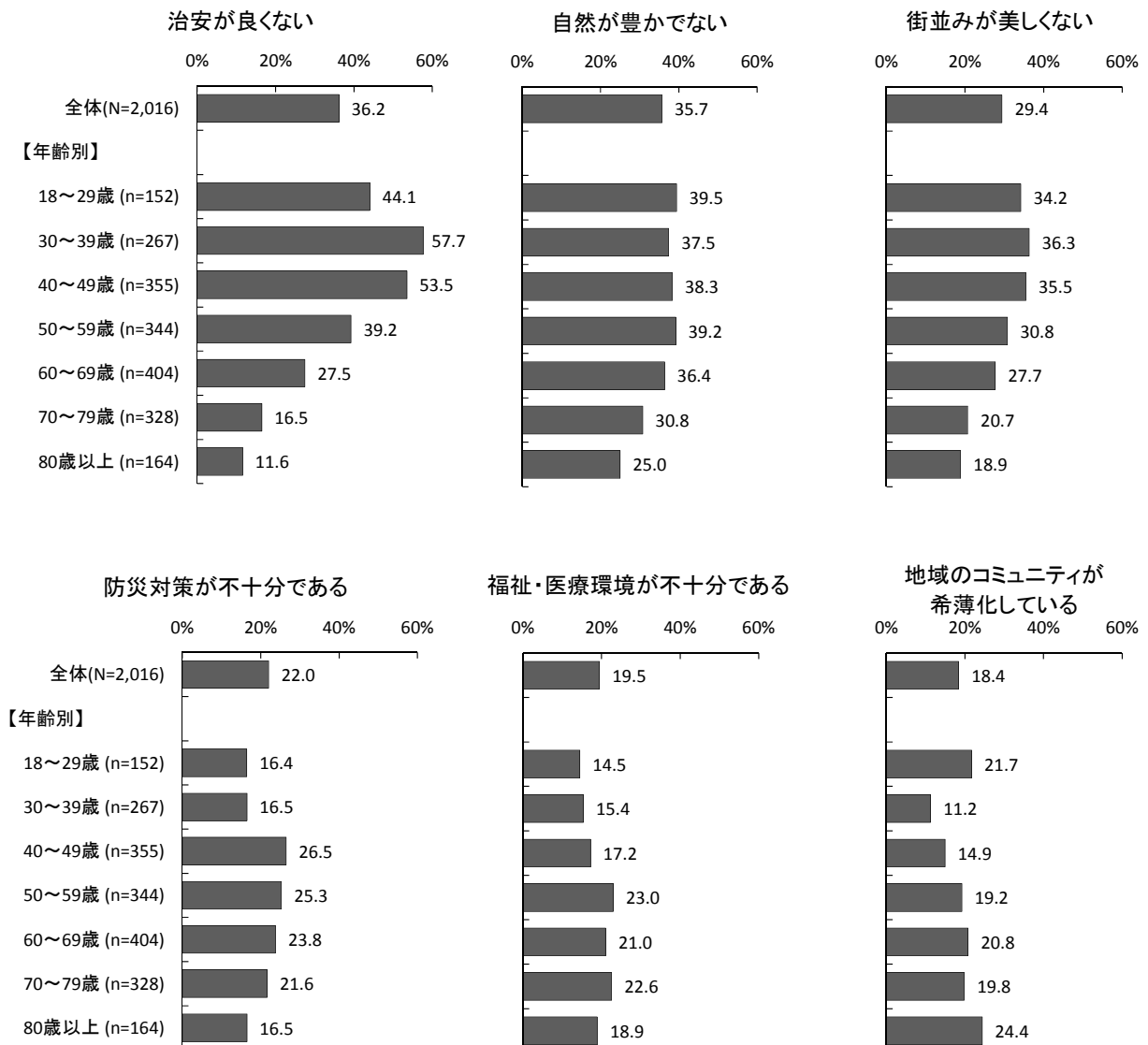
50代以上では、「自然が豊かでない」が最も高くなっている（50～59歳では「治安が良くない」が同率）。

「治安が良くない」を年齢別にみると、30～39歳で57.7%と最も高く、40～49歳も53.5%で続いている。その一方で、70～79歳は16.5%、80歳以上は11.6%と全体と比べて低くなっている。

「街並みが美しくない」は、40代以下で3割台半ばとなっており、50代以上では年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

「地域のコミュニティが希薄化している」は、80歳以上で最も高く、24.4%となっている。

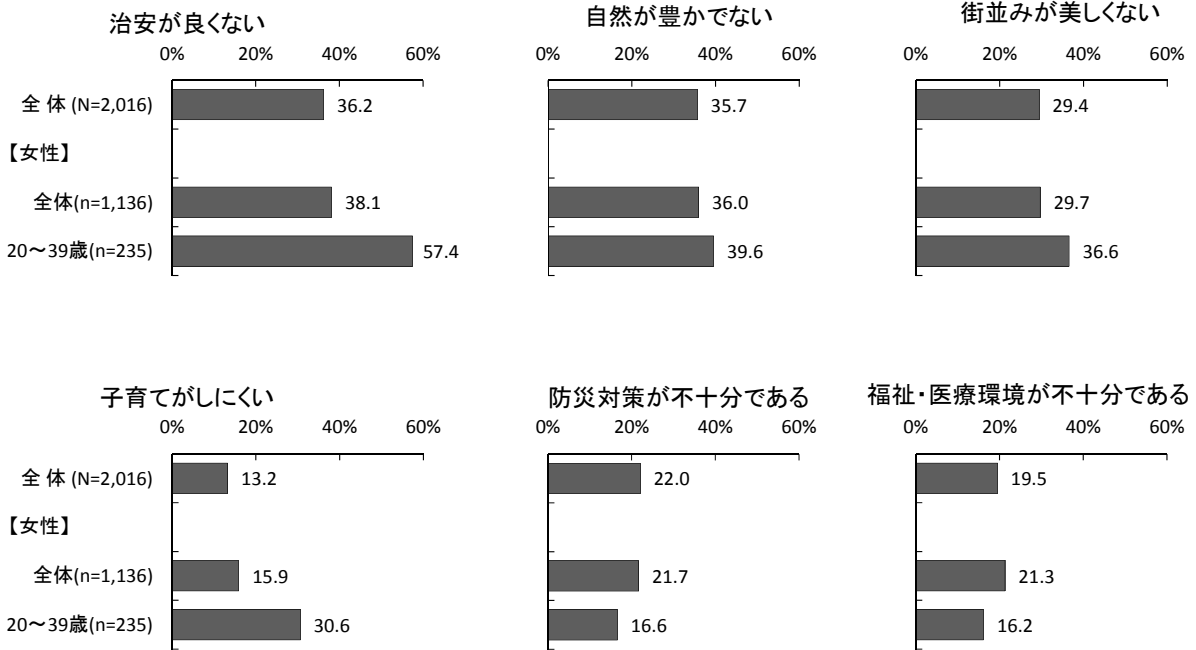
■豊島区の改善すべきところ<年齢別：上位6項目>



【若年女性】

女性のうち、20～39歳の世代では、回答者全体の順位とは異なり、「子育てがしにくい」が30.6%で4番目に挙げられている。また、「治安が良くない」が57.4%と、回答者全体及び女性全体と比較しても高い。

■豊島区の改善すべきところ<若年女性：上位6項目>



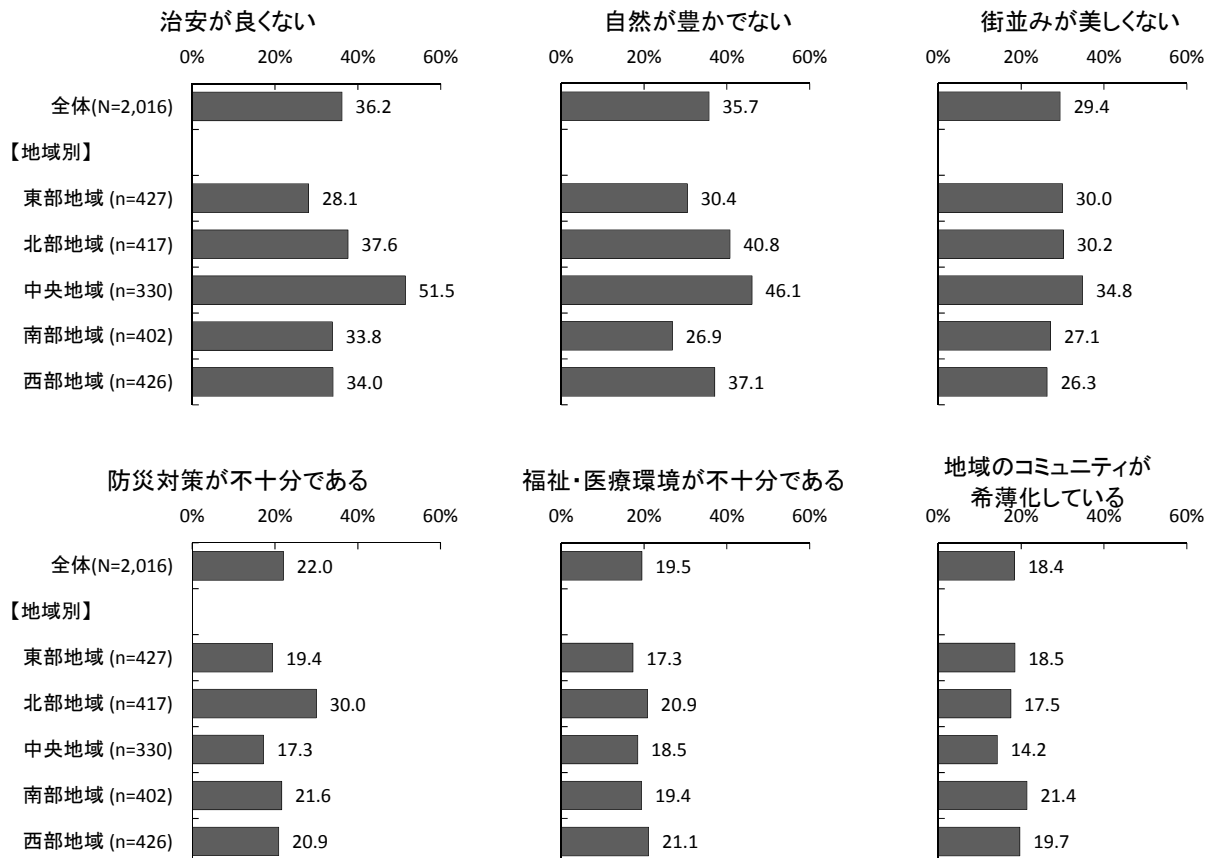
【地域別比較】

東部地域、北部地域、西部地域では、「自然が豊かでない」が最も高くなっている（それぞれ30.4%、40.8%、37.1%）。

「治安が良くない」「自然が豊かでない」を地域別にみると、中央地域が最も高く、それぞれ51.5%、46.1%となっている。

「防災対策が不十分である」は、北部地域が最も高く、30.0%となっている。

■豊島区の改善すべきところ<地域別：上位6項目>

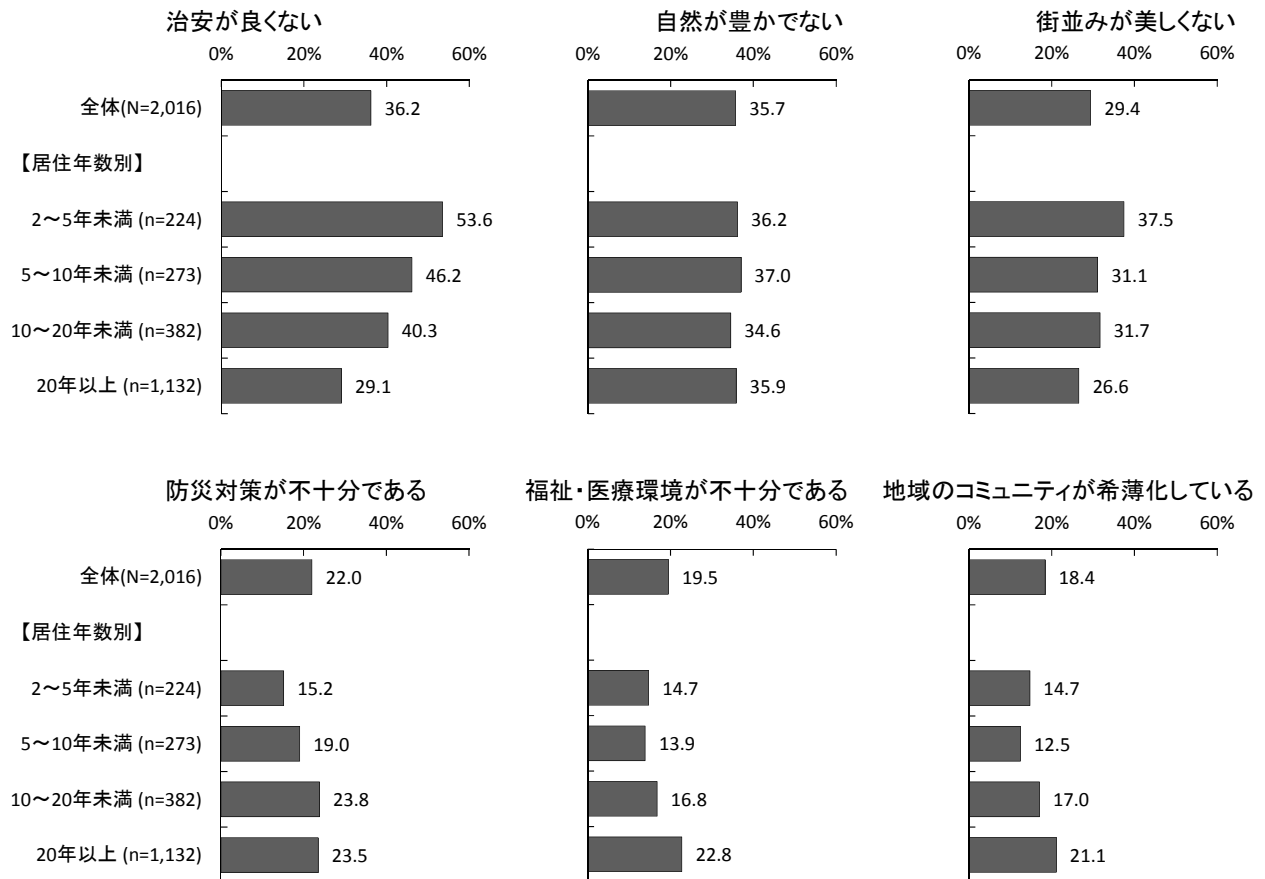


【居住年数別比較】

居住年数 20 年以上では、「自然が豊かでない」が最も高くなっている。

「治安が良くない」をみると、居住年数 2～5 年未満が 5 割台半ばと最も高く、居住年数が長くなるほど低くなる傾向がみられる。

■豊島区の改善すべきところ<居住年数別：上位 6 項目>



第2章 地域の生活環境について

〈設問設定の考え方〉

「豊島区基本計画」（平成 18 年 3 月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく 10 グループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で 72 項目あり、10 グループごとに各項目について、「現在の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

なお、区では「協働のまちづくりに関する区民意識調査」を 3 年に 1 回の頻度で実施し、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握している。第 2 章で取り扱う地域の生活環境については、「協働のまちづくりに関する区民意識調査」と同様の設問内容とし、現在の評価について経年比較を行った。

〈調査にあたり設定した 10 グループ〉

①福祉	⑥環境
②健康	⑦都市再生
③子育て	⑧安全・安心
④教育	⑨観光・産業
⑤コミュニティ・協働	⑩文化

〈各項目についての調査内容〉

①目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

※“どちらかというと思う”“どちらともいえない”“どちらかというと思わない”の 3 つから実感に近いものを選択。

※“どちらかというと思う”から“どちらかというと思わない”の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

※無回答は除いて集計した。

②目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

※各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を 2 つ又は 3 つまで選択。

※無回答を含めて集計した。

<10のグループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧>

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿
①福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる
	5	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	7	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている
	8	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる
②健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
	10	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある
	11	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している
	12	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	13	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
③子育て	14	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている
	15	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	16	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる
	17	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある
	18	家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる
	19	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている
④教育	20	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている
	21	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている
	22	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている
	23	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	24	学校の周辺及び通学路が安全である
	25	家庭での教育に対する支援が充実している
	26	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている
⑤コミュニティ・協働	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている
	28	さまざまな地域活動団体や NPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	29	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	30	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	31	地域の課題に対する関心が高まっている
	32	地域で外国人との交流がある
	33	地域社会において平和と人権が尊重されている
	34	男女が共同で社会に参画できる

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿
⑥ 環境	35	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある
	36	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	37	騒音、大気汚染などに悩まされることがない
	38	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	42	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑦ 都市再生	43	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	44	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる
	47	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	48	地域に住みつけるための住宅制度が充実している
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	身近な生活道路が快適に通行できる
	51	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている
	52	鉄道・バス等の交通が便利である
⑧ 安全・安心	53	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	54	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています
	55	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	56	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	57	治安がよく、安心して暮らせる
	58	交通事故が少ない
⑨ 観光・産業	59	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている
	60	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
	61	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	62	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	63	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	64	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
⑩ 文化	65	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている
	66	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	68	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い
	69	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある
	71	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている
	72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」：問 16

※満足度の指標

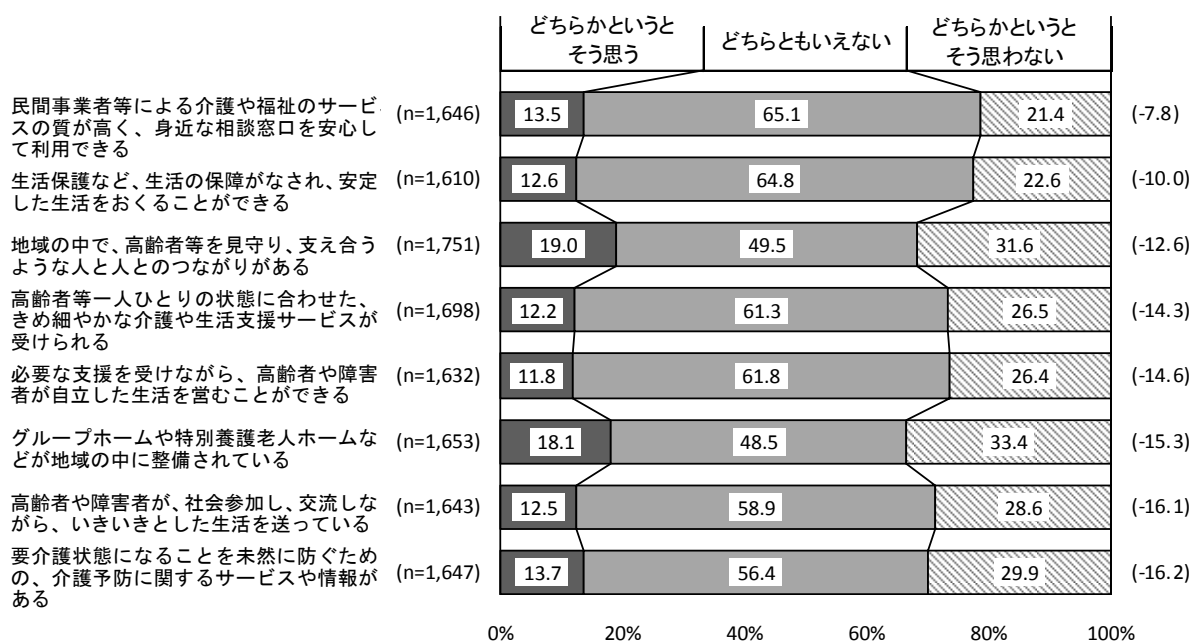
「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値。
 高い数値は満足度が高く、低い数値は満足度が低いことを表わす。
 なお、グラフは満足度の高い項目順に並べ替えている。

(1) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の8項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の指標（※）は全ての項目でマイナスとなった。

特に満足度が低い項目は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」「高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 福祉 -

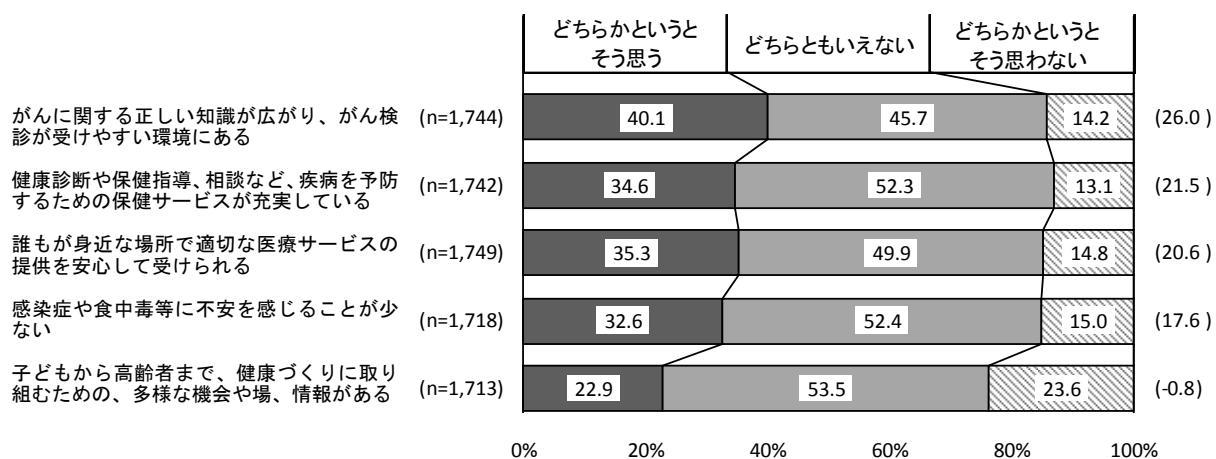


(2) 健康

健康に関する生活環境について、下記の5項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度が高い項目は、「がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある」「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 健康 -

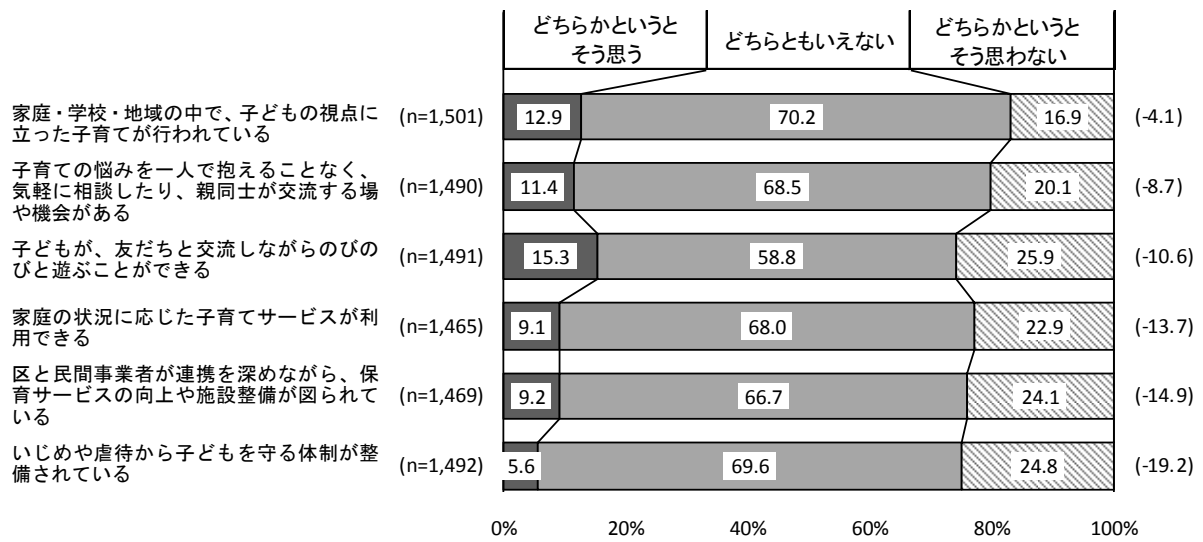


(3) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の6項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の指標は全ての項目でマイナスとなった。

特に満足度が低い項目は、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」「家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 子育て -

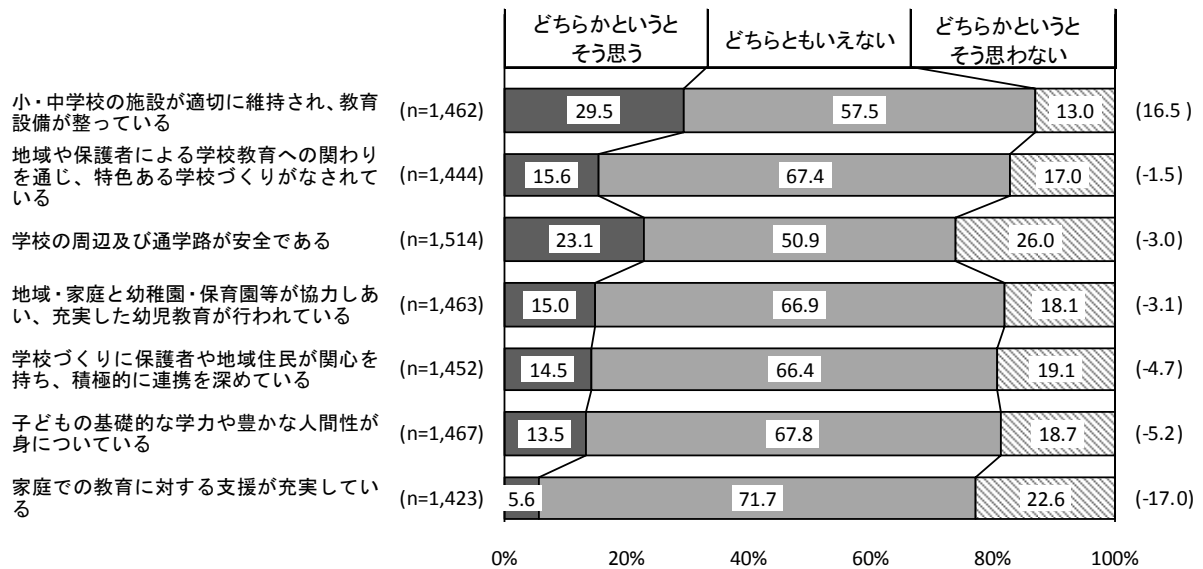


(4) 教育

教育に関する生活環境について、下記の7項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「家庭での教育に対する支援が充実している」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 教育 -

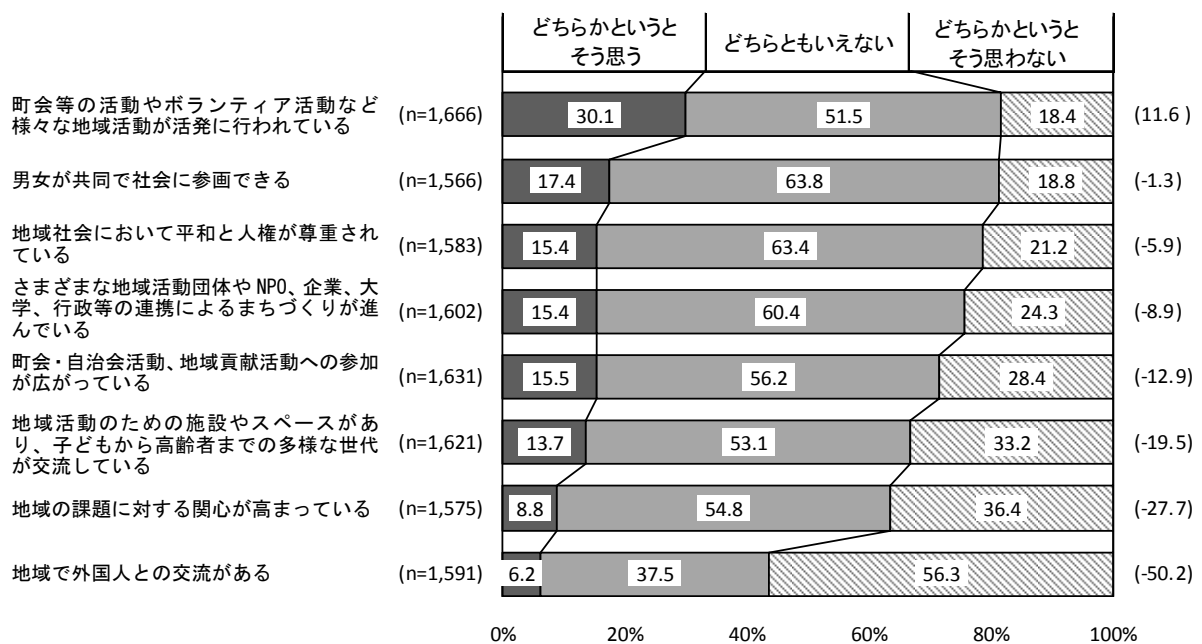


(5) コミュニティ・協働

コミュニティ・協働に関する生活環境について、下記の8項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「地域で外国人との交流がある」「地域の課題に対する関心が高まっている」「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - コミュニティ・協働 -

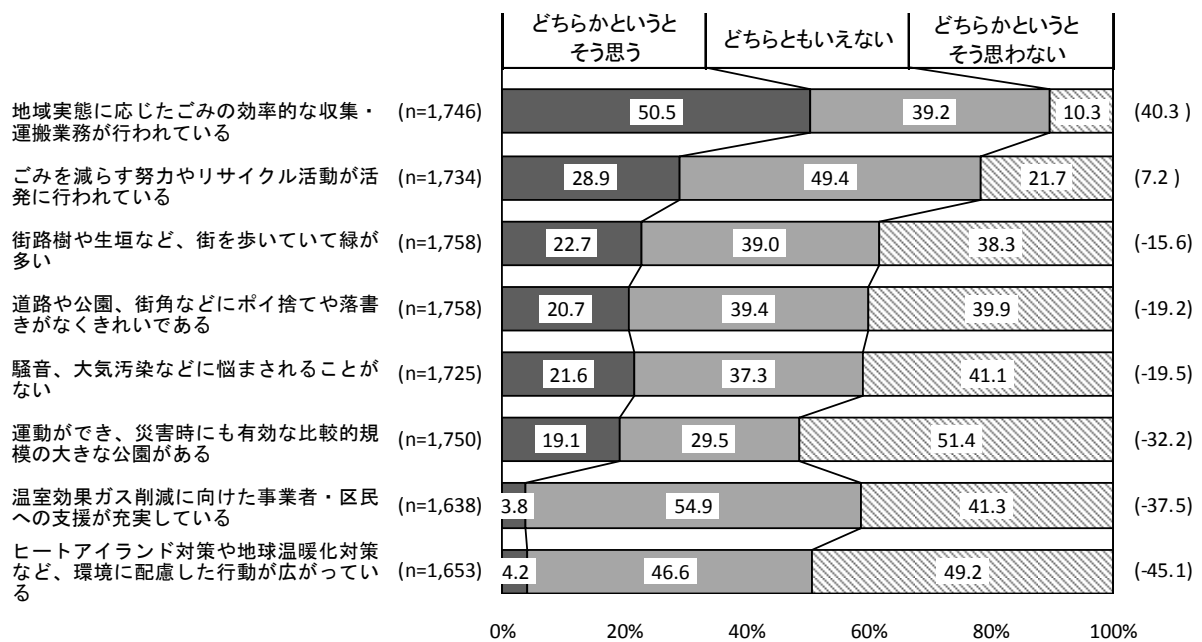


(6) 環境

環境に関する生活環境について、下記の8項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」「温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している」「運動ができ、災害時にも有効な比較的大きな公園がある」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 環境 -

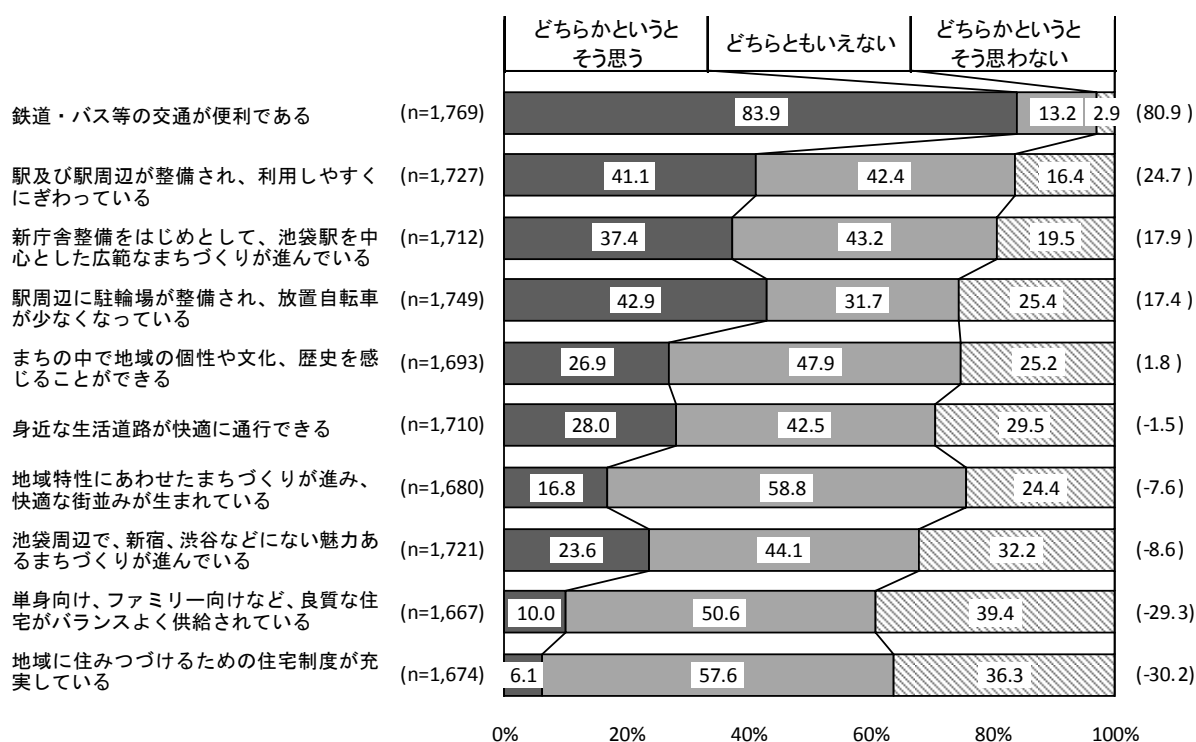


(7) 都市再生

都市再生に関する生活環境について、下記の10項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は「鉄道・バス等の交通が便利である」となっており、「どちらかというと思う」が8割を超えている。ほかに、「駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」「新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる」「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」の満足度が高くなっている。

一方で、満足度が低い項目は、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」「単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 都市再生 -

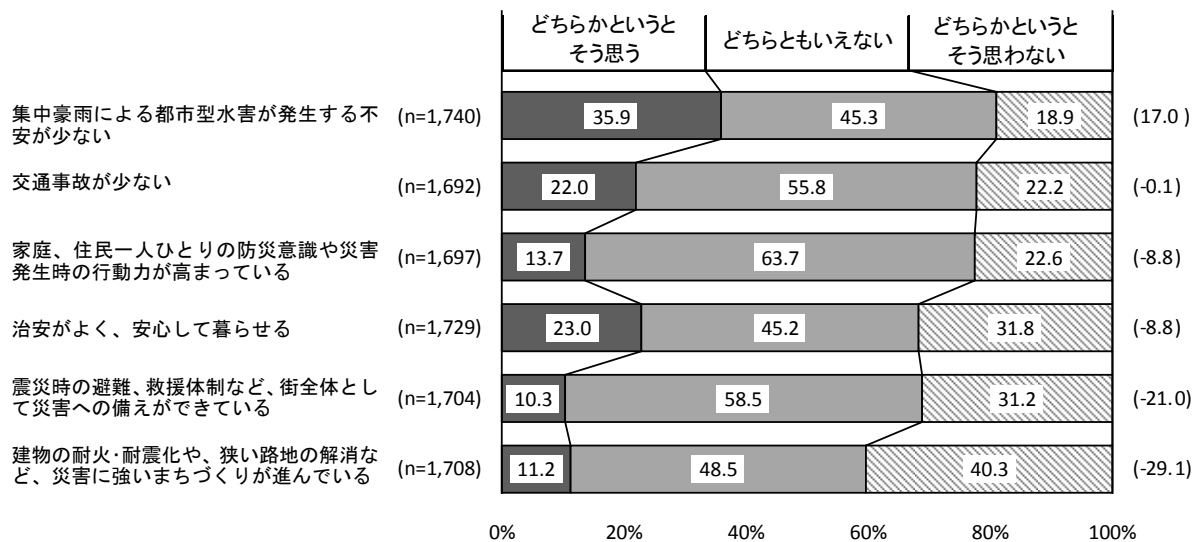


(8) 安全・安心

安全・安心に関する生活環境について、下記の6項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができていない」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 安全・安心 -

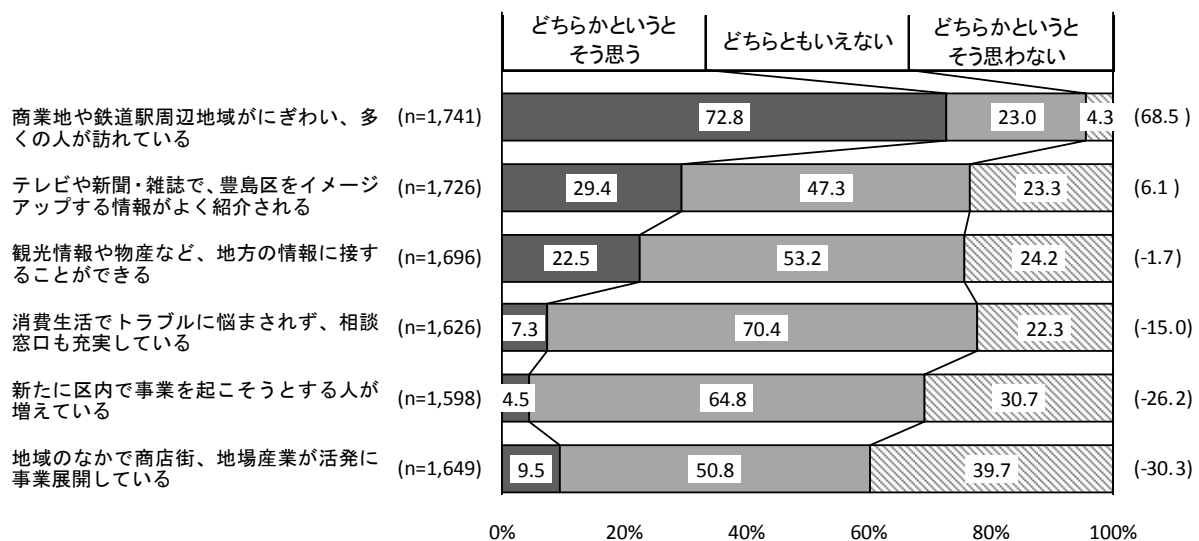


(9) 観光・産業

観光・産業に関する生活環境について、下記の6項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている」となっており、「どちらかというと思う」が7割を超えている。

一方で、満足度が低い項目は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 観光・産業 -

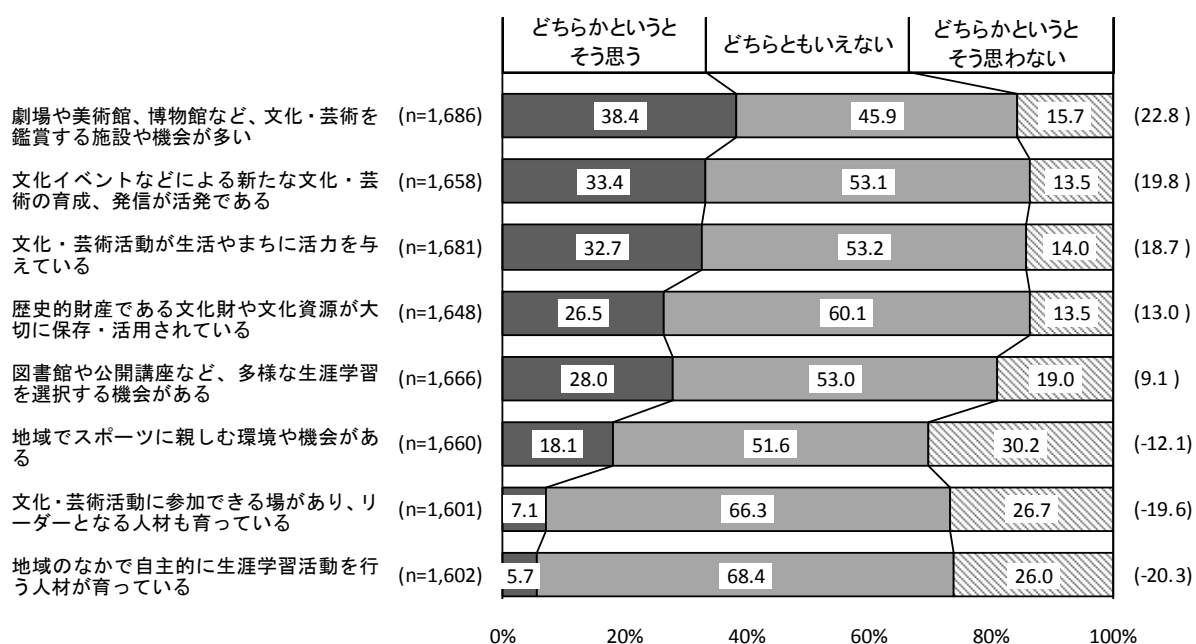


(10) 文化

文化に関する生活環境について、下記の8項目を設定して、現在の評価を聞いたところ、満足度の高い項目は、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」「文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である」「文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている」となっている。

一方で、満足度が低い項目は、「地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」「文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている」となっている。

■ 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 文化 -



(11) グループ全体を通してみた「現在の評価」

①「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い項目は以下のとおりである。

■目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 高い項目 -

順位	グループ	評価対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度	25年度調査の満足度	比較
第1位	⑦都市再生	鉄道・バス等の交通が便利である	80.9	70.8	↗
第2位	⑨観光・産業	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	68.5	53.4	↗
第3位	⑥環境	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	40.3	45.7	↘
第4位	②健康	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	26.0	32.5	↘
第5位	⑦都市再生	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	24.7	21.0	↗
第6位	⑩文化	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	22.8	20.7	↗
第7位	②健康	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	21.5	25.6	↘
第8位	②健康	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	20.6	21.9	↘
第9位	⑩文化	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	19.8	16.9	↗
第10位	⑩文化	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	18.7	14.3	↗

②「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い項目は以下のとおりである。

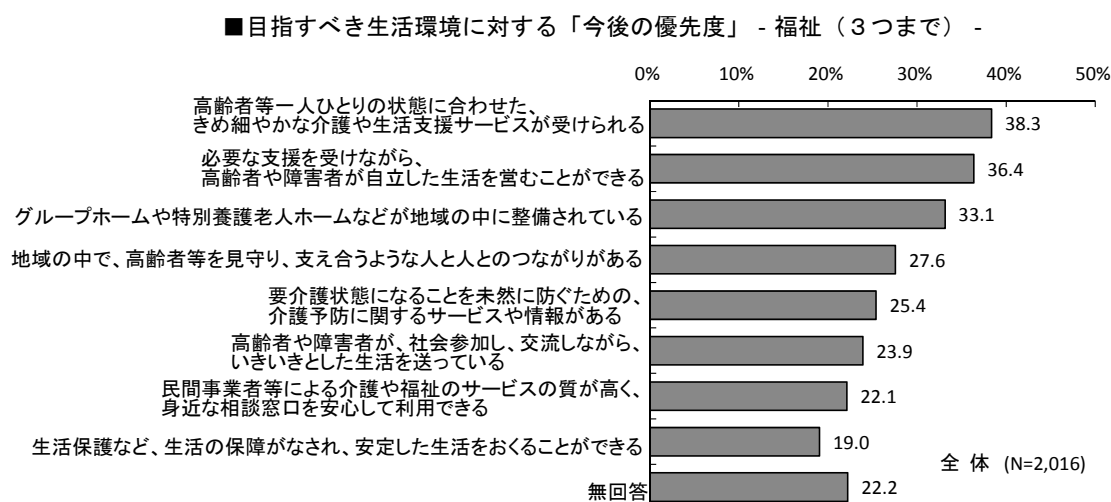
■目指すべき生活環境に対する「現在の評価」 - 低い項目 -

順位	グループ	評価対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度	25年度調査の満足度	比較
第1位	⑤コミュニティ・協働	地域で外国人との交流がある	-50.2	-52.4	↗
第2位	⑥環境	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	-45.1	-40.7	↘
第3位	⑥環境	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-37.5	-36.3	↘
第4位	⑥環境	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	-32.2	-24.1	↘
第5位	⑨観光・産業	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-30.3	-33.7	↗
第6位	⑦都市再生	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-30.2	-26.5	↘
第7位	⑦都市再生	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-29.3	-24.2	↘
第8位	⑧安全・安心	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-29.1	-25.7	↘
第9位	⑤コミュニティ・協働	地域の課題に対する関心が高まっている	-27.7	-26.0	↘
第10位	⑨観光・産業	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	-26.2	-29.9	↗

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

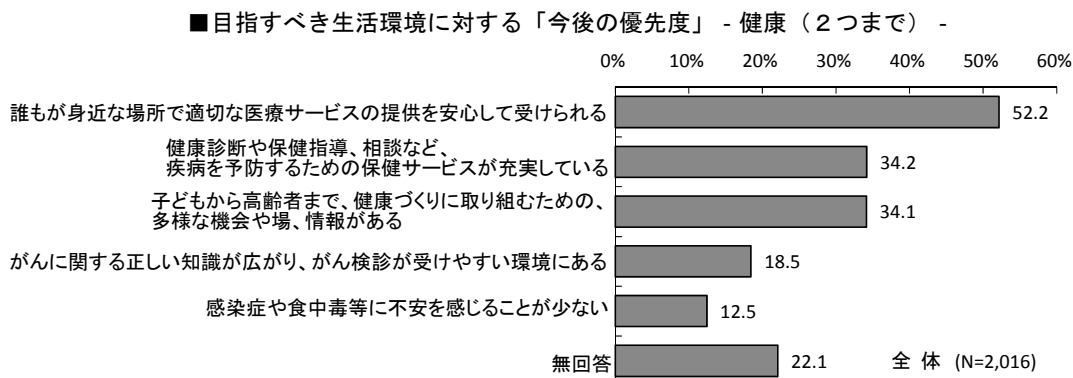
(1) 福祉

福祉に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」が38.3%と最も高く、次いで「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」(36.4%)、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」(33.1%)の順で続いている。



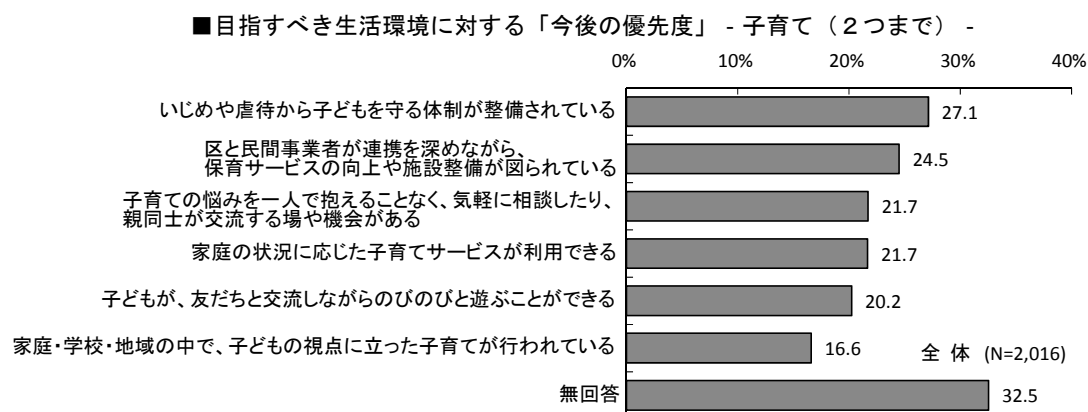
(2) 健康

健康に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」が52.2%と最も高く、次いで「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」(34.2%)、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」(34.1%)の順で続いている。



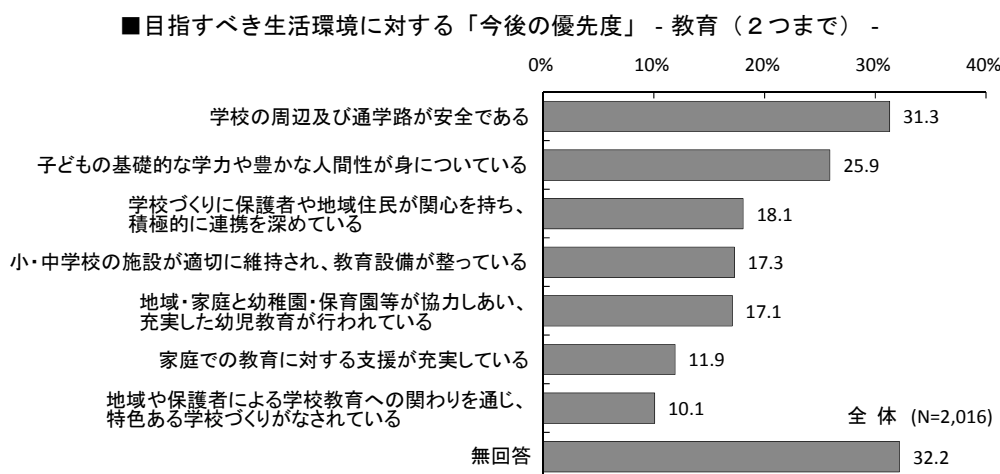
(3) 子育て

子育てに関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」が27.1%と最も高く、次いで「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」(24.5%)、「子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある」「家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる」(ともに21.7%)の順で続いている。



(4) 教育

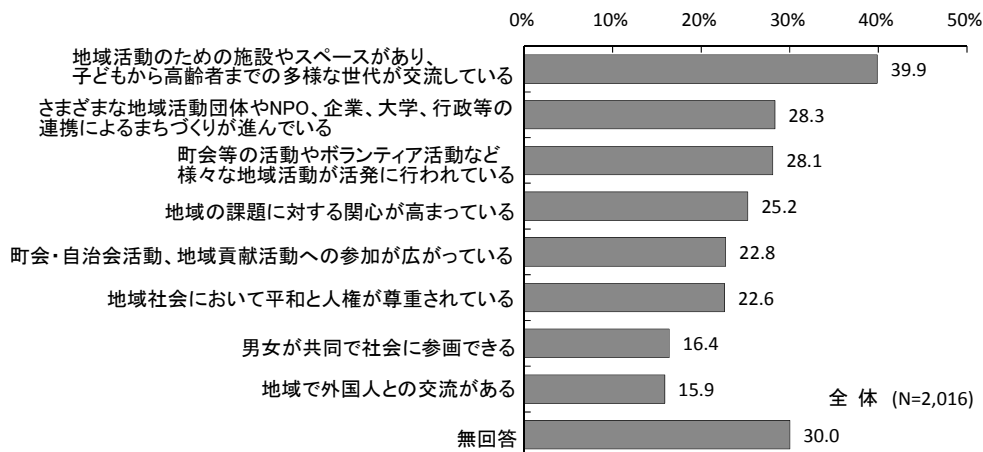
教育に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「学校の周辺及び通学路が安全である」が31.3%と最も高く、次いで「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」(25.9%)、「学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている」(18.1%)の順で続いている。



(5) コミュニティ・協働

コミュニティ・協働に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が39.9%と最も高く、次いで「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(28.3%)、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」(28.1%)の順で続いている。

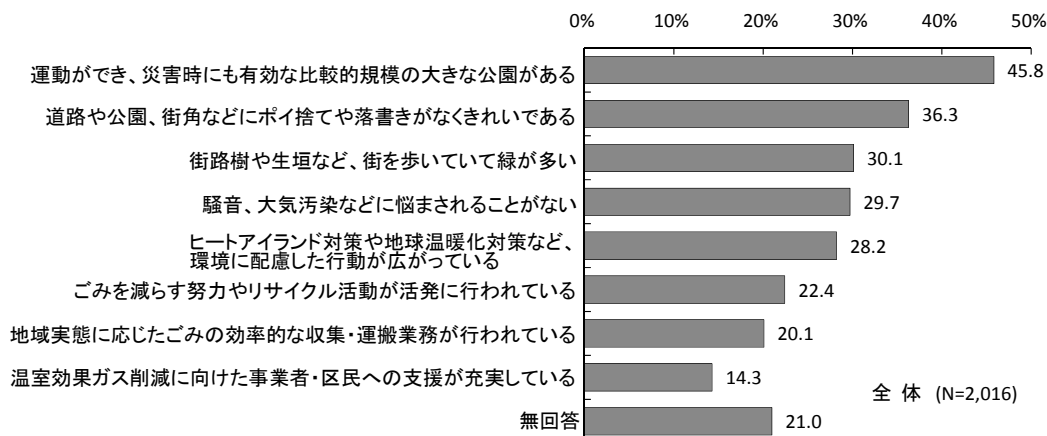
■ 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」 - コミュニティ・協働 (3つまで) -



(6) 環境

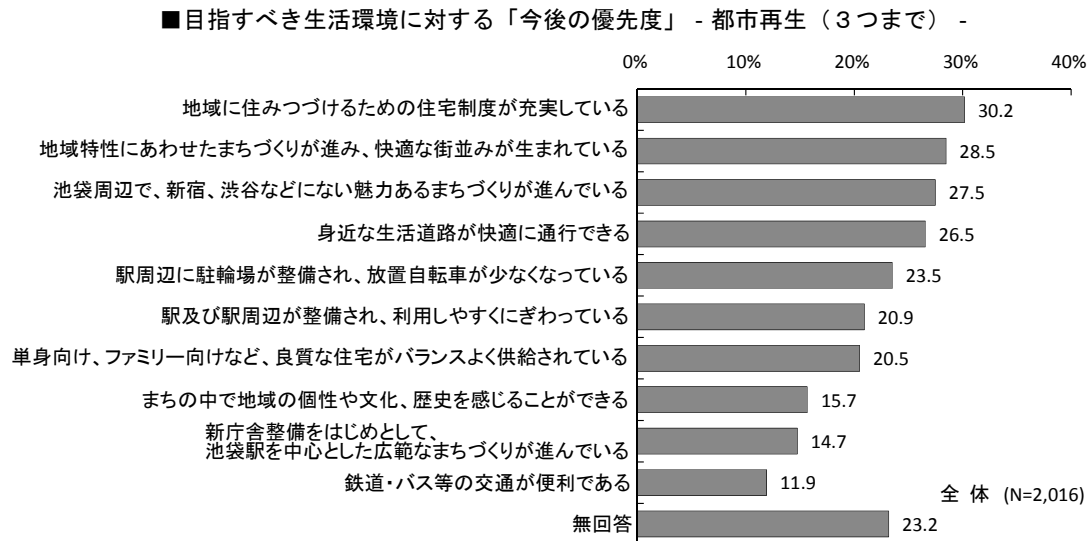
環境に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」が45.8%と最も高く、次いで「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(36.3%)、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」(30.1%)の順で続いている。

■ 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」 - 環境 (3つまで) -



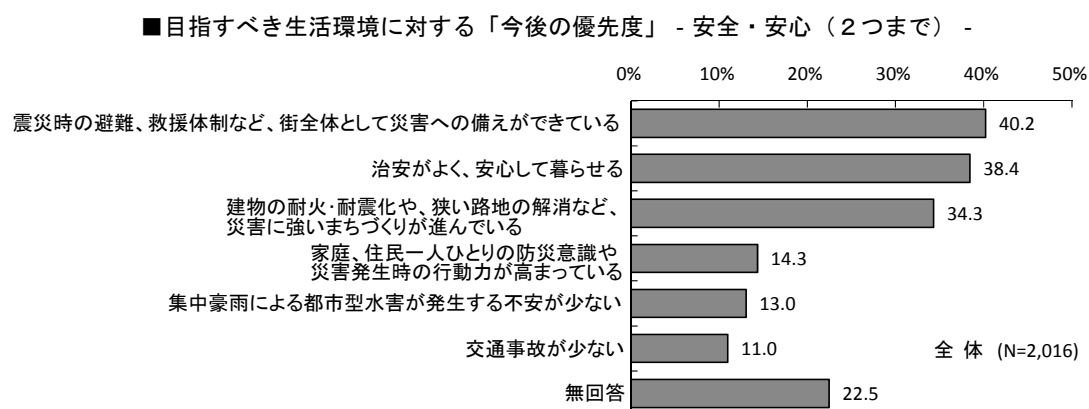
(7) 都市再生

都市再生に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」が30.2%と最も高く、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(28.5%)、「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力ある街づくりが進んでいる」(27.5%)の順で続いている。



(8) 安全・安心

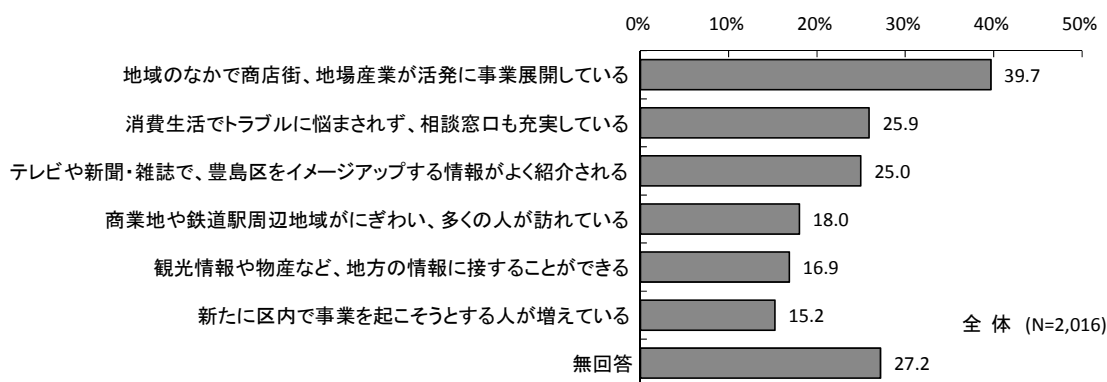
安全・安心に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています」が40.2%と最も高く、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」(38.4%)、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(34.3%)の順で続いている。



(9) 観光・産業

観光・産業に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」が約4割で最も高く、次いで「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(25.9%)、「テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」(25.0%)の順で続いている。

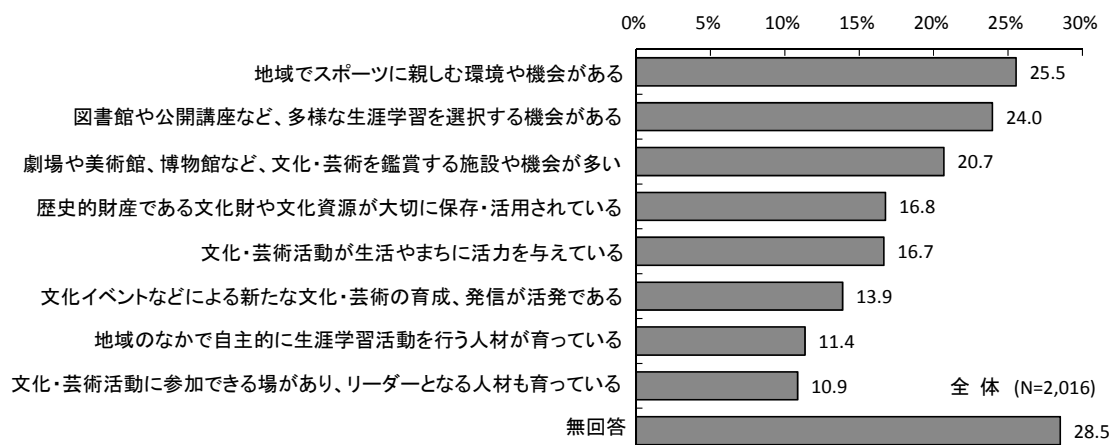
■ 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」 - 観光・産業 (2つまで) -



(10) 文化

文化に関する生活環境について、今後の優先度を聞いたところ、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が2割台半ばで最も高く、次いで「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」(24.0%)、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」(20.7%)の順で続いている。

■ 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」 - 文化 (2つまで) -



3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

10 グループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

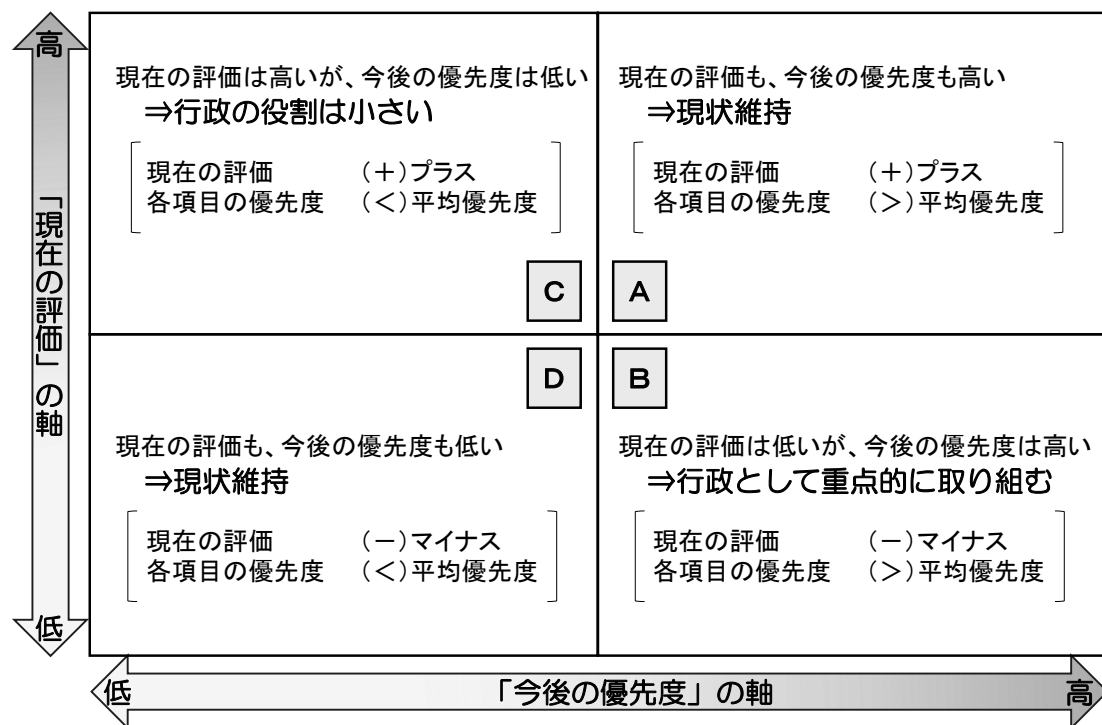
各項目の回答割合（%）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

下図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

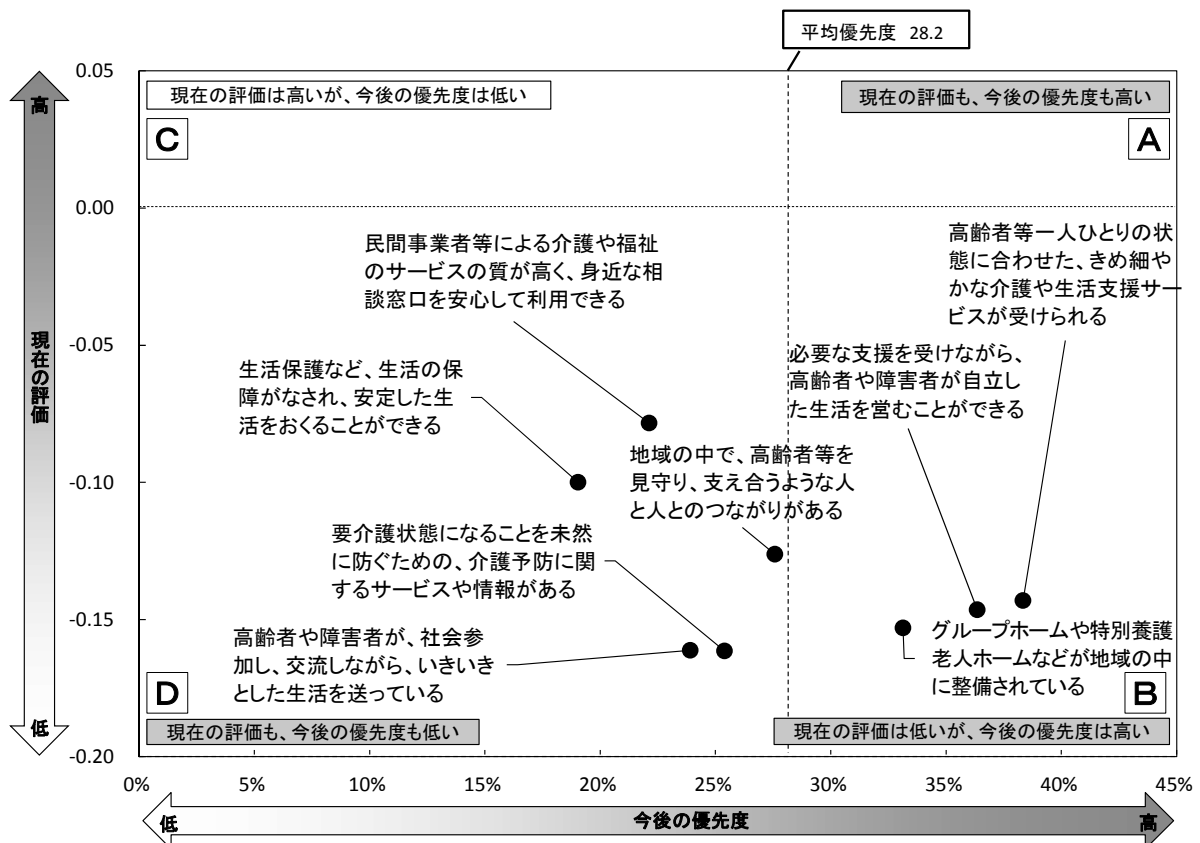


(1) 福祉

福祉に関する生活環境では、8項目のうち3項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、また、5項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

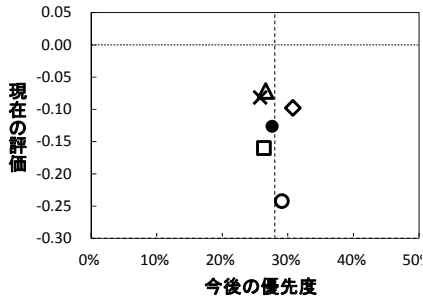
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 福祉 -

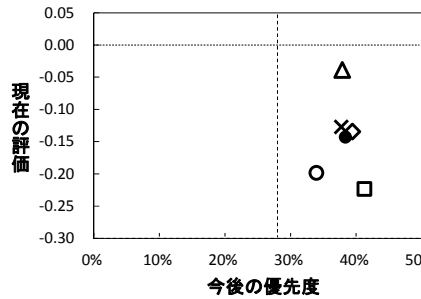


【地域別比較】

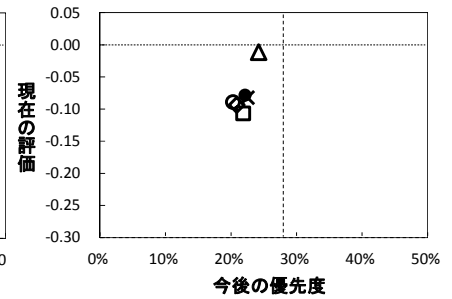
1 地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人のつながりがある



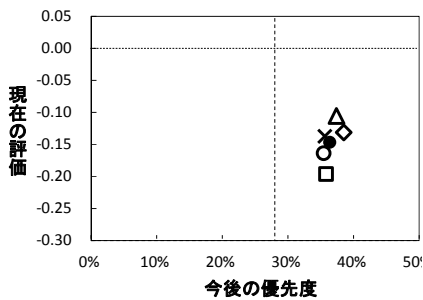
2 高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる



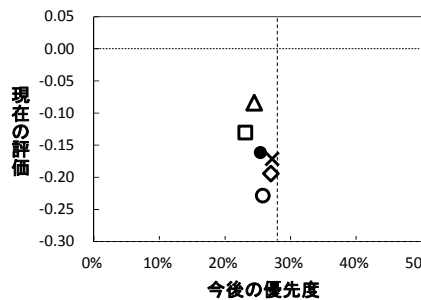
3 民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる



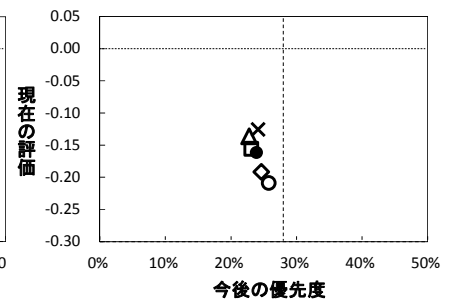
4 必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる



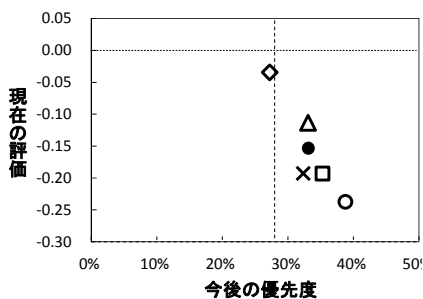
5 要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある



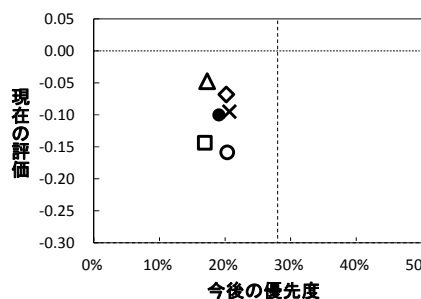
6 高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている



7 グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている



8 生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる



【凡例】

- 区全体
- × 東部地域
- △ 北部地域
- 中央地域
- 南部地域
- ◇ 西部地域

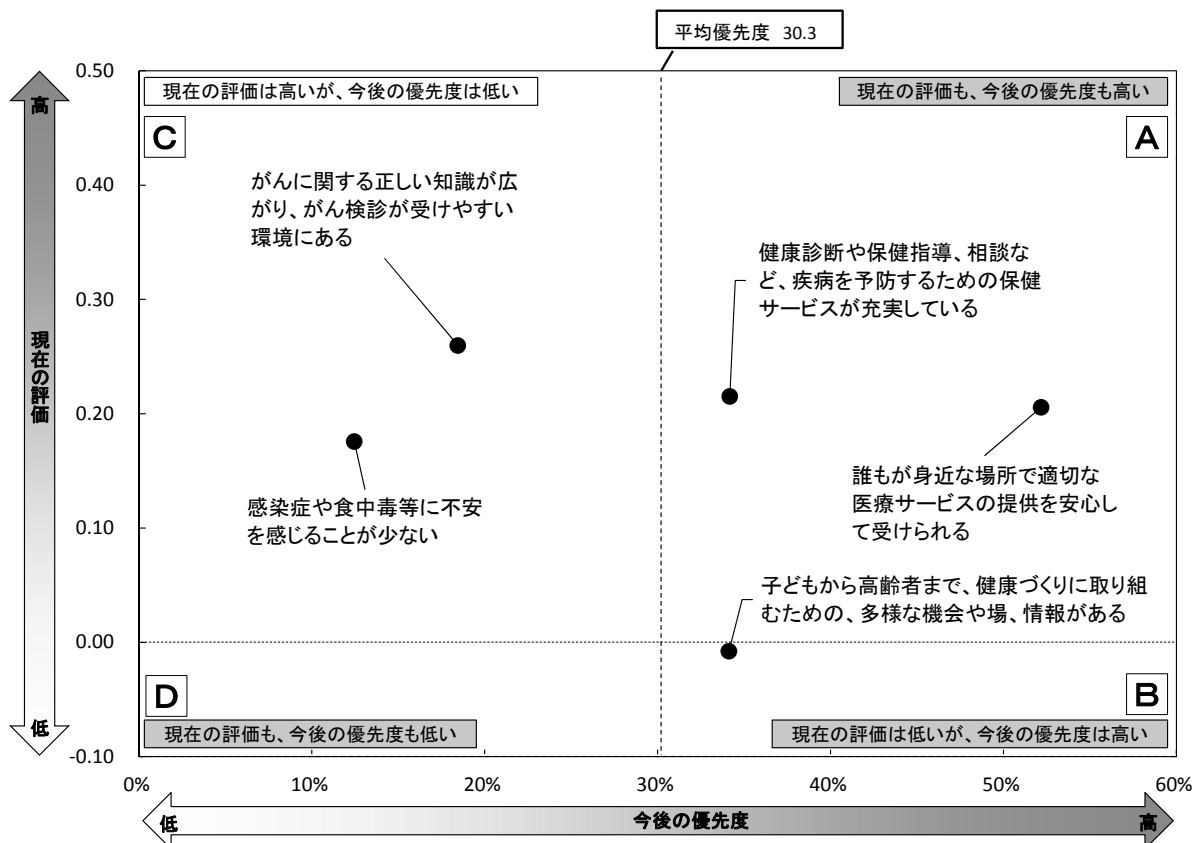
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(2) 健康

健康に関する生活環境では、5項目のうち2項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い」に、1項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。

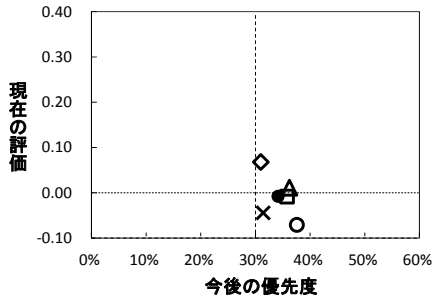
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 健康 -

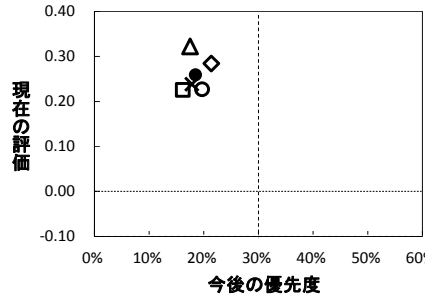


【地域別比較】

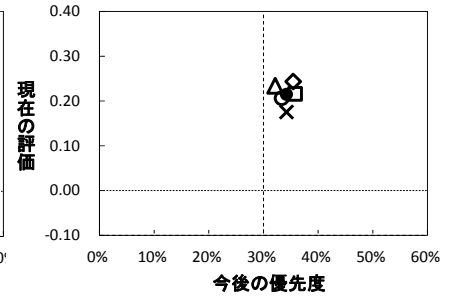
9 子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある



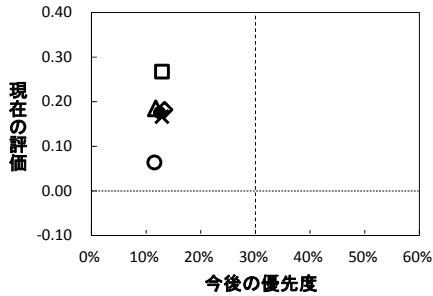
10 がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある



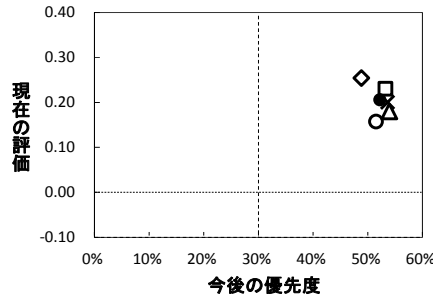
11 健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している



12 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない



13 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 △ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

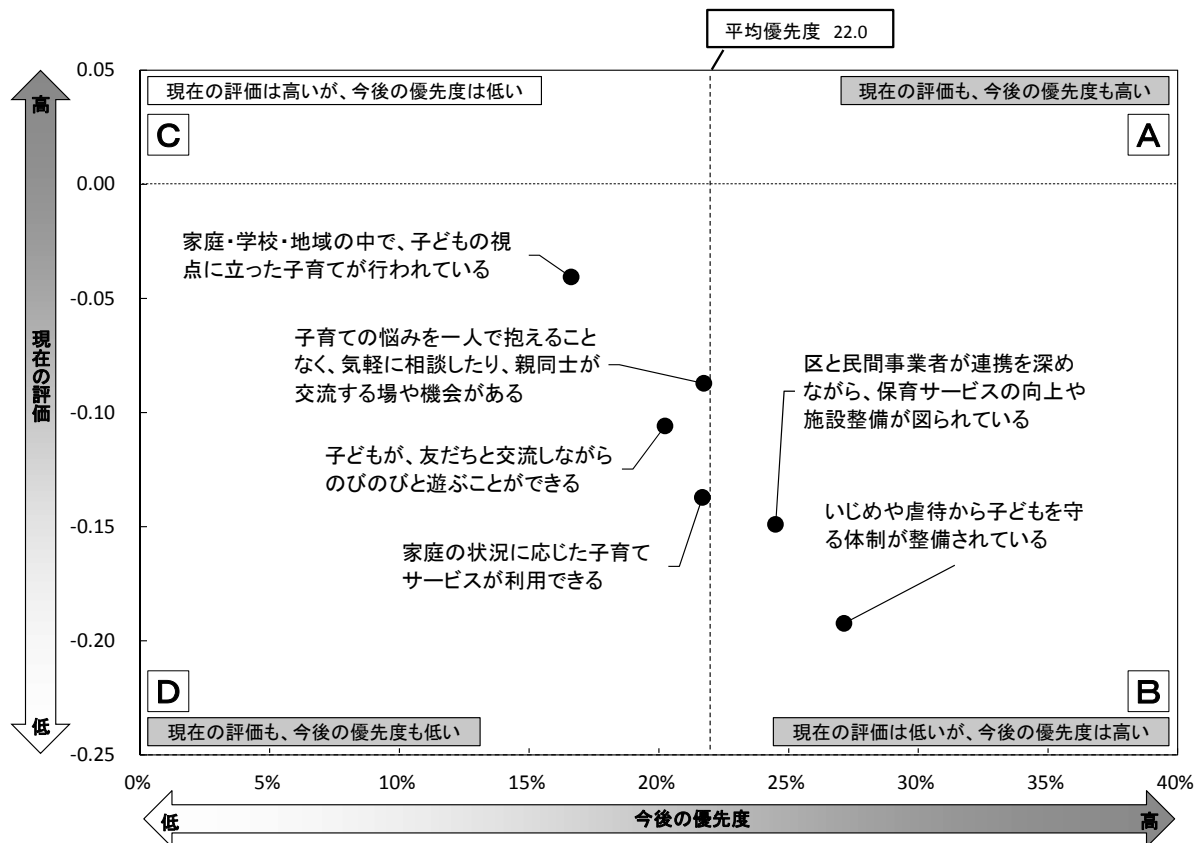
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(3) 子育て

子育てに関する生活環境では、6項目のうち2項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

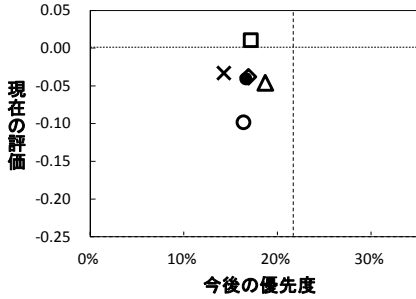
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」と「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 子育て -

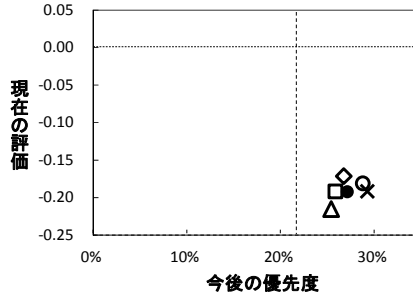


【地域別比較】

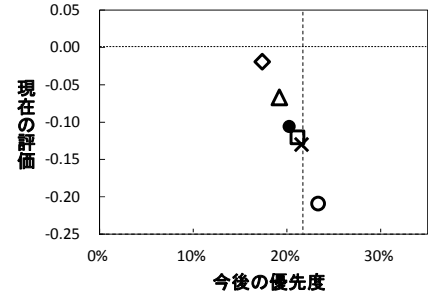
14 家庭・学校・地域の中で、
子どもの視点に立った子
育てが行われている



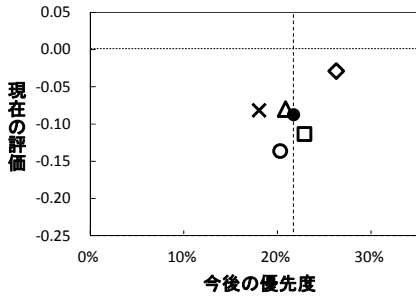
15 いじめや虐待から子ども
を守る体制が整備されて
いる



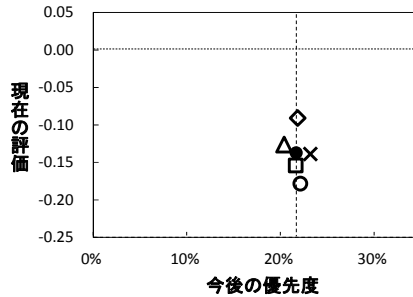
16 子どもが、友だちと交流し
ながらのびのびと遊ぶこ
とができる



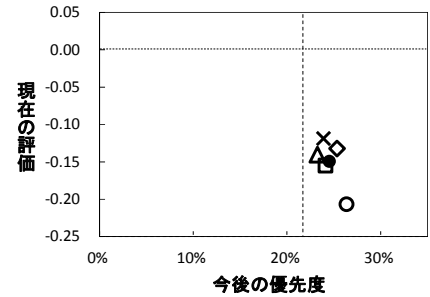
17 子育ての悩みを一人で抱
えることなく、気軽に相
談したり、親同士が交流
する場や機会がある



18 家庭の状況に応じた子育
てサービスが利用できる



19 区と民間事業者が連携を
深めながら、保育サービ
スの向上や施設整備が図
られている



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 ▲ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

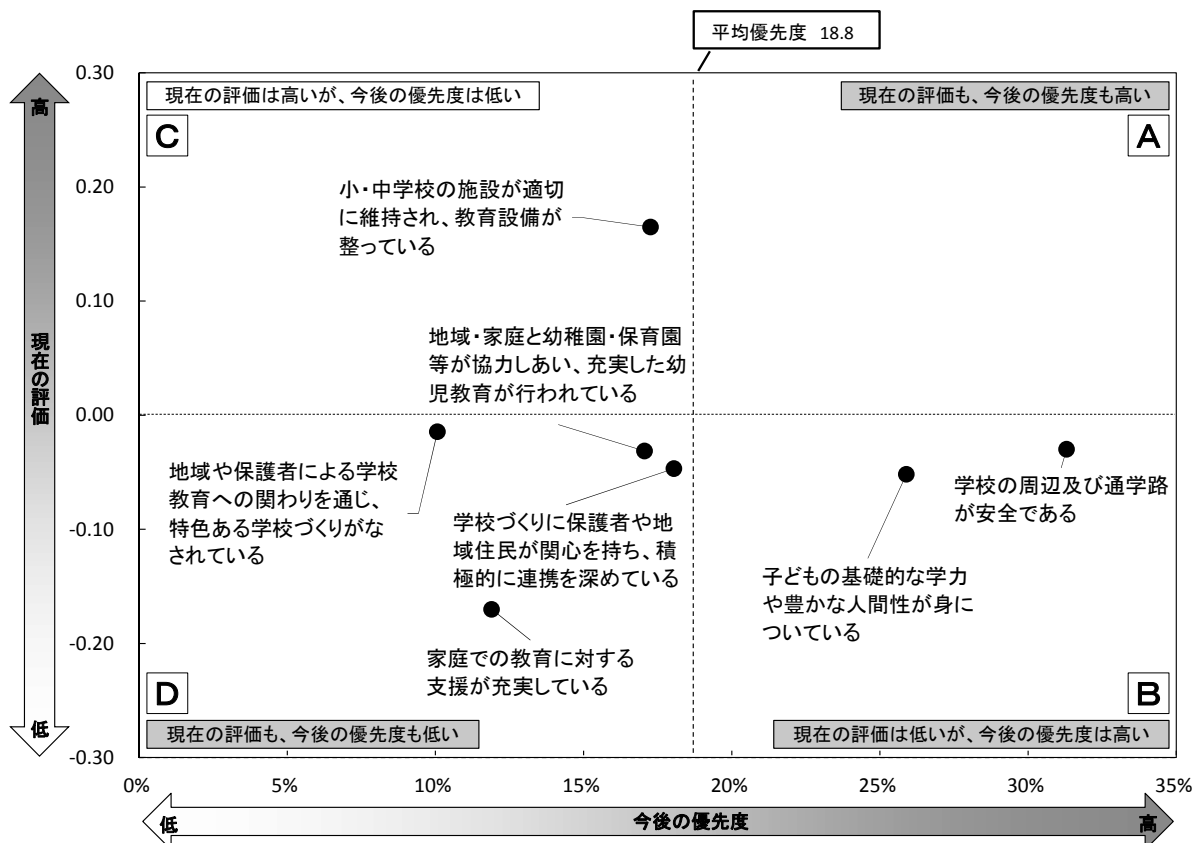
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(4) 教育

教育に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、4項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

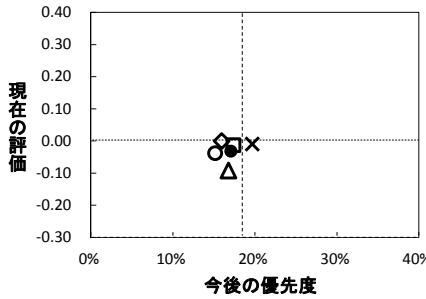
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「学校の周辺及び通学路が安全である」「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 教育 -

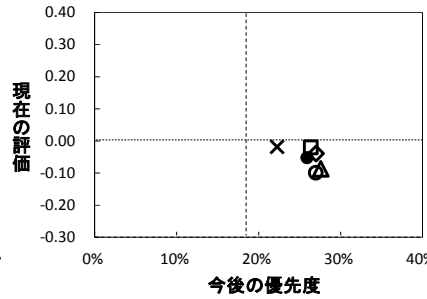


【地域別比較】

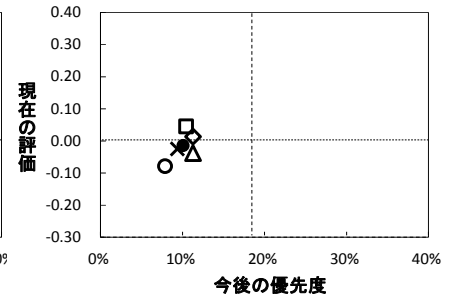
20 地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている



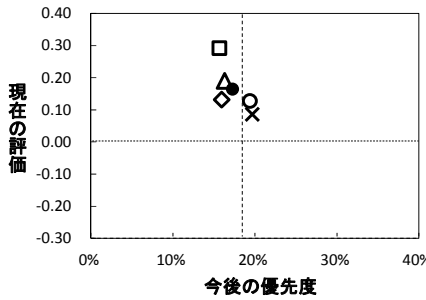
21 子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身につけている



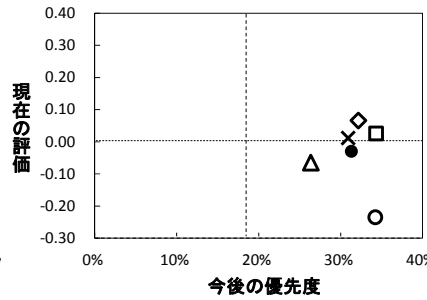
22 地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている



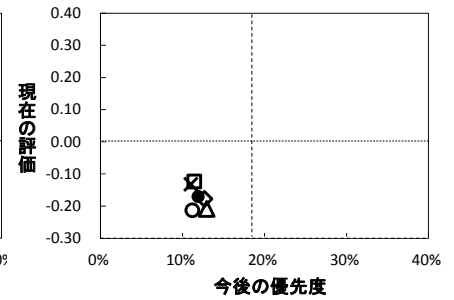
23 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている



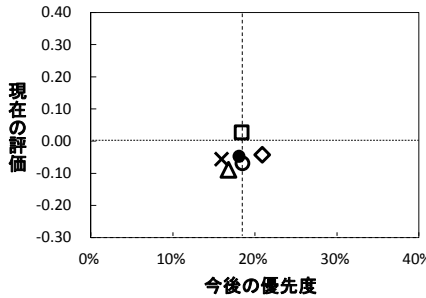
24 学校の周辺及び通学路が安全である



25 家庭での教育に対する支援が充実している



26 学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている



【凡例】

- 区全体
- × 東部地域
- ▲ 北部地域
- 中央地域
- 南部地域
- ◇ 西部地域

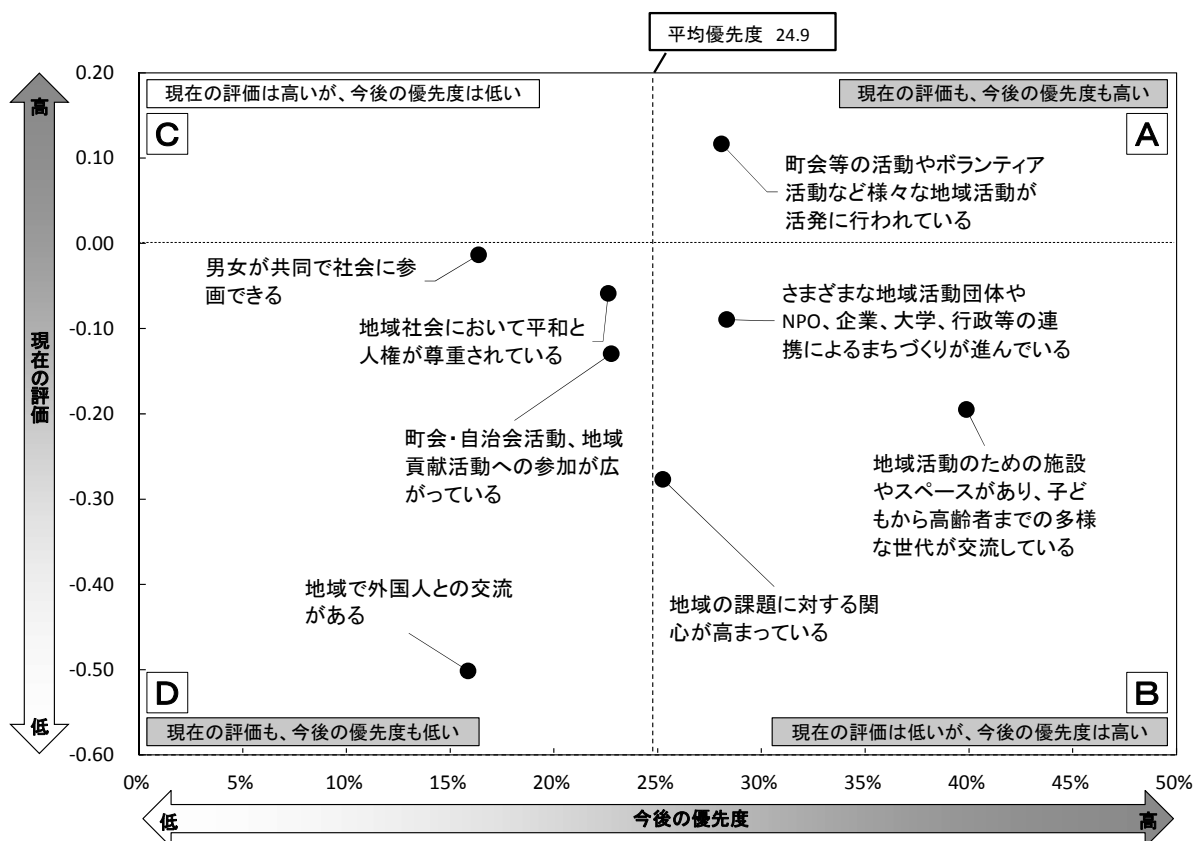
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(5) コミュニティ・協働

コミュニティ・協働に関する生活環境では、8項目のうち1項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い」に、3項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

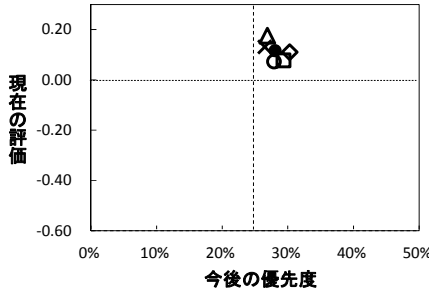
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」「地域の課題に対する関心が高まっている」が位置している。

■「現在の評価」×「今後の優先度」 - コミュニティ・協働 -

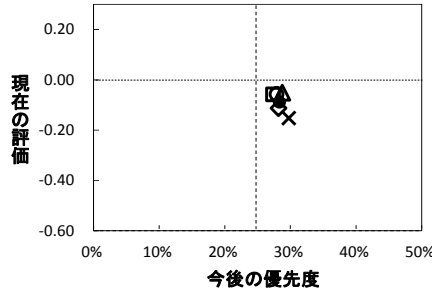


【地域別比較】

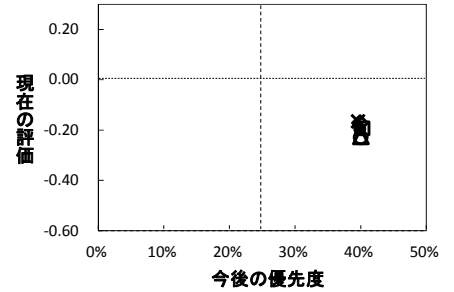
27 町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている



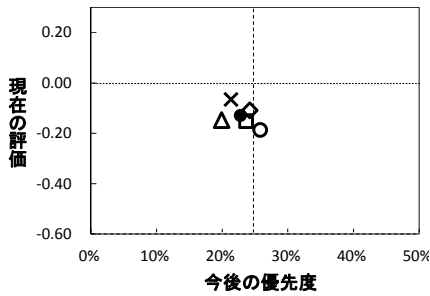
28 さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる



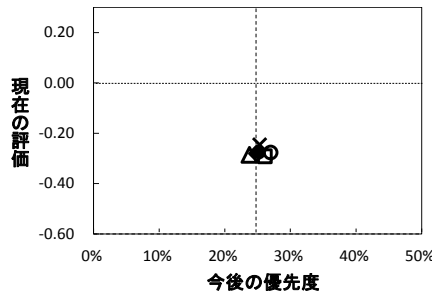
29 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している



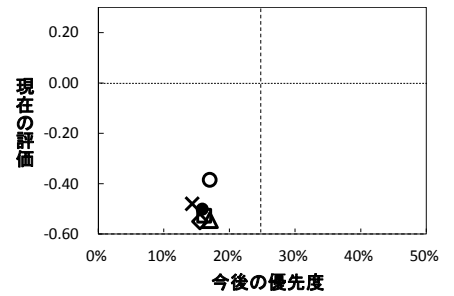
30 町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている



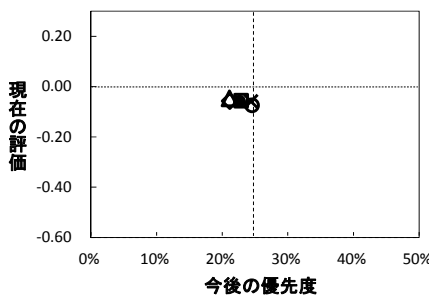
31 地域の課題に対する関心が高まっている



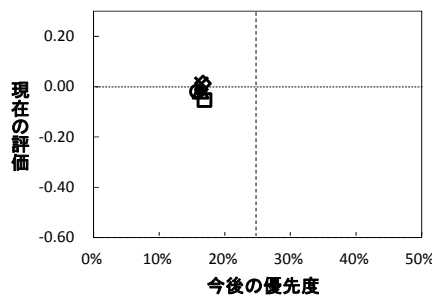
32 地域で外国人との交流がある



33 地域社会において平和と人権が尊重されている



34 男女が共同で社会に参画できる



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 ▲ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

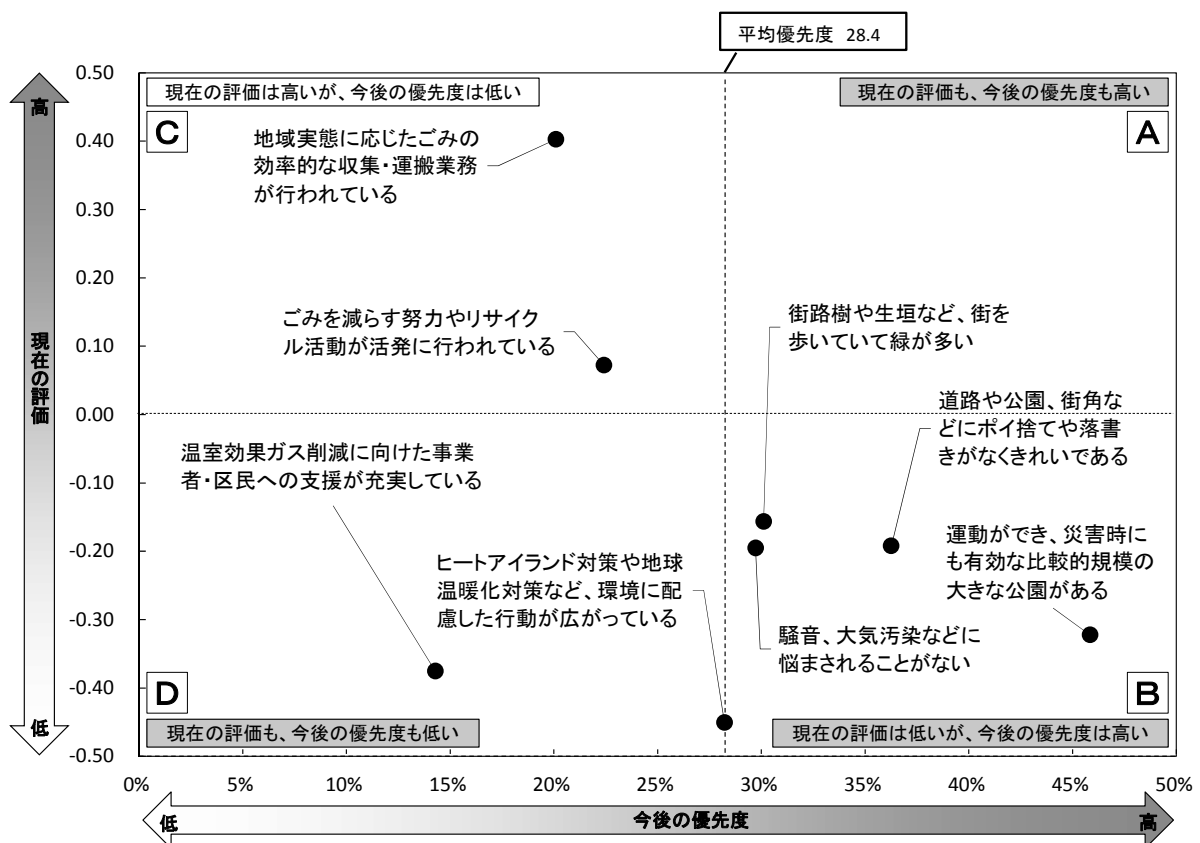
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(6) 環境

環境に関する生活環境では、8項目のうち4項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、2項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

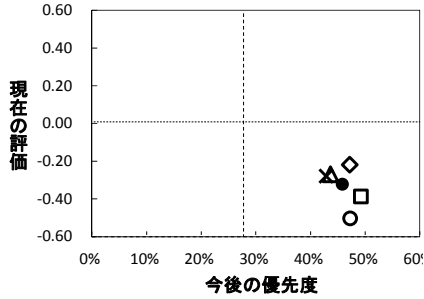
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」「騒音、大気汚染などに悩まされることがない」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 環境 -

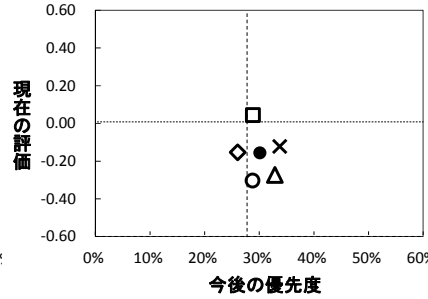


【地域別比較】

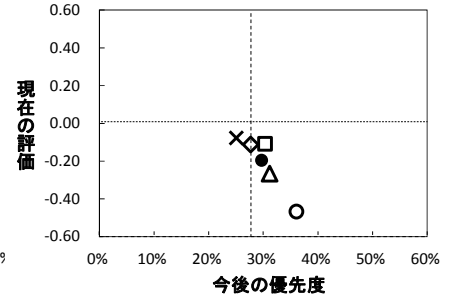
35 運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある



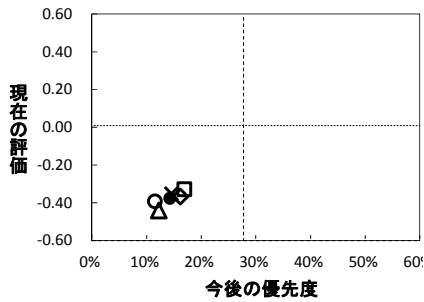
36 街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い



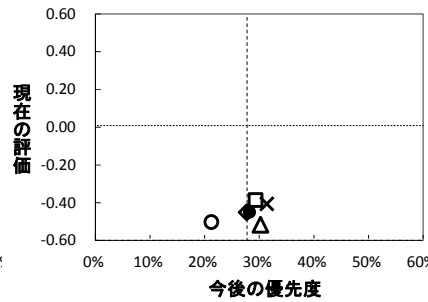
37 騒音、大気汚染などに悩まされることがない



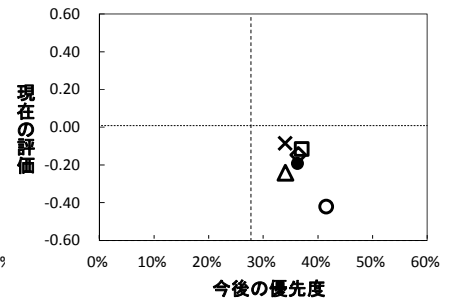
38 温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している



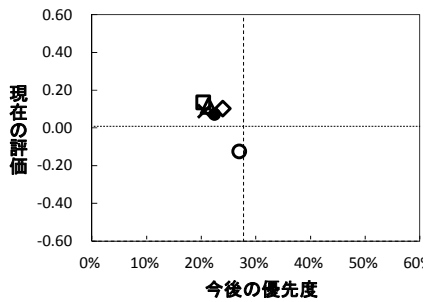
39 ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている



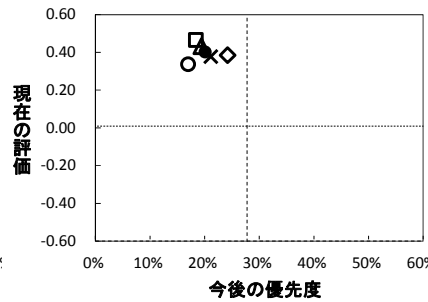
40 道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである



41 ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている



42 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 ▲ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

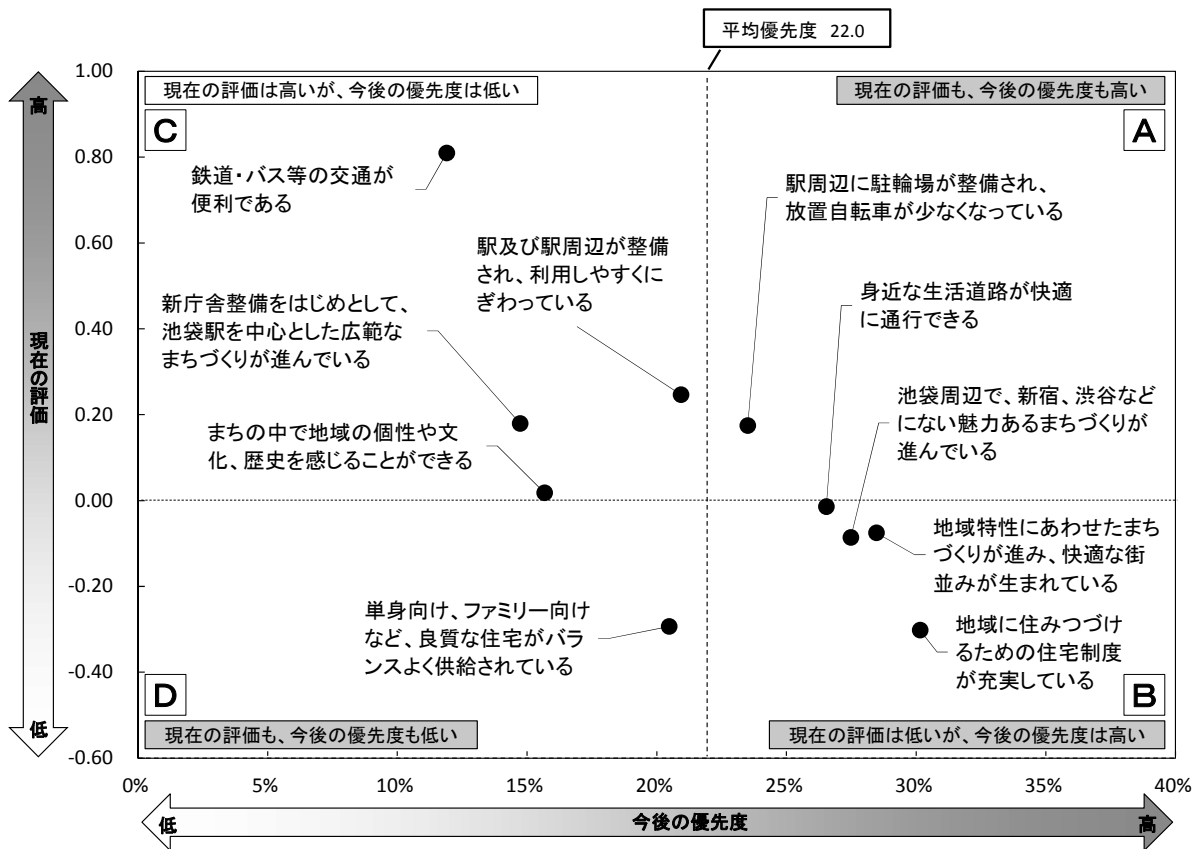
※地域の具体的な区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(7) 都市再生

都市再生に関する生活環境では、10項目のうち1項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い」に、4項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、4項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

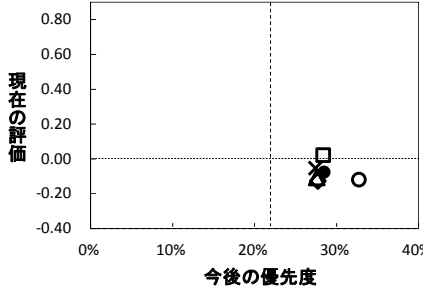
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」「身近な生活道路が快適に通行できる」が位置している。

■「現在の評価」×「今後の優先度」 - 都市再生 -

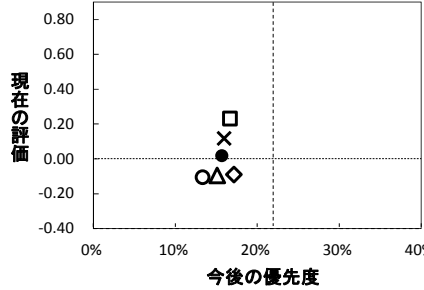


【地域別比較】

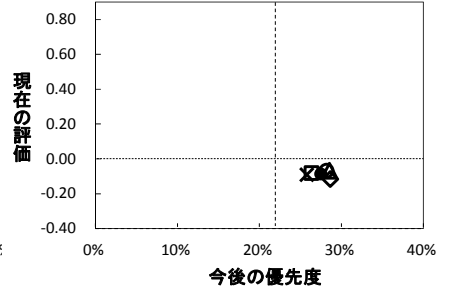
43 地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている



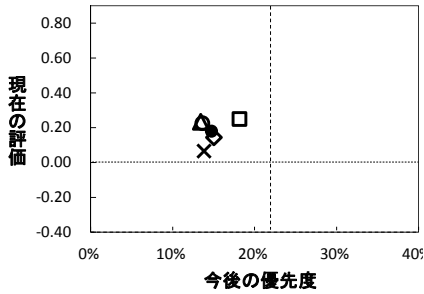
44 まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じる事ができる



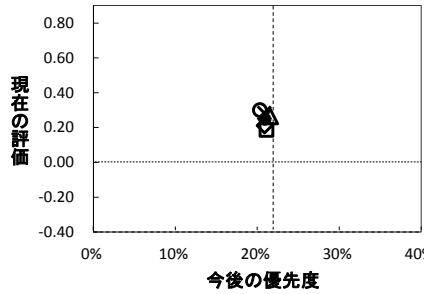
45 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる



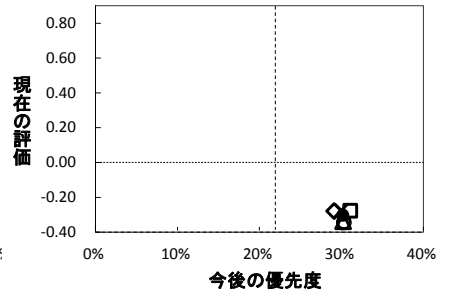
46 新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる



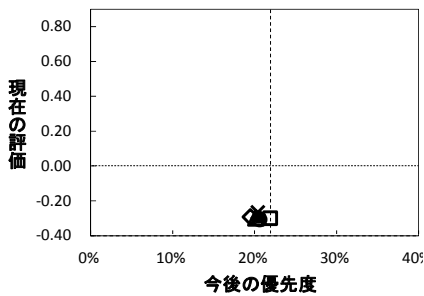
47 駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている



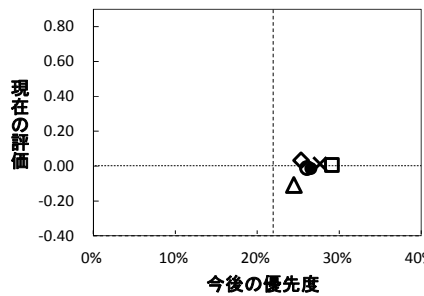
48 地域に住みつづけるための住宅制度が充実している



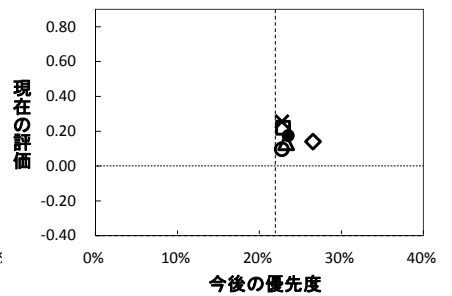
49 单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている



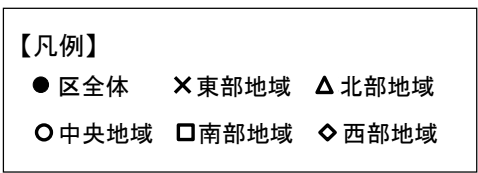
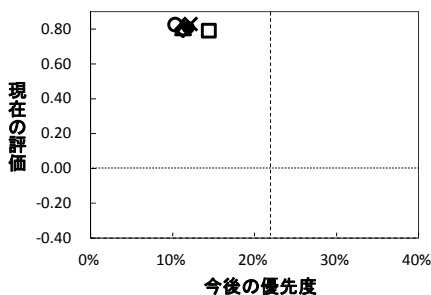
50 身近な生活道路が快適に通行できる



51 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている



52 鉄道・バス等の交通が便利である



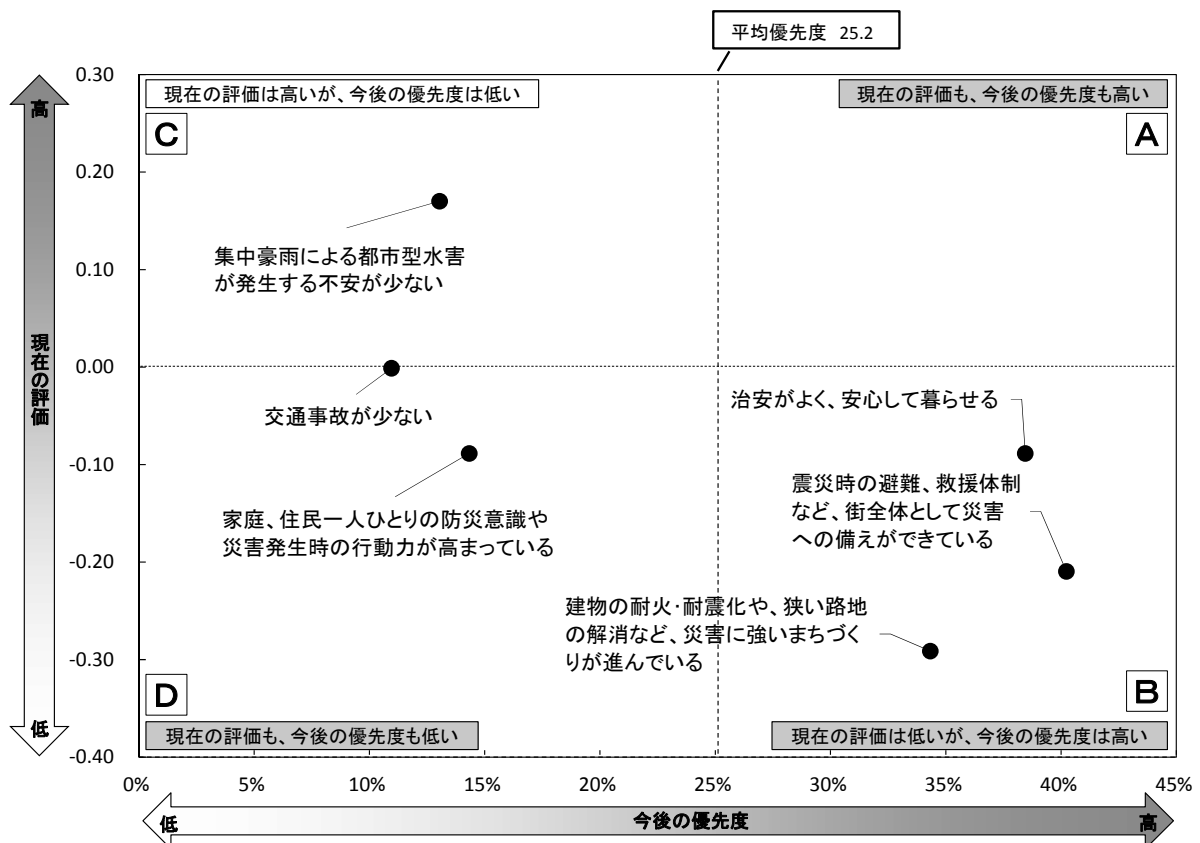
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(8) 安全・安心

安全・安心に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、2項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

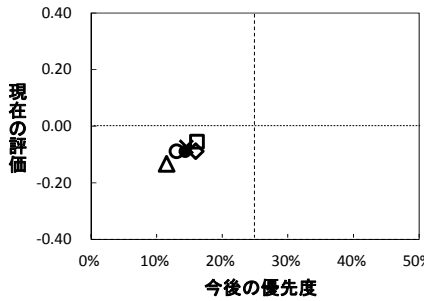
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができていない」「治安がよく、安心して暮らせる」「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 安全・安心 -

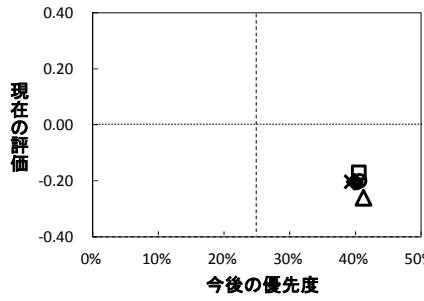


【地域別比較】

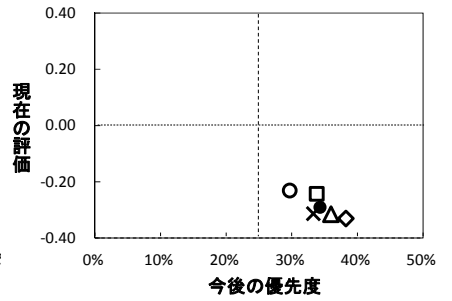
53 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている



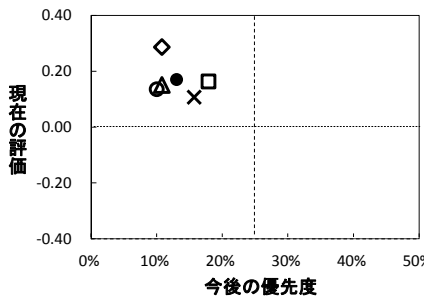
54 震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができている



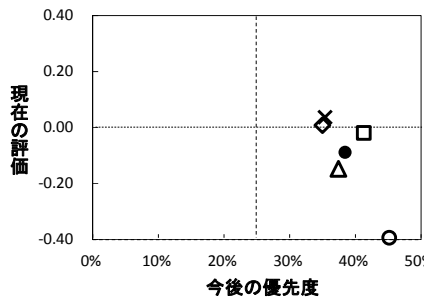
55 建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる



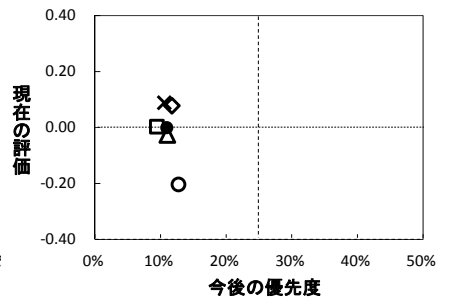
56 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない



57 治安がよく、安心して暮らせる



58 交通事故が少ない



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 △ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

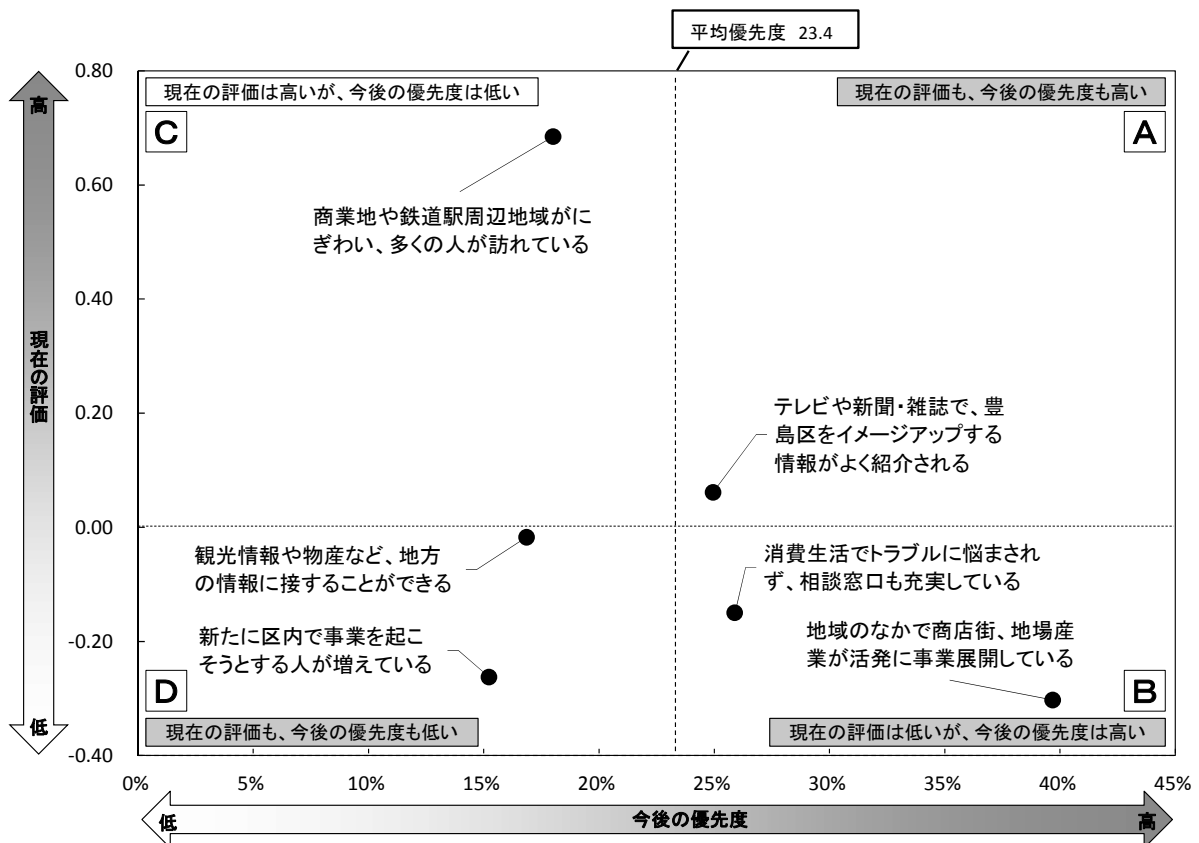
※地域の具体的な区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(9) 観光・産業

観光・産業に関する生活環境では、6項目のうち1項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い」に、2項目が「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

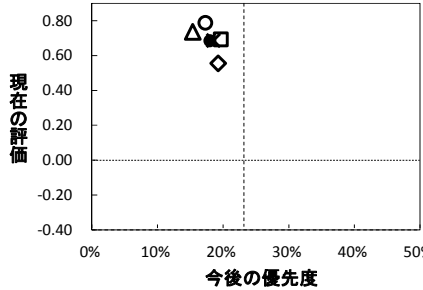
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 観光・産業 -

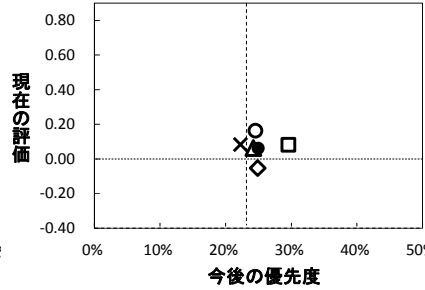


【地域別比較】

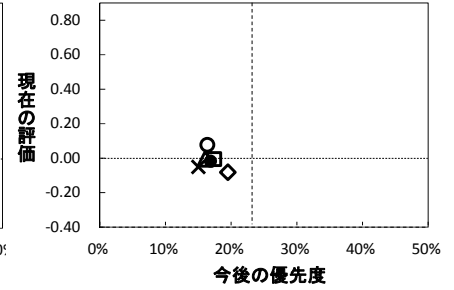
59 商業地や鉄道駅周辺地域
がにぎわい、多くの人が
訪れている



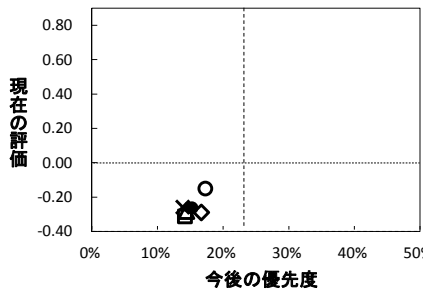
60 テレビや新聞・雑誌で、豊
島区をイメージアップす
る情報がよく紹介される



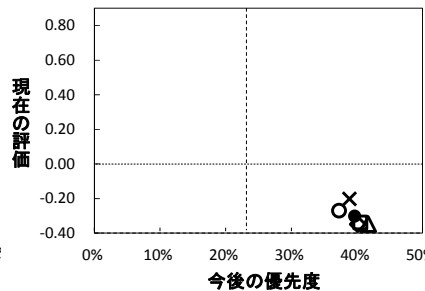
61 観光情報や物産など、地方
の情報に接することができる



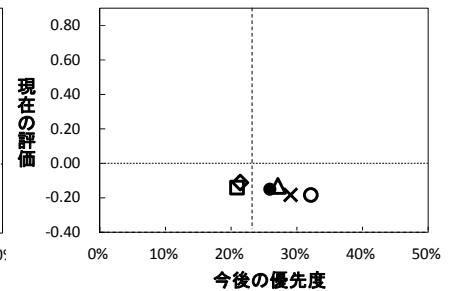
62 新たに区内で事業を起こ
そうとする人が増えている



63 地域のなかで商店街、地場
産業が活発に事業展開し
ている



64 消費生活でトラブルに悩
まされず、相談窓口も充
実している



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 ▲ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

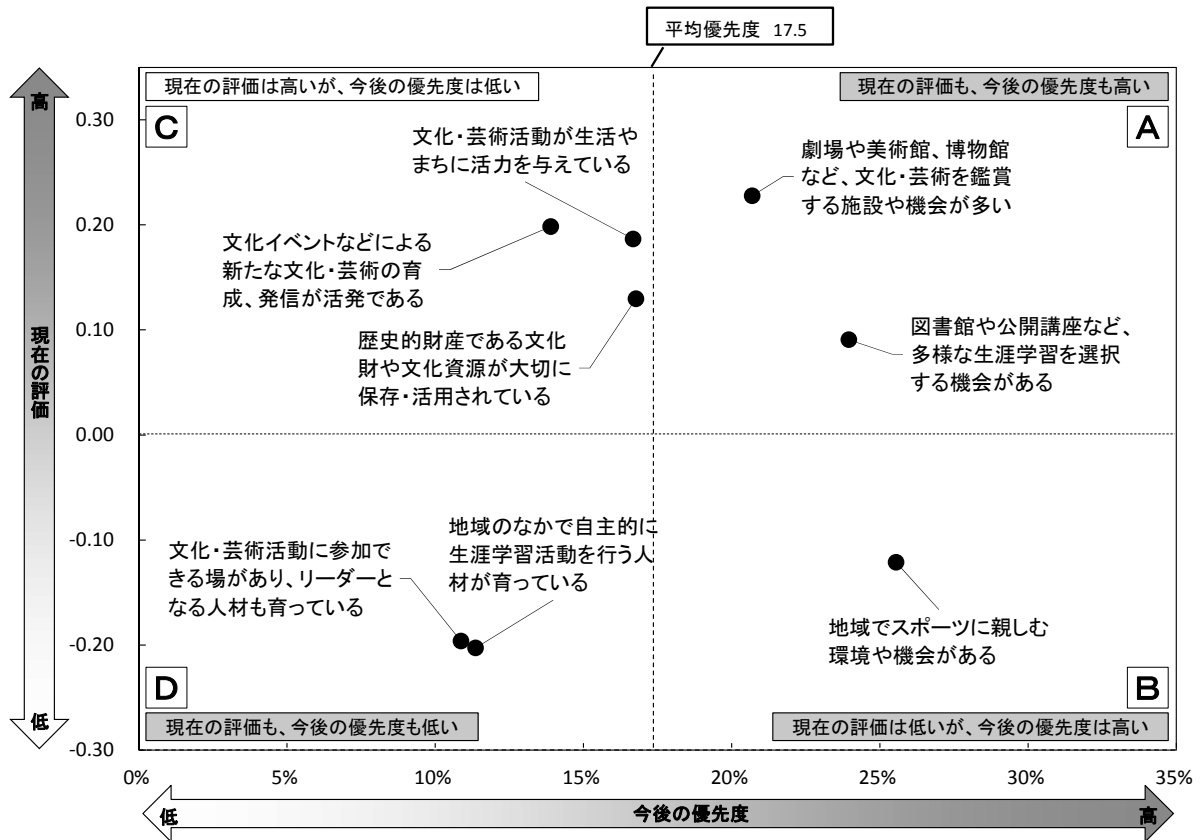
※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

(10) 文化

文化に関する生活環境では、8項目のうち2項目が「現在の評価も、今後の優先度も高い」に、1項目が「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、3項目が「現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

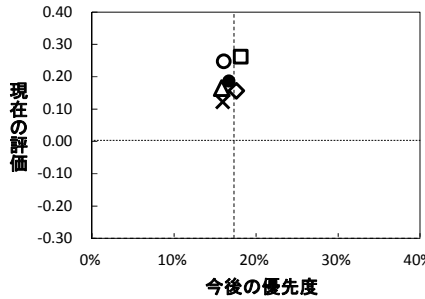
改善に向けて取り組む必要のある「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

■ 「現在の評価」 × 「今後の優先度」 - 文化 -

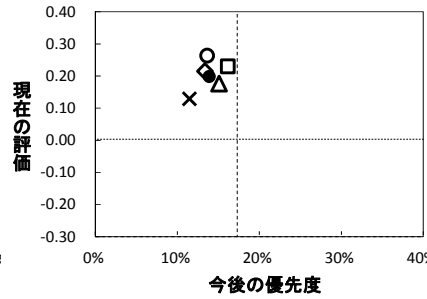


【地域別比較】

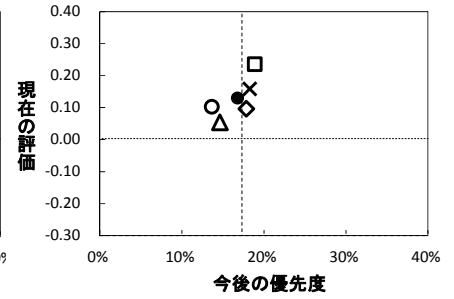
65 文化・芸術活動が生活やま
ちに活力を与えている



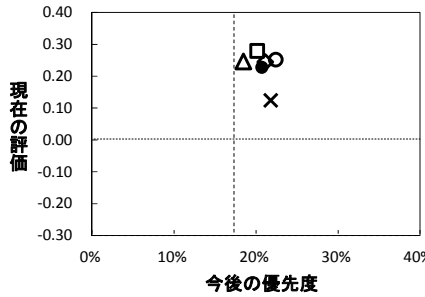
66 文化イベントなどによる
新たな文化・芸術の育成、
発信が活発である



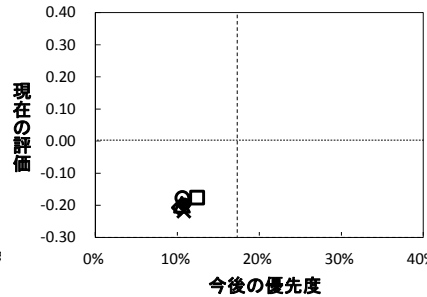
67 歴史的財産である文化財
や文化資源が大切に保
存・活用されている



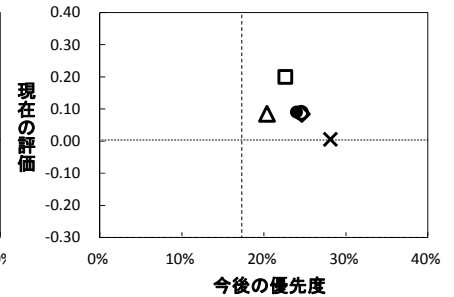
68 劇場や美術館、博物館など、
文化・芸術を鑑賞する施設
や機会が多い



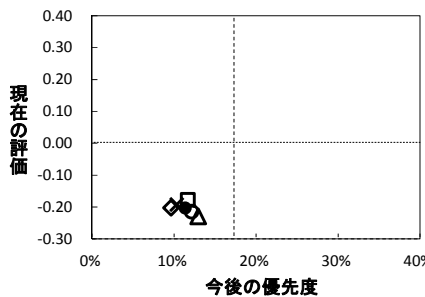
69 文化・芸術活動に参加でき
る場があり、リーダーとな
る人材も育てている



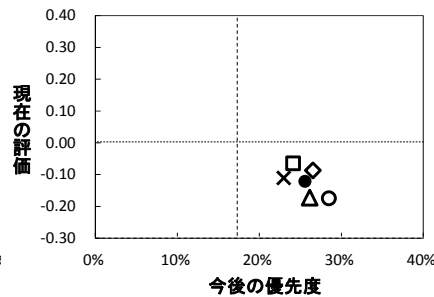
70 図書館や公開講座など、多
様な生涯学習を選択する
機会がある



71 地域のなかで自主的に生
涯学習活動を行う人材が
育てている



72 地域でスポーツに親しむ
環境や機会がある



【凡例】

● 区全体 × 東部地域 △ 北部地域 ○ 中央地域 □ 南部地域 ◇ 西部地域

※地域の具体的区分は6ページの(8)居住地域名を参照。

4. 「現在の評価」の経年比較

10グループごとに、各項目の「現在の評価」から満足度（「どちらかというと思う」の割合から、「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値）の経年比較を行った。

《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価の満足傾向／不満傾向

各項目の満足傾向／不満傾向

= 「どちらかというと思う」の割合 - 「どちらかというと思わない」の割合

※+の場合（「どちらかというと思う」の割合の方が高い場合）は、満足傾向。

※-の場合（「どちらかというと思わない」の割合の方が高い場合）は、不満傾向。

※無回答は除いて集計した。

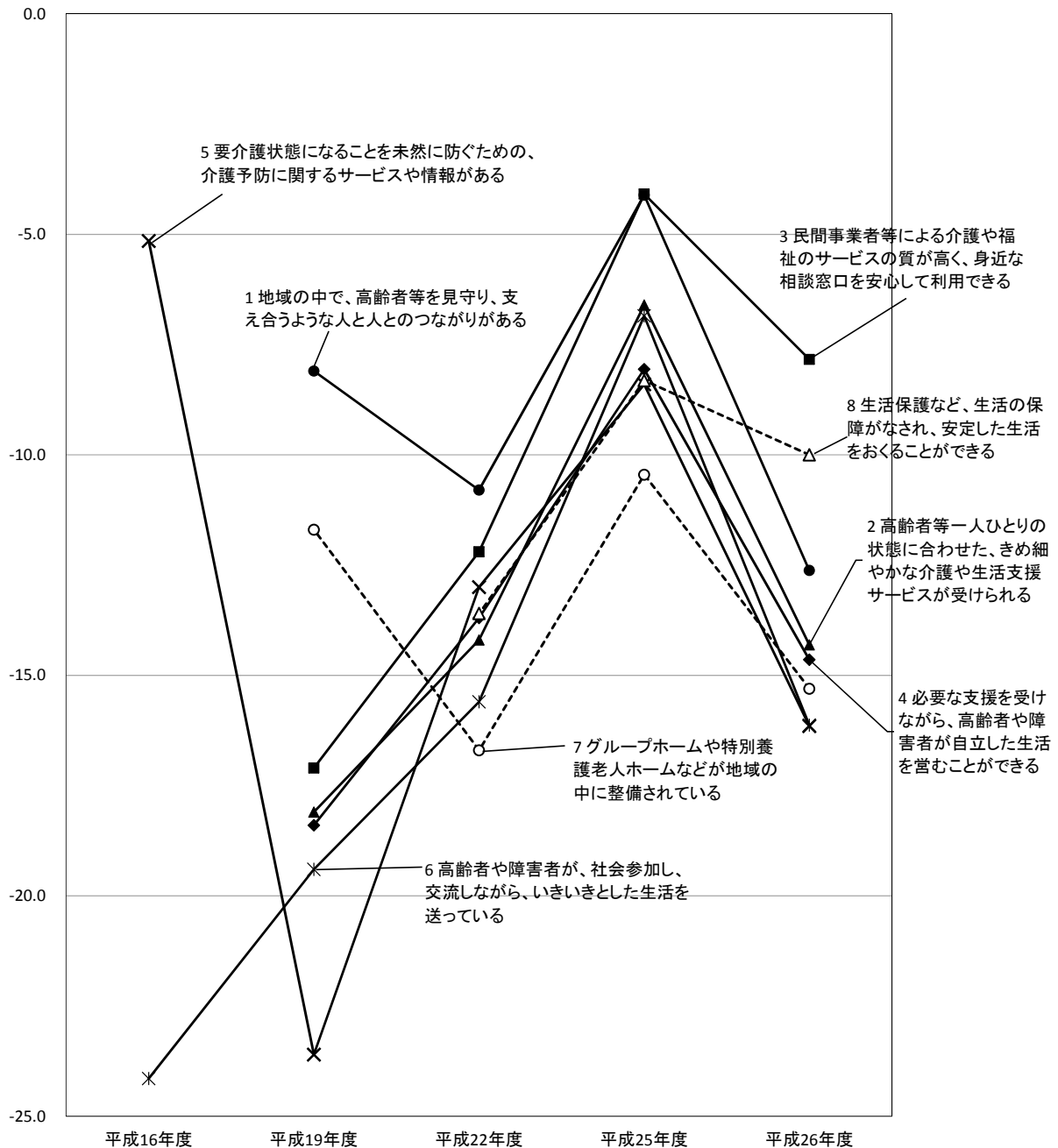
《留意点》

- ・平成 16、19、22、25 年度の調査結果との経年比較を行っているが、各年度で調査項目の有無やその内容に違いがある。グラフ等は、平成 26 年度調査の項目で示している。なお、平成 19、22、25 年度は「2、3 年前と比べた最近の評価」として、平成 16 年度は「現在の評価」として聞いている。
- ・異なる項目については、グラフの下にその違いを示している（平仮名と片仮名、読点等の付け方の違いは省略）。
- ・平成 25 年度と平成 26 年度は同じ調査項目である。
- ・各年度のグループ構成や調査項目には違いがあるため、調査結果の経年比較の活用には注意が必要である。

(1) 福祉

過去を通じて全ての項目で、「どちらかというと思わない」の割合が高く、不満傾向が高いグループとなっている。

平成 25 年度調査と比較すると、全ての項目で満足度が下がっている。

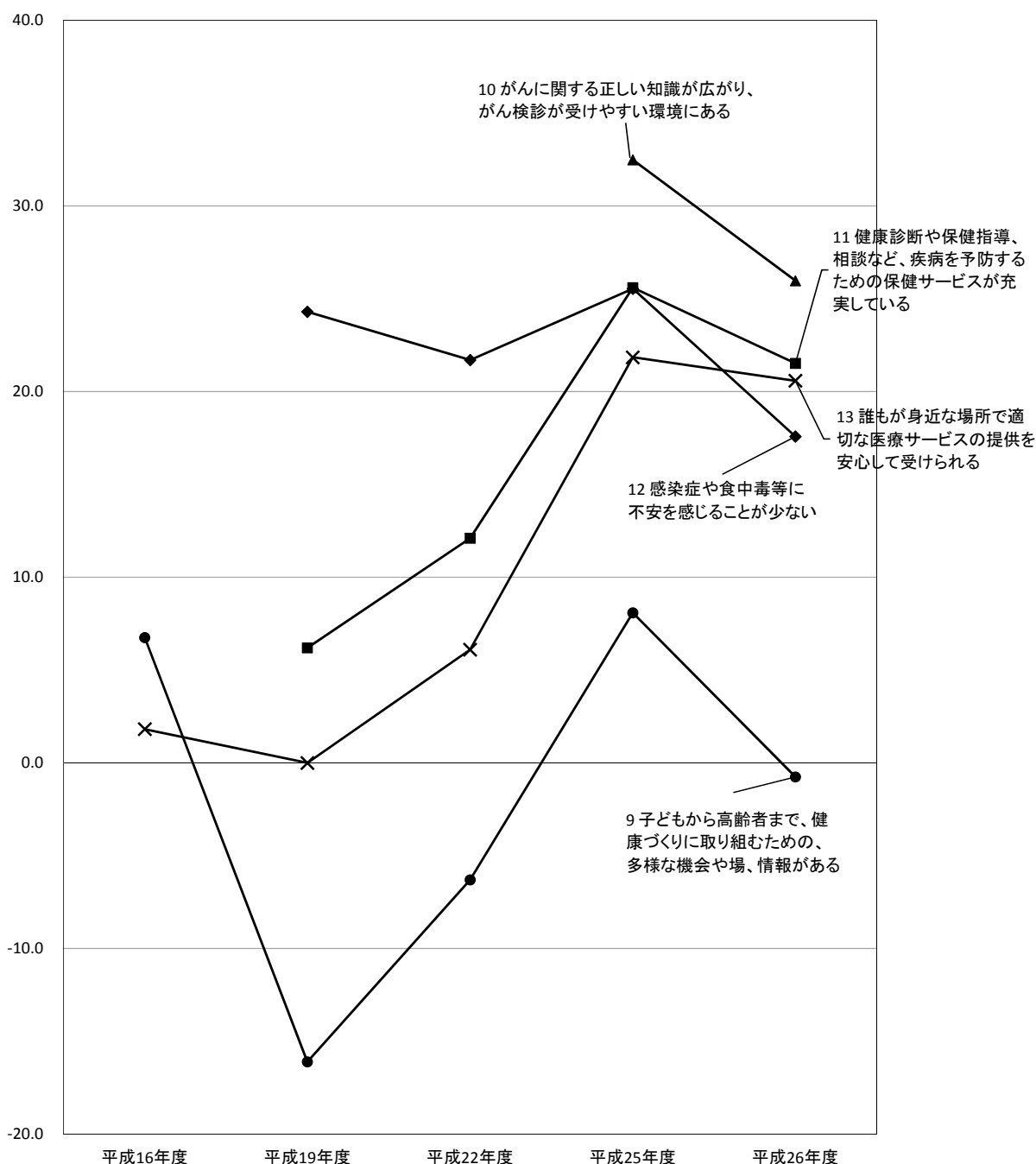


3	19、22 年度：民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる
5	16 年度：介護予防に取り組むための、多様な機会や場、情報がある
6	19、22 年度：高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している 16 年度：高齢者や障害者が自立した生活ができ、社会参加もしやすい

(2) 健康

「9 子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」は、平成19年度には不満傾向が強かったが、改善の傾向がみられる。

平成25年度調査と比較すると満足度は下がっているものの、9番を除く項目では過去を通じて「どちらかというと思う」の方が高く、比較的、満足傾向の高いグループとなっている。



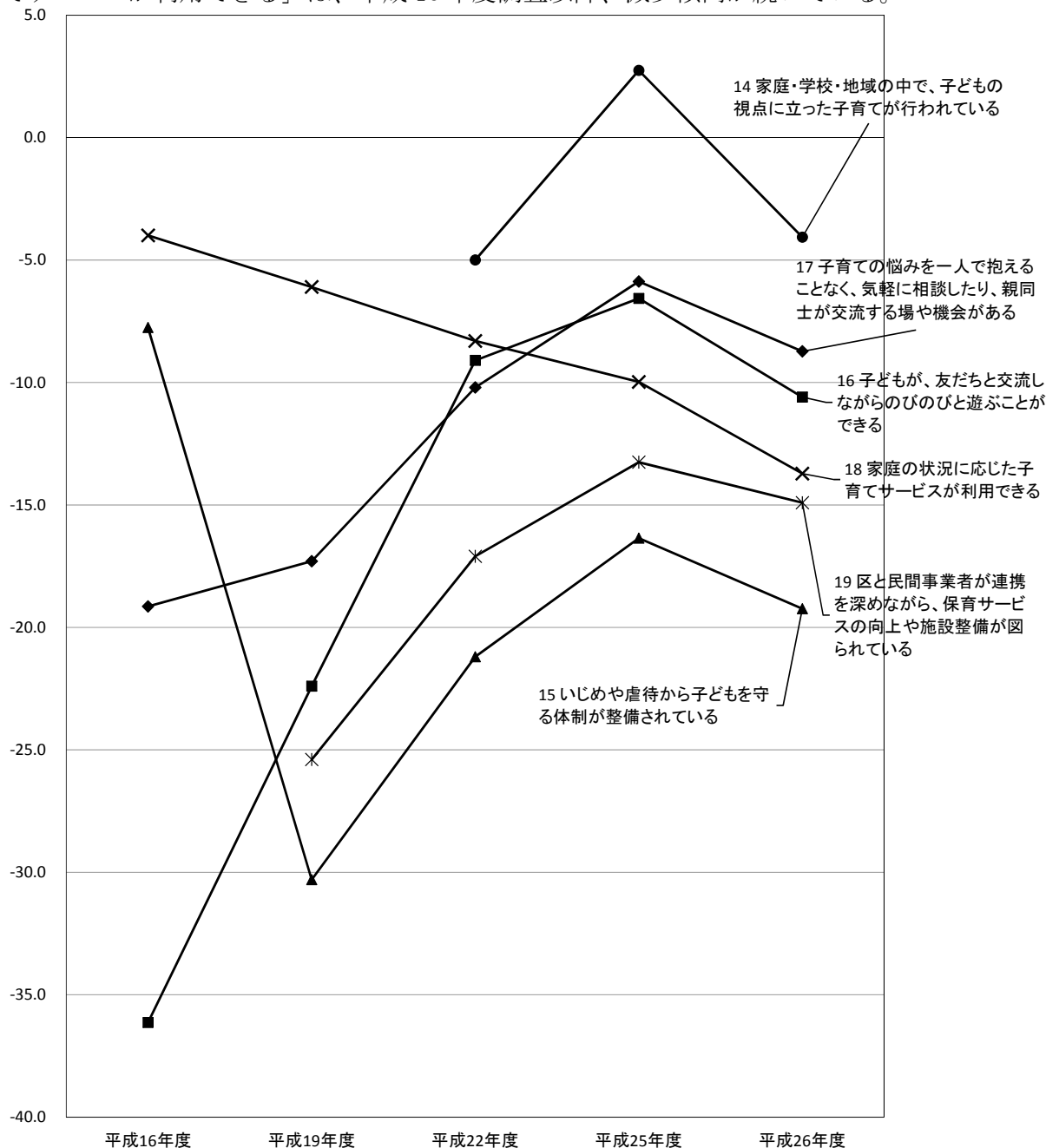
9	16年度：健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
13	16、19、22年度：地域の医療機関やサービスが充実している

(3) 子育て

過去を通じて、14番を除く全ての項目で、「どちらかというと思わない」の割合が高く、満足傾向の低いグループとなっている。

平成25年度の調査結果と比較すると、全ての項目で満足傾向の減少がみられる。

全体的には、不満傾向の割合は改善傾向がみられるものの、「18 家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる」は、平成16年度調査以降、減少傾向が続いている。

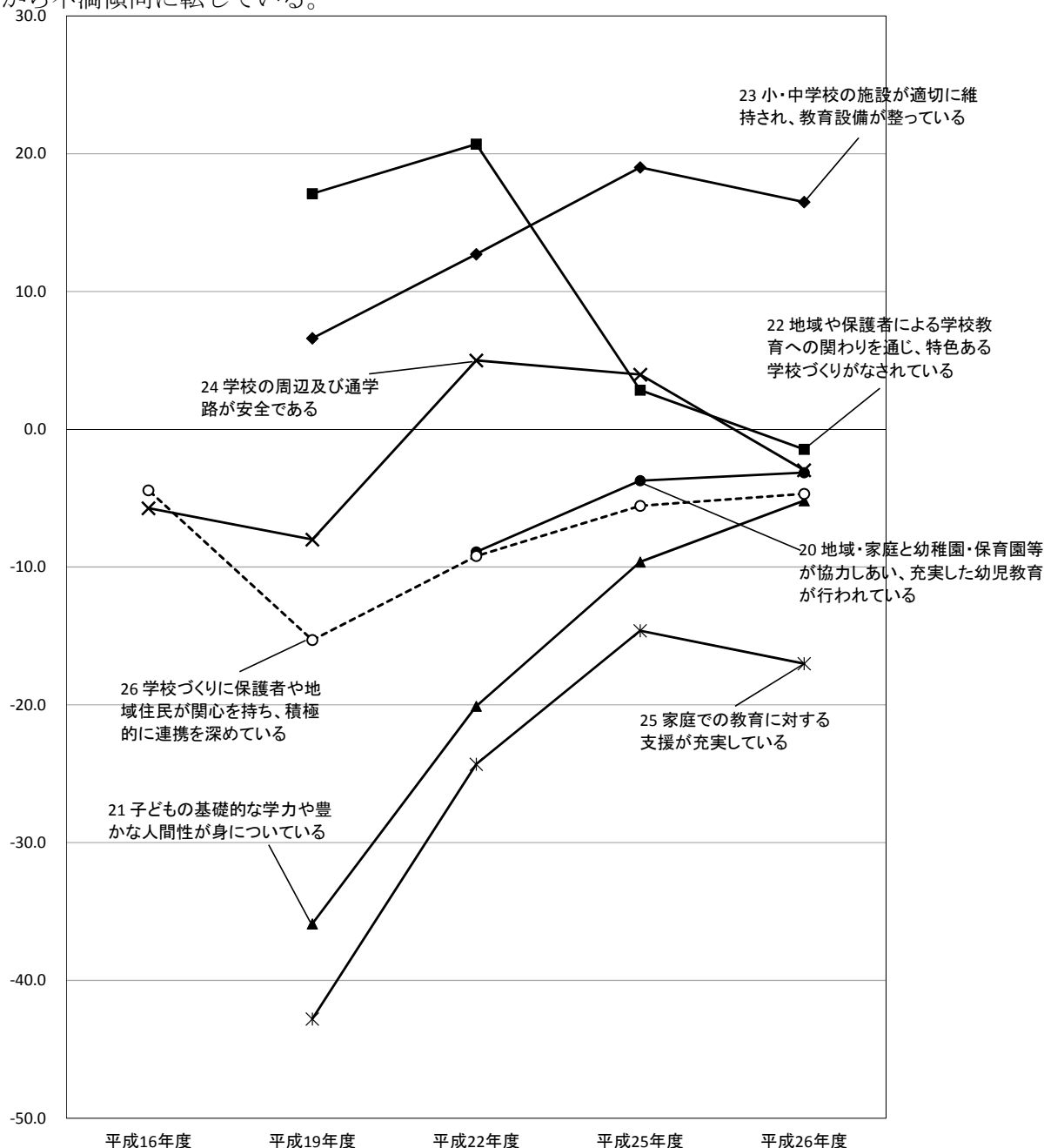


15	16年度：いじめや虐待がなく、家庭や学校、地域の中で子どもの人間性が尊重されている
16	19年度：子どもが友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる 16年度：子どもが、友だちと安心してのびのびと遊ぶことができる
17	16年度：保護者が子育てに関して気軽に相談する場や交流できる機会がある
18	19、22年度：一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる 16年度：一時保育や延長保育など多様な保育サービスが利用できる
19	22年度：地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている 19年度：地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている

(4) 教育

「23 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」は、一貫して満足傾向が高くなっている。

「20 地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている」
 「26 学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている」は、不満傾向に改善がみられる。一方で、「22 地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている」「24 学校の周辺及び通学路が安全である」は満足傾向から不満傾向に転じている。

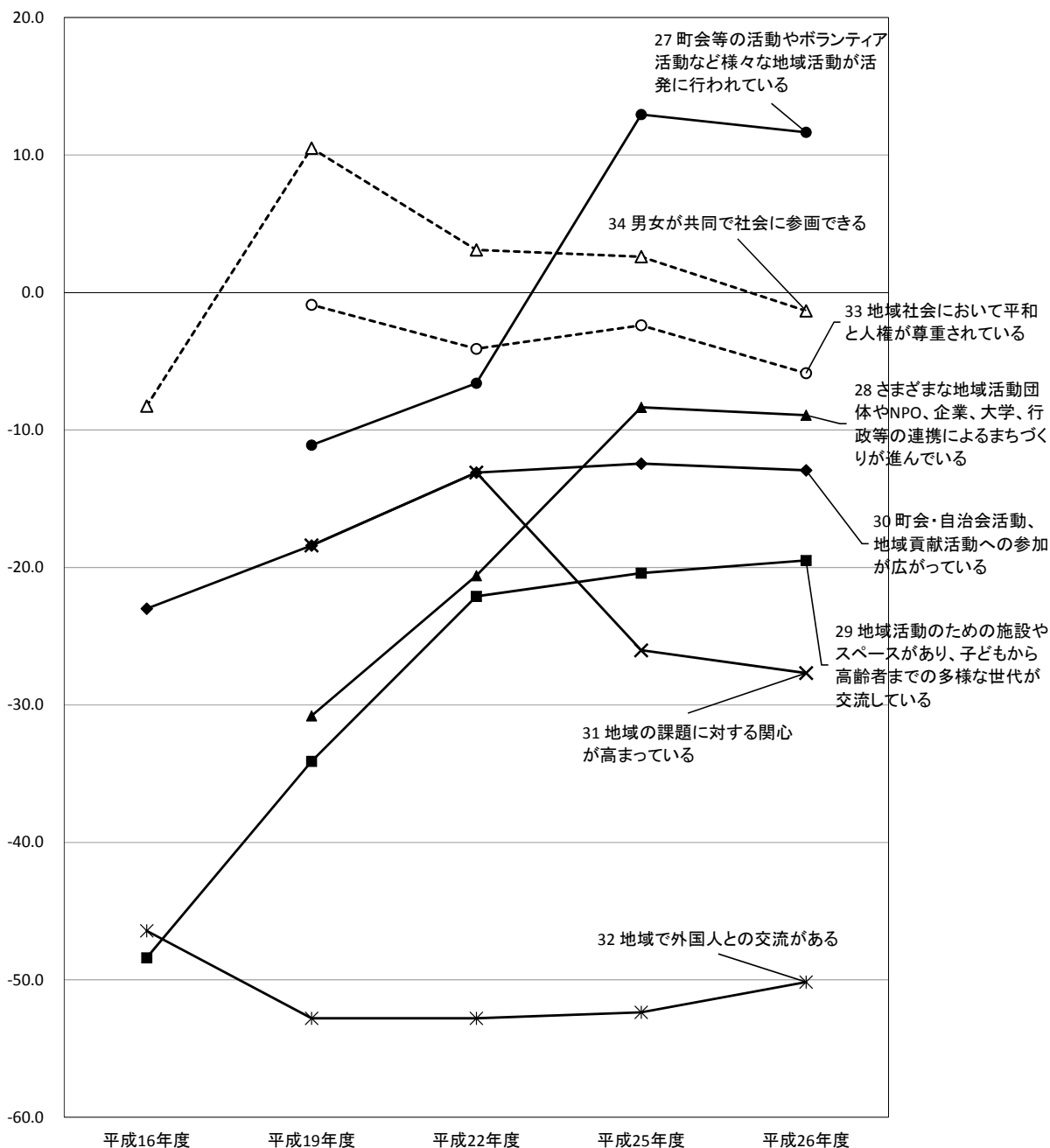


21	19 年度：子どもの基礎的な学力が高まっている
22	22 年度：学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている 19 年度：学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている
24	16 年度：学校施設や通学路が安全である
25	19、22 年度：家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている
26	16 年度：保護者や地域住民と連携した学校づくりが行われている

(5) コミュニティ・協働

「27 町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」は、「どちらかというと思う」の割合が高く、満足傾向となっている。

「29 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」は、不満傾向の割合に改善がみられる。

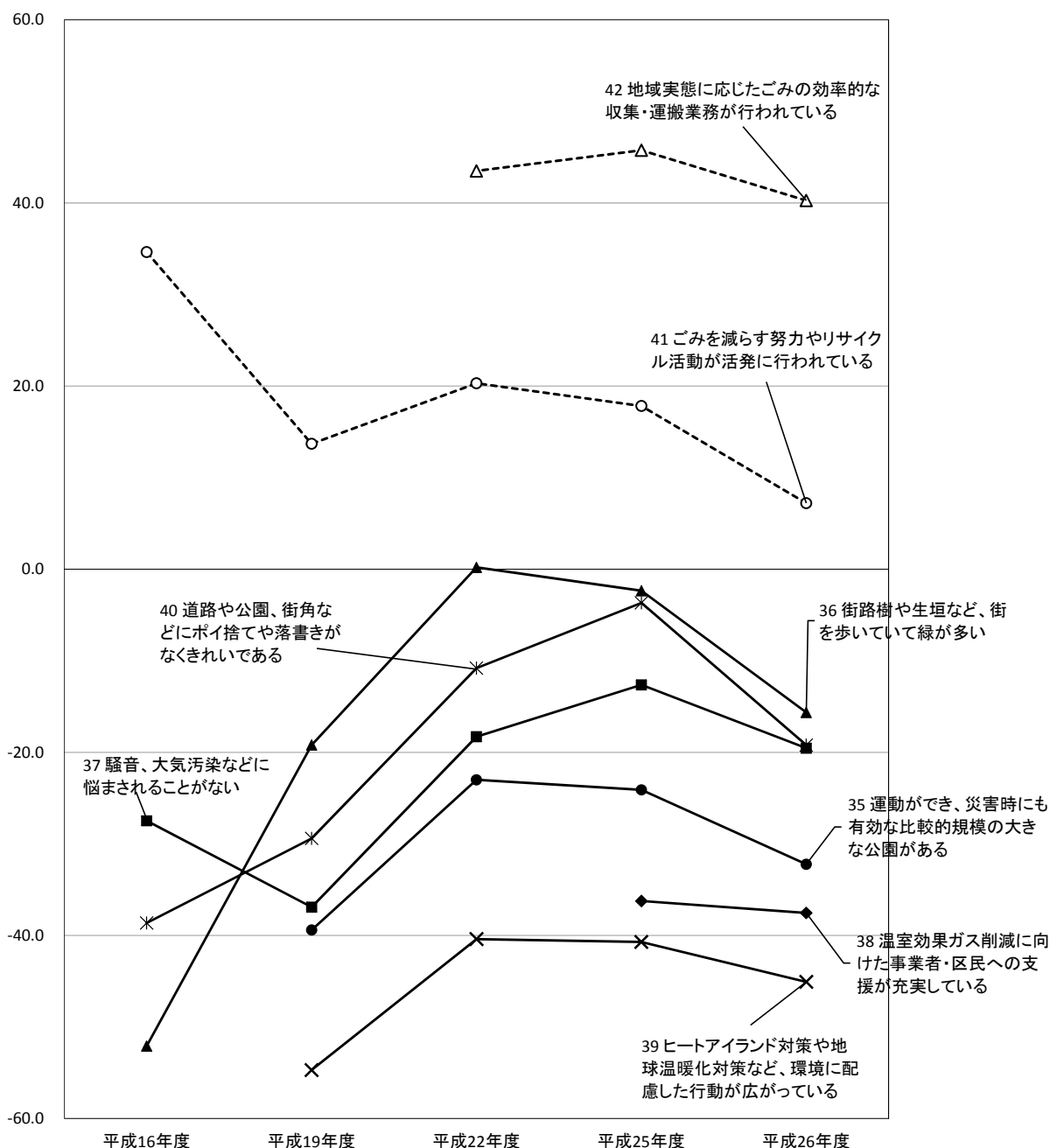


28	19年度：さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
29	16年度：高齢者と若い世代など多様な世代が交流している
30	19、22年度：地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている 16年度：地域における住民主体の活動が活発で、参加する機会も多い
31	19、22年度：地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている
32	16年度：地域で外国人との交流があり、共生している

(6) 環境

「42 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」「41 ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」は、過去を通じて満足傾向の高い項目となっている。

不満傾向となっている項目では、平成25年度までは概ね改善傾向がみられていたが、平成26年度はその傾向がみえにくくなっている。

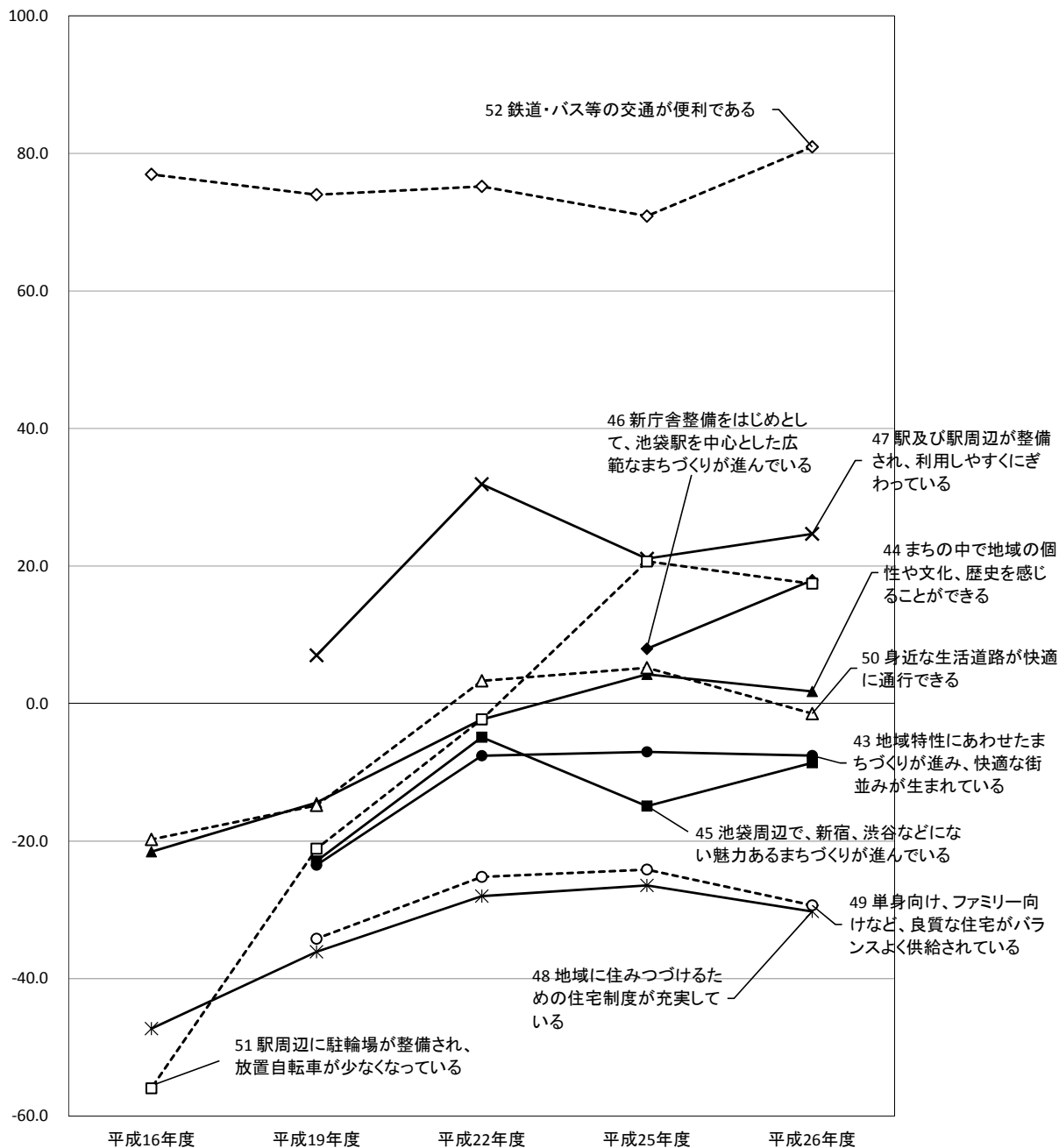


36	16年度：街の中に緑が多く、小鳥や昆虫など自然と触れ合うことができる
40	16年度：道路や公園、街角などにポイ捨て等がなくきれいである

(7) 都市再生

「52 鉄道・バス等の交通が便利である」は全 72 項目のうち最も満足傾向が高い。「47 駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」も、過去を通じて満足傾向の高い項目となっている。

「51 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」は、大きな改善がみられる。

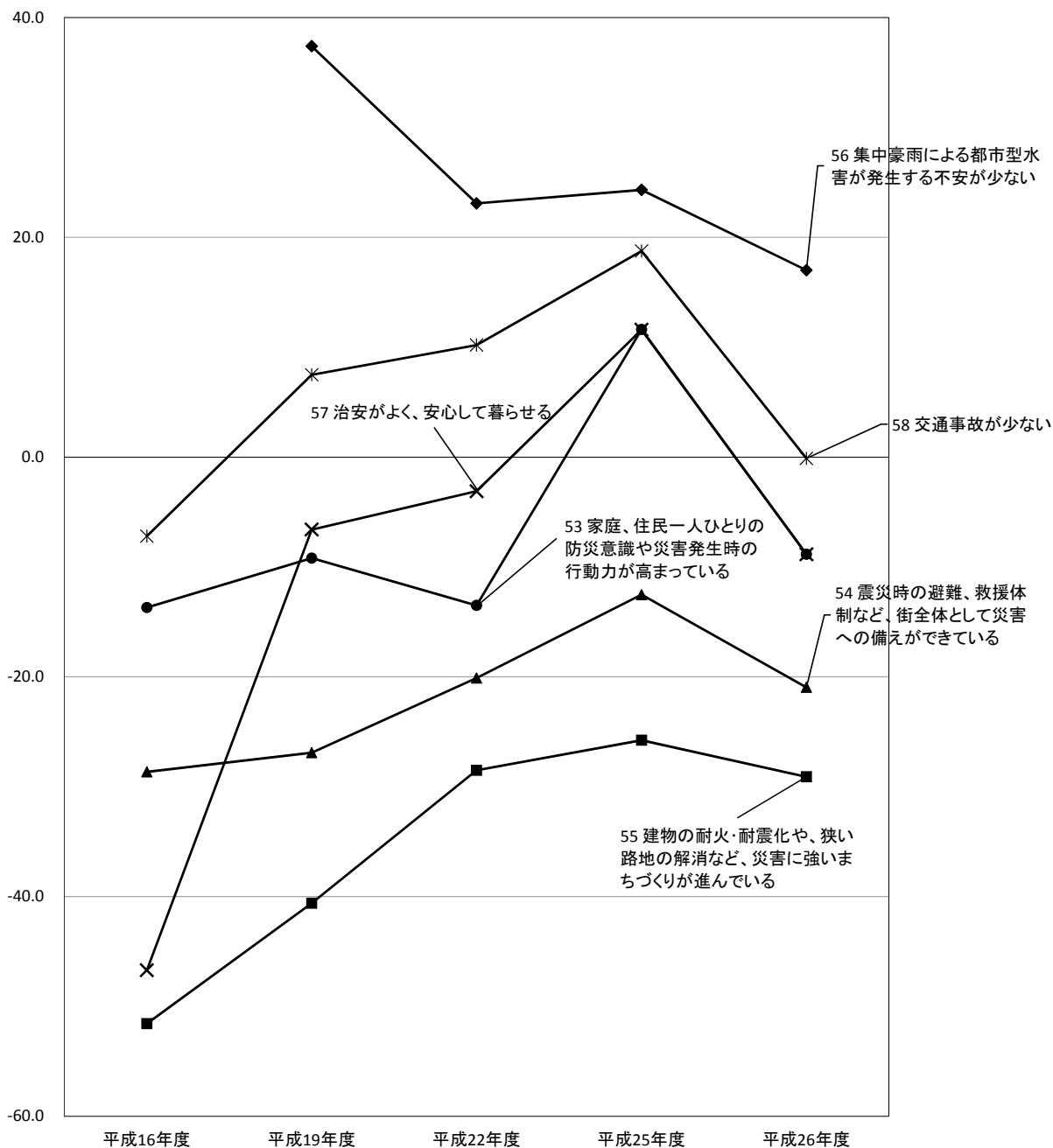


45	19年度：新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる
48	19、22年度：公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みにつけるためのセーフティネットが確保されている 16年度：良質な住宅を適切な負担で購入、賃貸することができる
50	16年度：身近な道路が快適に歩行できる
51	22年度：駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない 16年度：駅周辺に駐輪場が整備され放置自転車がいない

(8) 安全・安心

「53 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」は、平成25年度は「どちらかというと思う」が高くなっているが、平成26年度には「どちらかというと思わない」の方が高くなっている。

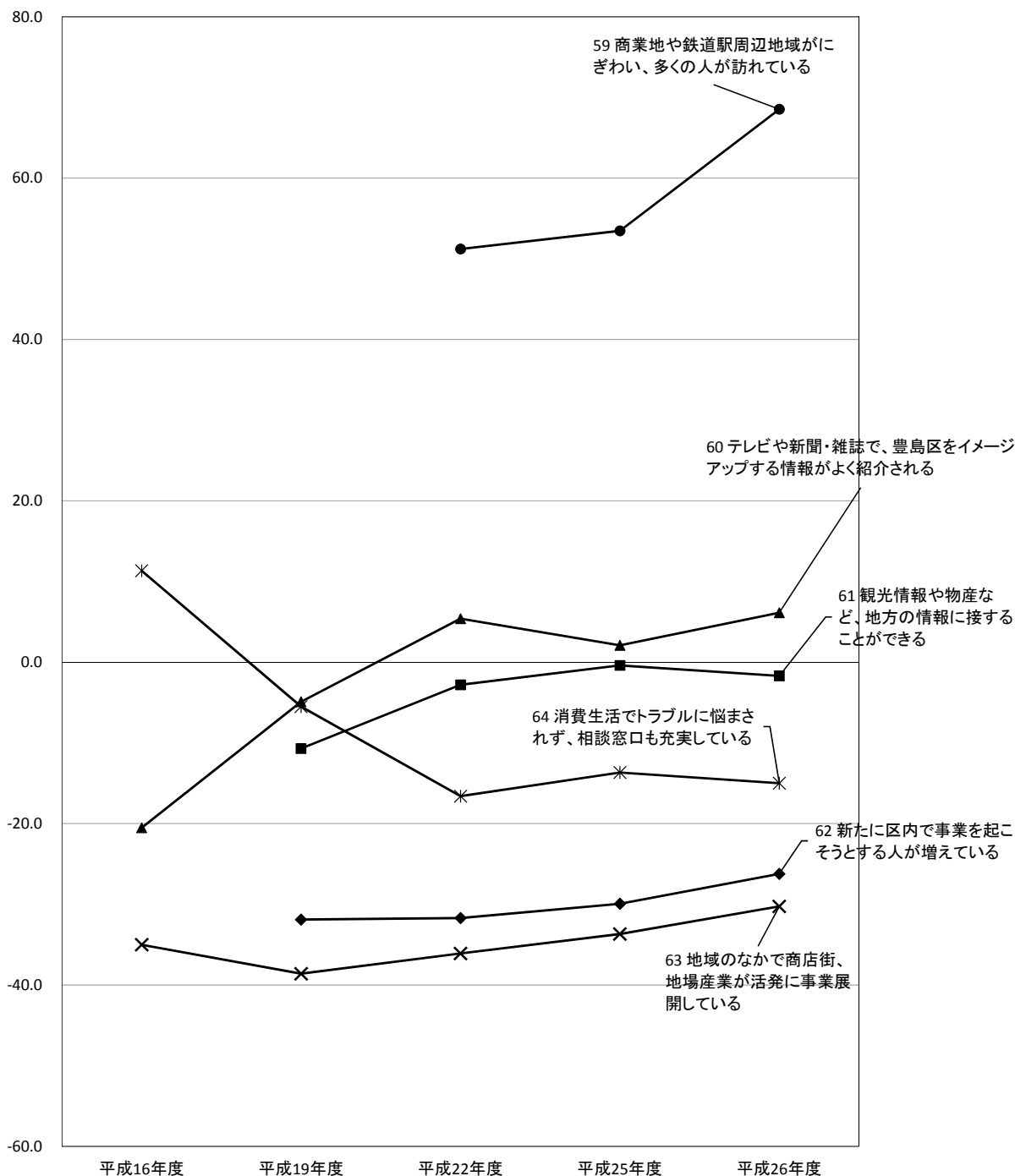
大半の項目において、平成25年度までは改善傾向がみられていたが、平成26年度はその傾向がみえにくくなっている。



53	16年度：各家庭で防災意識や災害発生時の行動力が高い
54	16年度：震災時の避難、救援体制など街全体で備えができています
55	16年度：地震や火災などの災害に強い安全な市街地が形成されている
57	16年度：犯罪の不安がなく、安心して暮らせる

(9) 観光・産業

「59 商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている」は、平成 22 年度調査以降、「どちらかというと思う」が高く、上昇傾向にある。また、「60 テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」は、満足傾向が少しずつ高くなっている。

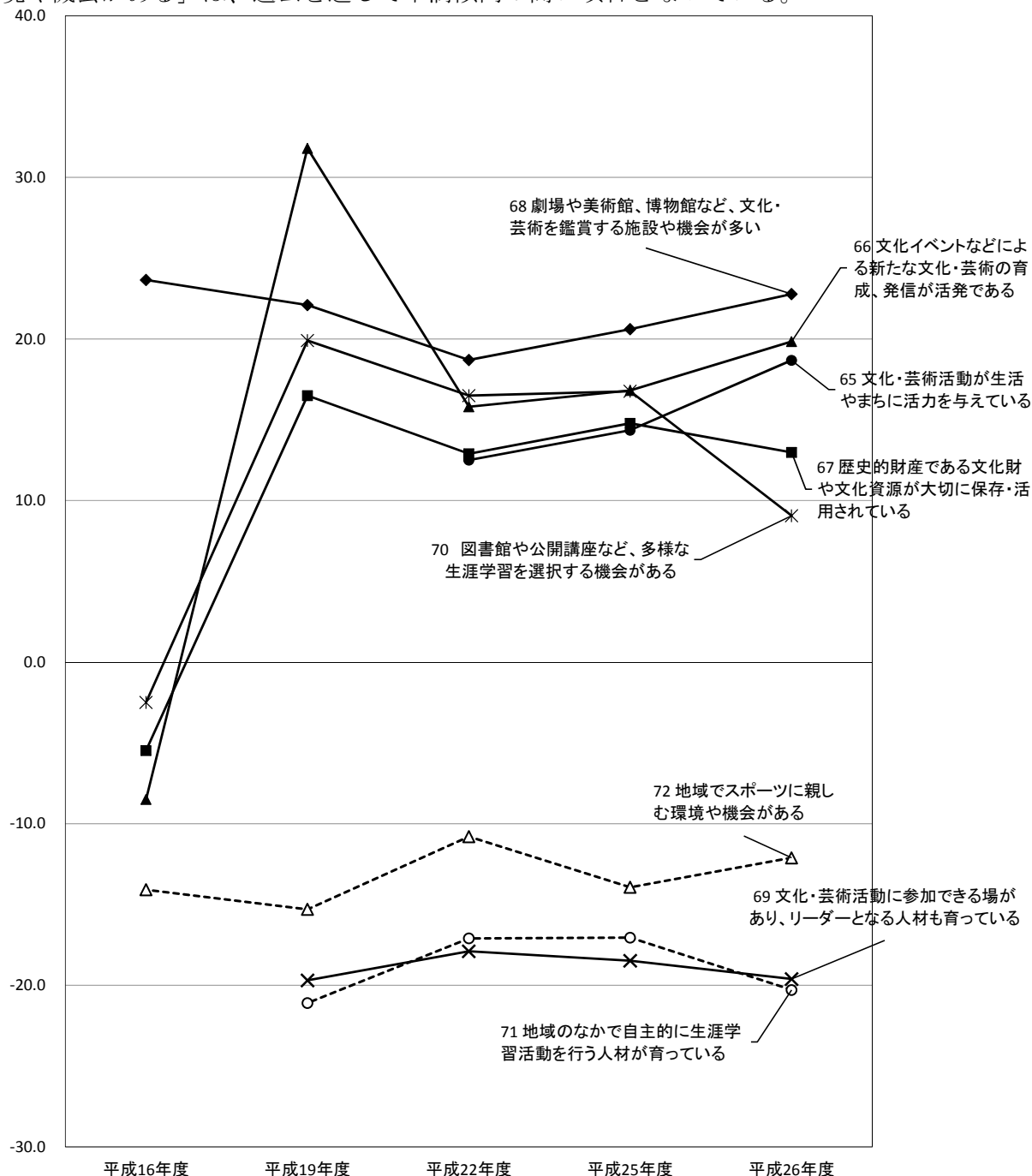


60	16 年度：テレビや新聞などで、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
63	19 年度：印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している 16 年度：中小企業が元気に事業展開している
64	16 年度：消費生活でトラブルに悩まされない

(10) 文化

8項目のうち5項目で満足傾向が高くなっている。

「69 文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている」「71 地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」「72 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」は、過去を通じて不満傾向の高い項目となっている。

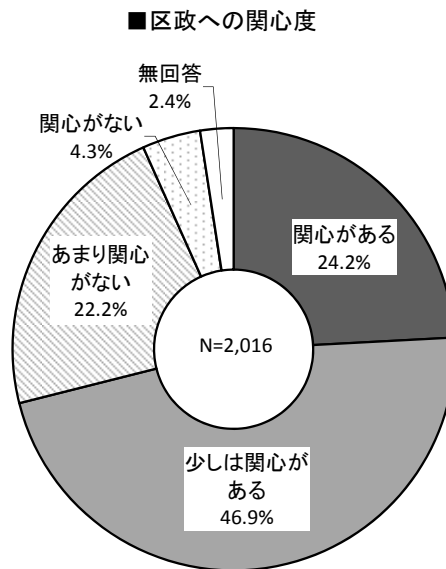


66	19年度：演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている 16年度：地域での文化・芸術活動が活発である
67	19年度：歴史的文化財や文化資源が大切に保存・活用されている 16年度：歴史的文化財や文化資源が保存・活用されている
68	19年度：劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い 16年度：芸術・文化に親しむことのできる機会が多様である
70	16年度：興味や関心に応じた多様な生涯学習の機会がある

第3章 区政への参加について

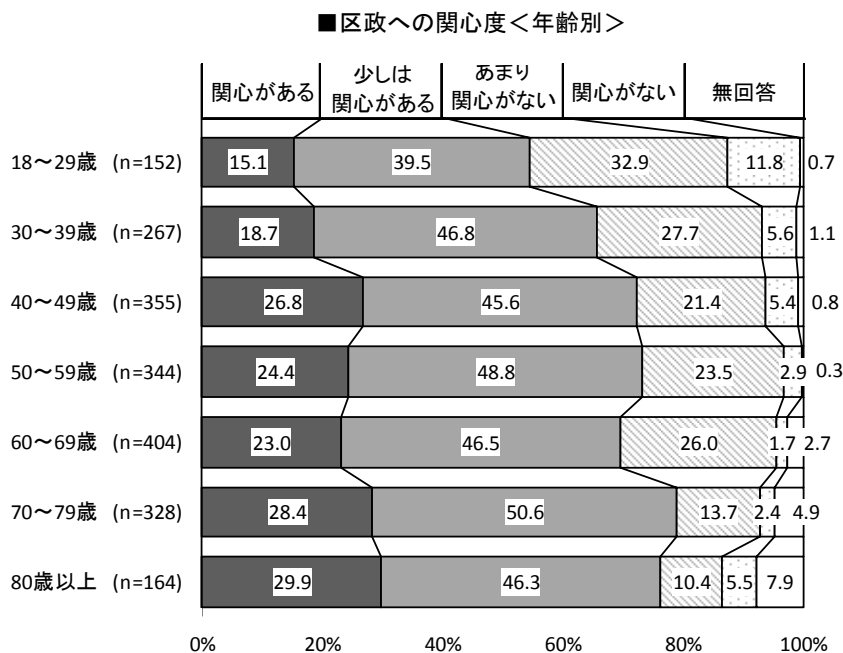
1. 区政への関心度：問 17

区政への関心を聞いたところ、「少しは関心がある」が46.9%で最も高くなっている。“関心あり”（「関心がある」と「少しは関心がある」の合計）は約7割、“関心なし”（「関心がない」と「あまり関心がない」の合計）は2割台半ばとなっている。



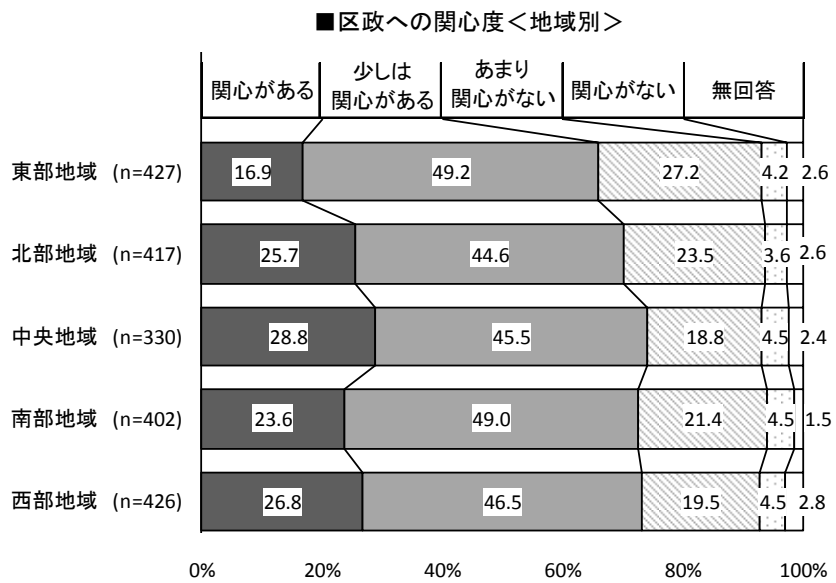
【年齢別比較】

“関心あり”は、18～29歳では5割台半ばとなっており、他の年代と比べて低い。



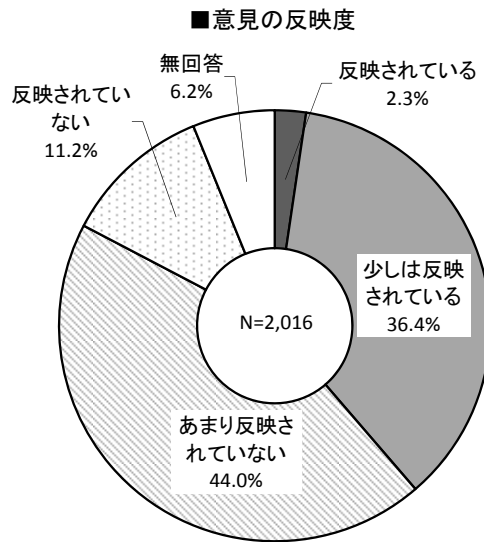
【地域別比較】

“関心あり”は中央地域と西部地域で高く、7割台半ばとなっている。



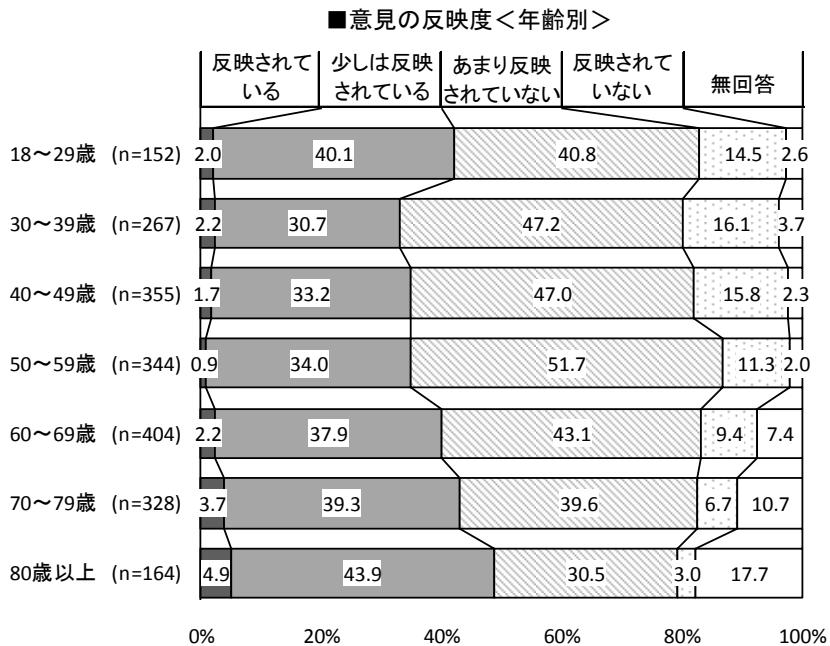
2. 区政への区民の意見の反映度：問 18

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されているか聞いたところ、「あまり反映されていない」が44.0%と最も高くなっている。“反映されている”（「反映されている」と「少しは反映されている」の合計）は約4割、“反映されていない”（「反映されていない」と「あまり反映されていない」の合計）は5割台半ばとなっている。



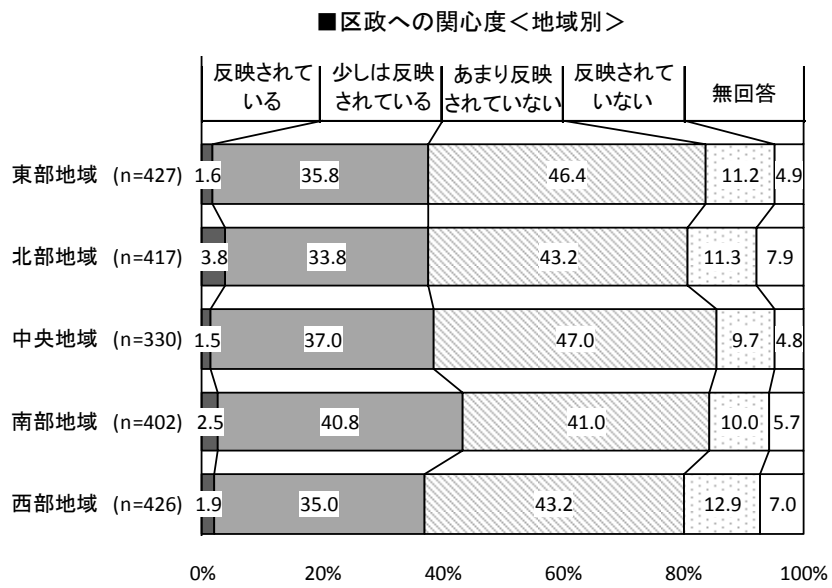
【年齢別比較】

30～39歳、40～49歳、50～59歳では、“反映されていない”が6割強となっている。



【地域別比較】

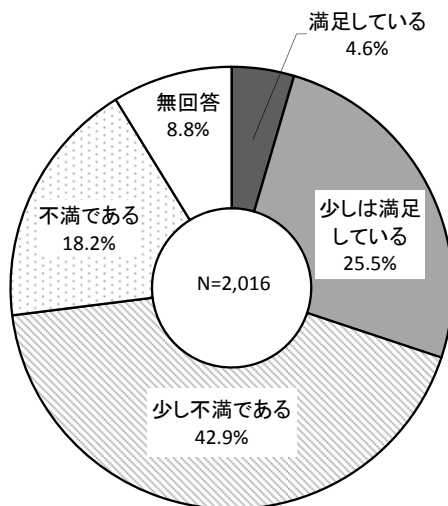
“反映されている”は、南部地域が最も高く、4割強となっている。



3. 区に意見を述べる機会や手段等の満足度：問 19

区に意見を述べる機会や手段、方法の満足度を聞いたところ、「少し不満である」が42.9%と最も高くなっている。「満足」（「満足している」と「少しは満足している」の合計）は約3割、「不満」（「不満である」と「少し不満である」の合計）は約6割となっている。

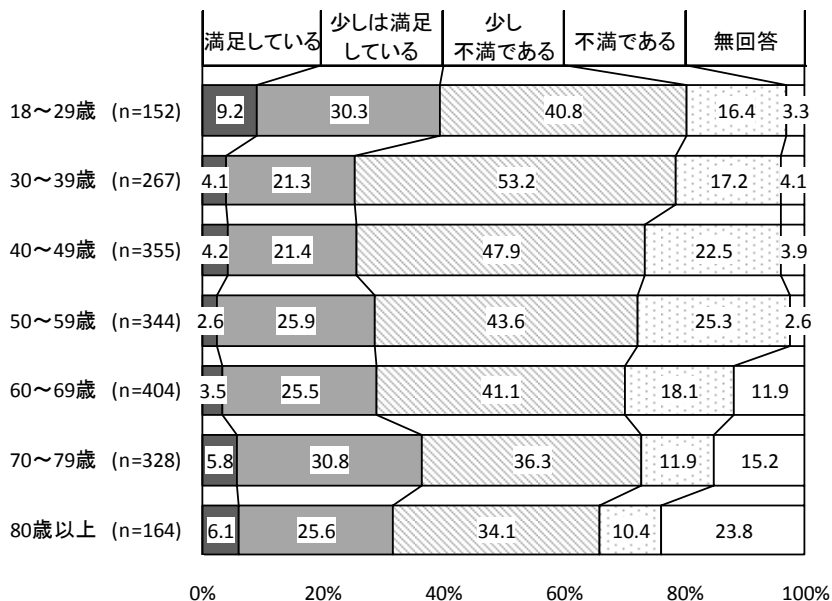
■区に意見を述べる機会等の満足度



【年齢別比較】

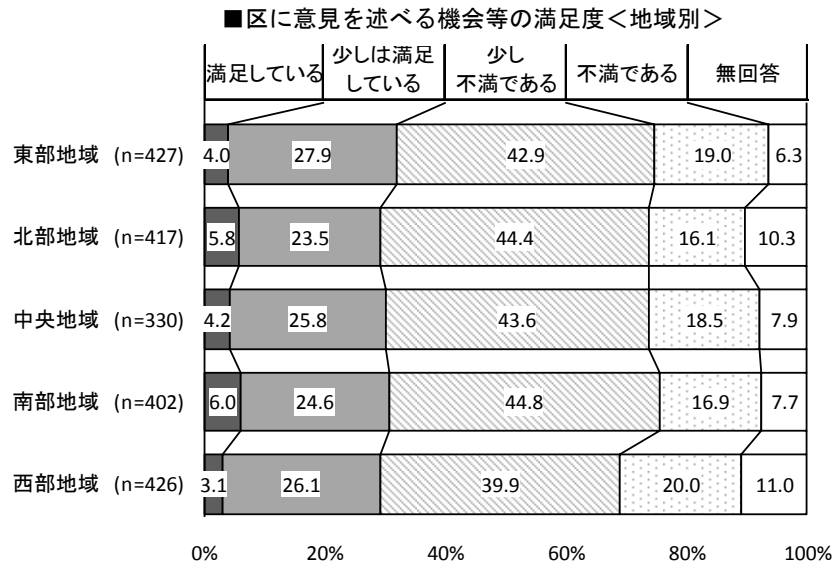
“満足”は18～29歳が約4割で最も高くなっている。30～39歳、40～49歳、50～59歳では、“不満”が約7割となっている。

■区に意見を述べる機会等の満足度＜年齢別＞



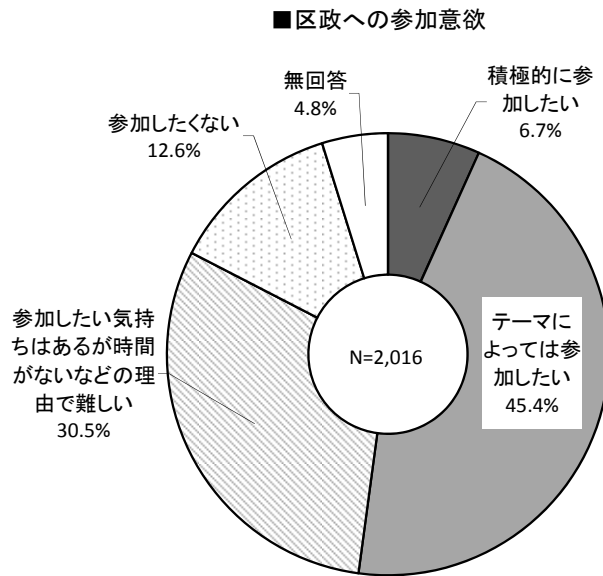
【地域別比較】

全ての地域で“満足”が約3割、“不満”が約6割となっており、地域別に大きな差異はみられない。



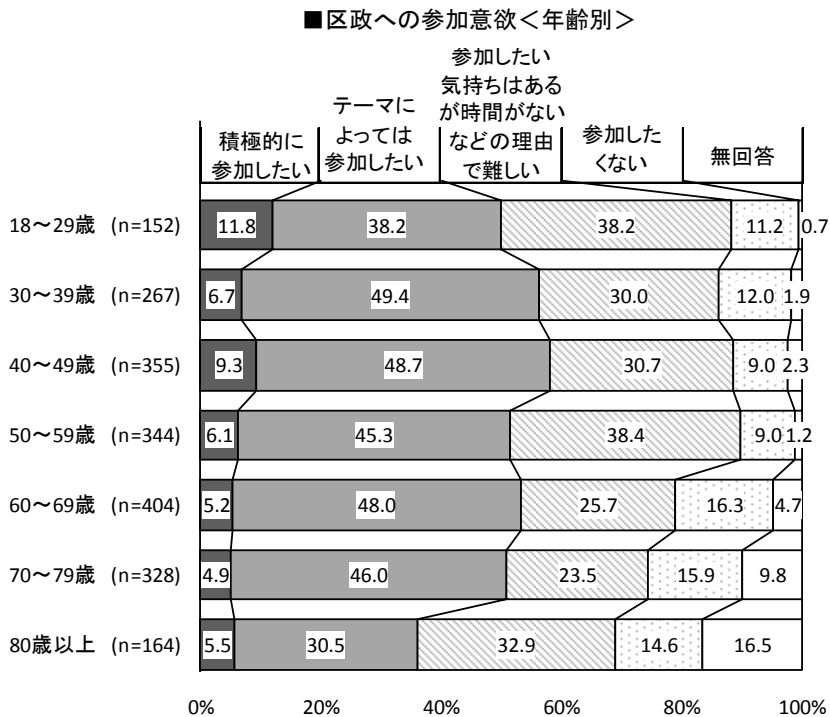
4. 区政への参加意欲：問 20

区政に意見を反映させる機会への参加意欲を聞いたところ、「テーマによっては参加したい」が 45.4%と最も高く、次いで「参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい」が 30.5%で続いている。“参加したい”（「積極的に参加したい」と「テーマによっては参加したい」の合計）は過半数を占めており、「参加したくない」は 1 割強となっている。



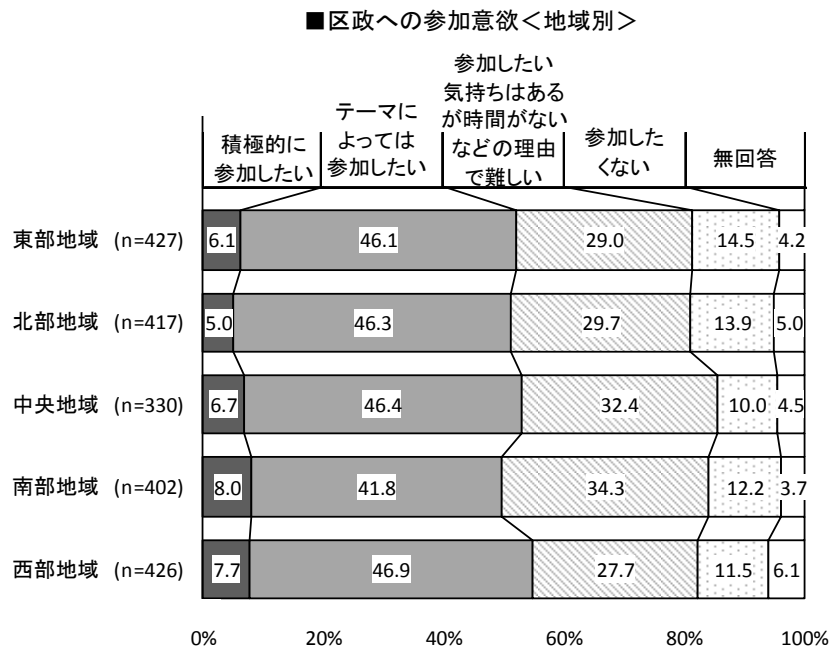
【年齢別比較】

“参加したい”は、40～49歳が約6割と最も高く、次いで30～39歳が5割台半ばとなっている。



【地域別比較】

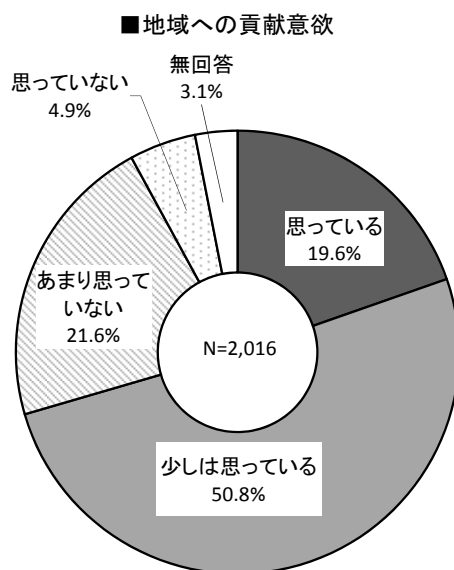
“参加したい”は、西部地域が最も高く5割台半ばとなっている。
 “参加したくない”は、南部地域が最も高く4割台半ばとなっている。



第4章 地域との関わりについて

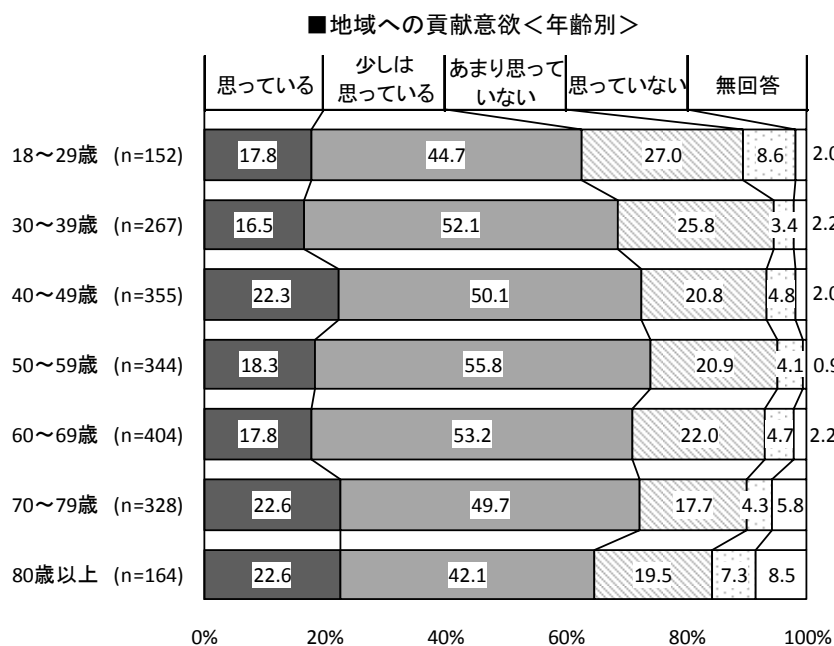
1. 地域への貢献意欲：問 21

地域の一員として、地域のために役立ちたいと思っているか聞いたところ、「少しは思っている」が50.8%と最も高く、「思っている」(19.6%)と合わせた“地域のために役立ちたい”は約7割となっている。「あまり思っていない」は21.6%、「思っていない」は4.9%となっている。



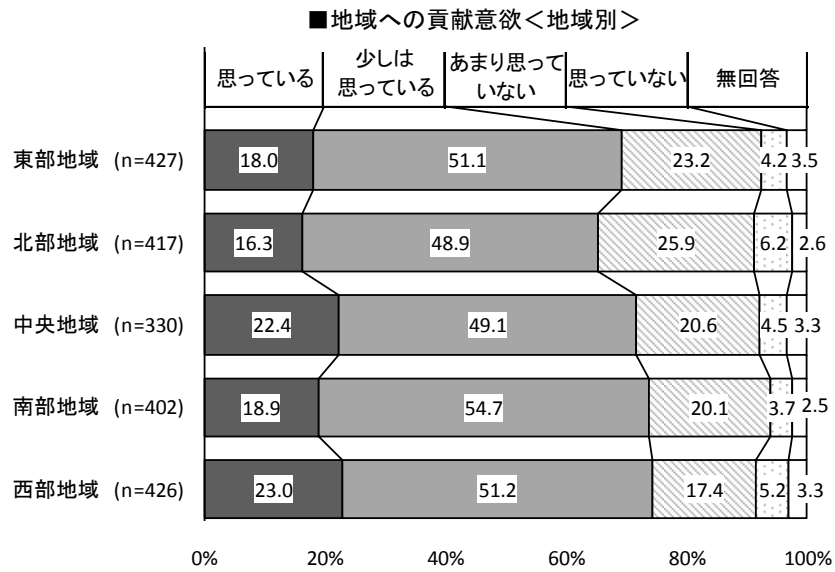
【年齢別比較】

40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳では、“地域のために役立ちたい”が7割を超えている。



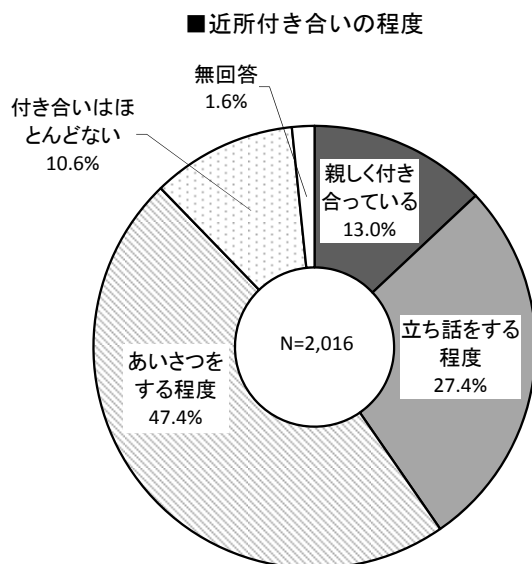
【地域別比較】

中央地域、南部地域、西部地域では、“地域のために役立ちたい”が7割を超えている。



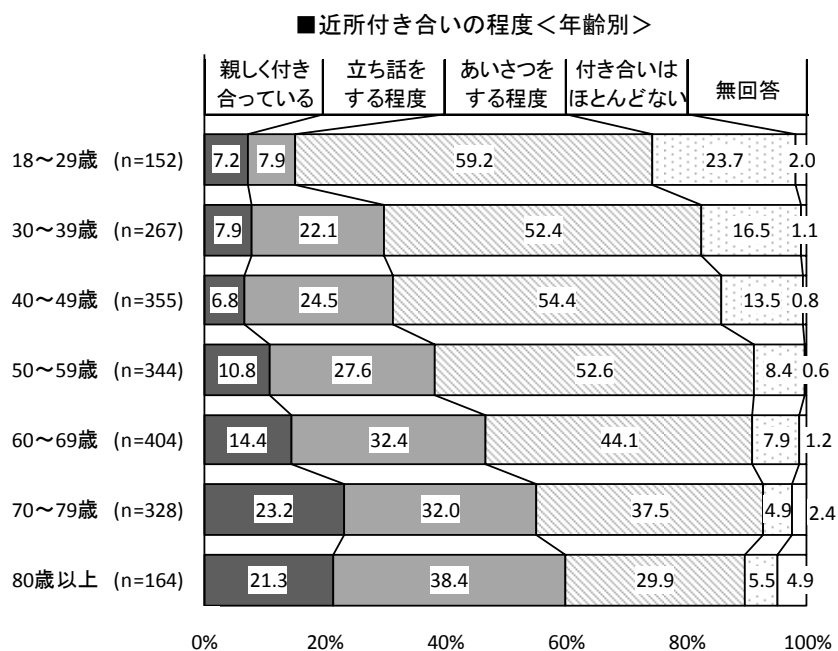
2. 近所付き合いの程度：問 22

ふだんの近所付き合いの程度を聞いたところ、「あいさつをする程度」が 47.4%と最も高く、「立ち話をする程度」(27.4%)と合わせた“立ち話やあいさつをする程度”が7割台半ばとなっている。「親しく付き合っている」は13.0%、「付き合いはほとんどない」は10.6%となっている。



【年齢別比較】

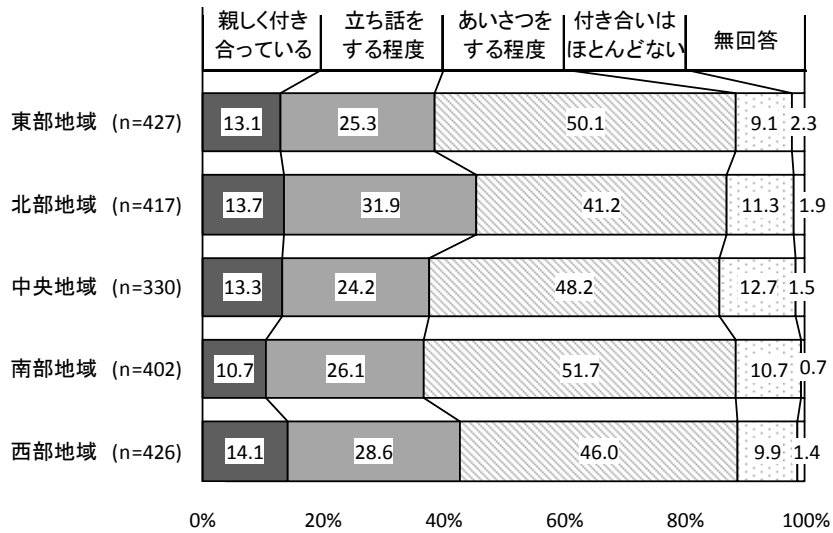
年齢が上がるほど、近所付き合いの程度が深くなる傾向がみられる。「親しく付き合っている」は、40代以下では1割未満であるのに対し、70代以上になると2割を超えている。



【地域別比較】

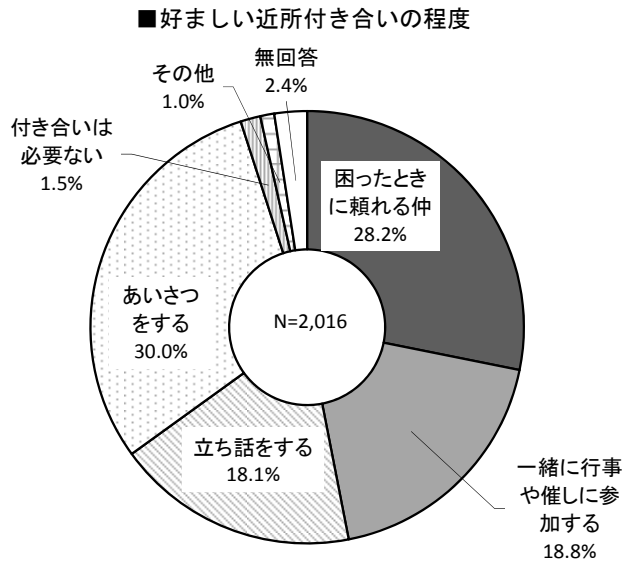
「親しく付き合っている」は西部地域が最も高く、14.1%となっている。
 「立ち話をする程度」は北部地域が最も高く、31.9%となっている。

■近所付き合いの程度<地域別>



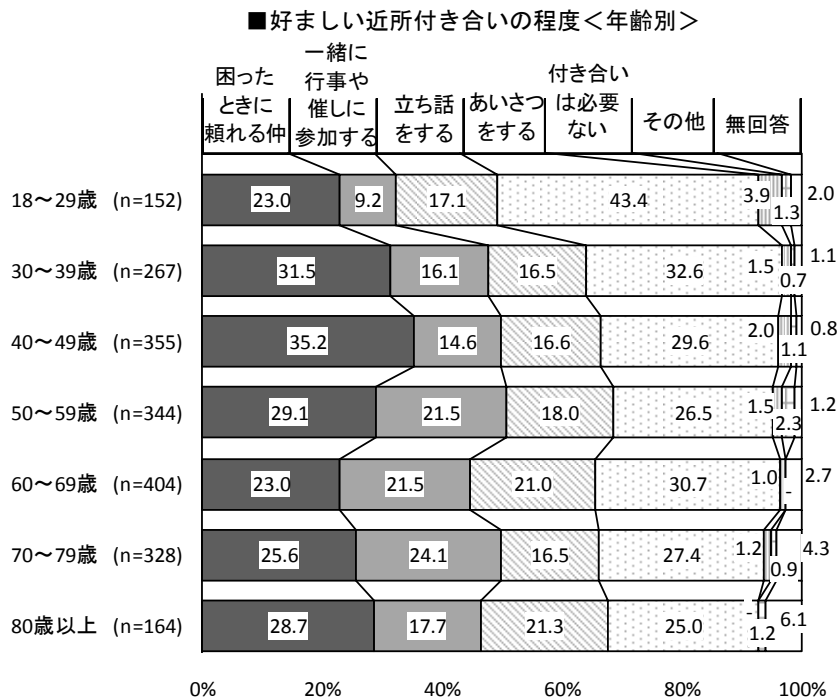
3. 好ましい近所付き合いの程度：問 23

好ましい近所付き合いの程度を聞いたところ、「あいさつをする」が最も高く、30.0%となっている。次いで「困ったときに頼れる仲」(28.2%)、「一緒に行事や催しに参加する」(18.8%)、「立ち話をする」(18.1%)の順で続いている。「付き合いは必要ない」は1.5%となっている。



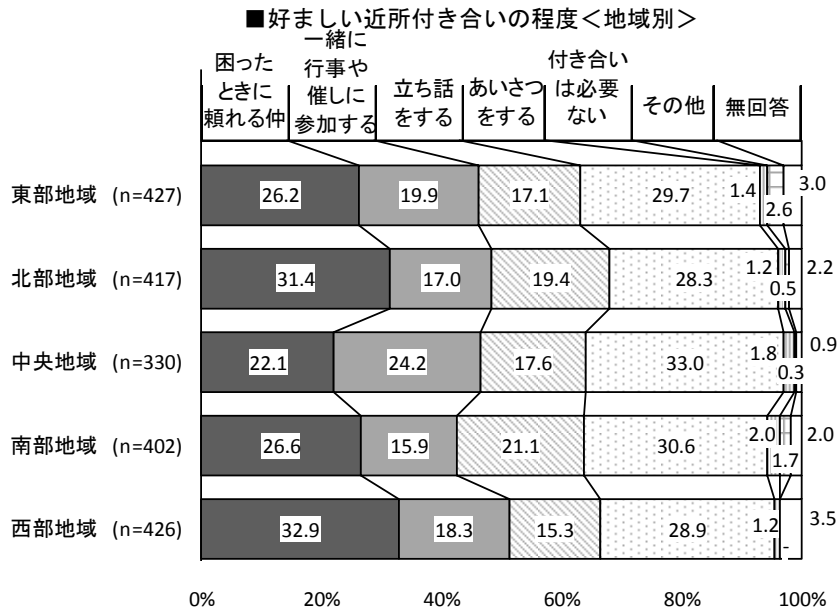
【年齢別比較】

40～49歳、50～59歳、80歳以上では、「困ったときに頼れる仲」が最も高く、それぞれ35.2%、29.1%、28.7%となっている。



【地域別比較】

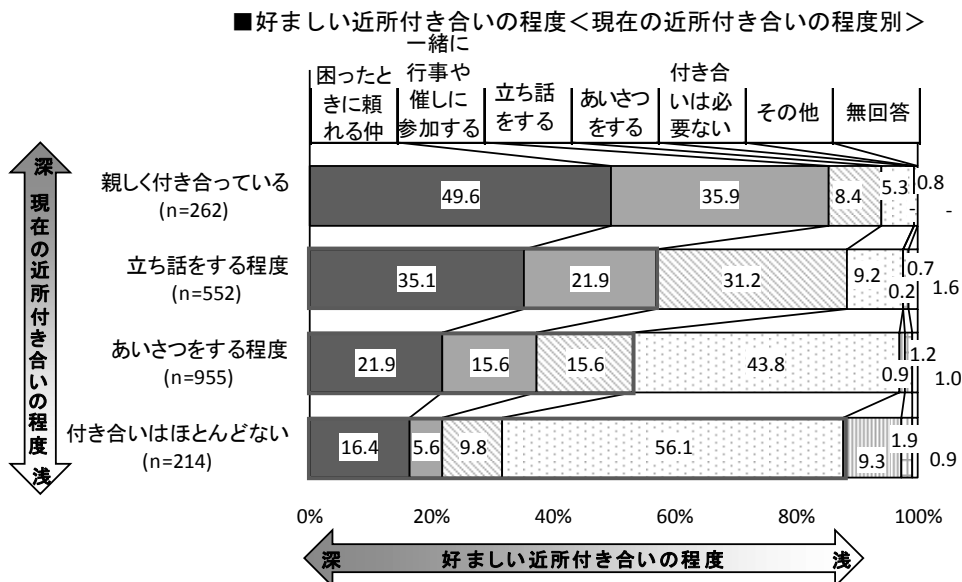
北部地域、西部地域では、「困ったときに頼れる仲」が最も高く、それぞれ31.4%、32.9%となっている。東部地域、中央地域、南部地域では、「あいさつをする」が最も高く、それぞれ29.7%、33.0%、30.6%となっている。



【現在の近所付き合いの程度別比較】

現在の近所付き合いの程度別にみると、親しく付き合っているでは、「困ったときに頼れる仲」が49.6%、「一緒に行事や催しに参加する」が35.9%と、現在の近所付き合いの程度と同程度の付き合いを今後も続けることが好ましいとする人が8割台半ばとなっている。

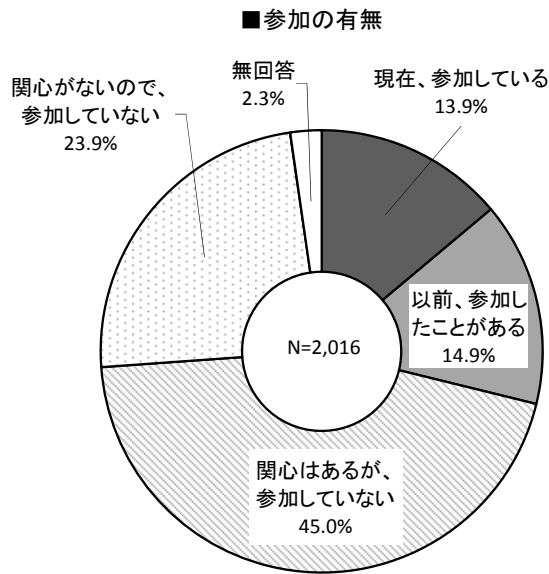
好ましい近所付き合いの程度として、現在の近所付き合いの程度よりも親しい方向へ深めめるのが好ましいとする人の割合は、立ち話をする程度で約6割（「困ったときに頼れる仲」と「一緒に行事や催しに参加する」の合計）、あいさつをする程度で約5割（「困ったときに頼れる仲」と「一緒に行事や催しに参加する」と「立ち話をする」の合計）、付き合いはほとんどないで8割台半ば（「困ったときに頼れる仲」と「一緒に行事や催しに参加する」と「立ち話をする」と「あいさつをする」の合計）となっている。



4. 地域活動への参加

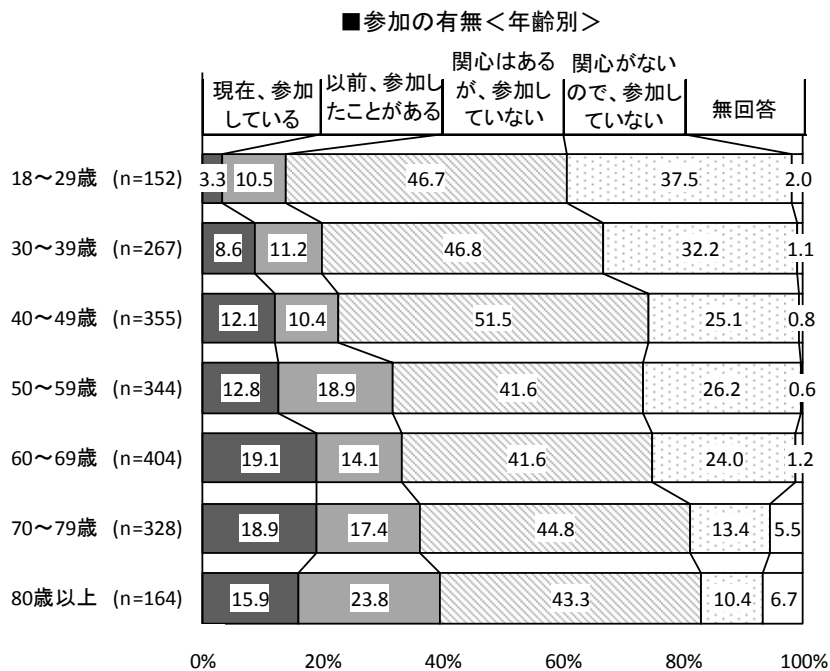
(1) 参加の有無：問 24

居住地の町会や自治会などの地域活動への参加の有無を聞いたところ、「関心はあるが、参加していない」が45.0%と最も高く、次いで「関心がないので、参加していない」(23.9%)が続いている。「現在、参加している」「以前、参加したことがある」は、それぞれ13.9%、14.9%となっている。



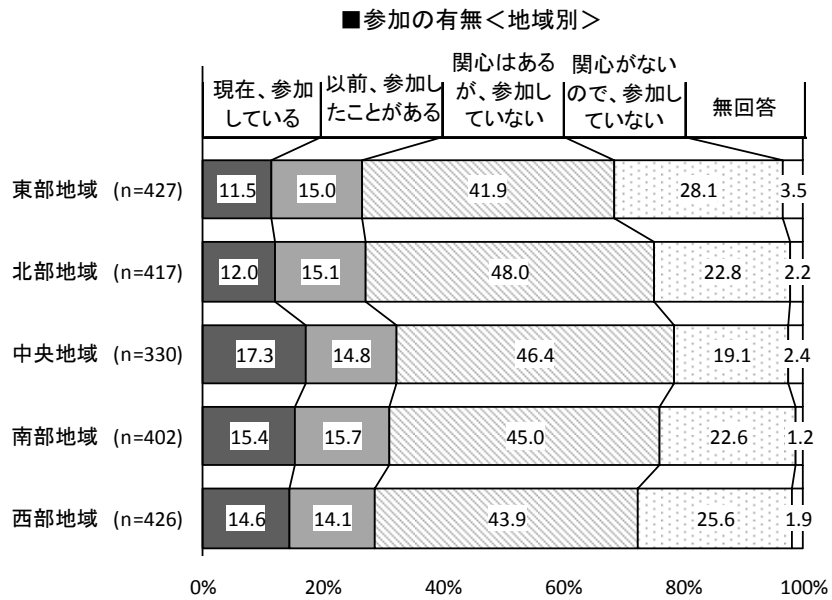
【年齢別比較】

年齢が上がるにつれ、“参加経験あり”（「現在、参加している」と「以前、参加したことがある」の合計）の割合が高くなる傾向がみられる。40～49歳では、「関心はあるが、参加していない」が約5割となっている。



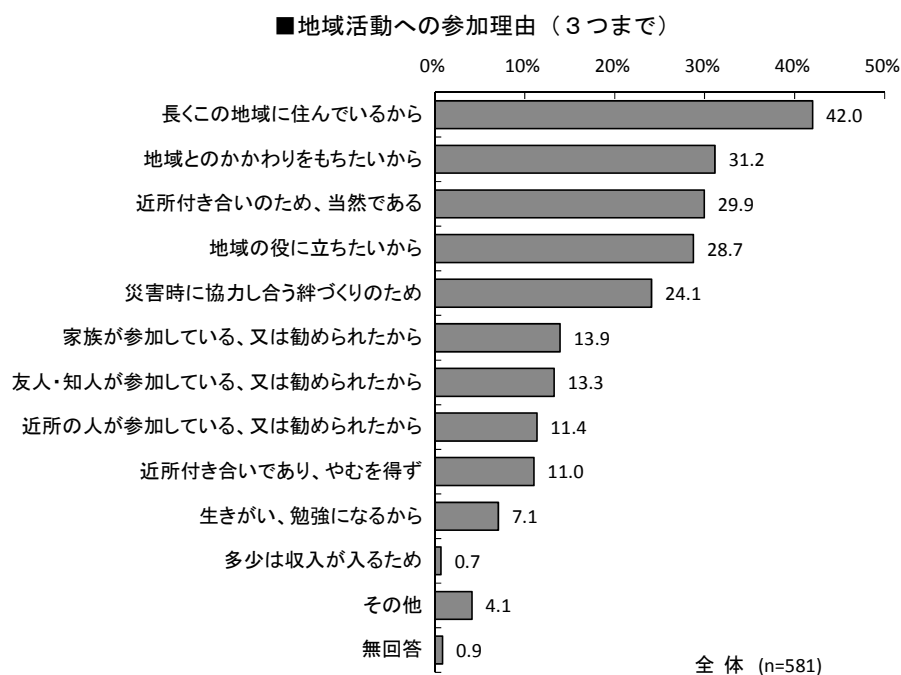
【地域別比較】

中央地域、南部地域では、“参加経験あり”が3割を超えている。東部地域では、「関心がないので、参加していない」が28.1%と、やや高くなっている。



(2) 参加理由：問 24-1

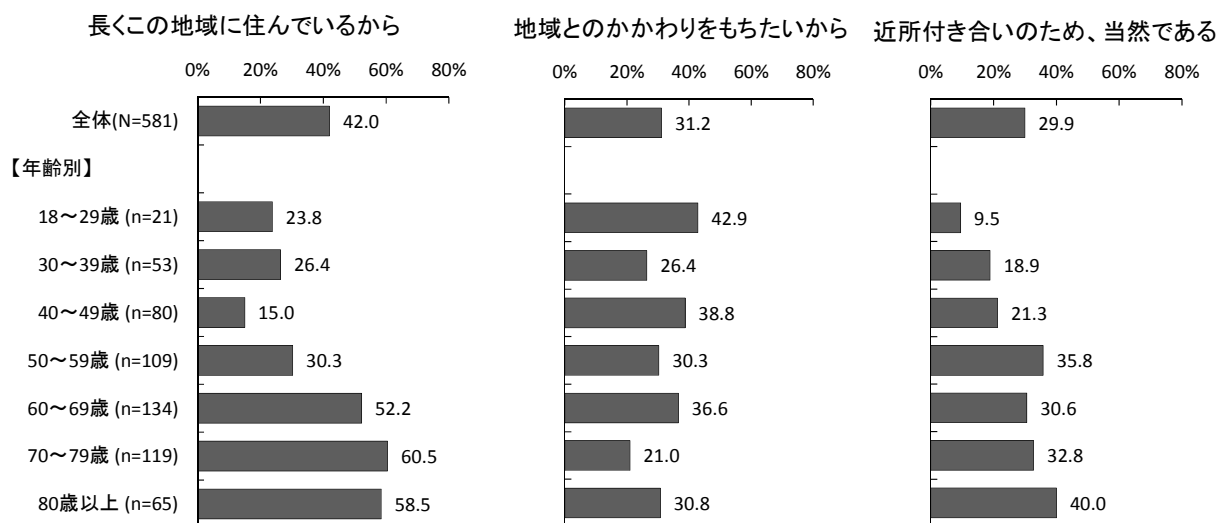
地域活動の“参加経験あり”と回答した人に、参加理由を聞いたところ、「長くこの地域に住んでいるから」が 42.0%と最も高く、次いで「地域とのかかわりをもちたいから」(31.2%)、「近所付き合いのため、当然である」(29.9%)、「地域の役に立ちたいから」(28.7%)が続いている。

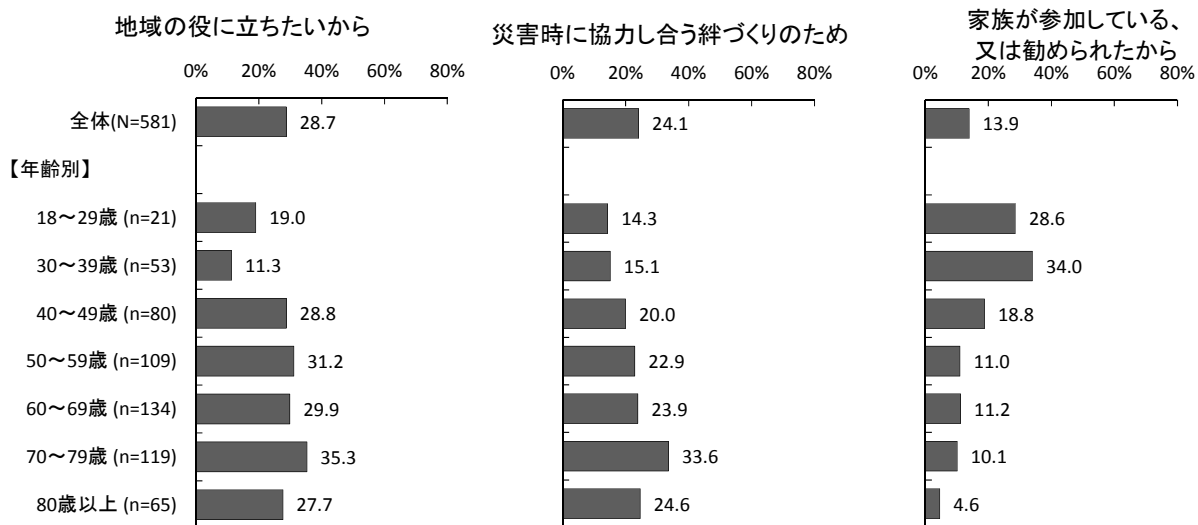


【年齢別比較】

「長くこの地域に住んでいるから」を年齢別にみると、60代以上では半数を超えている。

■地域活動への参加理由＜年齢別：上位6項目＞

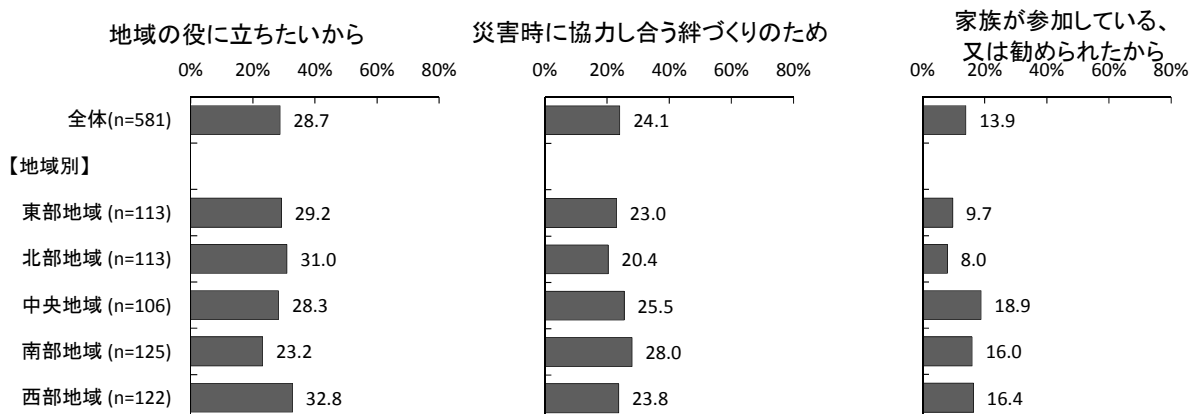
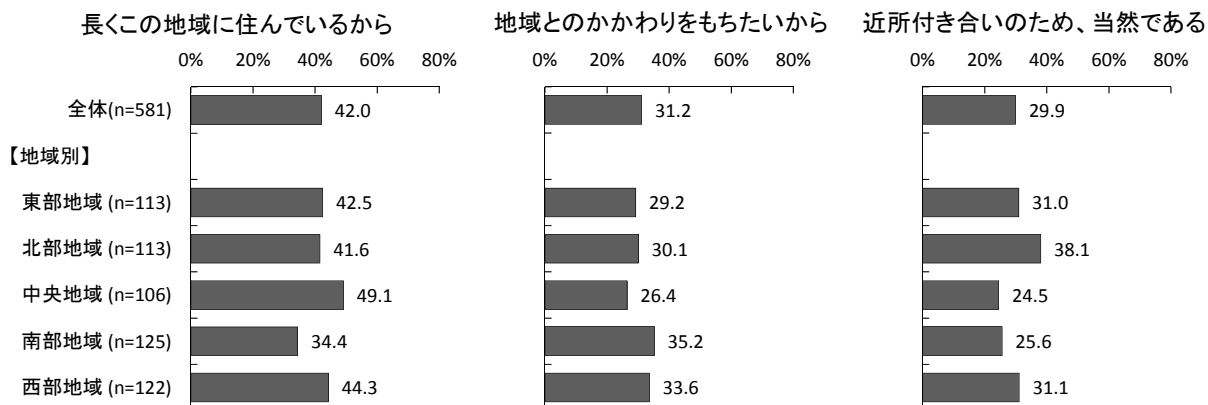




【地域別比較】

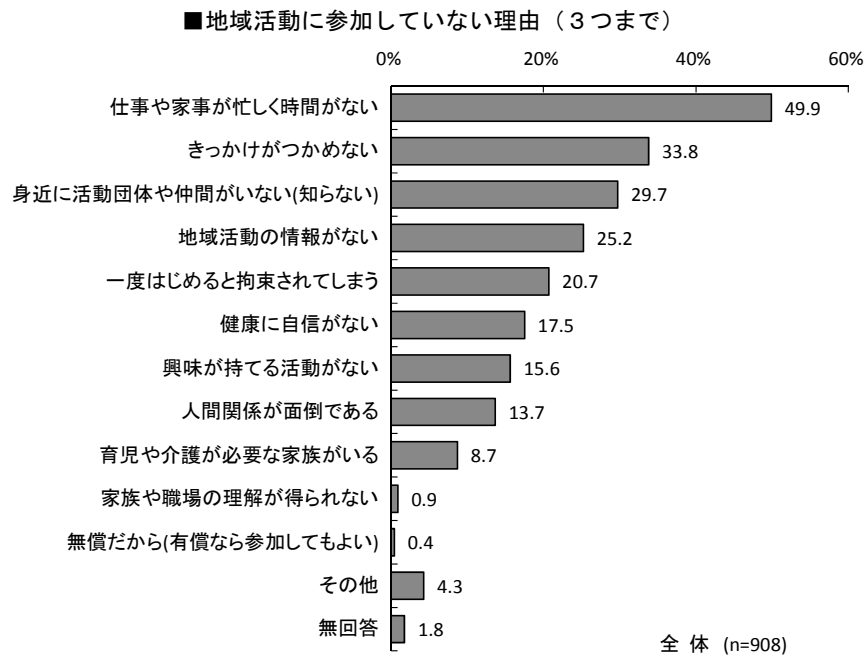
「長くこの地域に住んでいるから」は、中央地域が最も高く、49.1%となっている。
「近所付き合いのため、当然である」は、北部地域が最も高く、38.1%となっている。

■地域活動への参加理由<地域別：上位6項目>



(3) 参加していない理由：問 24-2

地域活動に「関心はあるが、参加していない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「仕事や家事が忙しく時間がない」が49.9%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(33.8%)、「身近に活動団体や仲間がない(知らない)」(29.7%)が続いている。



【年齢別比較】

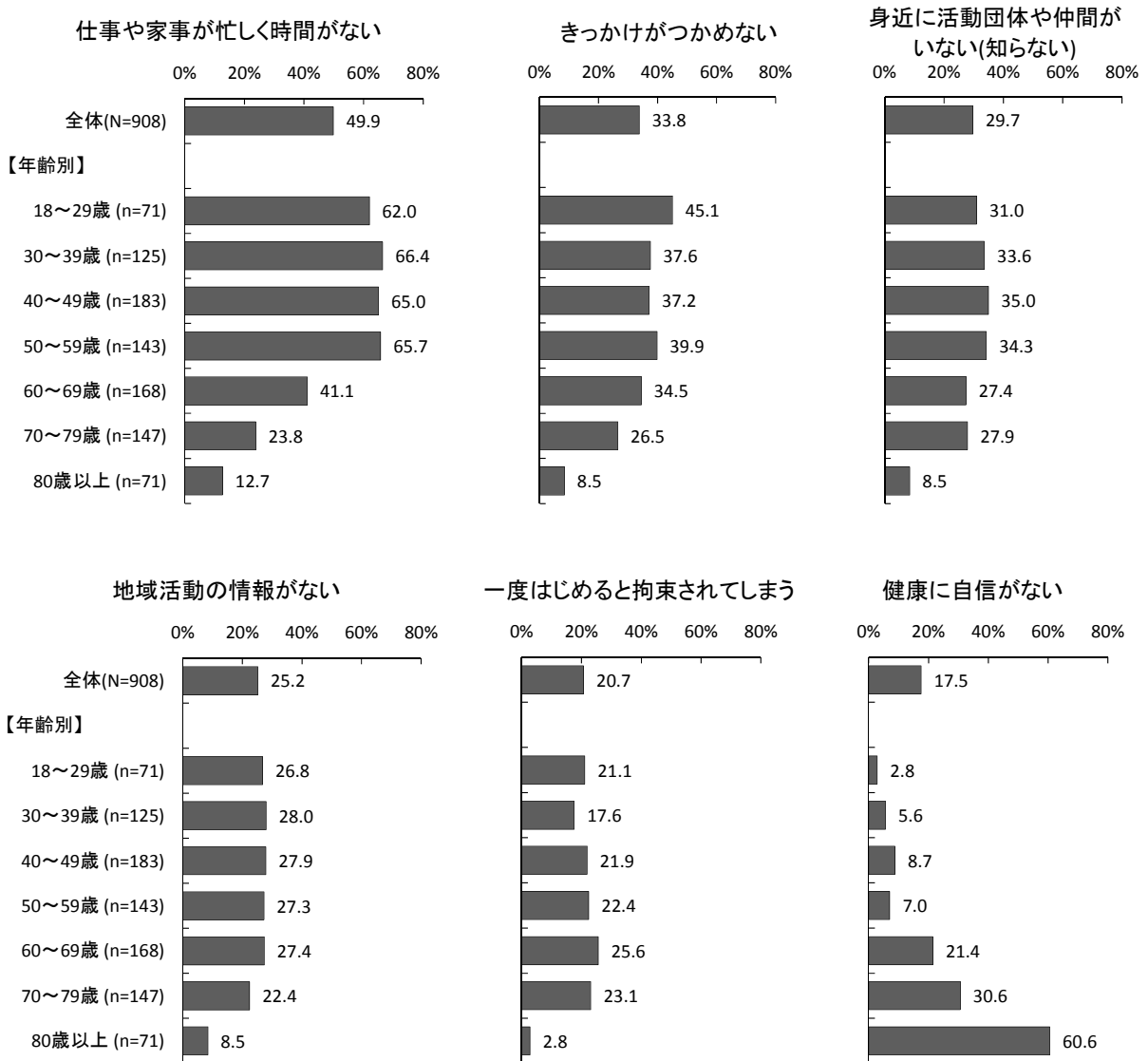
50代以下では、「仕事や家事が忙しく時間がない」が最も高く、6割を超えている。

70代以上では、「健康に自信がない」が最も高く、特に80歳以上では約6割となっている。

「仕事や家事が忙しく時間がない」を年齢別にみると、50代以下では全体（49.9%）を上回り、6割を超えているが、60代以上では年齢が上がるほど低くなり、80歳以上では1割強となっている。

「きっかけがつかめない」は、18～29歳が最も高く、45.1%となっている。

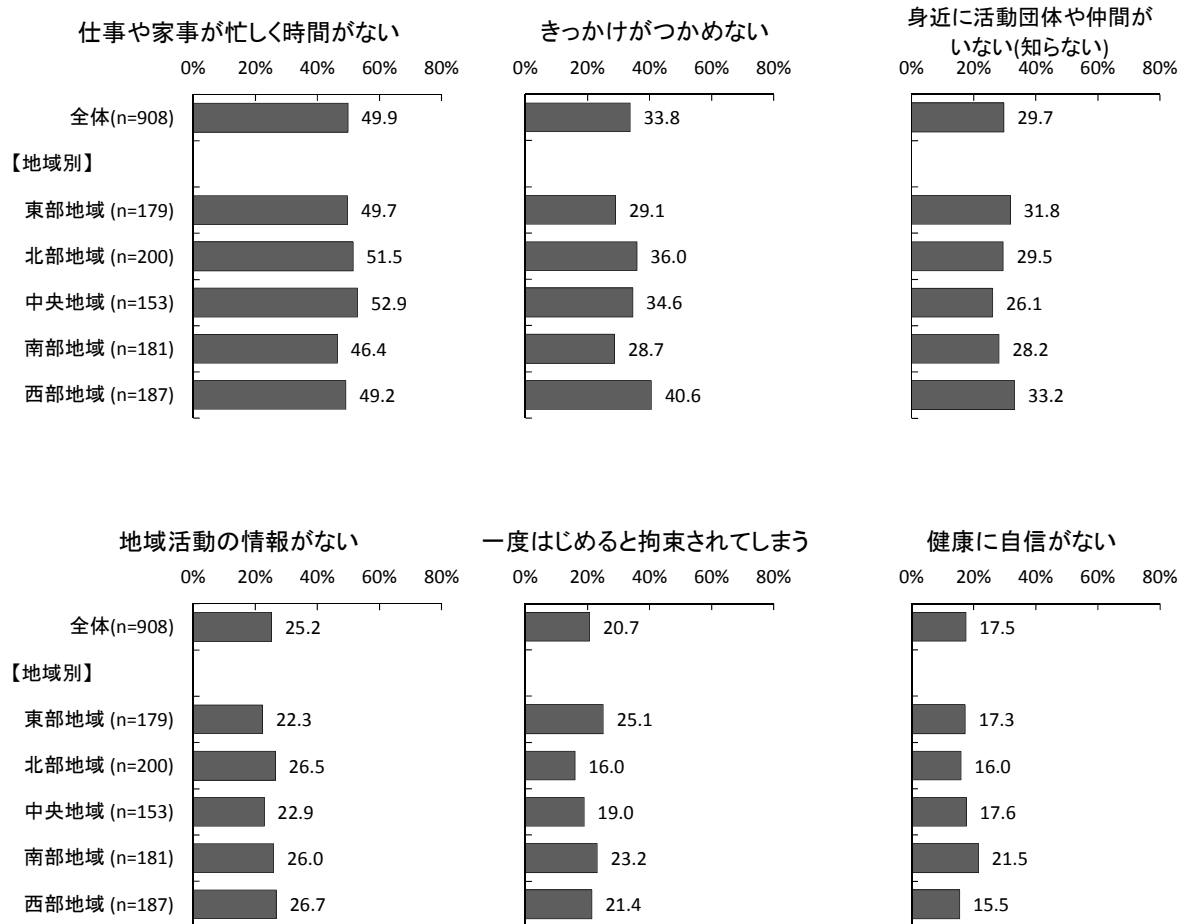
■地域活動に参加していない理由＜年齢別：上位6項目＞



【地域別比較】

全ての地域で、「仕事や家事が忙しく時間がない」が最も高くなっている。
「きっかけがつかめない」は、西部地域が最も高く、約4割となっている。

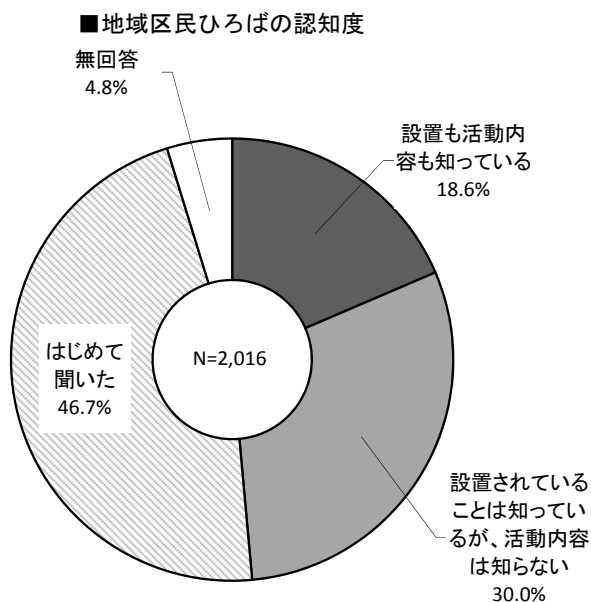
■地域活動に参加していない理由<地域別：上位6項目>



5. 地域区民ひろば

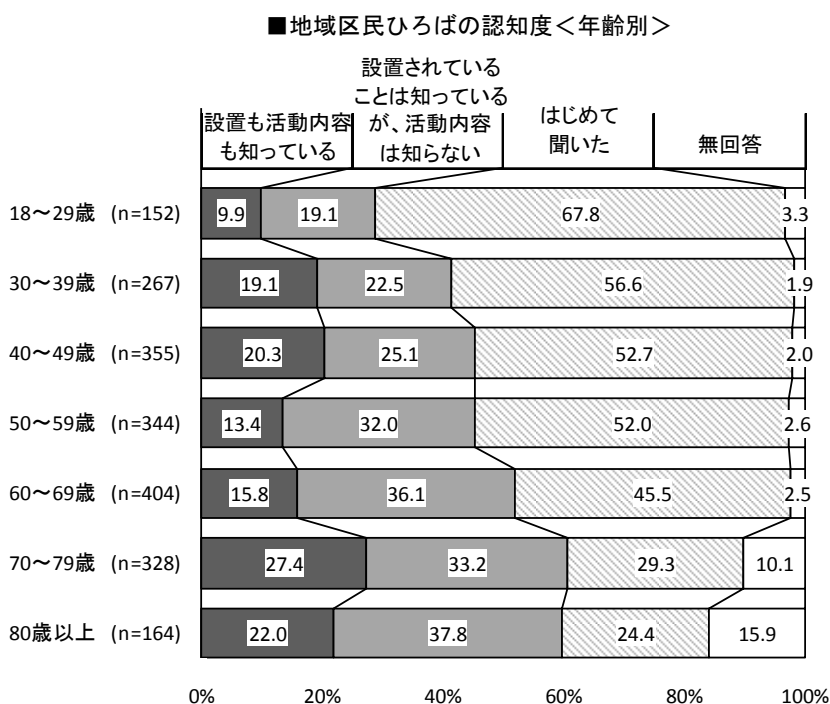
(1) 認知度：問 25

地域区民ひろばの認知度について聞いたところ、「はじめて聞いた」が 46.7%と最も高く、次いで「設置されていることは知っているが、活動内容は知らない」が 30.0%、「設置も活動内容も知っている」が 18.6%となっている。



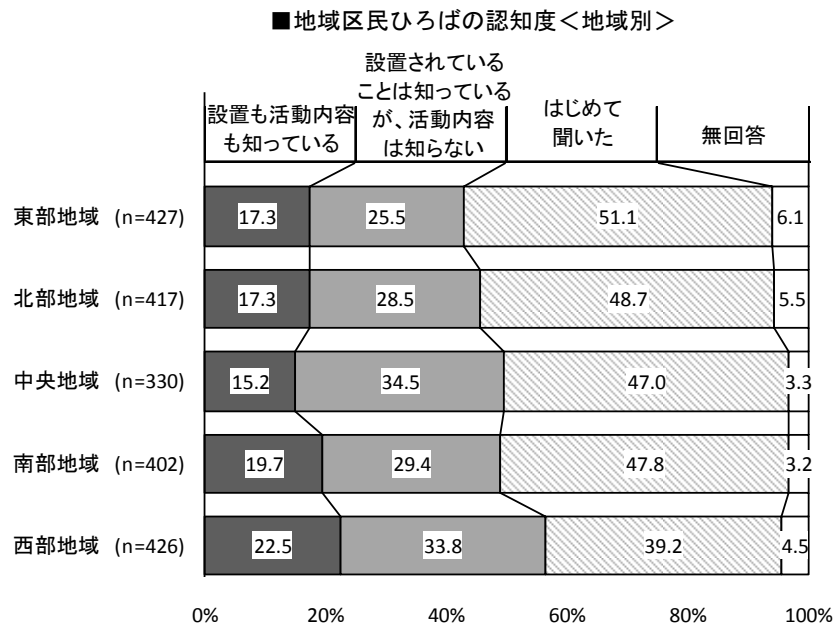
【年齢別比較】

年齢が若いほど、「はじめて聞いた」の割合が高くなる傾向がみられ、18～29歳では7割弱となっている。また、「設置も活動内容も知っている」は、18～29歳では約1割、50～59歳では1割強と、認知度が低くなっている。



【地域別比較】

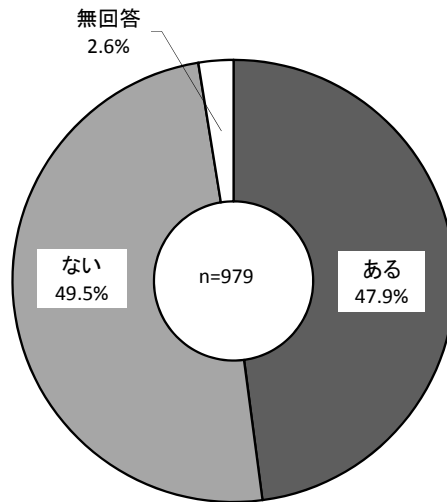
西部地域では、「設置も活動内容も知っている」が2割強となっており、“地域区民ひろばを知っている”（「設置も活動内容も知っている」と「設置されていることは知っているが、活動内容は知らない」の合計）が5割台半ばと他の地域よりも高くなっている。



(2) 利用経験の有無：問 25－1

“地域区民ひろばを知っている”と回答した人に利用経験の有無を聞いたところ、「ある」が 47.9%、「ない」が 49.5%となっている。

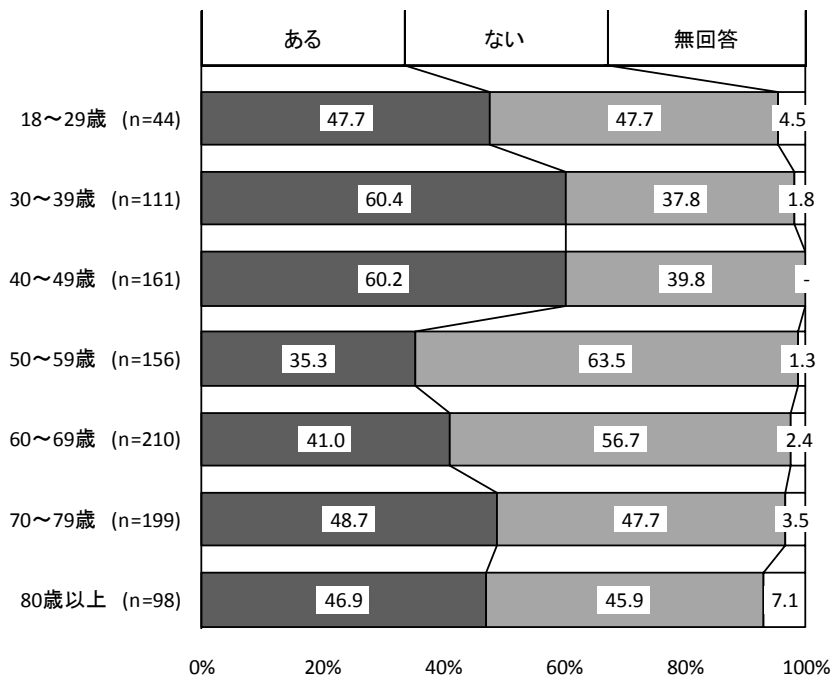
■地域区民ひろばの利用経験の有無



【年齢別比較】

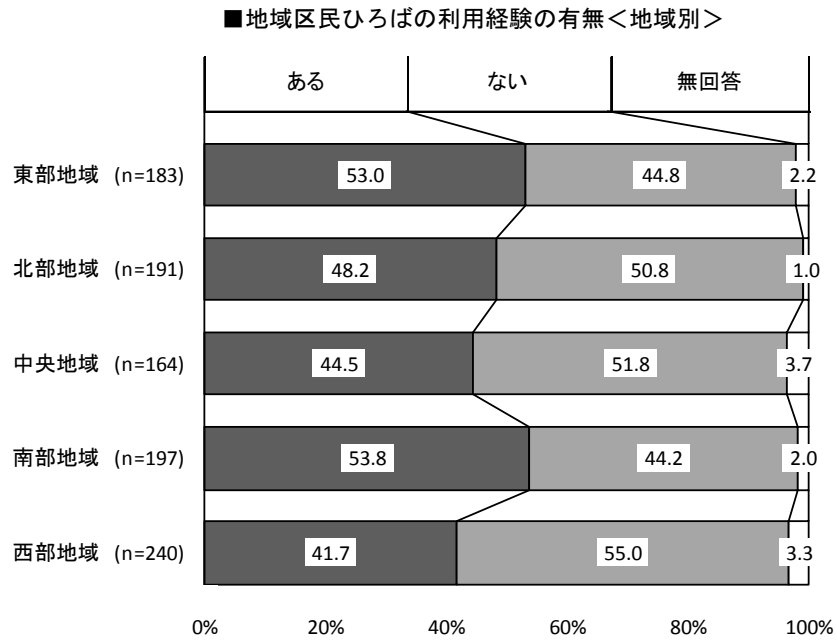
30～39 歳、40～49 歳では利用経験が「ある」が約 6 割であるのに対し、50～59 歳では 3 割台半ば、60～69 歳では約 4 割となっている。

■地域区民ひろばの利用経験の有無<年齢別>



【地域別比較】

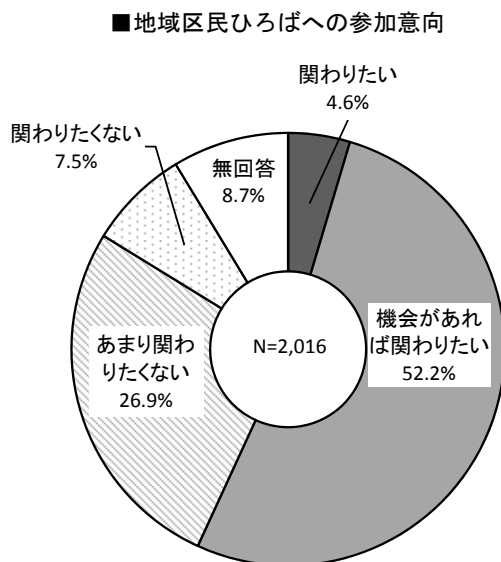
東部地域と南部地域では利用経験が「ある」が5割を超えているのに対し、西部地域では約4割となっている。



(3) 参加意向：問 25-2

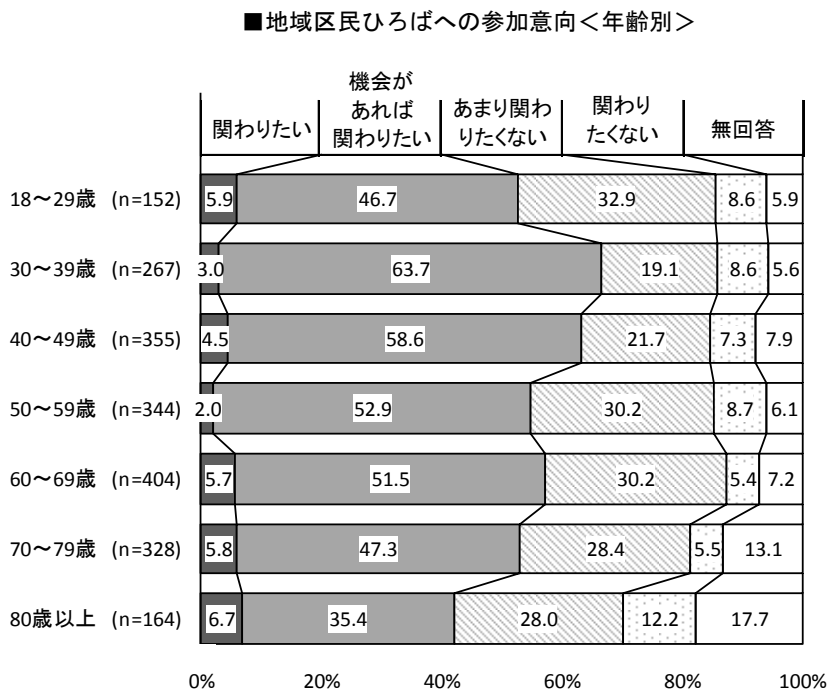
地域区民ひろばの取り組みへの今後の参加意向を聞いたところ、「機会があれば関わりたい」が52.2%と最も高く、「関わりたい」と合わせた“関わりたい”は5割台半ばとなっている。

一方、“関わりたくない”（「関わりたくない」と「あまり関わりたくない」の合計）は、3割台半ばとなっている。



【年齢別比較】

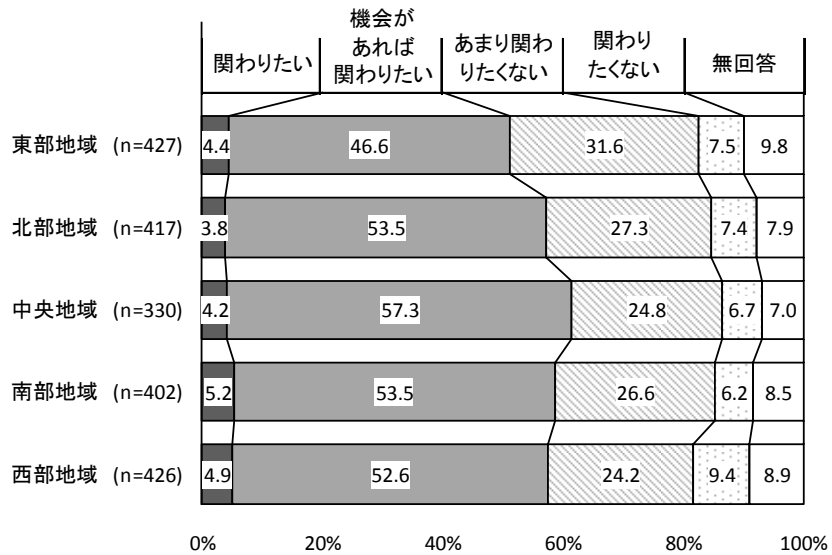
30～39歳、40～49歳では、“関わりたい”が6割台半ばとなっている。



【地域別比較】

“関わりたい”は、中央地域が最も高く、6割を超えている。

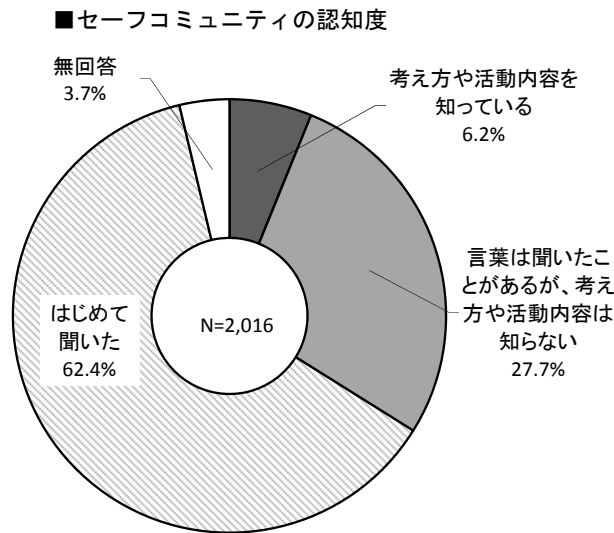
■地域区民ひろばへの参加意向<年齢別>



6. セーフコミュニティ

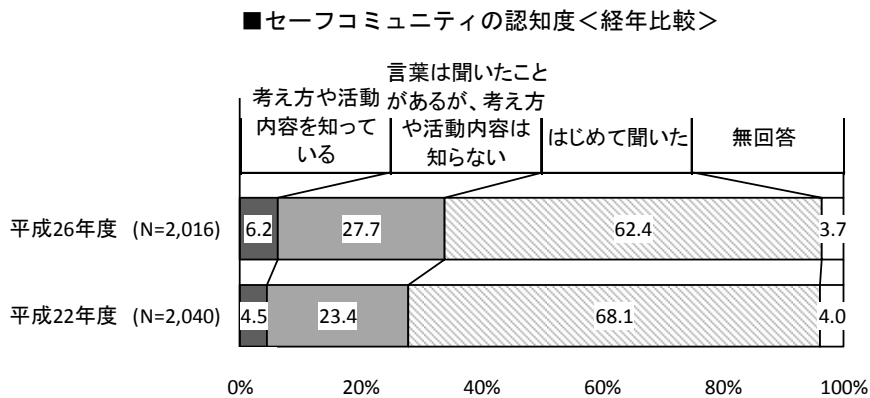
(1) 認知度：問 26

セーフコミュニティの認知度を聞いたところ、「はじめて聞いた」が62.4%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」が27.7%で続いている。“セーフコミュニティを知っている”（「考え方や活動内容を知っている」と「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」の合計）は3割台半ばとなっている。



【経年比較】

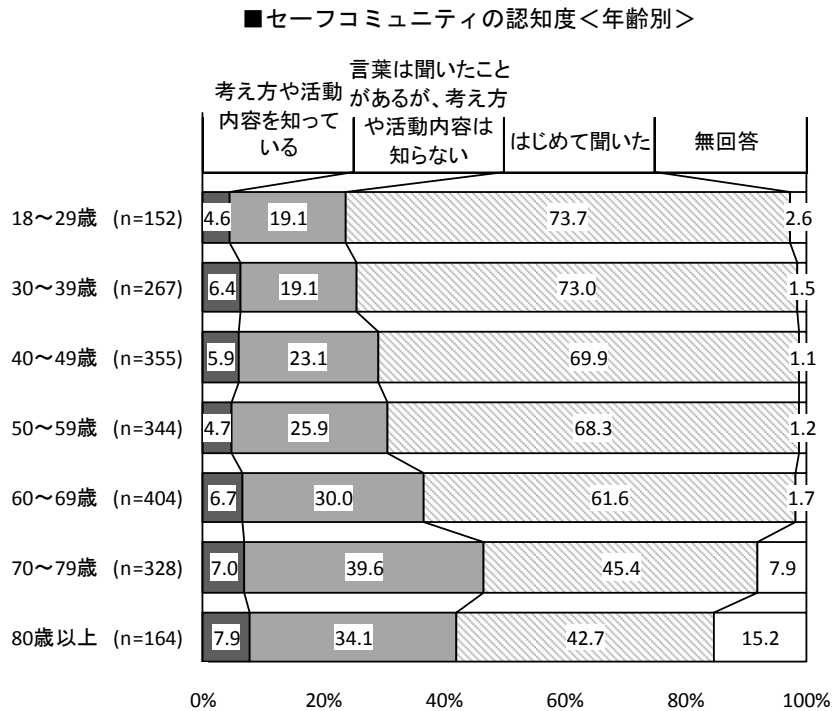
平成22年度の調査と比較すると、“セーフコミュニティを知っている”が平成22年度は3割弱であったのに対し、平成26年度は3割台半ばとなっている。



※平成22年度の調査では、「考え方や活動内容を知っている」「言葉は聞いたことがある」「知らなかった」で聞いている。

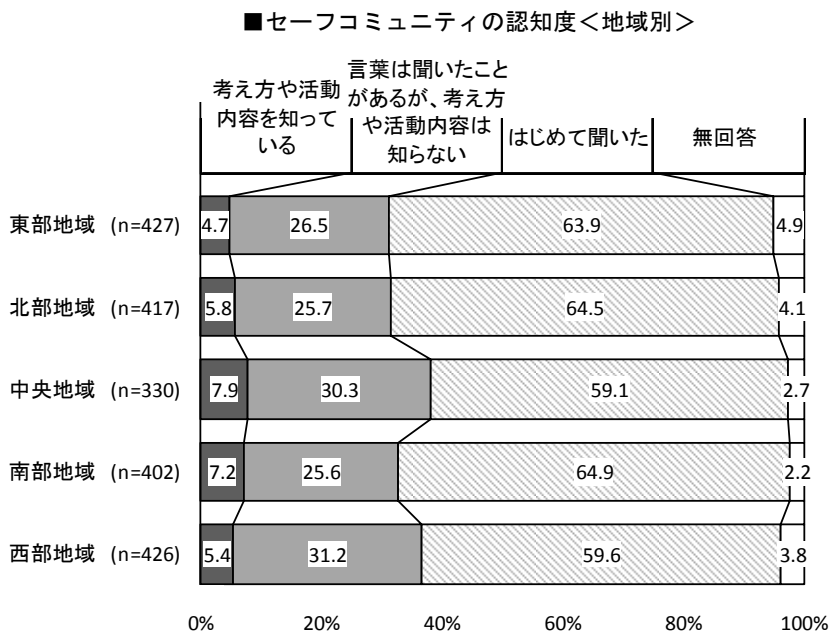
【年齢別比較】

“セーフコミュニティを知っている”は、70～79歳が4割台半ばで最も高く、80歳以上が約4割、60～69歳が3割台半ばとなっている。一方、「はじめて聞いた」は、18～29歳、30～39歳で高く、それぞれ73.7%、73.0%となっている。



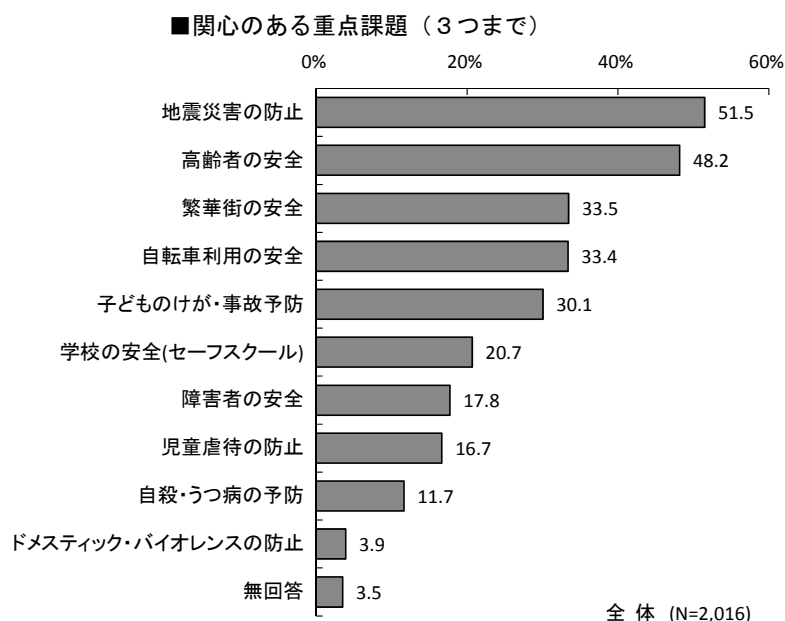
【地域別比較】

“セーフコミュニティを知っている”は、中央地域で最も高く、約4割となっている。



(2) 関心のある重点課題：問 27

セーフコミュニティ活動を推進するうえでの10項目の重点課題のうち、どの課題に関心があるか聞いたところ、「地震災害の防止」が約5割と最も高く、次いで「高齢者の安全」(48.2%)、「繁華街の安全」(33.5%)、「自転車利用の安全」(33.4%)、「子どものけが・事故予防」(30.1%)の順で続いている。

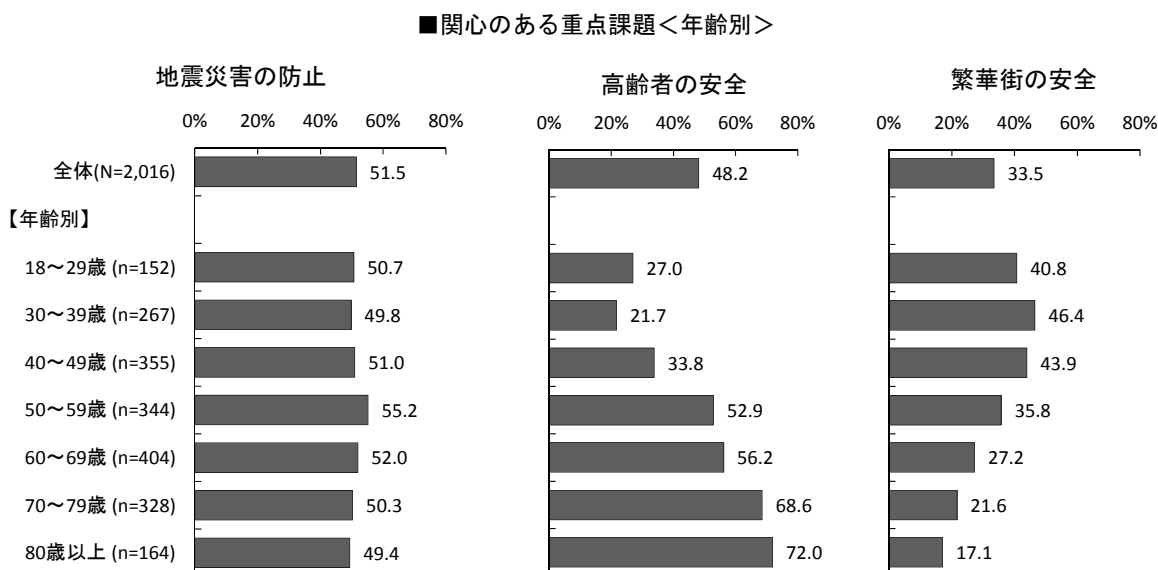


【年齢別比較】

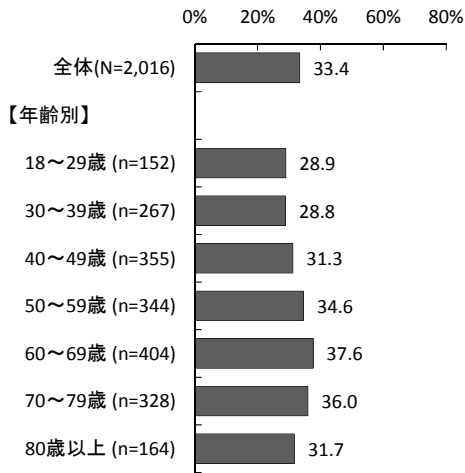
60代以上では、「高齢者の安全」が最も高くなっている。

「繁華街の安全」を年齢別にみると、18～29歳、30～39歳、40～49歳で4割を超えており、このうち30～39歳が46.4%と最も高くなっている。

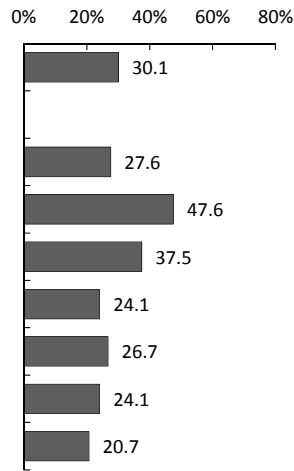
「子どものけが・事故予防」「学校の安全(セーフスクール)」は、30～39歳が最も高く、それぞれ47.6%、41.2%となっている。



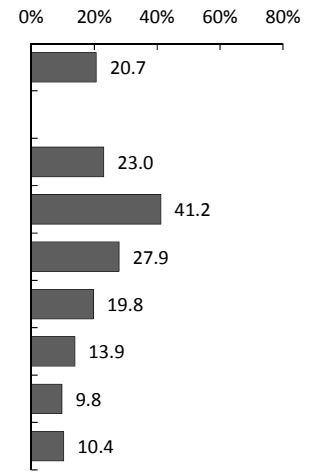
自転車利用の安全



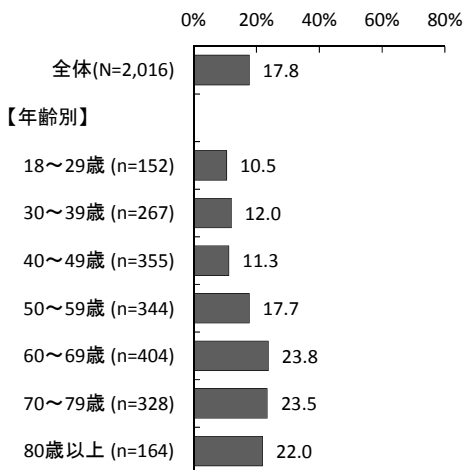
子どものけが・事故予防



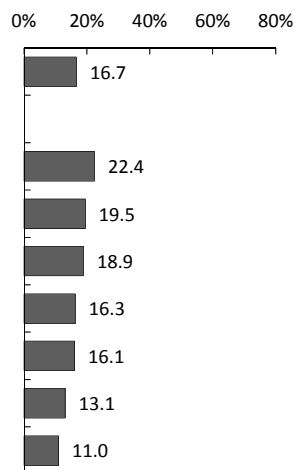
学校の安全(セーフスクール)



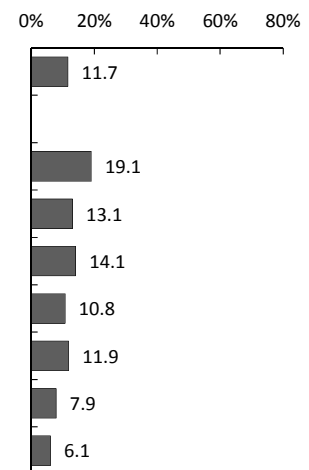
障害者の安全



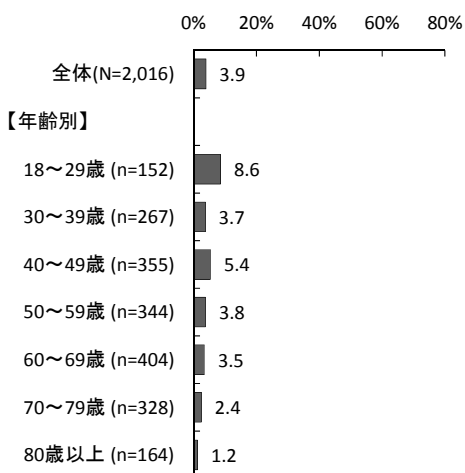
児童虐待の防止



自殺・うつ病の予防



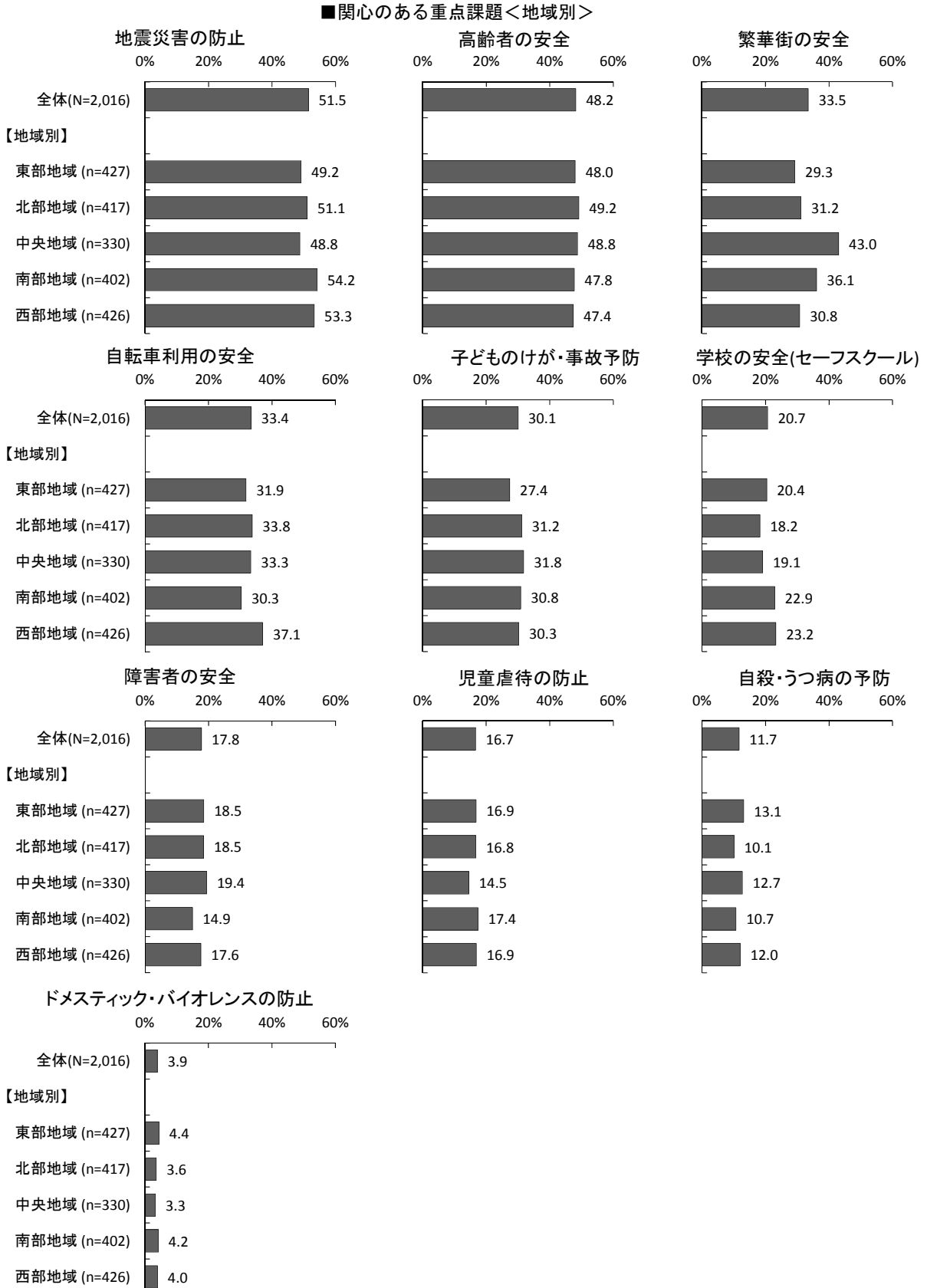
ドメスティック・バイオレンスの防止



【地域別比較】

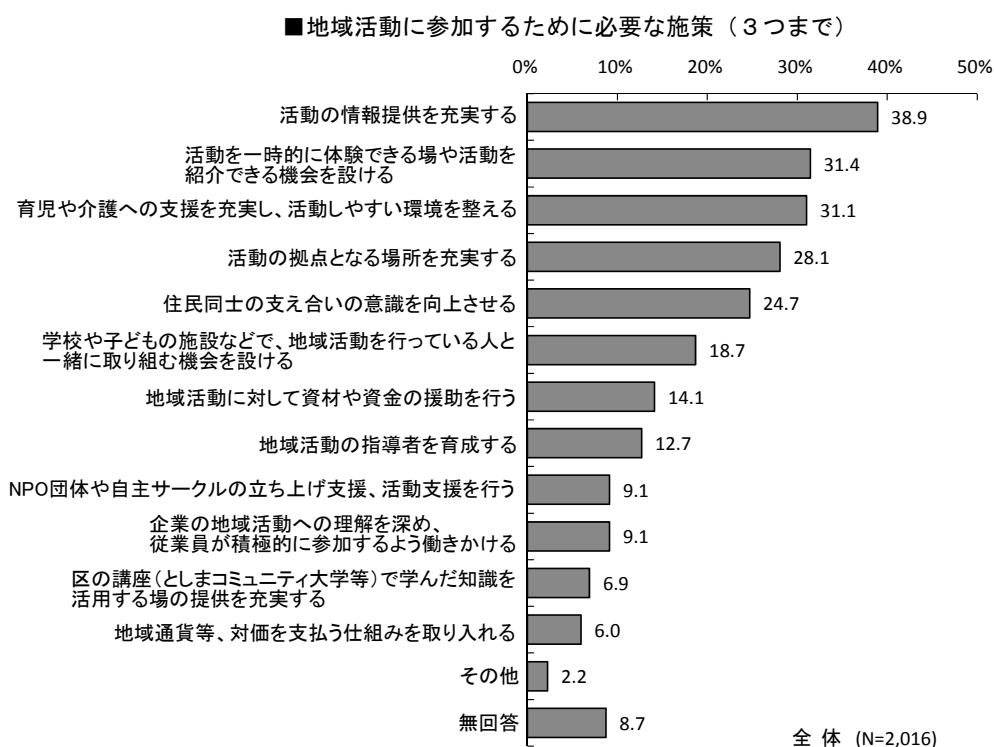
全ての地域で、「地震災害の防止」が最も高くなっている。中央地域では、「地震災害の防止」と並んで「高齢者の安全」も48.8%と最も高い。

「繁華街の安全」を地域別にみると、中央地域で4割強となっている。



7. 地域活動に参加するために必要な施策：問 28

区民の地域活動への参加を促進するために必要な施策を聞いたところ、「活動の情報提供を充実する」が38.9%と最も高く、次いで「活動を一時的に体験できる場や活動を紹介できる機会を設ける」(31.4%)、「育児や介護への支援を充実し、活動しやすい環境を整える」(31.1%)の順で続いている。



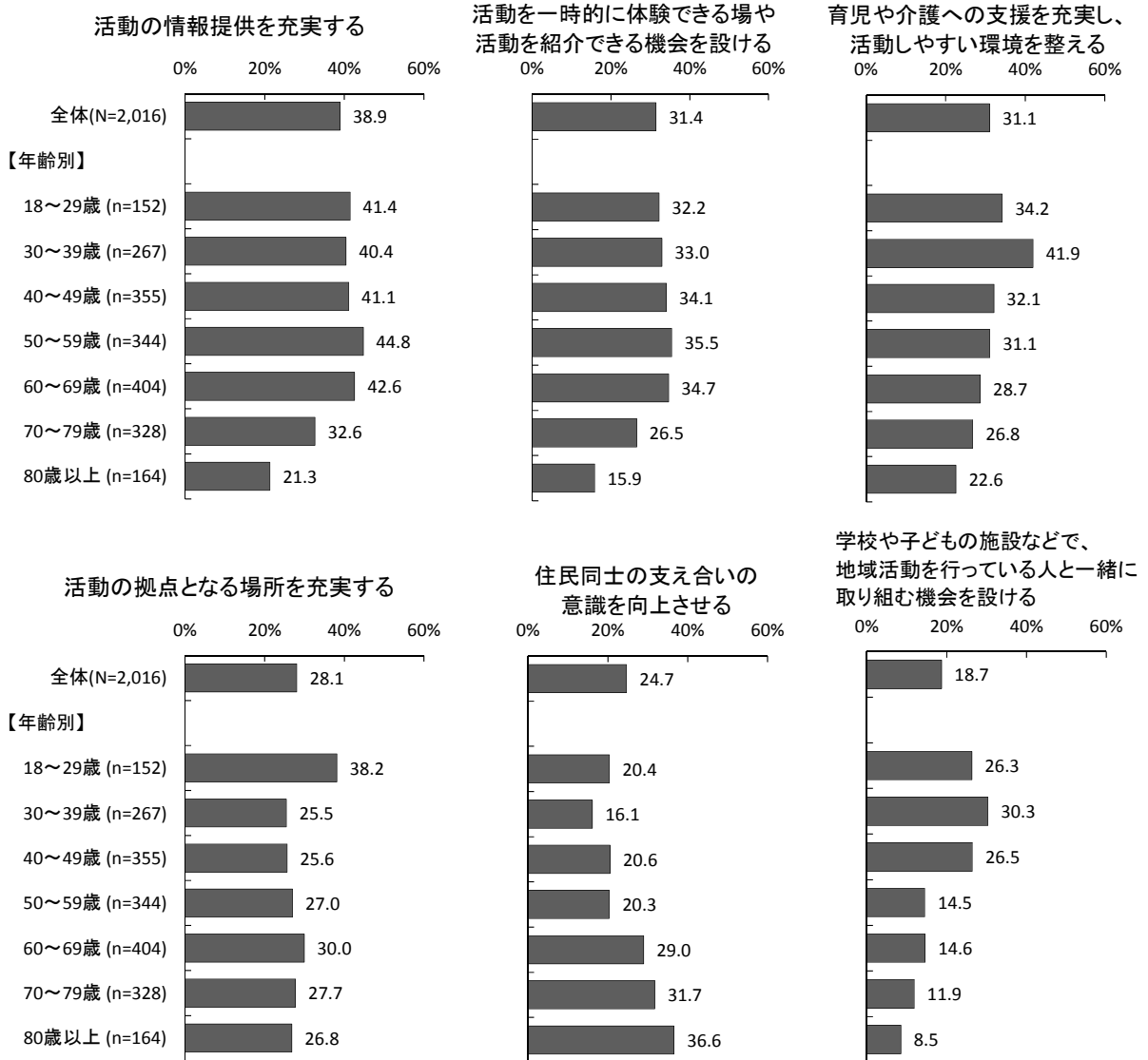
【年齢別比較】

30～39歳では、「育児や介護への支援を充実し、活動しやすい環境を整える」が最も高く、41.9%となっている。

80歳以上では、「住民同士の支え合いの意識を向上させる」が最も高く、36.6%となっている。

「活動の拠点となる場所を充実する」を年齢別にみると、18～29歳が最も高く、38.2%となっている。

■地域活動に参加するために必要な施策＜年齢別：上位6項目＞

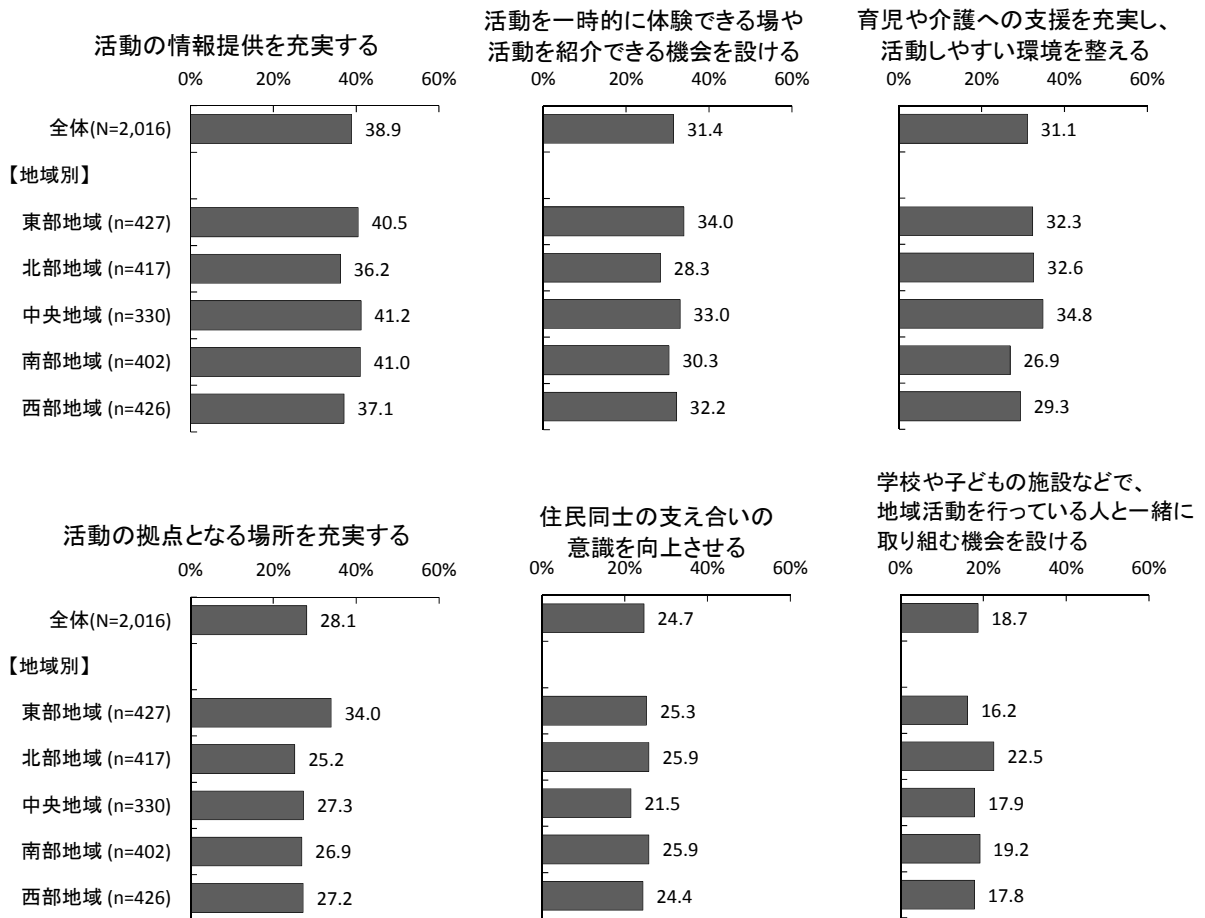


【地域別比較】

全ての地域で、「活動の情報提供を充実する」が最も高くなっている。次いで、東部地域では「活動を一時的に体験できる場や活動を紹介できる機会を設ける」「活動の拠点となる場所を充実する」（ともに34.0%）、北部地域と中央地域では「育児や介護への支援を充実し、活動しやすい環境を整える」（それぞれ32.6%、34.8%）が続いている。

「活動の拠点となる場所を充実する」を地域別にみると、東部地域が他の地域よりやや高くなっている。

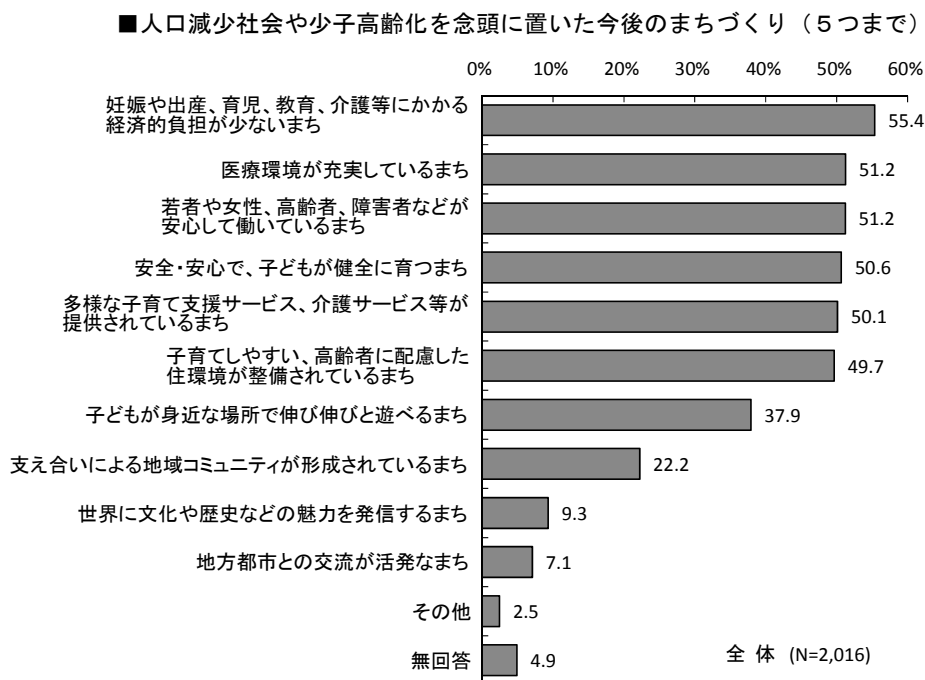
■地域活動に参加するために必要な施策＜地域別：上位6項目＞



第5章 これからの豊島区のまちづくりについて

1. 人口減少社会の到来や少子高齢化の進行への対応に向けて：問 29

人口減少社会や少子高齢化を念頭に置いた、今後進めるべきまちづくりについて聞いたところ、「妊娠や出産、育児、教育、介護等にかかる経済的負担が少ないまち」が55.4%と最も高く、次いで、「医療環境が充実しているまち」「若者や女性、高齢者、障害者などが安心して働いているまち」（ともに51.2%）、「安全・安心で、子どもが健全に育つまち」（50.6%）、「多様な子育て支援サービス、介護サービス等が提供されているまち」（50.1%）、「子育てしやすい、高齢者に配慮した住環境が整備されているまち」（49.7%）の順で続いている。



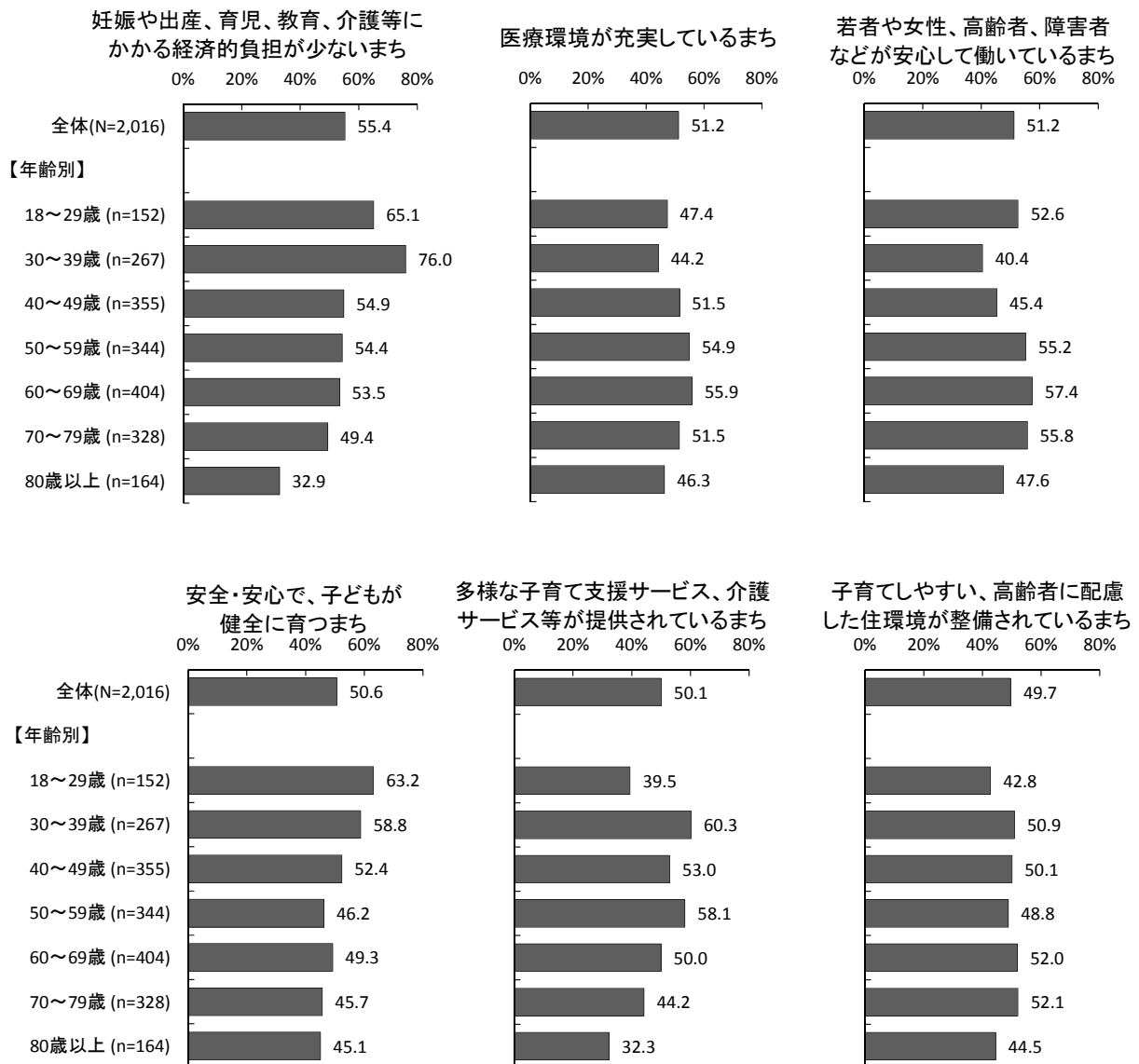
【年齢別比較】

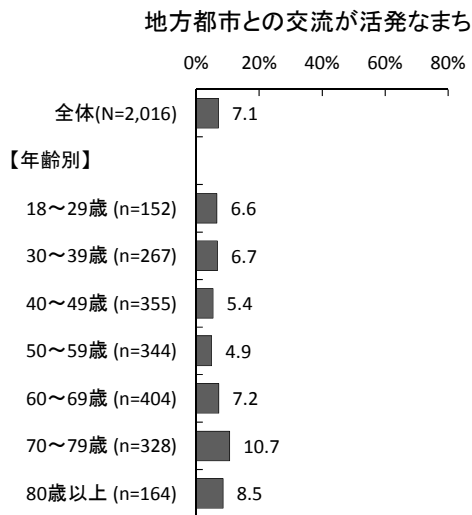
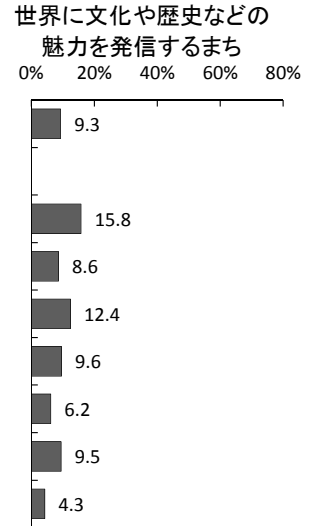
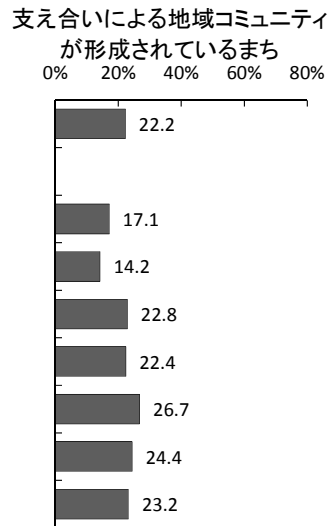
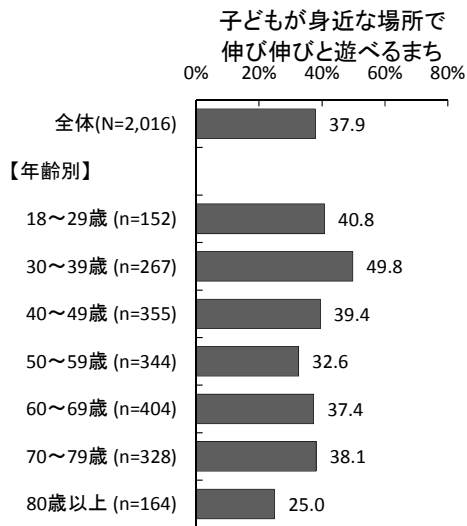
50～59 歳では「多様な子育て支援サービス、介護サービス等が提供されているまち」(58.1%)、60 代以上では「若者や女性、高齢者、障害者などが安心して働いているまち」(それぞれ 57.4%、55.8%、47.6%) が最も高くなっている。

「妊娠や出産、育児、教育、介護等にかかる経済的負担が少ないまち」「多様な子育て支援サービス、介護サービス等が提供されているまち」「子どもが身近な場所で伸び伸びと遊べるまち」を年齢別にみると、30～39 歳が最も高く、それぞれ 76.0%、60.3%、49.8% となっている。

「安全・安心で、子どもが健全に育つまち」を年齢別にみると、18～29 歳が最も高く、6 割を超えている。

■人口減少社会や少子高齢化を念頭に置いた今後のまちづくり<年齢別>

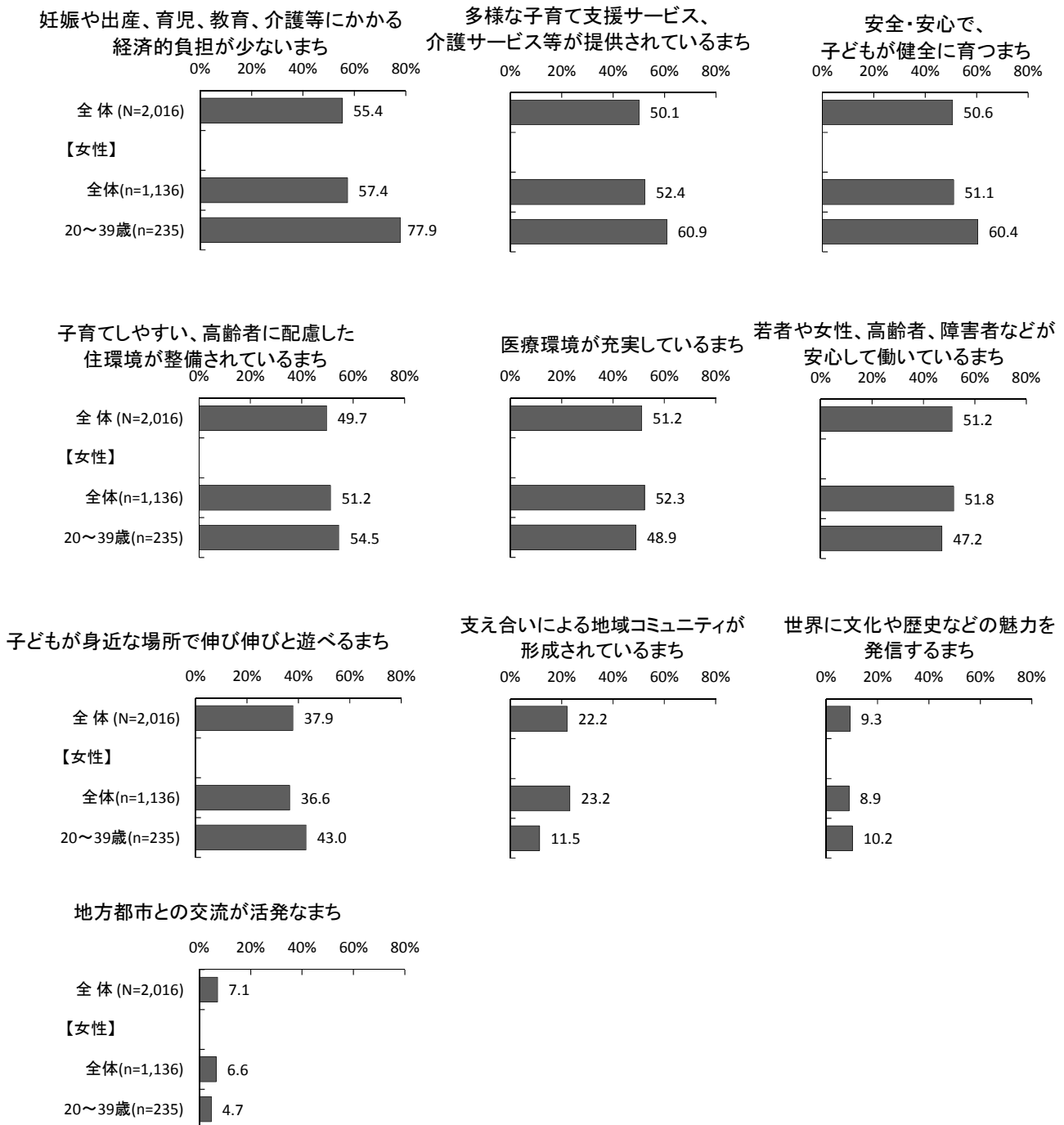




【若年女性】

女性のうち、20～39歳の世代では、「妊娠や出産、育児、教育、介護等にかかる経済的負担が少ないまち」が8割弱、「多様な子育て支援サービス、介護サービス等が提供されているまち」「安全・安心で、子どもが健全に育つまち」が約6割と、回答者全体及び女性全体と比較して高くなっている。

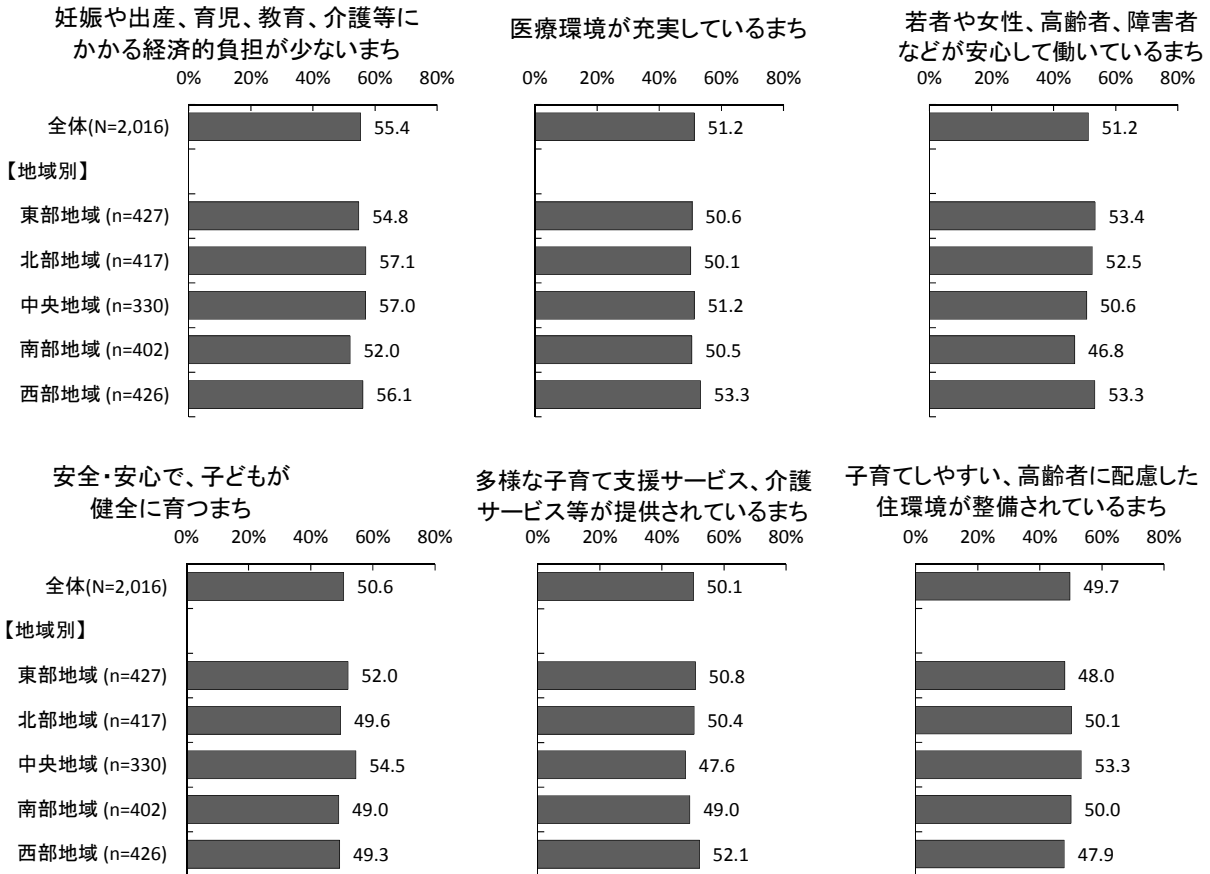
■人口減少社会や少子高齢化を念頭に置いた今後のまちづくり<若年女性>



【地域別比較】

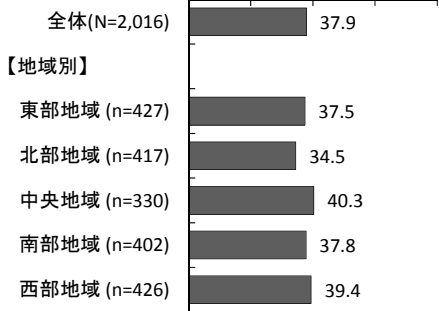
全ての地域で、「妊娠や出産、育児、教育、介護等にかかる経済的負担が少ないまち」が最も高くなっている。次いで、東部地域、北部地域では「若者や女性、高齢者、障害者などが安心して働いているまち」（それぞれ 53.4%、52.5%）、中央地域では「安全・安心で、子どもが健全に育つまち」（54.5%）、西部地域では「医療環境が充実しているまち」「若者や女性、高齢者、障害者などが安心して働いているまち」（ともに 53.3%）が続いている。

■人口減少社会や少子高齢化を念頭に置いた今後のまちづくり<地域別>



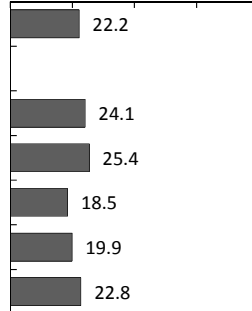
子どもが身近な場所で
伸び伸びと遊べるまち

0% 20% 40% 60% 80%



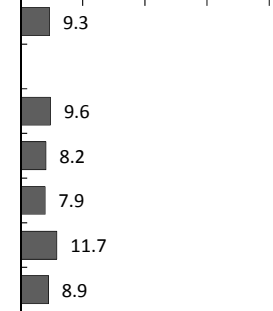
支え合いによる地域コミュニティ
が形成されているまち

0% 20% 40% 60% 80%



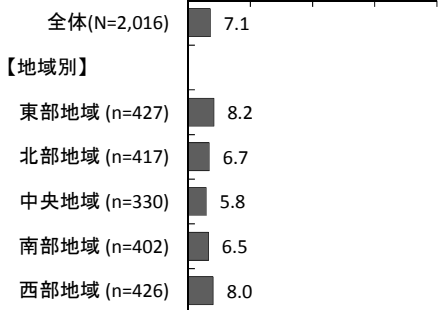
世界に文化や歴史などの
魅力を発信するまち

0% 20% 40% 60% 80%



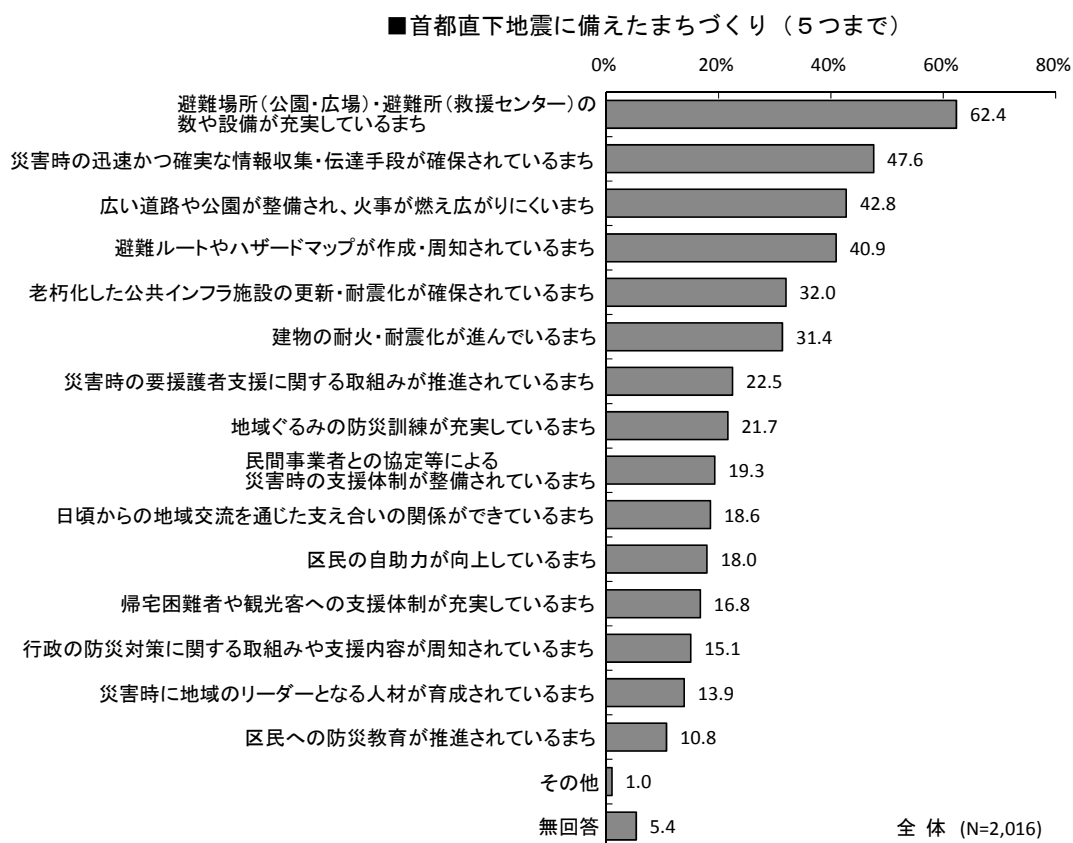
地方都市との交流が活発なまち

0% 20% 40% 60% 80%



2. 首都直下地震に備えて：問 30

首都直下地震に備えて進めるべきまちづくりを聞いたところ、「避難場所（公園・広場）・避難所（救援センター）の数や設備が充実しているまち」が62.4%と最も高く、次いで「災害時の迅速かつ確実な情報収集・伝達手段が確保されているまち」（47.6%）、「広い道路や公園が整備され、火事が燃え広がりにくいまち」（42.8%）、「避難ルートやハザードマップが作成・周知されているまち」（40.9%）の順で続いている。



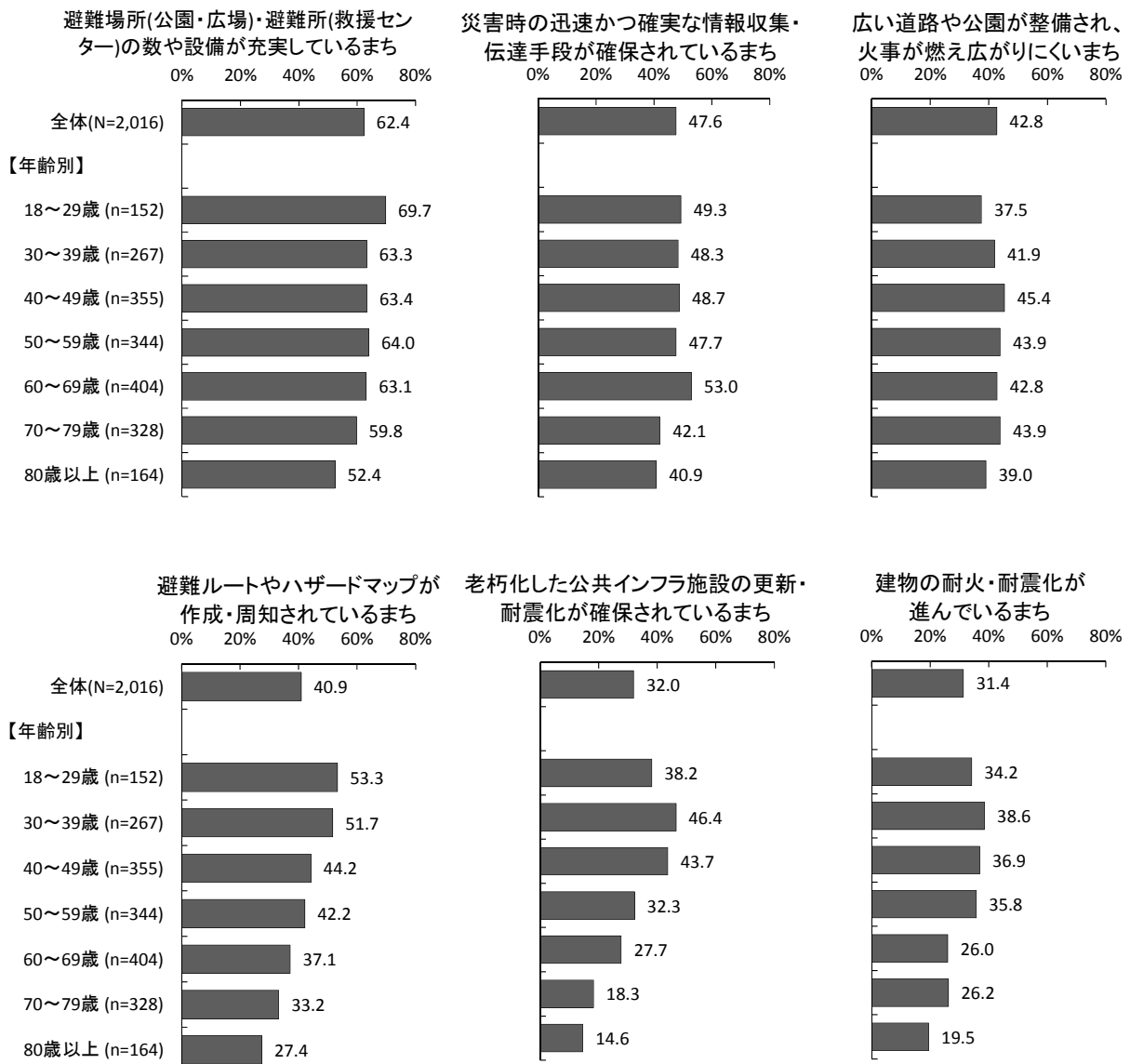
【年齢別比較】

全ての年齢で、「避難場所（公園・広場）・避難所（救援センター）の数や設備が充実しているまち」が最も高くなっている。次いで、18～29歳、30～39歳では「避難ルートやハザードマップが作成・周知されているまち」（それぞれ53.3%、51.7%）、70～79歳では「広い道路や公園が整備され、火事が燃え広がりにくいまち」（43.9%）が続いている。

「避難ルートやハザードマップが作成・周知されているまち」を年齢別にみると、18～29歳が53.3%と最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

「老朽化した公共インフラ施設の更新・耐震化が確保されているまち」では、30～39歳が46.4%と最も高く、40～49歳でも4割を超えている。

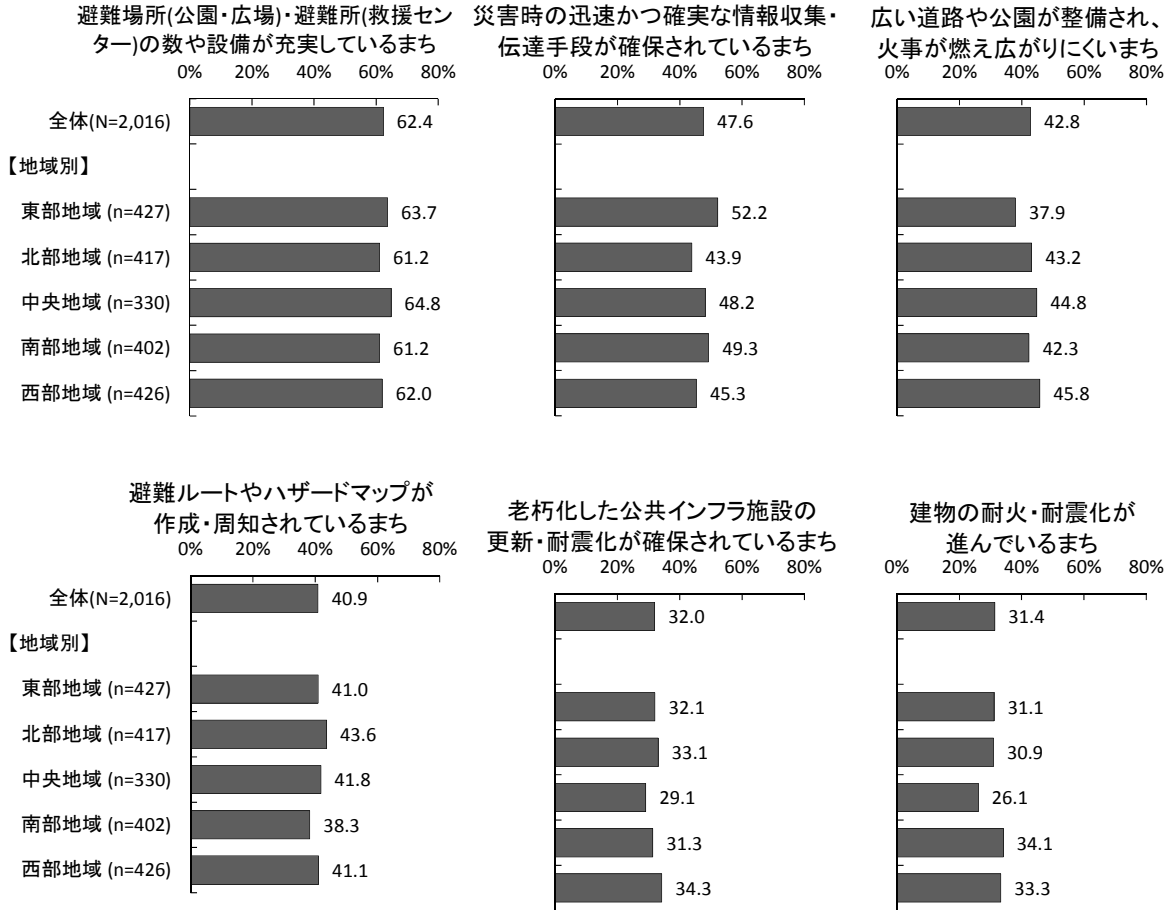
■首都直下地震に備えたまちづくり＜年齢別：上位6項目＞



【地域別比較】

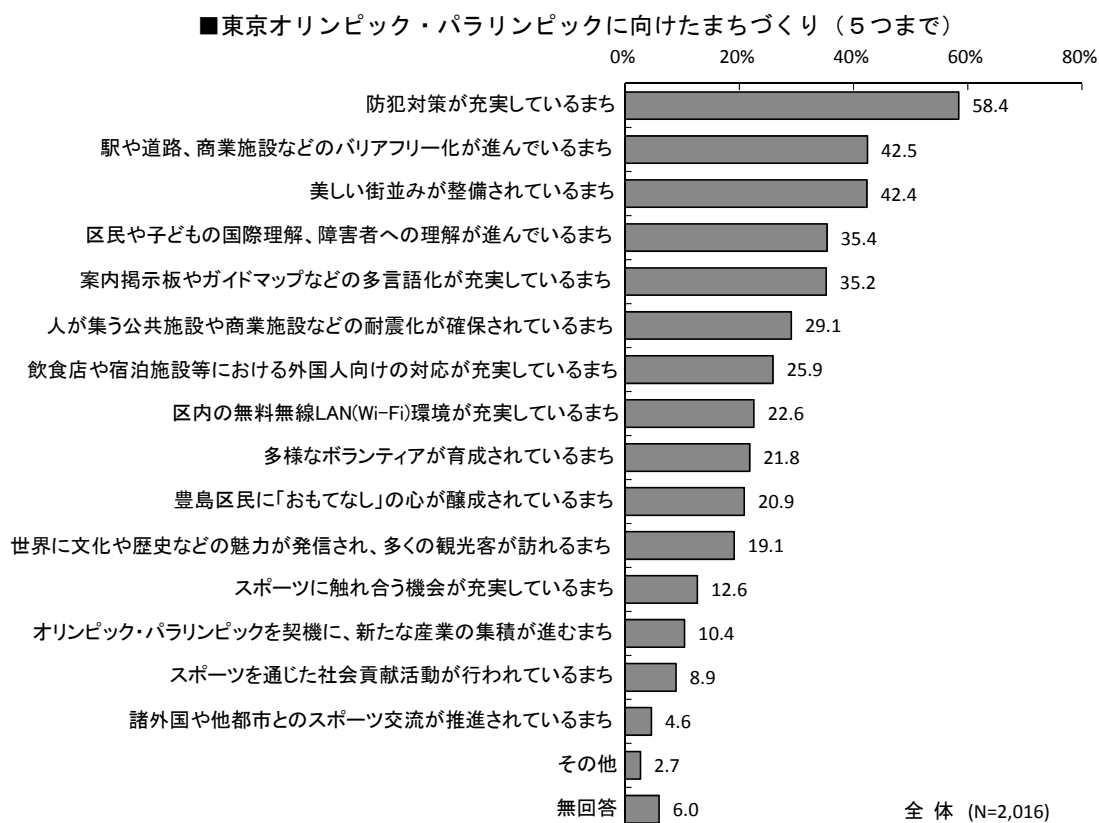
全ての地域で、「避難場所（公園・広場）・避難所（救援センター）の数や設備が充実しているまち」が最も高くなっている。次いで、西部地域では「広い道路や公園が整備され、火事が燃え広がりにくいまち」（45.8%）が続いている。

■首都直下地震に備えたまちづくり<地域別：上位6項目>



3. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて：問31

東京オリンピック・パラリンピックに向けて進めるべきまちづくりについて聞いたところ、「防犯対策が充実しているまち」が58.4%と最も高く、次いで「駅や道路、商業施設などのバリアフリー化が進んでいるまち」(42.5%)、「美しい街並みが整備されているまち」(42.4%)の順で続いている。



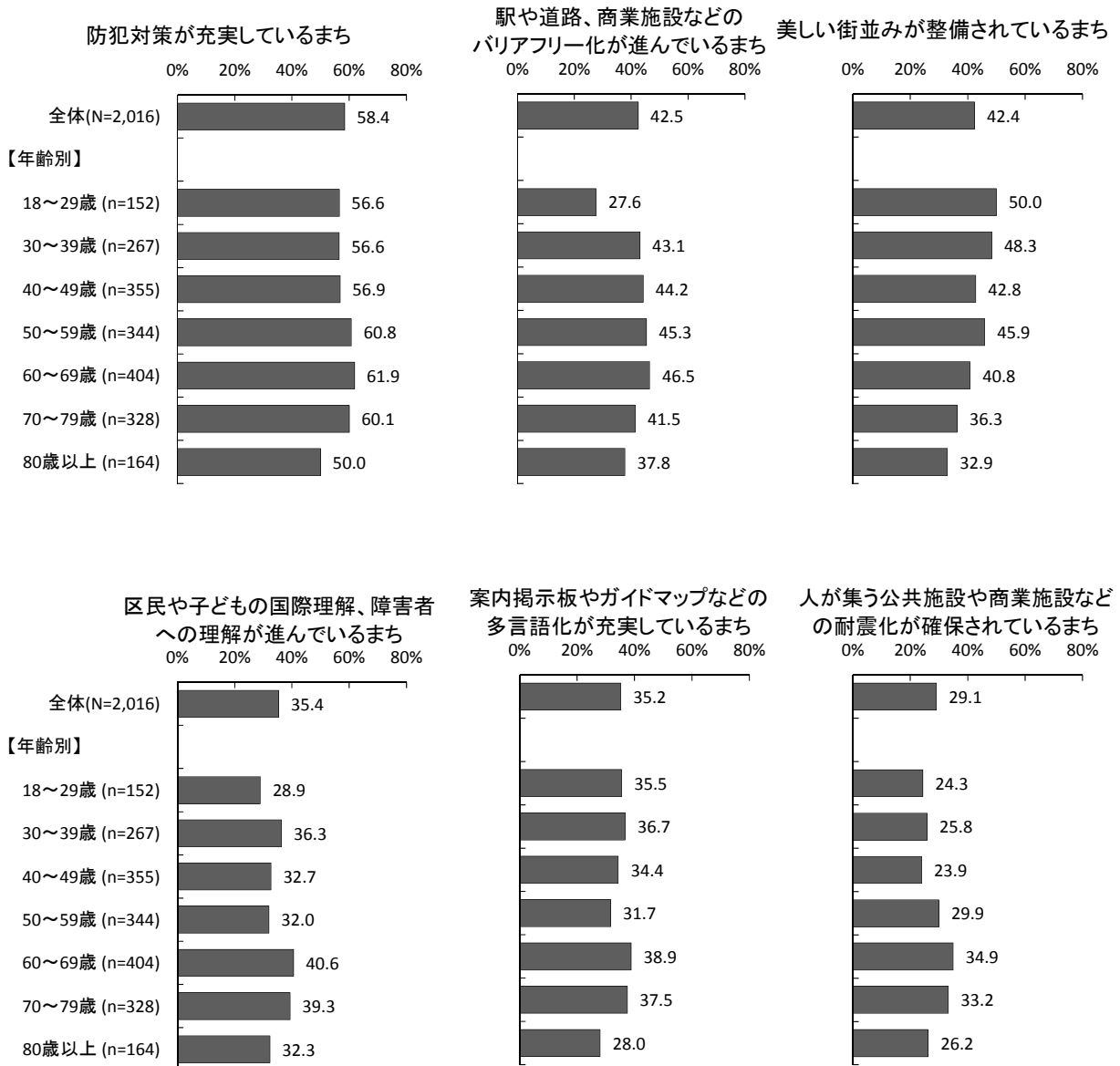
【年齢別比較】

全ての年齢で、「防犯対策が充実しているまち」が最も高くなっている。

「駅や道路、商業施設などのバリアフリー化が進んでいるまち」を年齢別にみると、18～29歳が27.6%と最も低くなっている。

「美しい街並みが整備されているまち」は、18～29歳が5割と最も高く、30～39歳でもほぼ同じ割合となっている。

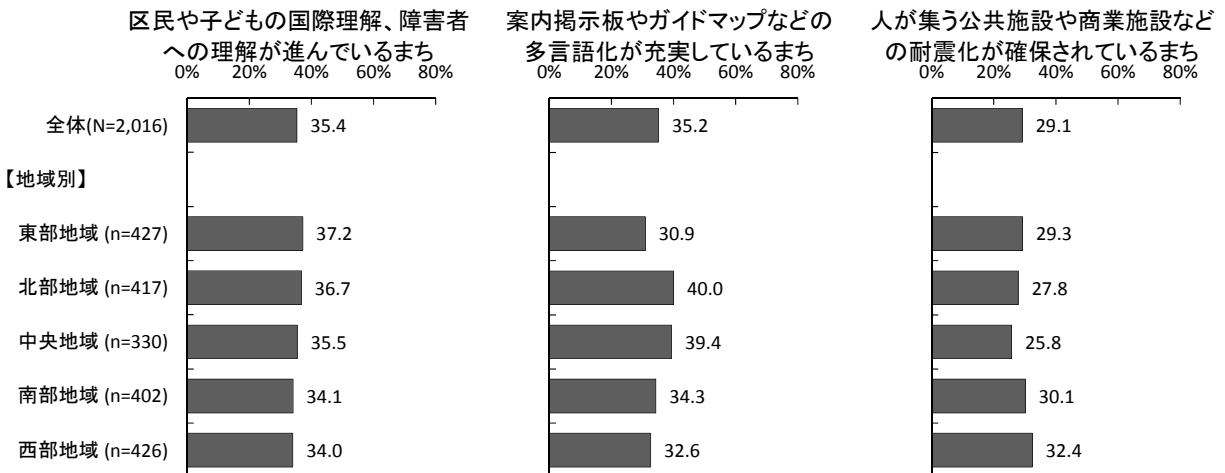
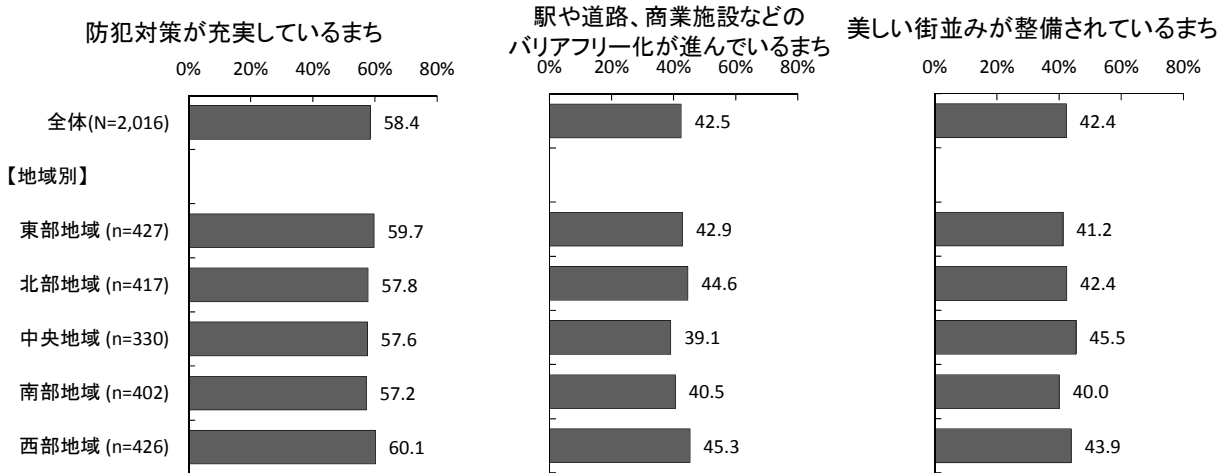
■東京オリンピック・パラリンピックに向けたまちづくり<年齢別：上位6項目>



【地域別比較】

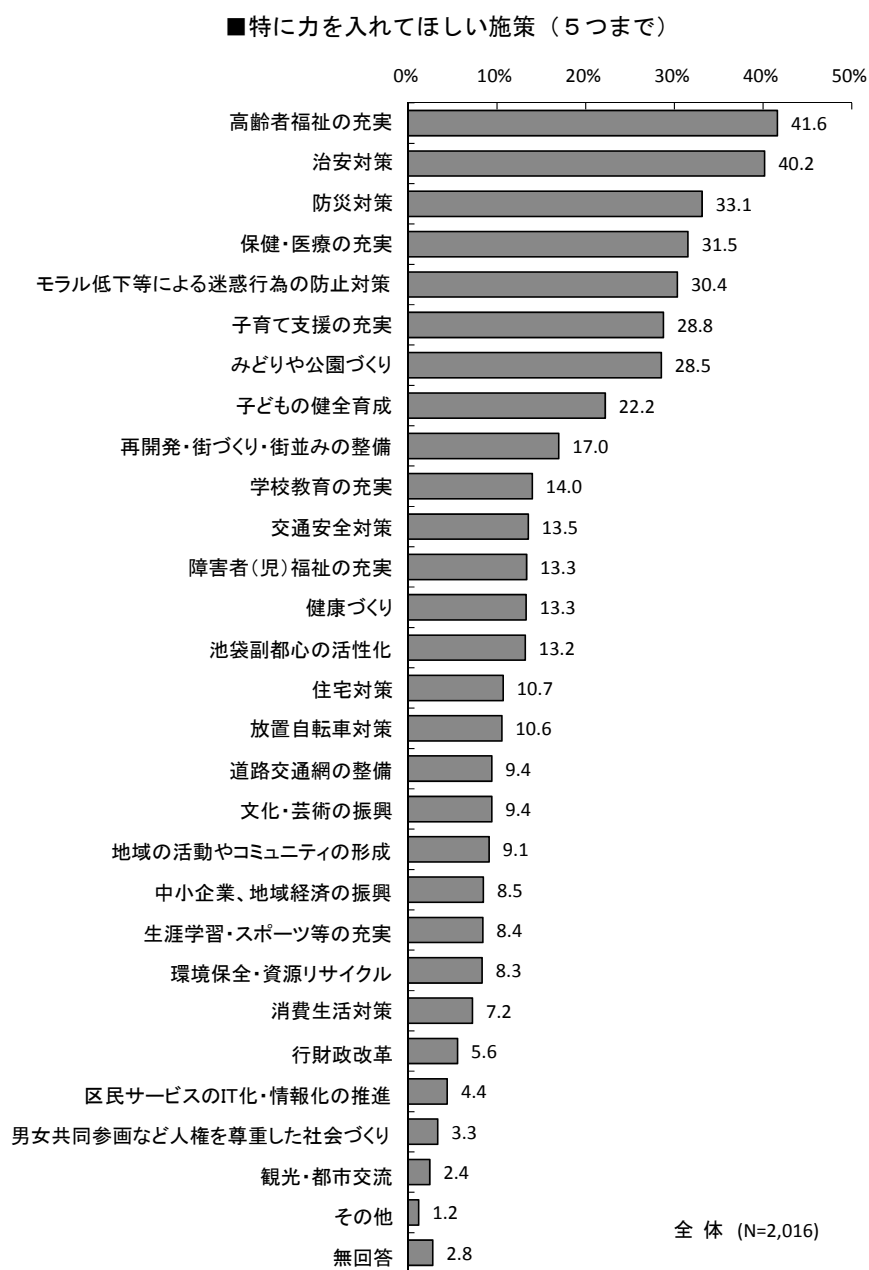
全ての地域で、「防犯対策が充実しているまち」が最も高くなっている。次いで、中央地域では、「美しい街並みが整備されているまち」(45.5%)が続いている。

■東京オリンピック・パラリンピックに向けたまちづくり<地域別：上位6項目>



4. 今後、特に力を入れてほしい施策：問 32

今後、特に力を入れてほしい施策について聞いたところ、「高齢者福祉の充実」が41.6%と最も高く、「治安対策」(40.2%)が同程度で続いている。次いで、「防犯対策」(33.1%)、「保健・医療の充実」(31.5%)、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」(30.4%)、「子育て支援の充実」(28.8%)、「みどりや公園づくり」(28.5%)の順で続いている。



【経年比較】

「高齢者福祉の充実」「治安対策」「防災対策」が概ねどの年度でも上位に挙げられている。

「池袋副都心の活性化」は、平成25年度までは20位前後だったが、平成26年度には14位となっている。

「放置自転車対策」は、平成16年度は5位だったが、順位が年々下がり、平成26年度は16位となっている。

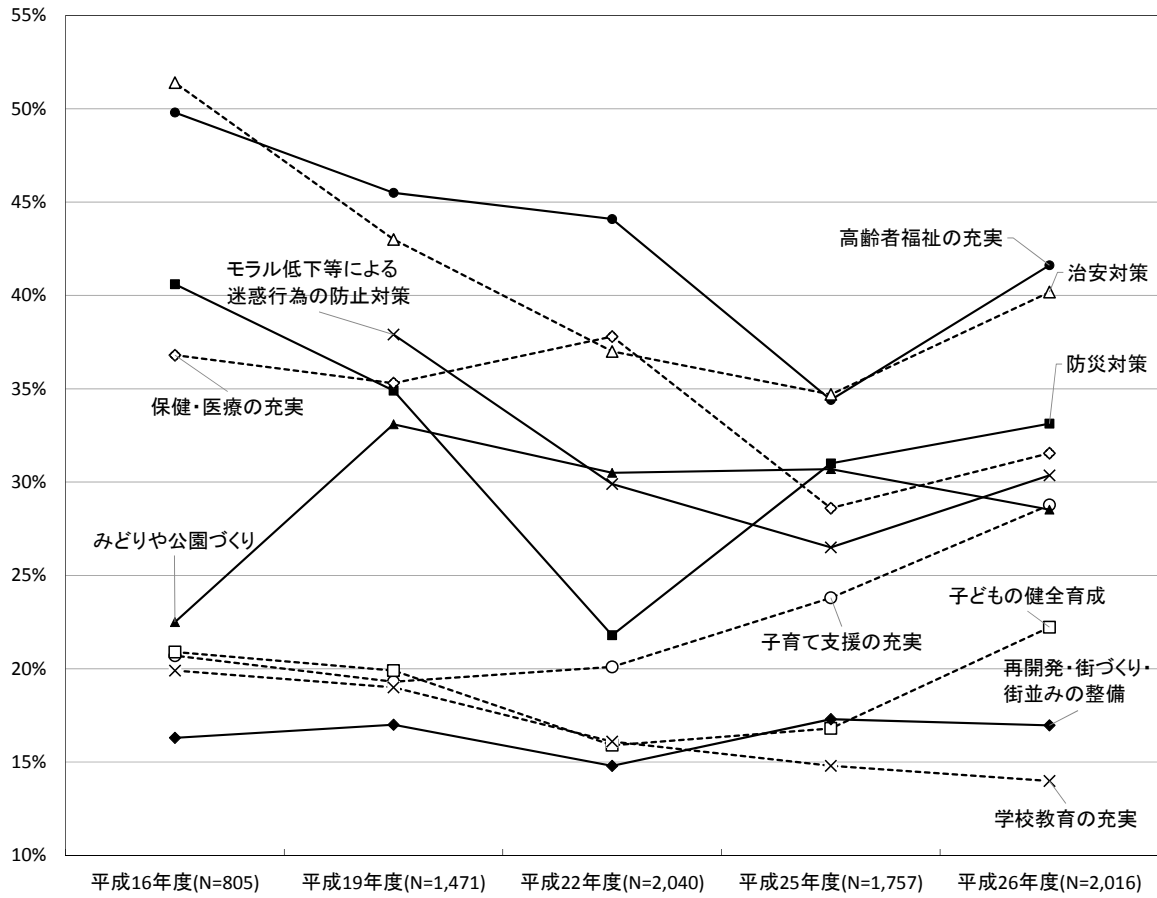
■特に力を入れてほしい施策＜経年比較：一覧表＞

	平成26年度 (N=2,016)		平成25年度 (N=1,757)		平成22年度 (N=2,040)		平成19年度 (N=1,471)		平成16年度 (N=805)	
高齢者福祉の充実	41.6%	(1位)	34.4%	(2位)	44.1%	(1位)	45.5%	(1位)	49.8%	(2位)
治安対策	40.2%	(2位)	34.7%	(1位)	37.0%	(3位)	43.0%	(2位)	51.4%	(1位)
防災対策	33.1%	(3位)	31.0%	(3位)	21.8%	(6位)	34.9%	(5位)	40.6%	(3位)
保健・医療の充実	31.5%	(4位)	28.6%	(5位)	37.8%	(2位)	35.3%	(4位)	36.8%	(4位)
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	30.4%	(5位)	26.5%	(6位)	29.9%	(5位)	37.9%	(3位)		
子育て支援の充実	28.8%	(6位)	23.8%	(7位)	20.1%	(7位)	19.3%	(9位)	20.7%	(8位)
みどりや公園づくり	28.5%	(7位)	30.7%	(4位)	30.5%	(4位)	33.1%	(6位)	22.5%	(6位)
子どもの健全育成	22.2%	(8位)	16.8%	(9位)	15.9%	(9位)	19.9%	(8位)	20.9%	(7位)
再開発・街づくり・街並みの整備	17.0%	(9位)	17.3%	(8位)	14.8%	(11位)	17.0%	(12位)	16.3%	(13位)
学校教育の充実	14.0%	(10位)	14.8%	(10位)	16.1%	(8位)	19.0%	(10位)	19.9%	(9位)
交通安全対策	13.5%	(11位)	12.9%	(11位)	11.8%	(14位)	10.9%	(19位)	11.8%	(17位)
障害者(児)福祉の充実	13.3%	(12位)	10.1%	(18位)	10.9%	(17位)	13.1%	(15位)	18.8%	(11位)
健康づくり	13.3%	(13位)	10.8%	(13位)	11.8%	(13位)	11.8%	(17位)	17.9%	(12位)
池袋副都心の活性化	13.2%	(14位)	8.4%	(22位)	8.9%	(22位)	9.7%	(20位)	8.8%	(19位)
住宅対策	10.7%	(15位)	12.5%	(12位)	10.8%	(18位)	12.5%	(16位)	13.9%	(16位)
放置自転車対策	10.6%	(16位)	10.5%	(15位)	12.9%	(12位)	25.8%	(7位)	25.0%	(5位)
道路交通網の整備	9.4%	(17位)	9.3%	(20位)	9.0%	(21位)	7.7%	(22位)		
文化・芸術の振興	9.4%	(17位)	7.6%	(23位)	8.2%	(24位)	9.6%	(21位)	6.6%	(21位)
地域の活動やコミュニティの形成	9.1%	(19位)	9.6%	(19位)	10.5%	(20位)	7.7%	(22位)	6.6%	(21位)
中小企業、地域経済の振興	8.5%	(20位)	9.3%	(20位)	10.7%	(19位)	11.3%	(18位)	14.4%	(14位)
生涯学習・スポーツ等の充実	8.4%	(21位)	10.8%	(13位)	11.4%	(16位)	13.4%	(14位)	11.3%	(18位)
環境保全・資源リサイクル	8.3%	(22位)	10.4%	(16位)	11.8%	(14位)	18.0%	(11位)	19.6%	(10位)
消費生活対策	7.2%	(23位)	7.5%	(24位)	8.5%	(23位)	6.9%	(24位)	7.0%	(20位)
行財政改革	5.6%	(24位)	10.4%	(16位)	15.2%	(10位)	14.1%	(13位)	14.0%	(15位)
区民サービスのIT化・情報化の推進	4.4%	(25位)	5.0%	(25位)	4.2%	(25位)	5.2%	(25位)	3.2%	(23位)
男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.3%	(26位)	2.7%	(27位)	3.0%	(26位)	1.3%	(27位)	1.9%	(24位)
観光・都市交流	2.4%	(27位)	3.1%	(26位)	2.3%	(27位)	1.6%	(26位)		
その他	1.2%									
無回答	2.8%		10.1%		7.5%		1.2%		3.7%	

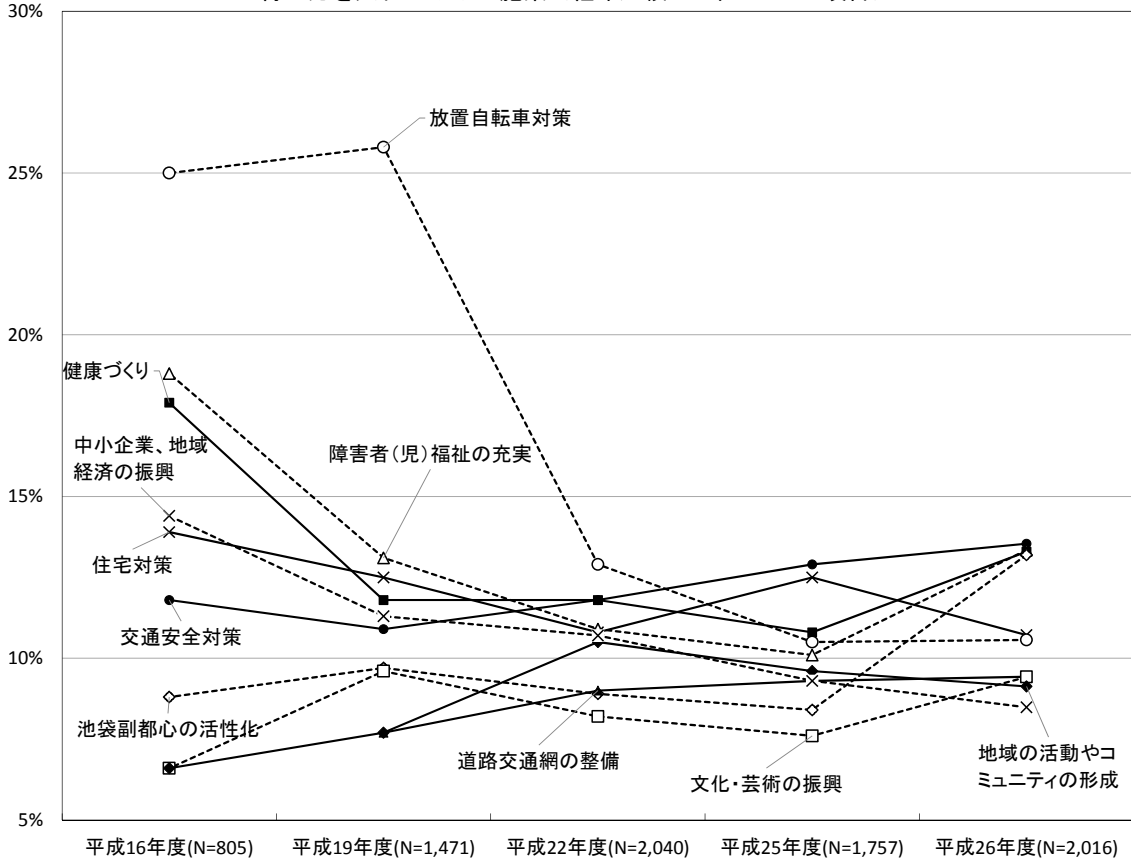
※「その他」は、平成26年度のみ聞いている。

平成19、22、25、26年度の項目	平成16年度の項目
高齢者福祉の充実	高齢者福祉
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	—
子育て支援の充実	子育て支援
再開発・街づくり・街並みの整備	都市整備・街づくり
学校教育の充実	学校教育
障害者(児)福祉の充実	障害者福祉
道路交通網の整備	—
地域の活動やコミュニティの形成	地域コミュニティの育成
生涯学習・スポーツ等の充実	生涯学習・スポーツ等
区民サービスのIT化・情報化の推進	IT化・情報化の推進
観光・都市交流	—

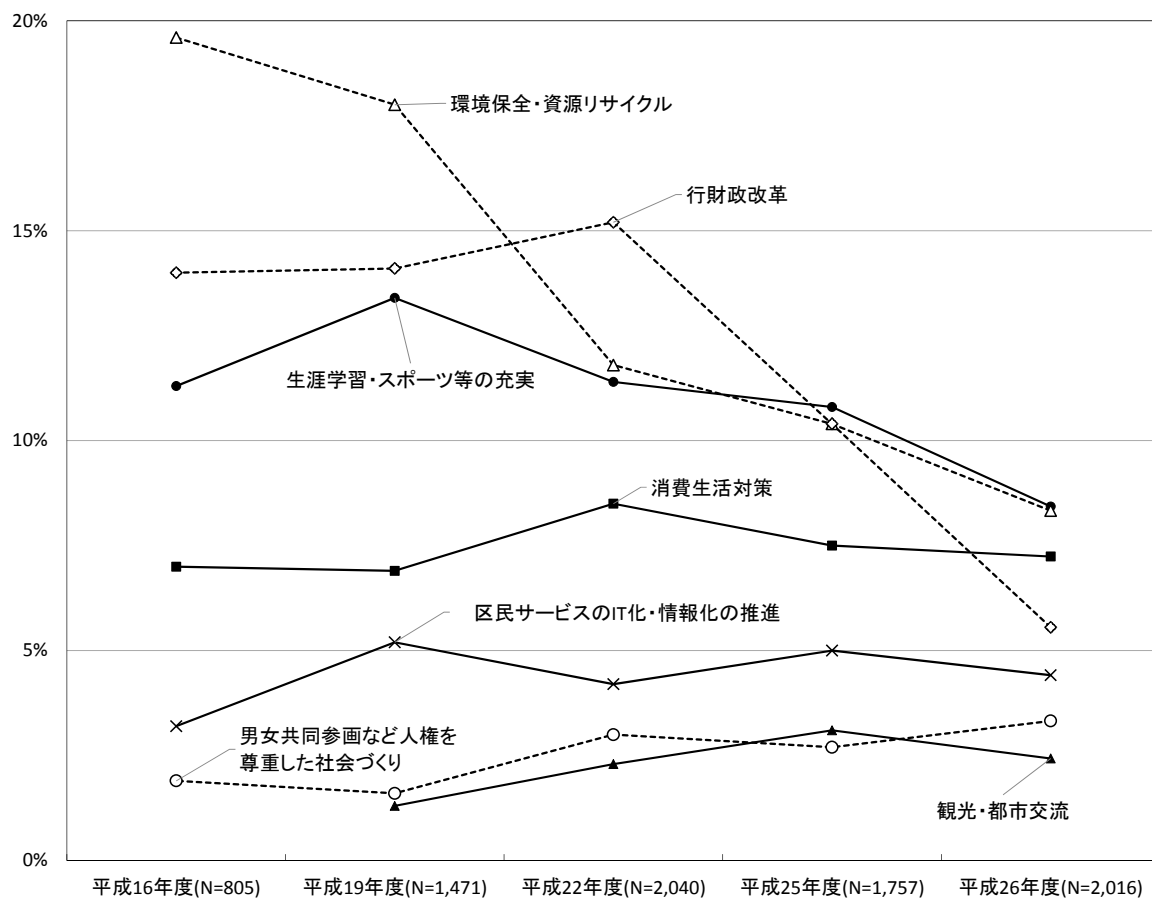
■特に力を入れてほしい施策<経年比較：上位10項目>



■特に力を入れてほしい施策<経年比較：上位11～20項目>



■特に力を入れてほしい施策<経年比較：上位21~27項目>



【年齢別比較】

50代以上では「高齢者福祉の充実」、18～29歳と40～49歳では「治安対策」、30～39歳では「子育て支援の充実」が最も高くなっている。次いで、18～29歳では「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」、30～39歳、50～59歳、60～69歳では「治安対策」、40～49歳では「防災対策」、70～79歳では「防災対策」「保健・医療の充実」、80歳以上では「保健・医療の充実」の順で続いている。

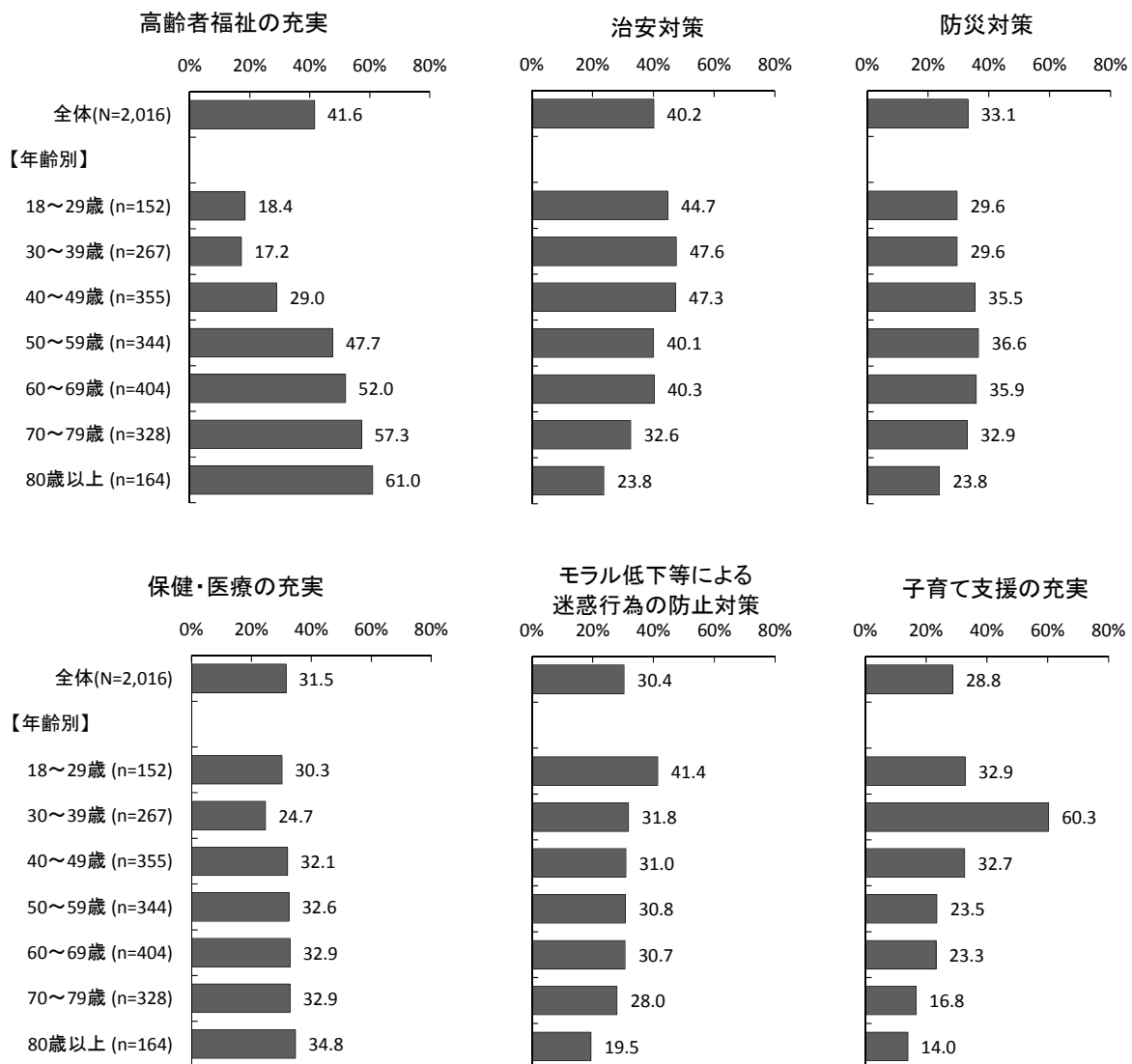
「高齢者福祉の充実」を年齢別にみると、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。

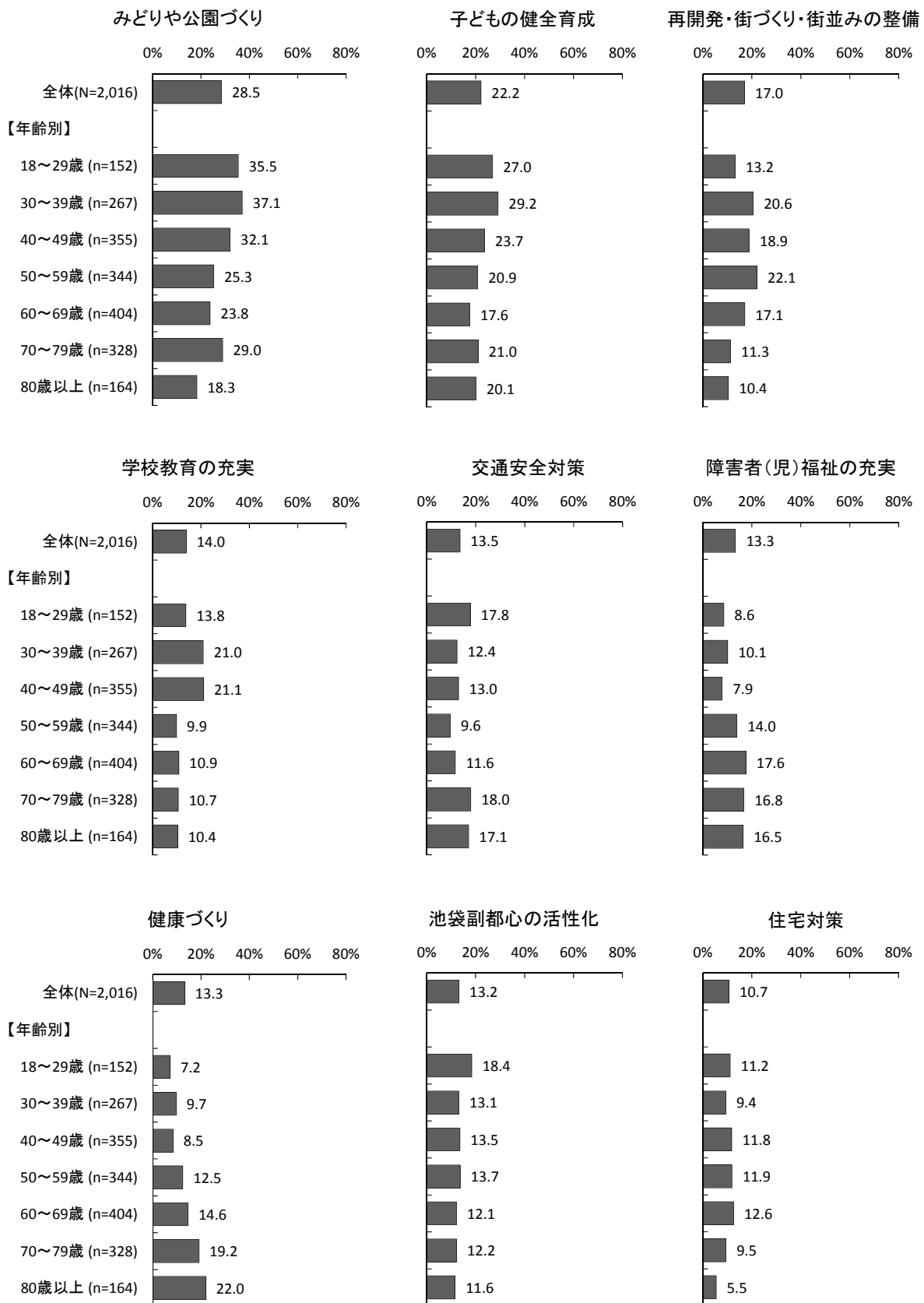
「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は、18～29歳が最も高く、約4割となっている。

「子育て支援の充実」は、30～39歳が約6割と、他の年代と比べて非常に高くなっている。

「みどりや公園づくり」は、18～29歳、30～39歳、40～49歳で3割を超えている。

■特に力を入れてほしい施策＜年齢別：上位15項目＞





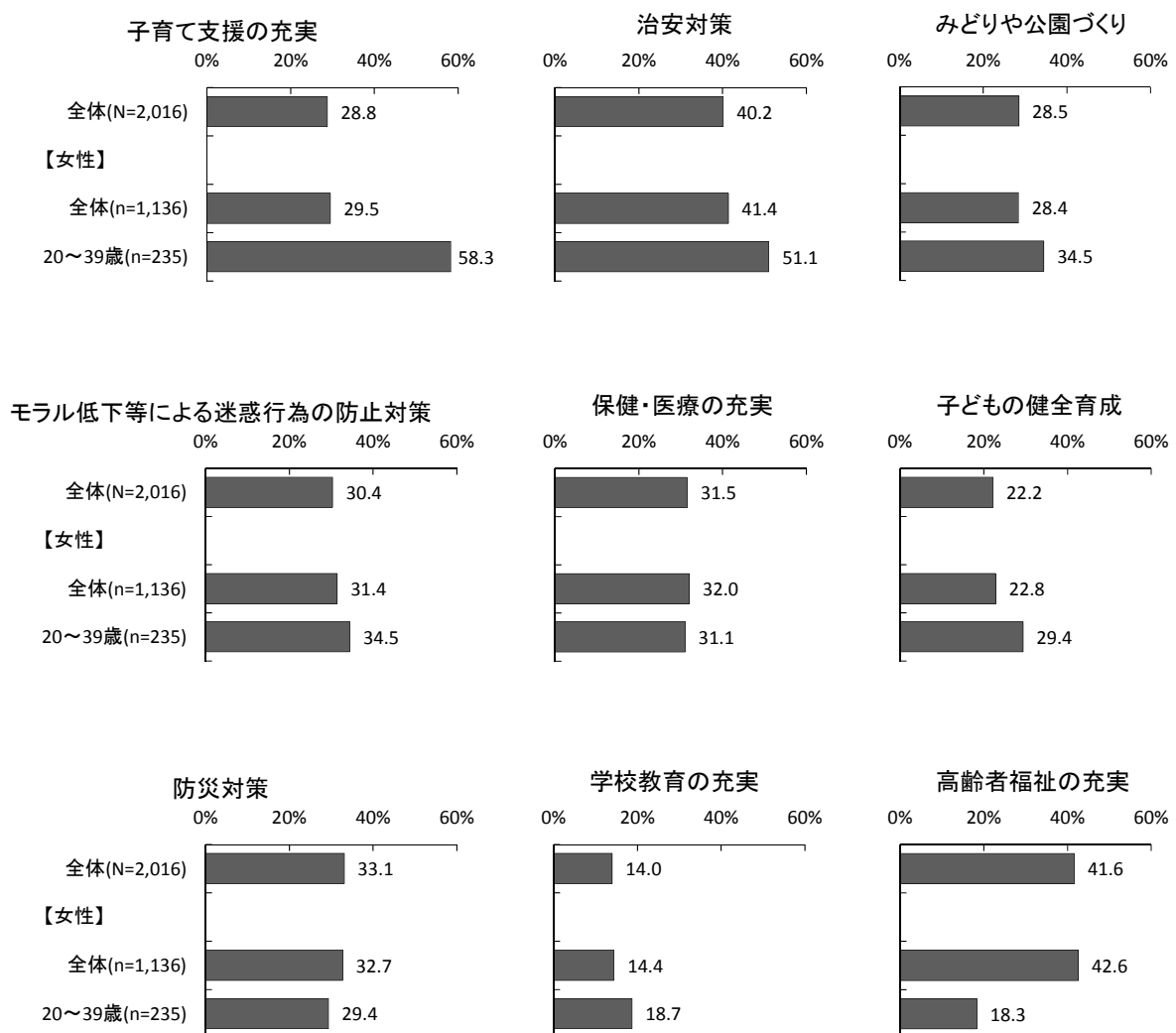
【若年女性】

女性のうち 20～39 歳の世代では、「子育て支援の充実」が約 6 割と最も高く、回答者全体及び女性全体の約 2 倍となっている。

「治安対策」をみると、女性のうち 20～39 歳の世代では約 5 割となっており、回答者全体よりもやや高くなっている。

その一方で、「高齢者福祉の充実」をみると、女性のうち 20～39 歳の世代では約 2 割となっており、回答者全体及び女性全体よりも低くなっている。

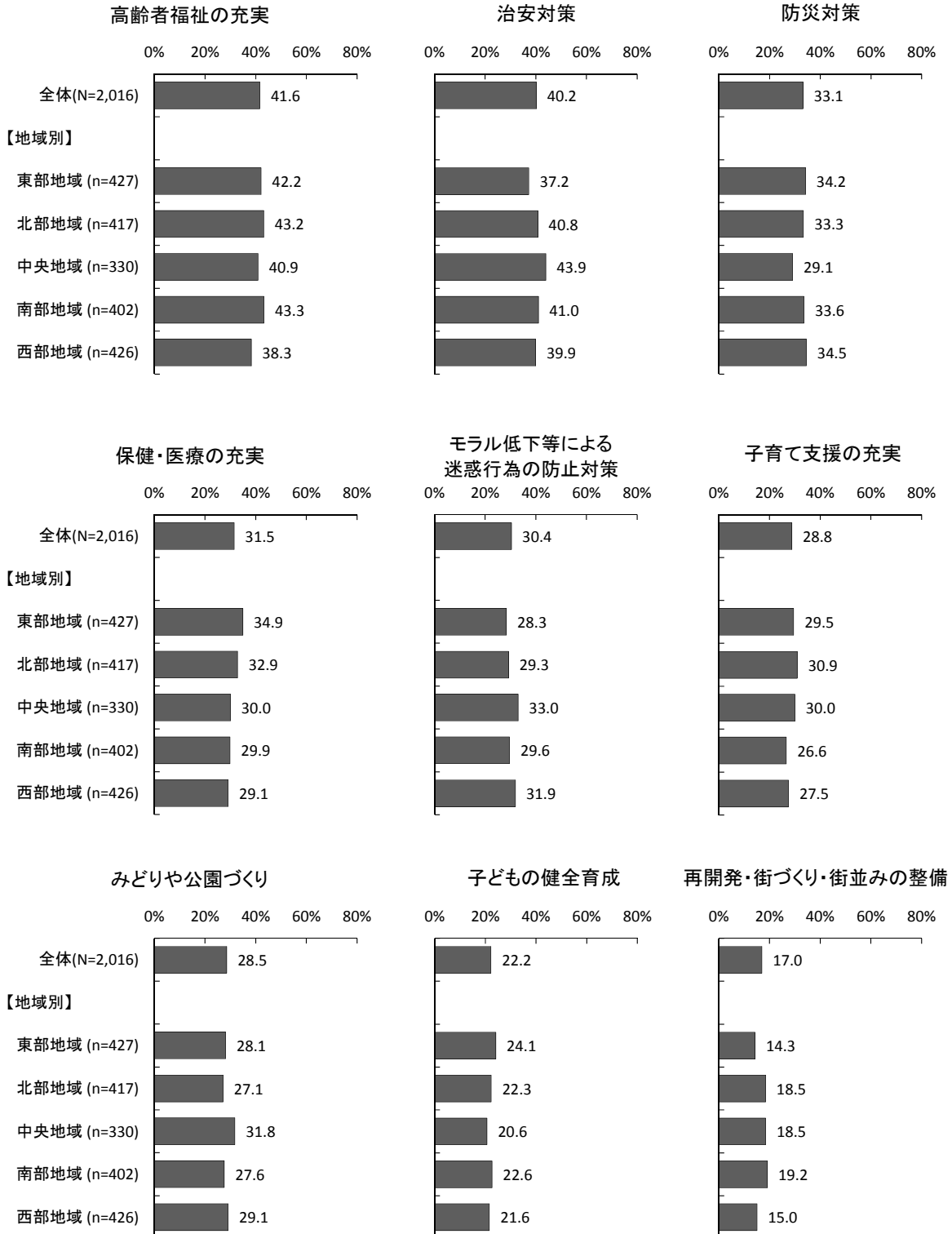
■特に力を入れてほしい施策<若年女性：上位 9 項目>



【地域別比較】

東部地域、北部地域、南部地域では「高齢者福祉の充実」（それぞれ 42.2%、43.2%、43.3%）が最も高く、次いで「治安対策」（それぞれ 37.2%、40.8%、41.0%）が続いている。中央地域、西部地域では「治安対策」（それぞれ 43.9%、39.9%）が最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」（それぞれ 40.9%、38.3%）が続いている。

■特に力を入れてほしい施策＜地域別：上位9項目＞



5. 自由意見：問 33

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。2,016人の回答者中、699人からの回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は1,022件となっている。意見の分類は、問16：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

■自由意見の整理結果

分 野	意見件数
①福祉	43
②健康	12
③子育て	82
④教育	33
⑤コミュニティ・協働	62
⑥環境	100
⑦都市再生	172
⑧安全・安心	126
⑨観光・産業	28
⑩文化	37
⑪区政について	175
⑫その他	116
⑬本意識調査について	36
合 計	1,022

Ⅲ. 調査票

としまの未来づくりに皆さまの声をお聴かせください

豊島区基本計画策定のための区民意識調査

調査ご協力をお願い

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、豊島区では、区の目指すまちの姿や地域づくりの方向性を示した「豊島区基本計画」のもと、様々な施策に取り組んでいます。このたび、この基本計画が平成 27 年度をもって終了することから、平成 28 年度以降の 10 年



間を期間とする新たな基本計画の策定に向けて、準備を進めているところです。そこで、計画づくりの一環として、皆さまのご意見やご要望をお聴きし、今後の検討の基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内に 2 年以上お住まいの 18 歳以上の方の中から 5,000 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 26 年 10 月 豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. 封筒のあて名のご本人が、ご記入してください。ご本人の回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聴いた上で代わりに記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入が終わった調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

10月22日（水）までに郵便ポストに投函してください。

投函していただく封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すものであり、個人を特定するものではありません。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

電話：03-3981-4201（直通） FAX：03-3981-1021

※英語、中国語、ハングルによる調査票が必要な方は、お問い合わせください。

豊島区基本計画策定のための区民意識調査 調査票

1. 最初に、あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの年齢について、お答えください。(1つに○)

1. 18～19 歳	3. 30～39 歳	5. 50～59 歳	7. 70～79 歳
2. 20～29 歳	4. 40～49 歳	6. 60～69 歳	8. 80 歳以上

問2 あなたの性別について、お答えください。(1つに○)

1. 男 性	2. 女 性
--------	--------

問3 あなたの職業について、お答えください。(1つに○)

1. 自営業	4. 勤め(パートタイム)	7. 無 職
2. 勤め(全日・正規)	5. 専業の主婦(主夫)	8. その他()
3. 勤め(全日・非正規)	6. 学 生	

問4 あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子(二世帯)	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世帯	()

▶【問4で「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問4-1 あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

問5 あなたは区内に親戚がいますか。(1つに○)

1. つき合いのある親戚がいる	2. いるが日頃つき合いはない	3. いない
-----------------	-----------------	--------

問6 あなたは生まれてから、ずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

1. ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)	2. 他の地域からきた
------------------------------	-------------

問7 あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～5年未満	3. 10年以上～20年未満
2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上

問8 あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て(持ち家)	3. 集合住宅(分譲)	5. その他
2. 一戸建て(借家)	4. 集合住宅(賃貸)	()

問9 あなたのお住まいの町名について、お答えください。(1つの番号に○印をつけ、()内に数字もお書きください。)

記入例: 1. 駒込(○1)丁目

1. 駒 込()丁目	8. 南 池 袋()丁目	15. 南 長 崎()丁目
2. 巢 鴨()丁目	9. 西 池 袋()丁目	16. 長 崎()丁目
3. 西 巢 鴨()丁目	10. 池 袋()丁目	17. 千 早()丁目
4. 北 大 塚()丁目	11. 池袋本町()丁目	18. 要 町()丁目
5. 南 大 塚()丁目	12. 雑司が谷()丁目	19. 高 松()丁目
6. 上 池 袋()丁目	13. 高 田()丁目	20. 千 川()丁目
7. 東 池 袋()丁目	14. 目 白()丁目	

2. 豊島区の印象についておたずねします

問 10 あなたは、豊島区に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない |

問 11 あなたは、これからも豊島区内に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたい |
| 2. 当分住み続けたい |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したい |

→【問 11 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 11-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 12. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 13. 教育環境が良いから |
| 3. 持ち家だから | 14. 文化的な環境が良いから |
| 4. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 15. 福祉や医療が充実しているから |
| 5. 親戚が近くに住んでいるから | 16. 住環境が良いから |
| 6. 友人・知人が近くに住んでいるから | 17. 自然環境が良いから |
| 7. 近所づきあいがうまくいっているから | 18. 治安が良いから |
| 8. 買い物など日常生活に便利だから | 19. 防災面で安全だから |
| 9. 通勤・通学に便利だから | 20. 公共施設が充実しているから |
| 10. 仕事の関係上、住む必要があるから | 21. その他 |
| 11. 子育て環境が充実しているから | () |

→【問 11 で「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問 11-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 12. 子育て環境が充実していないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 13. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 持ち家に住みたいから | 14. 教育環境が良くないから |
| 4. 家が手狭になったから | 15. 文化的な環境が良くないから |
| 5. 親や子どもの近くに住みたいから | 16. 福祉や医療が充実していないから |
| 6. 親戚の近くに住みたいから | 17. 住環境が良くないから |
| 7. 友人・知人の近くに住みたいから | 18. 自然環境が良くないから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっていないから | 19. 治安が良くないから |
| 9. 買い物など日常生活に不便だから | 20. 防災面で不安だから |
| 10. 通勤・通学に不便だから | 21. 公共施設が充実していないから |
| 11. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 22. その他() |

問 12 現在の豊島区の「イメージ」を表すとしたら、どのような表現がふさわしいと思いますか。
(○は3つまで)

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1. 賑わいのあるまち | 5. 成熟したまち | 9. 清潔なまち |
| 2. 閑静なまち | 6. 温かみのあるまち | 10. その他 |
| 3. 文化・歴史のあるまち | 7. 落ち着いたまち | () |
| 4. 多様なまち | 8. 安全・安心なまち | |

問 13 将来(おおよそ 10 年後)の豊島区はどのような「イメージ」のまちになってほしいですか。(○は3つまで)

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1. 賑わいのあるまち | 5. 成熟したまち | 9. 清潔なまち |
| 2. 閑静なまち | 6. 温かみのあるまち | 10. その他 |
| 3. 文化・歴史のあるまち | 7. 落ち着いたまち | () |
| 4. 多様なまち | 8. 安全・安心なまち | |

問 14 現在の豊島区の「良いところ」を挙げるとすれば、どのようなところだと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 生活環境が良い | 12. 防災対策が充実している |
| 2. 街並みが美しい | 13. 住環境が良い |
| 3. 交通の便が良い | 14. 自然が豊かである |
| 4. 買い物に便利である | 15. 地域のコミュニティがしっかりしている |
| 5. 公共施設が充実している | 16. 区政への参画機会が多い |
| 6. 商売・事業が営みやすい | 17. 生涯学習の機会が多い |
| 7. 働く場が多い | 18. 文化・歴史が感じられる |
| 8. 子育てがしやすい | 19. 観光資源が多い |
| 9. 教育環境が良い | 20. 国際化が進んでいる |
| 10. 福祉・医療環境が充実している | 21. その他 |
| 11. 治安が良い | () |

問 15 現在の豊島区の「改善すべきところ」を挙げるとすれば、どのようなところだと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 生活環境が良くない | 12. 防災対策が不十分である |
| 2. 街並みが美しくない | 13. 住環境が良くない |
| 3. 交通の便が良くない | 14. 自然が豊かでない |
| 4. 買い物に不便である | 15. 地域のコミュニティが希薄化している |
| 5. 公共施設が少ない | 16. 区政への参画機会が少ない |
| 6. 商売・事業が営みにくい | 17. 生涯学習の機会が少ない |
| 7. 働く場が少ない | 18. 文化・歴史が感じられない |
| 8. 子育てがしにくい | 19. 観光資源が少ない |
| 9. 教育環境が良くない | 20. 国際化が進んでいない |
| 10. 福祉・医療環境が不十分である | 21. その他 |
| 11. 治安が良くない | () |

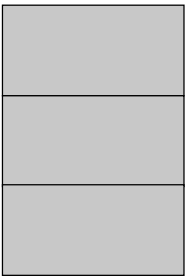
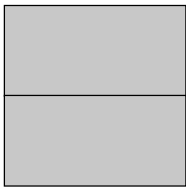

3. 地域の生活環境の評価と今後の優先度についておたずねします

問 16 以下の設問は、地域の生活環境を 10 のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。(「現在の評価」欄は、項目ごとに一つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。)

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
①福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	5	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	7	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
	8	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	1	2	3	
②健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	※9～13の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	10	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	1	2	3	
	11	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	12	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	13	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	
③子育て	14	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	1	2	3	※14～19の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	15	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	16	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	17	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	
	18	家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	19	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
④教育	20	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	1	2	3	※20～26の中から2つ選んで、番号を書いてください。 
	21	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	22	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている	1	2	3	
	23	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	24	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	25	家庭での教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	26	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
⑤コミュニティ・協働	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	※27～34の中から3つ選んで、番号を書いてください。 
	28	さまざまな地域活動団体や NPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	29	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	30	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	31	地域の課題に対する関心が高まっている	1	2	3	
	32	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	33	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	34	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	
⑥環境	35	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	※35～42の中から3つ選んで、番号を書いてください。 
	36	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	37	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	38	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	42	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑦都市再生	43	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※43～52の中から3つ選んで、番号を書いてください。 
	44	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	47	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
	51	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	1	2	3	
	52	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
⑧安全・安心	53	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	※53～58の中から2つ選んで、番号を書いてください。 
	54	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	1	2	3	
	55	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	56	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	57	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	58	交通事故が少ない	1	2	3	
⑨観光・産業	59	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている	1	2	3	※59～64の中から2つ選んで、番号を書いてください。 
	60	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	61	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	62	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	63	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	64	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑩文化	65	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべきと 思う項目の番号を 選んでください。 ※65～72の中から 2つ選んで、 番号を書いて 
	66	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	1	2	3	
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	68	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	69	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	71	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
	72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

4. 区政への参加についておたずねします

問 17 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない |

問 18 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない |

問 19 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である |

問 20 あなたは、区政に意見を反映させる機会があれば参加したいと思いますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 積極的に参加したい |
| 2. テーマによっては参加したい |
| 3. 参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい |
| 4. 参加したくない |

5. 地域との関わりについておたずねします

問 21 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない |

問 22 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 親しく付き合っている | 3. あいさつをする程度 |
| 2. 立ち話をする程度 | 4. 付き合いはほとんどない |

問 23 あなたは、近所の人との付き合いは、どの程度が好ましいと考えますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 困ったときに頼れる仲 | 4. あいさつをする |
| 2. 一緒に行事や催しに参加する | 5. 付き合いは必要ない |
| 3. 立ち話をする | 6. その他() |

問 24 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している | 3. 関心はあるが、参加していない |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

→【問 24 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 24-1 地域活動への参加理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 地域とのかかわりをもちたいから | 7. 生きがい、勉強になるから |
| 2. 地域の役に立ちたいから | 8. 災害時に協力し合う絆づくりのため |
| 3. 家族が参加している、又は勧められたから | 9. 近所付き合いのため、当然である |
| 4. 近所の人に参加している、又は勧められたから | 10. 近所付き合いであり、やむを得ず |
| 5. 友人・知人が参加している、又は勧められたから | 11. 多少は収入が入るため |
| 6. 長くこの地域に住んでいるから | 12. その他() |

→【問 24 で「3」と回答した方におたずねします】

問 24-2 関心はあるが、参加していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない | 7. 興味が持てる活動がない |
| 2. きっかけがつかめない | 8. 育児や介護が必要な家族がいる |
| 3. 身近に活動団体や仲間がない(知らない) | 9. 一度はじめると拘束されてしまう |
| 4. 地域活動の情報がない | 10. 無償だから(有償なら参加してもよい) |
| 5. 健康に自信がない | 11. 人間関係が面倒である |
| 6. 家族や職場の理解が得られない | 12. その他() |

問 25 豊島区では、「自治の推進に関する基本条例」に、コミュニティ活動の拠点として「地域区民ひろば」を位置づけ、参加と協働のまちづくりを推進しています。「地域区民ひろば」は、小学校区ごとに設置されており、子どもから高齢者までどなたでも利用できる施設で、地域住民による自主的な運営が進められています。

あなたは、この「地域区民ひろば」が設置されていることや活動内容を知っていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 設置も活動内容も知っている |
| 2. 設置されていることは知っているが、活動内容は知らない |
| 3. はじめて聞いた |

→【問 25 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 25-1 あなたは、「地域区民ひろば」に行ったことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【すべての方におたずねします】

問 25-2 あなたは、今後、「地域区民ひろば」の取り組みに関わっていきたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 関わりたい | 3. あまり関わりたくない |
| 2. 機会があれば関わりたい | 4. 関わりたくない |

問 26 豊島区は平成 24 年 11 月に WHO(世界保健機関)が提唱する「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、決して偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防できる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。

あなたは、このセーフコミュニティの取り組みを知っていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 考え方や活動内容を知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない |
| 3. はじめて聞いた |

問 27 豊島区では、セーフコミュニティ活動を推進するため、以下の 10 項目の重点課題を設定し、取り組んでいます。あなたはどの取り組みに関心がありますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 子どものけが・事故予防 | 6. 学校の安全(セーフスクール) |
| 2. 高齢者の安全 | 7. 地震災害の防止 |
| 3. 障害者の安全 | 8. 児童虐待の防止 |
| 4. 自転車利用の安全 | 9. ドメスティック・バイオレンスの防止 |
| 5. 繁華街の安全 | 10. 自殺・うつ病の予防 |

問 28 より多くの区民の方が、積極的に地域活動に参加するようになるためには、豊島区はどのようなことを行えばよいと思いますか。(特に重要だと思うもの3つまでに○)

1. NPO 団体や自主サークルの立ち上げ支援、活動支援を行う
2. 活動の拠点となる場所を充実する
3. 活動を一時的に体験できる場や活動を紹介できる機会を設ける
4. 学校や子どもの施設などで、地域活動を行っている人と一緒に取り組む機会を設ける
5. 住民同士の支え合いの意識を向上させる
6. 活動の情報提供を充実する
7. 地域活動に対して資材や資金の援助を行う
8. 地域通貨等、対価を支払う仕組みを取り入れる
9. 育児や介護への支援を充実し、活動しやすい環境を整える
10. 区の講座(としまコミュニティ大学等)で学んだ知識を活用する場の提供を充実する
11. 地域活動の指導者を育成する
12. 企業の地域活動への理解を深め、従業員が積極的に参加するよう働きかける
13. その他()

6. これからの豊島区のまちづくりについておたずねします

問 29 人口減少社会の到来や少子高齢化が一層進む中で、豊島区はどのようなまちづくりを進めていけばよいと思いますか。(特に重要だと思うもの5つまでに○)

1. 若者や女性、高齢者、障害者などが安心して働いているまち
2. 妊娠や出産、育児、教育、介護等にかかる経済的負担が少ないまち
3. 多様な子育て支援サービス、介護サービス等が提供されているまち
4. 子育てしやすい、高齢者に配慮した住環境が整備されているまち
5. 支え合いによる地域コミュニティが形成されているまち
6. 子どもが身近な場所で伸び伸びと遊べるまち
7. 医療環境が充実しているまち
8. 安全・安心で、子どもが健全に育つまち
9. 地方都市との交流が活発なまち
10. 世界に文化や歴史などの魅力を発信するまち
11. その他()

問 30 切迫性が指摘される首都直下地震に備えて、豊島区はどのようなまちづくりを進めていけばよいと思いますか。(特に重要だと思うもの5つまでに○)

1. 区民の自助力が向上しているまち
2. 地域ぐるみの防災訓練が充実しているまち
3. 災害時の要援護者支援に関する取組みが推進されているまち
4. 日頃からの地域交流を通じた支え合いの関係ができているまち
5. 避難場所(公園・広場)・避難所(救援センター)の数や設備が充実しているまち
6. 避難ルートやハザードマップが作成・周知されているまち
7. 災害時の迅速かつ確実な情報収集・伝達手段が確保されているまち
8. 災害時に地域のリーダーとなる人材が育成されているまち
9. 帰宅困難者や観光客への支援体制が充実しているまち
10. 民間事業者との協定等による災害時の支援体制が整備されているまち
11. 区民への防災教育が推進されているまち
12. 行政の防災対策に関する取組みや支援内容が周知されているまち
13. 老朽化した公共インフラ施設の更新・耐震化が確保されているまち
14. 建物の耐火・耐震化が進んでいるまち
15. 広い道路や公園が整備され、火事が燃え広がりにくいまち
16. その他()

問 31 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、豊島区はどのようなまちづくりを進めていけばよいと思いますか。(特に重要だと思うもの5つまでに○)

1. 豊島区民に「おもてなし」の心が醸成されているまち
2. 区民や子どもの国際理解、障害者への理解が進んでいるまち
3. 案内掲示板やガイドマップなどの多言語化が充実しているまち
4. 多様なボランティアが育成されているまち
5. 飲食店や宿泊施設等における外国人向けの対応が充実しているまち
6. 人が集う公共施設や商業施設などの耐震化が確保されているまち
7. 駅や道路、商業施設などのバリアフリー化が進んでいるまち
8. 区内の無料無線LAN(Wi-Fi)環境が充実しているまち
9. 防犯対策が充実しているまち
10. スポーツに触れ合う機会が充実しているまち
11. スポーツを通じた社会貢献活動が行われているまち
12. 諸外国や他都市とのスポーツ交流が推進されているまち
13. 美しい街並みが整備されているまち
14. 世界に文化や歴史などの魅力が発信され、多くの観光客が訪れるまち
15. オリンピック・パラリンピックを契機に、新たな産業の集積が進むまち
16. その他()

問 32 区政全体について考えた場合、今後、特に力を入れてほしい施策はどのようなことですか。
(特に力を入れてほしいと思うもの5つまでに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 健康づくり | 15. 交通安全対策 |
| 2. 高齢者福祉の充実 | 16. 放置自転車対策 |
| 3. 障害者(児)福祉の充実 | 17. 池袋副都心の活性化 |
| 4. 保健・医療の充実 | 18. 中小企業、地域経済の振興 |
| 5. 子どもの健全育成 | 19. 消費生活対策 |
| 6. 子育て支援の充実 | 20. 防災対策 |
| 7. 学校教育の充実 | 21. 治安対策 |
| 8. 地域の活動やコミュニティの形成 | 22. モラル低下等による迷惑行為の防止対策 |
| 9. 男女共同参画など人権を尊重した社会づくり | 23. 文化・芸術の振興 |
| 10. みどりや公園づくり | 24. 観光・都市交流 |
| 11. 環境保全・資源リサイクル | 25. 生涯学習・スポーツ等の充実 |
| 12. 再開発・街づくり・街並みの整備 | 26. 区民サービスのIT化・情報化の推進 |
| 13. 道路交通網の整備 | 27. 行財政改革 |
| 14. 住宅対策 | 28. その他() |

問 33 最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**10月22日(水)まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。

豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書

平成 27 年（2015 年）3 月
（平成 26 年 10 月実施）

発 行 豊島区
編 集 豊島区政策経営部企画課
〒170-8422
東京都豊島区東池袋 1-18-1
☎03（3981）1111（代表）
